

令和6年度

広島高速5号線料金所等新築その他工事

中山地区

令和6年11月

広島高速道路公社

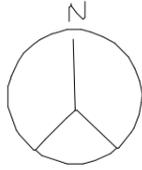
図 面 目 録

中山地区

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
	図面目録						
共-01	案内図	A-01	中山料金所 収受員待機室 配置図	BA-04	中山料金所 (OFF) サブブース建具表	E-01	中山料金所 電気設備 配置図
共-02	路線図 (5号線)	A-02	中山料金所 (ON) 仕上表・平面図・求積図	BA-05	中山料金所 (OFF) 機械室2、サブブース ブースアンカー詳細図	E-02	中山料金所 盤結線図・照明器具姿図 (収受員控室)
共-03	工事区分表	A-03	中山料金所 (ON) 平面詳細図			E-03	中山料金所 盤結線図 (OFFゲート)
		A-04	中山料金所 (ON) アイランド配筋要領図	CS-01	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	E-04	中山料金所 電気設備 平面図 (収受員待機室)
		A-05	中山料金所 (ON) 各部詳細図	CS-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	E-05	中山料金所 電気設備 展開図 (収受員待機室)
		A-06	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 1	CS-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)	E-06	中山料金所 電気設備 平面図 (ONゲート)
		A-07	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 2	CS-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (4)	E-07	中山料金所 動力・コンセント・通信設備 平面図 (OFFゲート)
		A-08	中山料金所 (ON) 立面図	CS-05	中山電気室 伏図・軸組図	E-08	中山料金所 電灯設備 平面図 (OFFゲート)
		A-09	中山料金所 (ON) 断面図	CS-06	中山電気室 基礎リスト	E-09	中山料金所 (OFF) サブブース展開図
		A-10	中山料金所 (ON) 電波吸収パネル範囲図	CS-07	中山電気室 柱・梁・壁・スラブリスト	E-10	中山電気室 盤結線図
		A-11	中山料金所 (OFF) 仕上表・平面図・求積図	CS-08	中山電気室 架構配筋詳細図	E-11	中山電気室 電気・通信設備 1階、2階平面図
		A-12	中山料金所 (OFF) 平面詳細図	CS-09	中山電気室 雑配筋詳細図	E-12	中山電気室 電気設備 1階、2階平面図
		A-13	中山料金所 (OFF) アイランド配筋要領図	CS-10	鉄骨構造標準図 (1)		
		A-14	中山料金所 (OFF) 各部詳細図	CS-11	鉄骨構造標準図 (2)		
		A-15	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 1	CS-12	ECP縦張標準工法標準図		
		A-16	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 2	CS-13	収受員待機室 ポーリング柱状図		
		A-17	中山料金所 (OFF) 立面図	CS-14	収受員待機室 伏図・軸組図		
		A-18	中山料金所 (OFF) 断面図	CS-15	収受員待機室 部材リスト		
		A-19	収受員待機室 仕上表・平面図・立面図・断面図	CS-16	収受員待機室 鉄骨詳細図		
		A-20	収受員待機室 平面詳細図・矩計図	CS-17	壁式配筋標準図 (1)		
		A-21	収受員待機室 展開図	CS-18	壁式配筋標準図 (2)		
		A-22	収受員待機室 建具表・外部片持ち屋根	CS-19	壁式配筋標準図 (3)		
		A-23	収受員待機室 部分詳細図	CS-20	中山料金所 (ON) 伏図・軸組図		
		A-24	中山電気室 配置図	CS-21	中山料金所 (ON) 部材リスト		
		A-25	中山電気室 仕上表・平面図・立面図・断面図	CS-22	中山料金所 (ON) 鉄骨詳細図		
		A-26	中山電気室 平面詳細図・矩計図	CS-23	中山料金所 (OFF) 伏図・軸組図		
		A-27	中山電気室 建具符号図・天井伏図・建具表	CS-24	中山料金所 (OFF) 部材リスト		
		A-28	中山電気室 展開図	CS-25	中山料金所 (OFF) 鉄骨詳細図		
		A-29	中山電気室 部分詳細図				
		BA-01	ブース特記仕様書				
		BA-02	中山料金所 (OFF) サブブース仕上表 平面図・屋根伏図・立面図				
		BA-03	中山料金所 (OFF) サブブース展開図				

注 CS-05は欠番

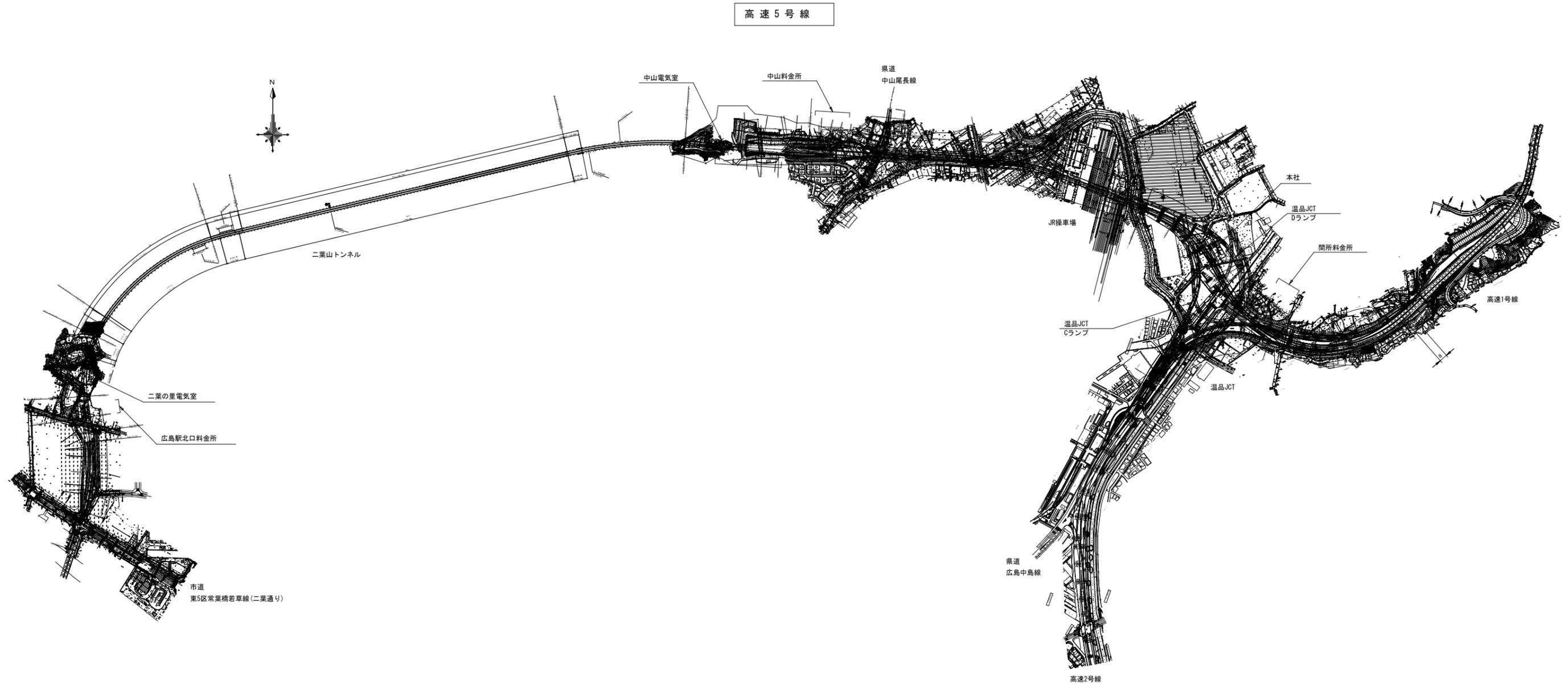
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	共-01	縮尺	
図名	案内図	番号	共-01
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:5000	
図名	路線図	シート	共-02
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

路線図 S=1:5000

高速5号線



令和 6 年度			
工事名	広島高速 5 号線料金所等新築その他工事		
図面番号		縮尺	
図名	工事区分表		番号 共-03
路線名	高速 5 号線		
広島高速道路公社			

工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。※図中特記は除く。

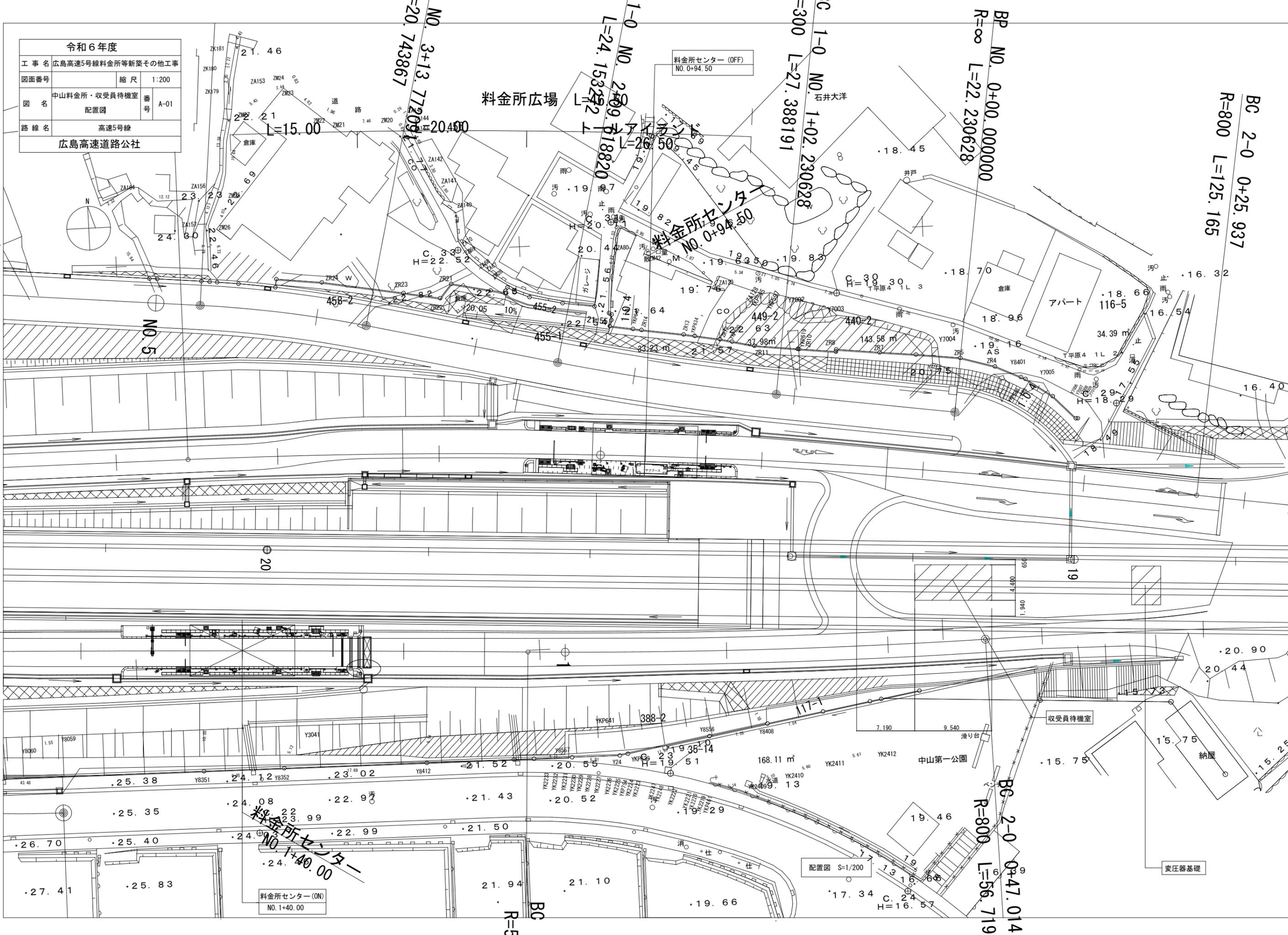
注 1 右表 (区分) の解説

建築工事	電気工事	機械工事	衛生工事	ETC工事	橋梁工事
------	------	------	------	-------	------

- ・「その他の電気工事」「ETC工事」「橋梁工事」は別途工事であり、この3工種以外は本工事に含まれる。
- ・「建築に付帯する電気工事」「機械(空調工事及び衛生工事)」「ブース工事」は本工事に含まれる付帯工事である。

項目	建築工事	電気工事	機械工事	衛生工事	備考	項目	建築工事	電気工事	機械工事	衛生工事	備考	項目	建築工事	電気工事	機械工事	衛生工事	ETC工事	橋梁工事	備考																
躯体関係					仕上げ関係					屋外給排水設備・外構					ブース工事関係																				
1. RC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	貫通スリーブ	●	●	●	●	1. 軽鉄天井 ・壁下地	補強を要するボードの 切込み及び下地の補強	○					1. 雨水	屋外雨水排水設備	●					1. ブース本体															
	貫通スリーブの補強	●					補強を要しないボードの切込み	○						樹及び樹蓋	●							分電盤二次側から各機器(配管 配線・分電盤・端子盤・端子台 などの接続線を含む)取付まで													
	開口補強を要する型枠材及び取付	●					開口部の墨だし	○	○	○	○			ルーフトレイン	●							分電盤一次側引込配管配線													
	開口部の補強	●					リブ天井仕上げ材の器具廻り 取合い	○						堅樋及び横引き配管	●		○				料金所排水柱ボックス 内排水管を含む	端子盤二次側以降の配管配線													
	開口補強を要しない型枠及び取付	●	●	●	●									雨水利用配管(ストレーナーまで)								放送機器(アンプ、マイク)・取付													
	貫通孔・開口部の墨出し	●	●	●	●							雨水利用配管(ストレーナー以降)							インターホン機器・取付																
	スリーブ・型枠の穴埋め	●	●	●	●							屋外雑排水及び屋外汚水排水設備							●	端子盤一次側引込配管配線															
	2. S・SRC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	S・SRC造鉄骨貫通鋼管スリーブ ・補強	○				2. 既製間仕切り	切込み及び補強	○					2. 雑排水・汚水	樹及び樹蓋					●	端子盤二次側以降の各端末機 ・機器までの配管														
	開口補強を要する型枠材及び取付	○	○	○	○		位置ボックス	○	○	○			化粧マンホール上蓋項及び 蓋の仕上げ	●						●	端子盤一次側引込配線、各端末機 ・機器取付及び配線														
	開口部の補強	○					衛生器具類・機器類取付用壁補強	○						屋外給水						○	本管引込みを含む														
開口補強を要しない型枠材 及び取付	○	○	○	○		3. 吊りボルト 及び インサート	設備機器・器具・配管・配線 ダクト・ケーブルラック	●	●	●	●										●														
貫通スリーブ(工場施工部分)	○						S造の場合、設備吊りボルト用 構造部材、ケーブルラック ・配線ダクトの支持材	●																											
貫通スリーブ(工場施工部分以外)	○	○	○	○			ウエザーカーバ、ベントキャップ	●	●																										
貫通口・開口部の墨出し	○						換気扇			●																									
スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○		換気扇用枠			●																									
予備スリーブの穴埋め	○						5. 湯沸かし室 廻り (ブース工事 除く)	ミニキッチン本体	○																										
3. 設備機器の 基礎	屋側施設の基礎	○						ミニキッチン用換気送風機・ダクト 雑排水・汚水	○		○																								
	屋内設置の基礎	○	○	○	○			ミニキッチン用衛生配管			○																								
	室内設置の基礎(電気・自家発)	●																																	
	受水槽等基礎	○																																	
	屋外設置の基礎	●																																	
	機器取付用アンカー・架台	●	●	●	●																														
6. 便所廻り (ブース工事 除く)	洗面カウンター																																		
	鏡(W600×H800まで)																																		
	鏡(W600×H800を超えるもの)																																		
	衛生陶器及び水栓類																																		
	身障者用手摺・ペーパーホルダー																																		
7. 事務室廻り	ドアガラリ及びアンダーカット																																		
	フリーアクセスフロアの 切込み及び補強																																		
	フリーアクセス用フロアマーカ																																		
8. その他	2重ビット及びトレン子の マンホール蓋																																		
	機器搬入用フック、ビーム																																		
	化粧マンホール上蓋及び 蓋の仕上げ																																		
	点検口(天井・床・壁)																																		
	排煙口等の天井仕上げ材の取付け																																		
	消火器BOX																																		
	トラフ・ビット類(蓋を含む)																																		
	地下各水槽躯体 及び防水・マンホール・タラップ ALC、押成形セメント板 壁開口補強																																		
	油小出し槽の防油堤																																		
	フリーアクセスフロア内の防水堤																																		
													電気配線配管																						
													料金所上屋照明器具取付																						
													同上配管・配線																						
													料金所上屋ケーブルラック ・配線ダクト取付																						
													同上支持金物																						
													安全通路通路照明灯具取付																						
													同上配管・配線																						
													配管配線支持金物																						
													同上配管支持金物取付用ピース																						
													ON・OFFレ恩斯ピーカー取付																						
													同上配管・配線																						
													ETCレーン用遮断機取付																						
													同上基礎、架台																						
													同上配管																						
													同上配線																						
													ETC遮断機押釦取付																						
													同上配管																						
													同上配線																						
													ETC関係機器取付																						
													同上配管																						
													同上配線																						
													非常用押釦取付																						
													同上配管																						
													同上配線																						
													CCTV関係機器取付																						
													同上配管																						
													同上配線																						
													メインブース分電盤一次側電源			</																			

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:200	
図名	中山料金所・収受員待機室 配置図	番号	A-01
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



料金所センター
NO.1+40.00

料金所センター (ON)
NO.1+40.00

配置図 S=1/200

変圧器基礎

料金所広場

料金所センター (OFF)
NO.0+94.50

料金所センター
NO.0+94.50

収受員待機室

中山第一公園

アパート



NO.5

20

19

BC 2-0 0+25.937
R=800 L=125.165

BP NO. 0+00.000000
R=∞ L=22.230628

3C 1-0 NO. 1+02.230628
L=27.388191

1-0 NO. 2+09.718820
L=24.153292

NO. 3+13.772091
L=20.743867

BC 2-0 0+47.014
R=800 L=56.719

BC
R=50

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100, 1:200	
図名	中山料金所(ON) 仕上表・平面図・求積図	番号	A-02
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

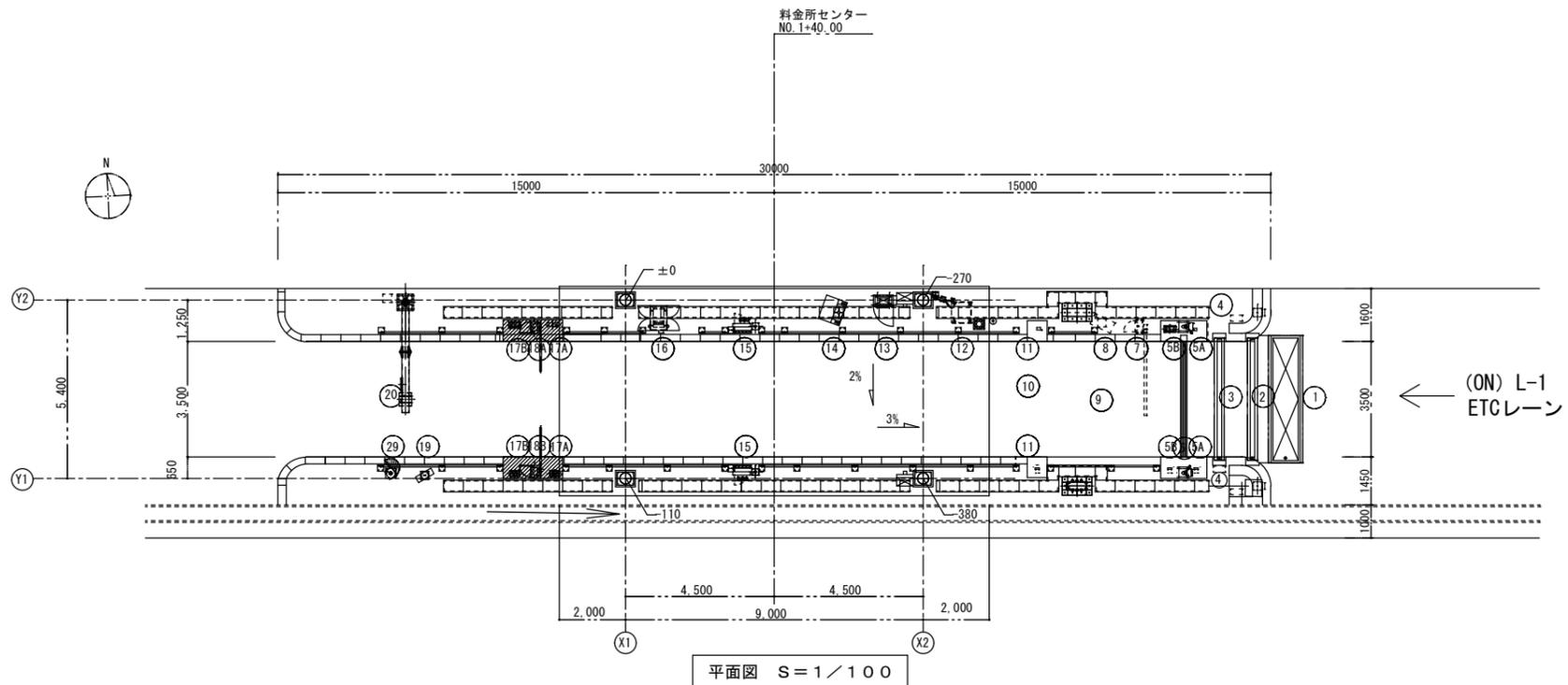
上屋 仕上表

屋根	折板(フッ素鋼板) t=0.8(山高85以上)
幕板	フッ素樹脂鋼板 t=1.6
柱・梁	鋼管・形鋼 : 溶融亜鉛メッキの上、フッ素樹脂系DP塗(DP-1)
縦樋	カラーVP100
その他	屋根下部防鳥ネット(ポリエステル製 440T 目合 20mm)、電波吸収パネル

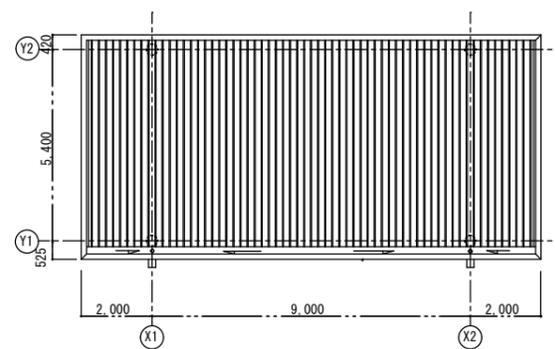
アイランド 仕上表

アイランド	床版: コンクリート直均しの上、フッ素樹脂系DP塗(DP-1) プロテクター: コンクリート打放しフッ素樹脂系DP塗(DP-1)
防護柱	鋼管: 165.5φ加工 H=3900, H=1800、溶融亜鉛メッキの上、フッ素樹脂系DP塗(DP-1)
ピット蓋	GRC t=20
仕上ユニット	安全手摺、横断注意、注意喚起バー、車高計、電波吸収パネル

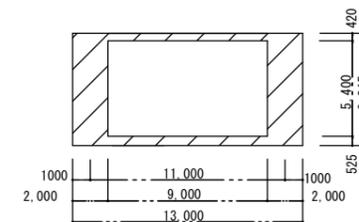
No.	機器名称	備考
①	軸重計検出部	
②	軸重計検出センサ1	
③	軸重計検出センサ2、車両検知器	将来
④	軸重計車両検知器	
⑤	車両検知器 S1A	
⑥	車両検知器 S1B	別途工事
⑦	車高検知器(発券機用)	
⑧	遮断機	
⑨	軸重計撮像機	将来
⑩	車線表示板	
⑪	路側無線装置(第一)	
⑫	車両検知器 S2	
⑬	車線制御装置	
⑭	アイランド分電盤	
⑮	路側表示器	
⑯	アイランド用スイッチ	
⑰	自動発券機	
⑱	車両検知器 S4A	別途工事
⑲	車両検知器 S4B	
⑳	発進制御装置 右側	
㉑	発進制御装置 左側	
㉒	CCTVカメラ	
㉓	路側無線装置(第二)	
㉔	遮断機	
㉕	自動発券機(左ハンドル用)	
㉖	料金表示器	
㉗	変圧器盤	
㉘	車線監視制御盤(屋外型)	
㉙	車両検知器 S4A(発券機用)	
㉚	車両検知器 S4B(発券機用)	
㉛	車両検知器 S1A(発券機用)	
㉜	車両検知器 S1B(発券機用)	
㉝	車高検知器	
㉞	軸重計警告表示板	将来



平面図 S = 1 / 100



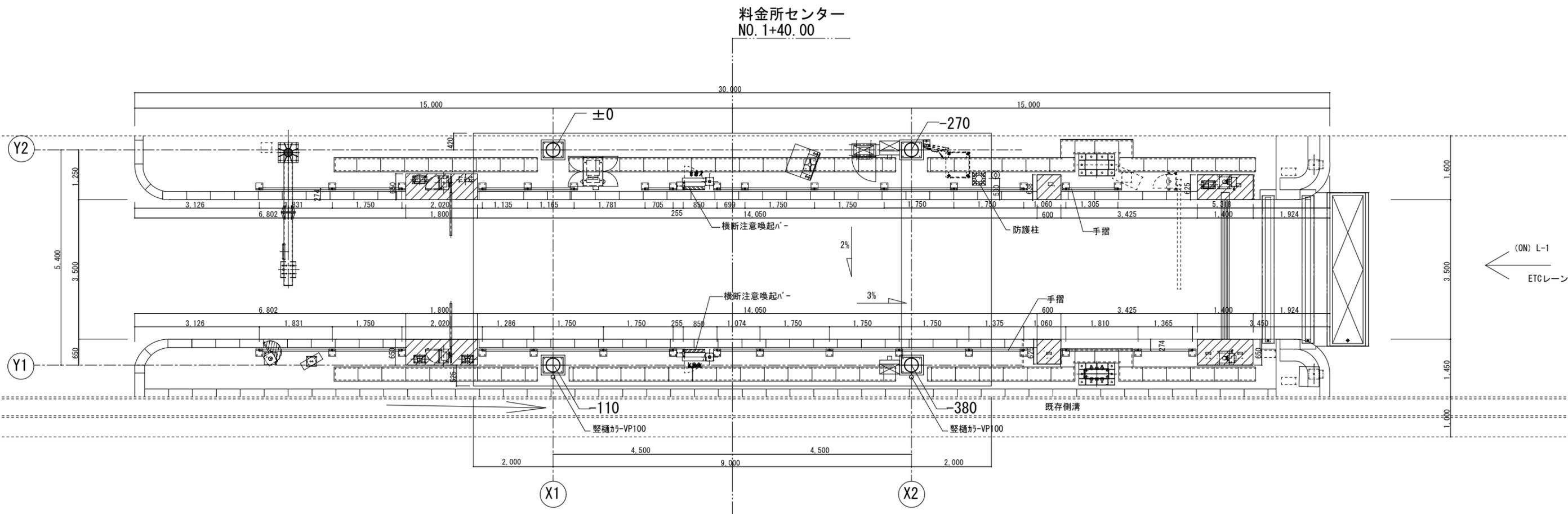
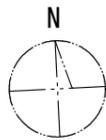
屋根伏図 S = 1 / 100



求積図 S = 1 / 200

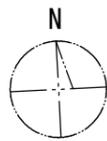
床面積	9 × 5.4 = 48.60	m ²
建築面積	11 × 5.4 = 59.40	m ²
屋根面積	13 × 6.345 = 82.48	m ²

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(ON) 平面詳細図	番号	A-03
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

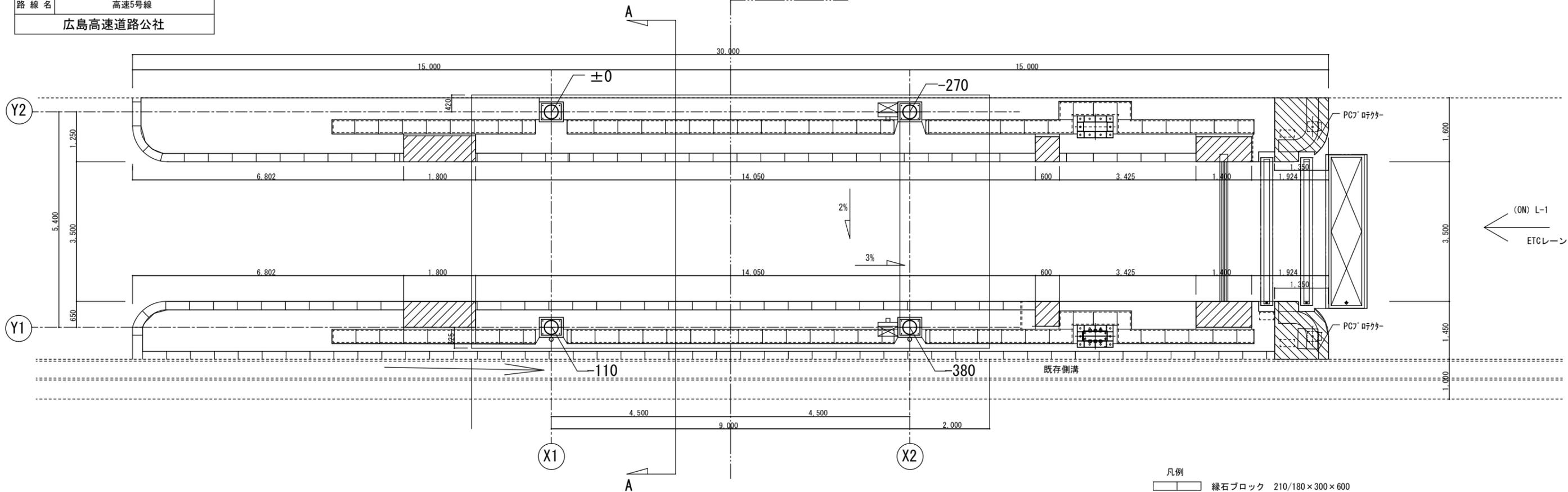


平面詳細図 S=1/50

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(ON) アイランド配筋要領図	番号	A-04
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

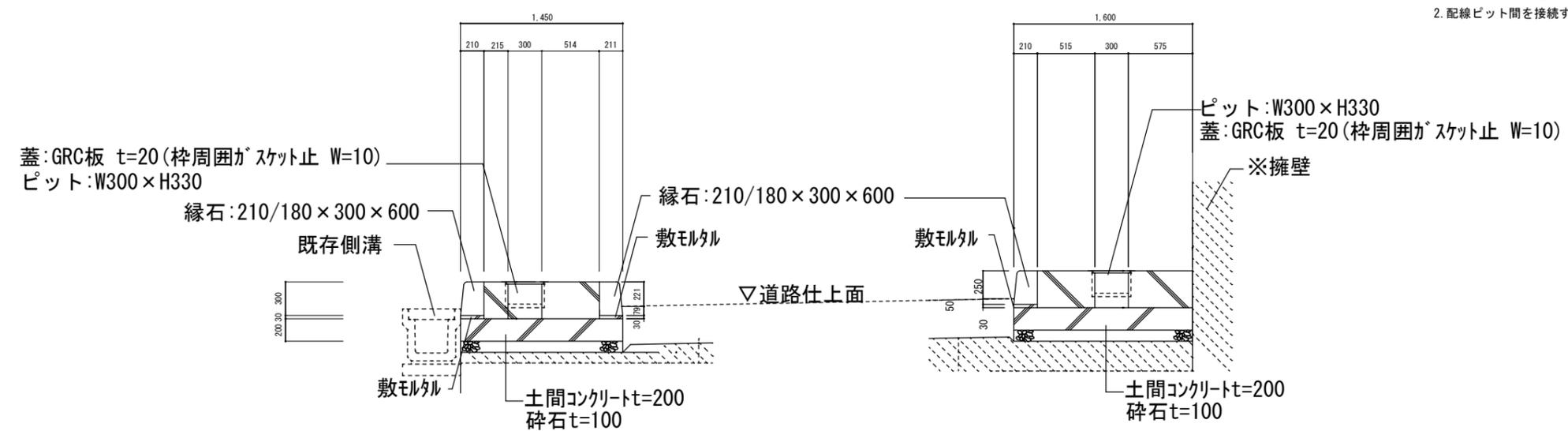


料金所センター
NO. 1+40.00

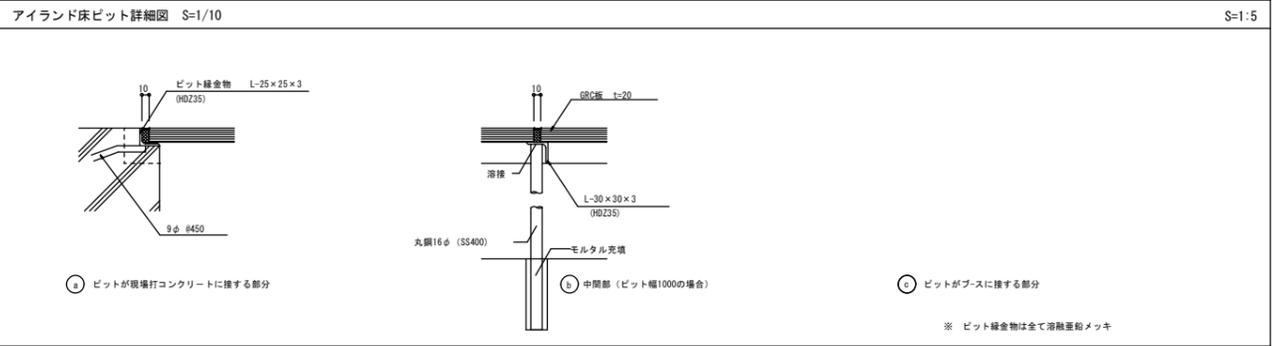
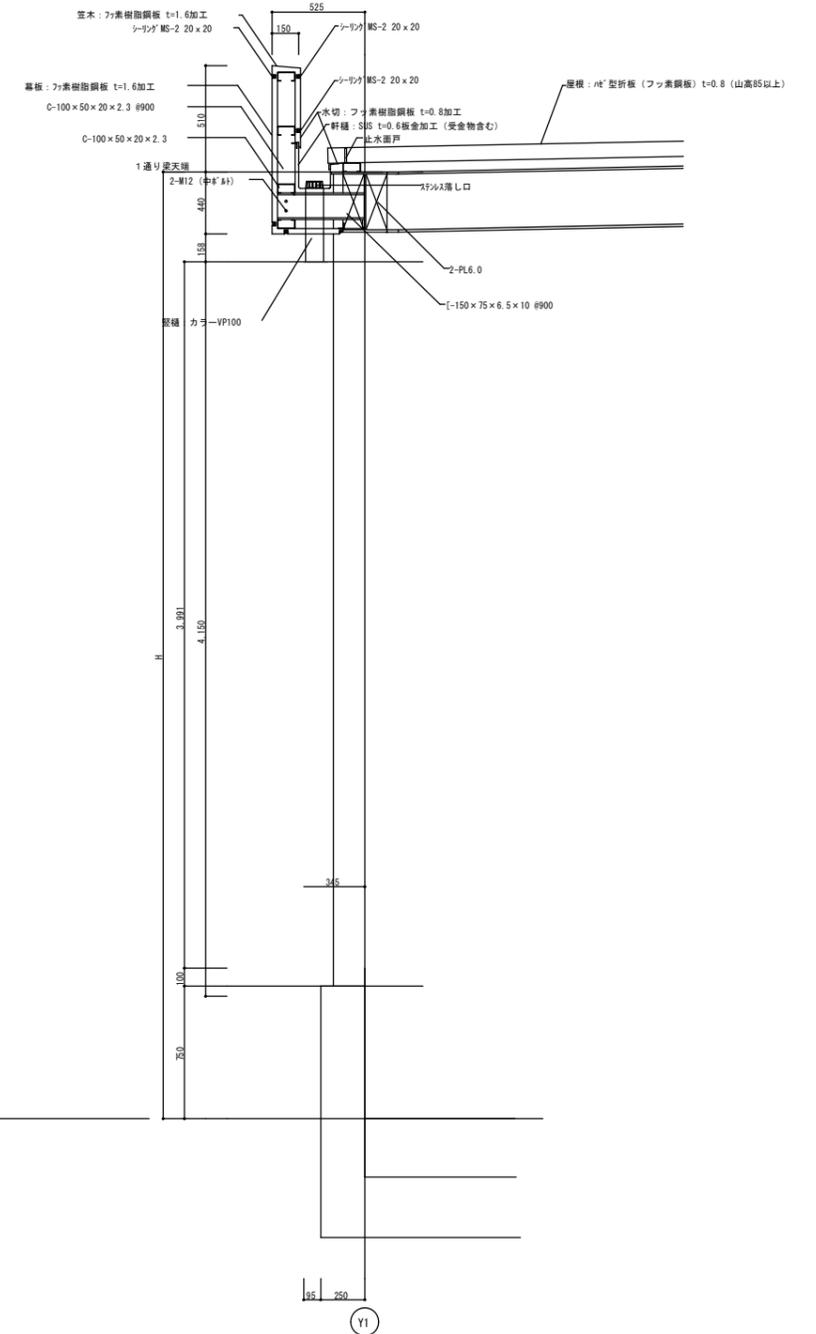
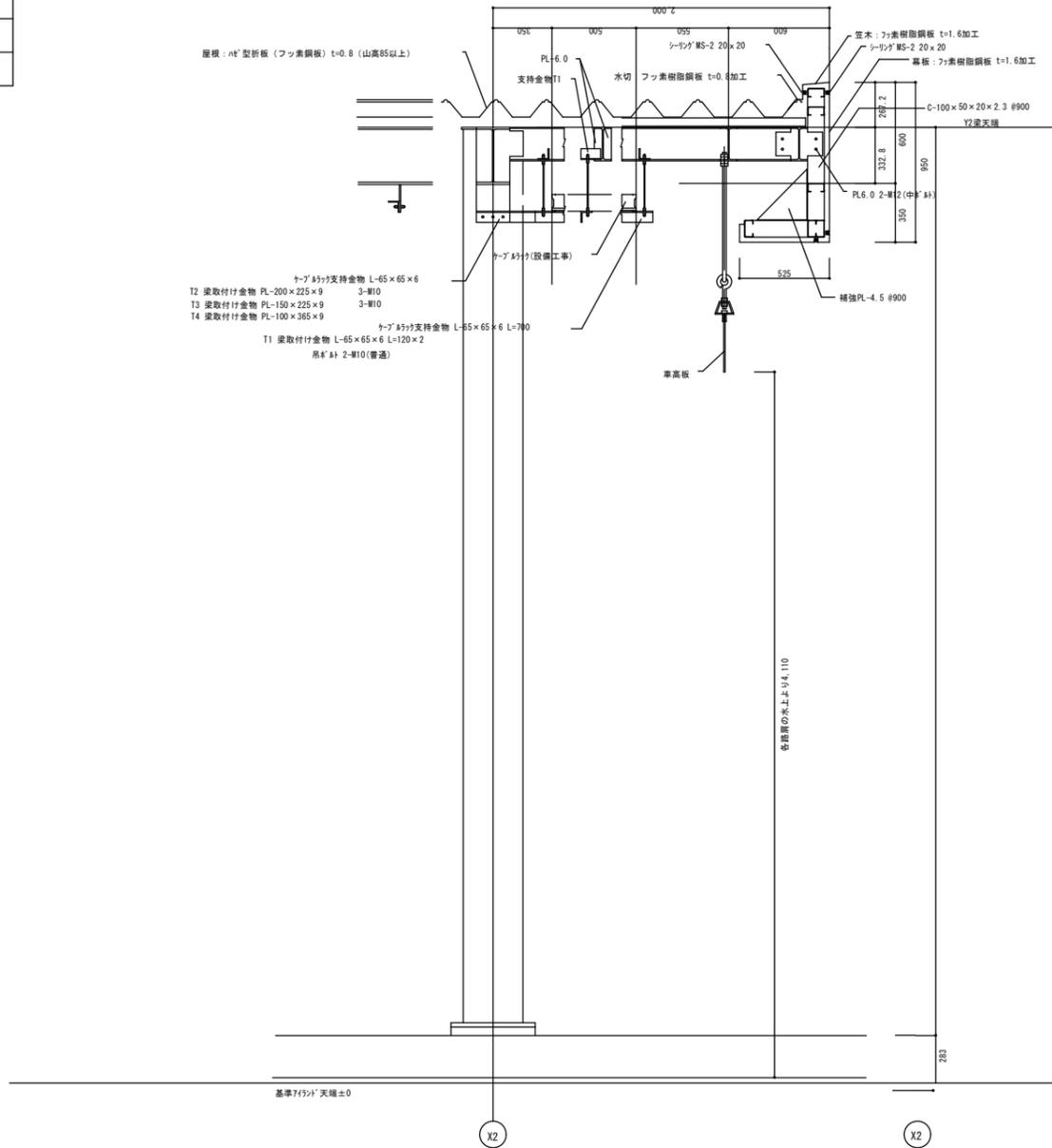


- 凡例
- 縁石ブロック 210/180×300×600
 - アイランド切込み 舗装面+100
 - PGコンクリート2次製品
 - アイランドコンクリート 舗装面より+250 FC24N S15
- *配線ピットには、水下に水抜き塩ビφ50を設置する。

- (注記)
1. アイランドの切込みと埋設配管の位置は、ETC設備工事業者と調整を行い決定すること。
 2. 配線ピット間を接続する埋設配管は、電気設備工事業者と調整を行い決定すること。

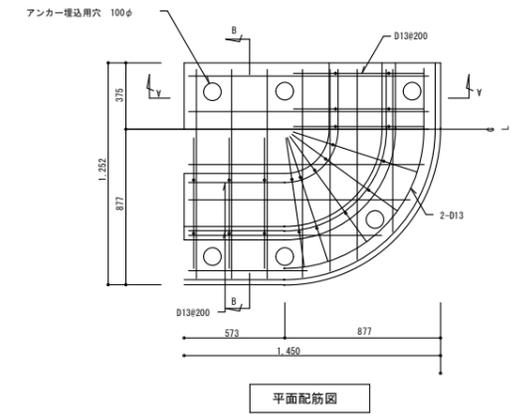
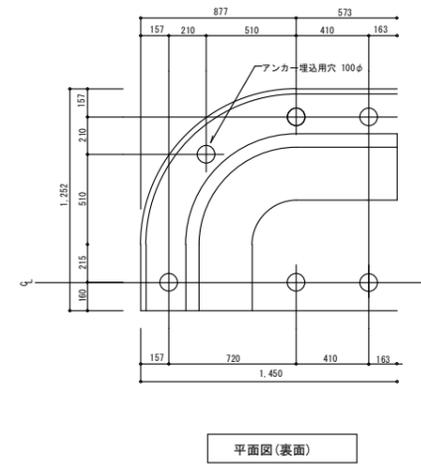
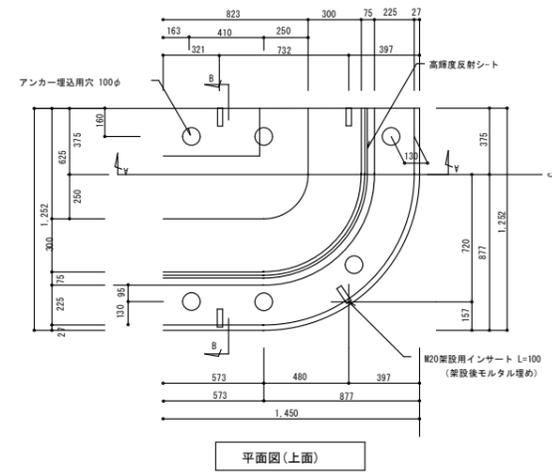
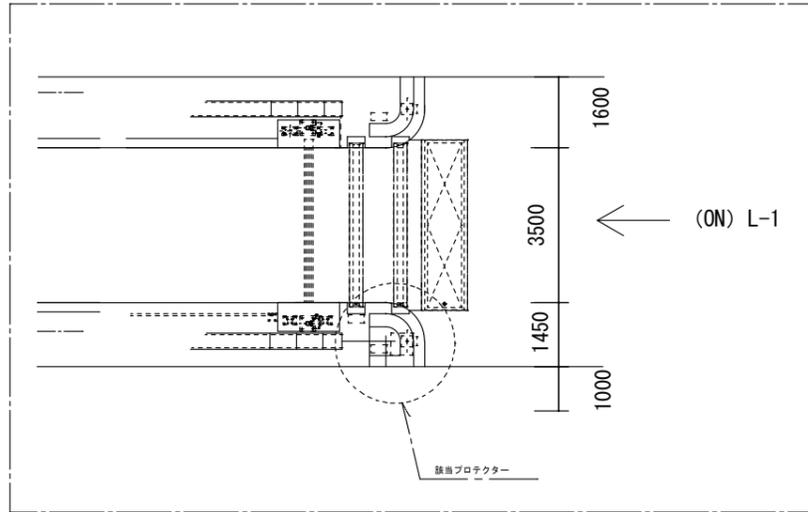


令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/20 1/10	
図名	中山料金所 (ON) 各部詳細図	番号	A-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

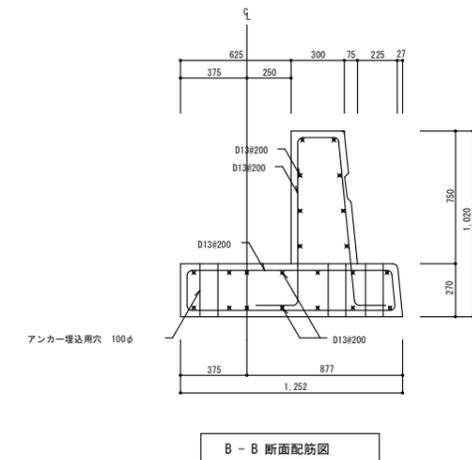
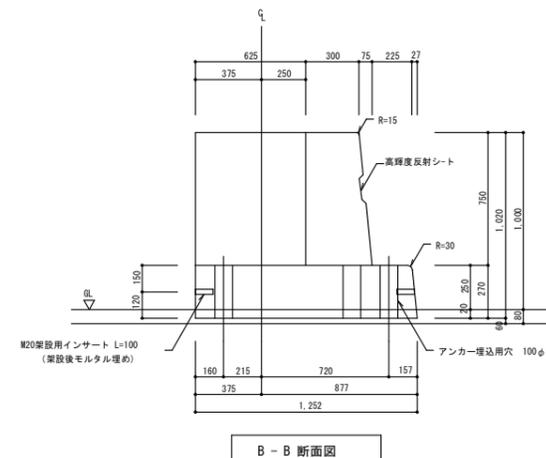
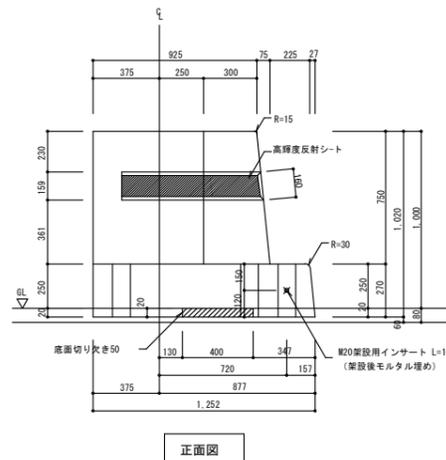
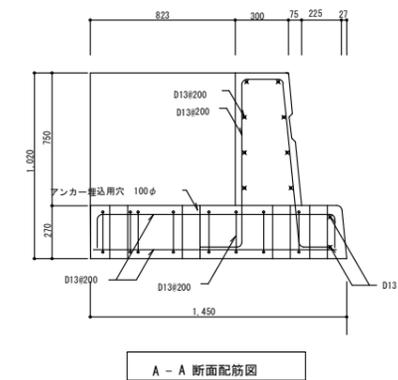
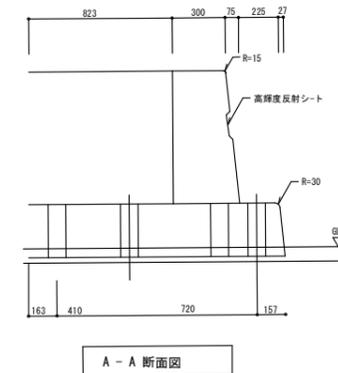
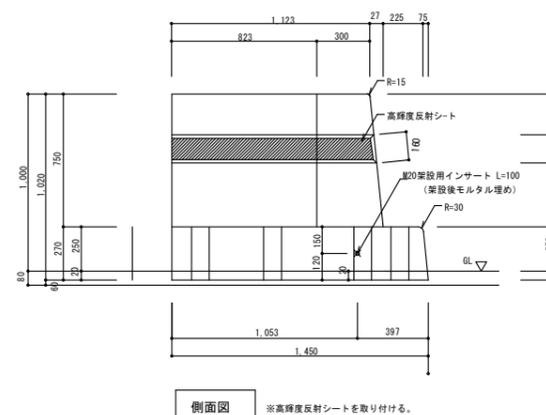
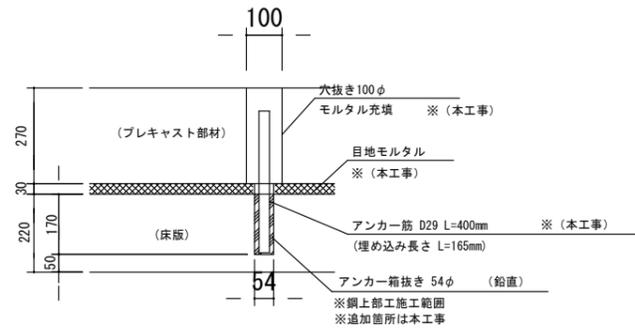


屋根先詳細図 S=1/20

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/20 1/10	
図名	中山料金所 PCプロテクター詳細図(1) ONランプ(1)	番号	A-06
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

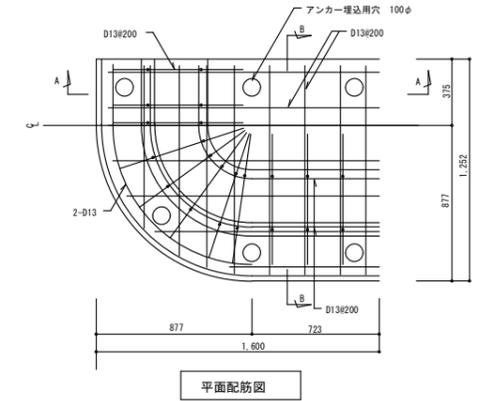
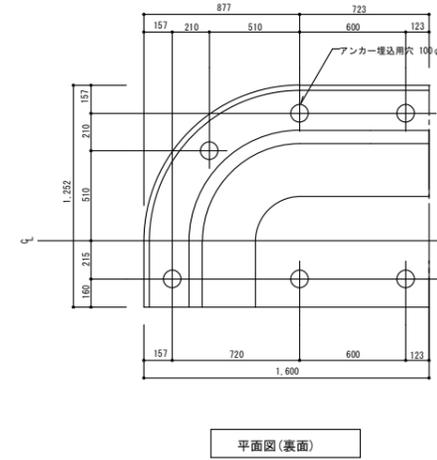
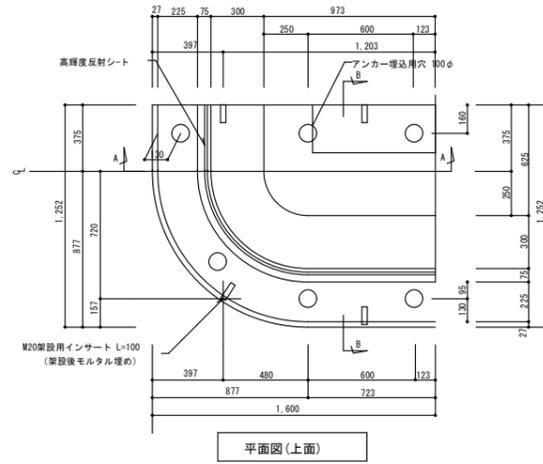
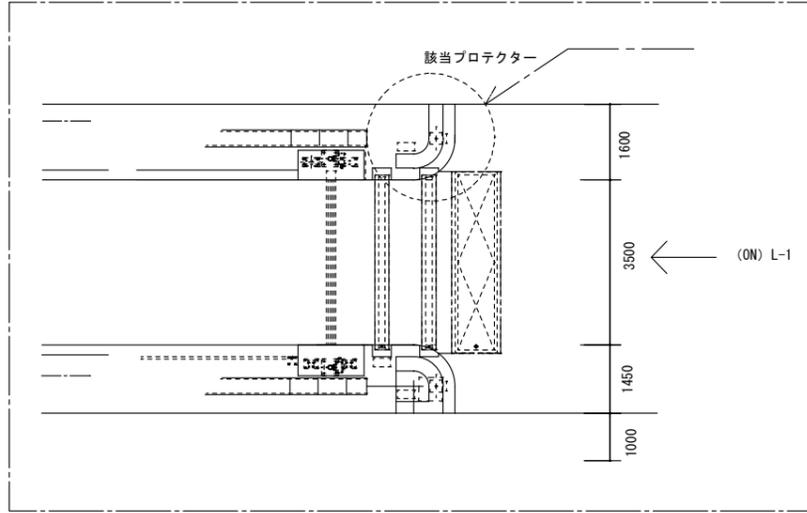


PCプロテクター固定部詳細図 S = 1 : 10

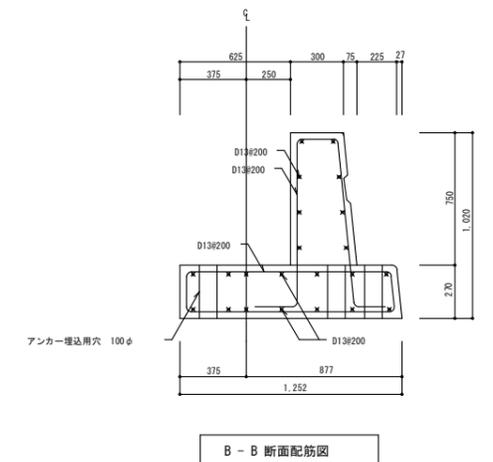
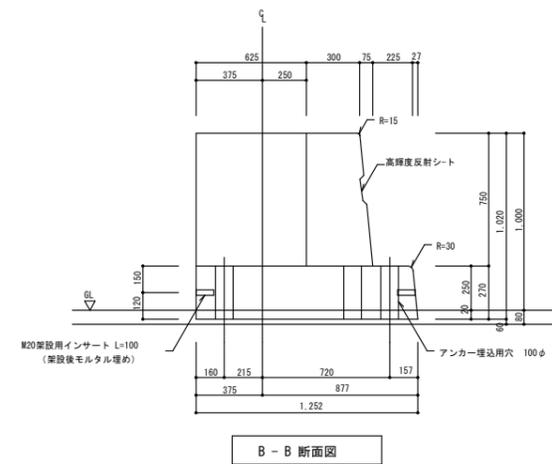
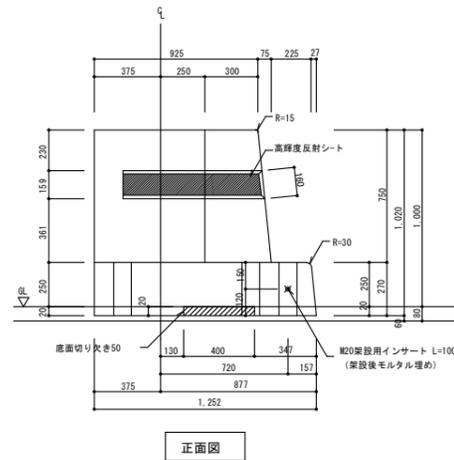
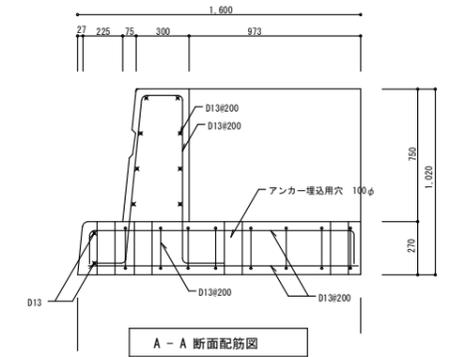
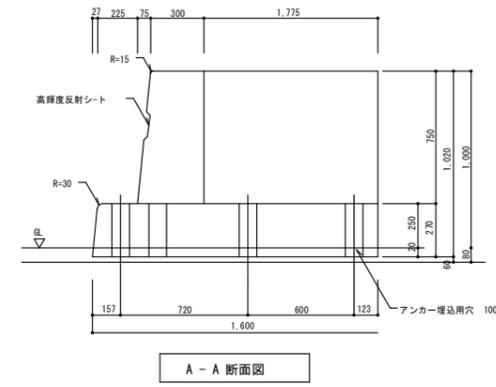
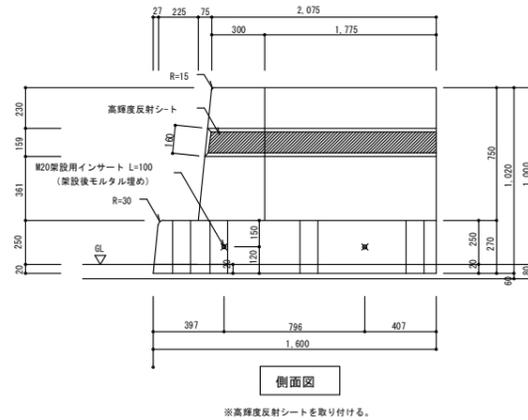
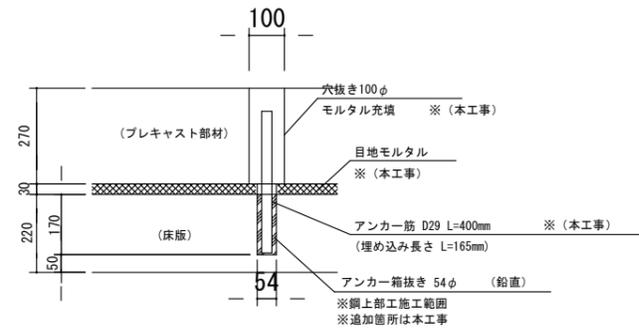


特記事項	
コンクリート設計基準強度	Fc=30 N/mm ²
鉄筋	S0295A・D10以上
金物仕様	溶融亜鉛メッキ
その他	共通仕様書による

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/20 1/10	
図名	中山料金所 PCプロテクター詳細図2 ONランプ	番号	A-07
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

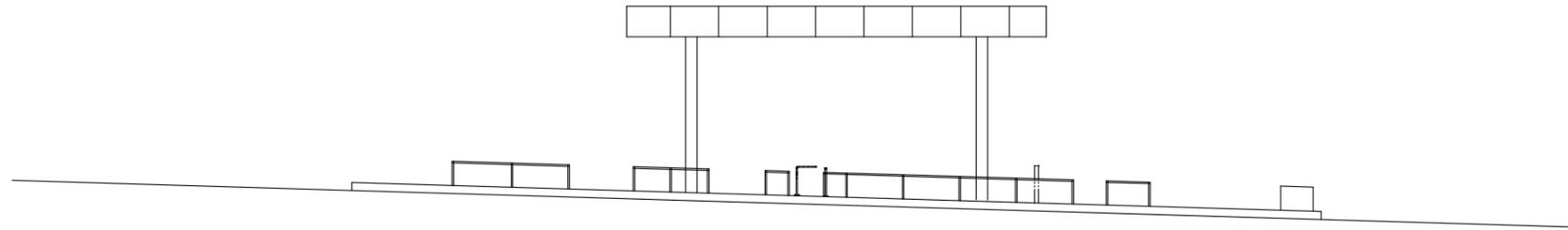


PCプロテクター固定部詳細図 S = 1 : 10

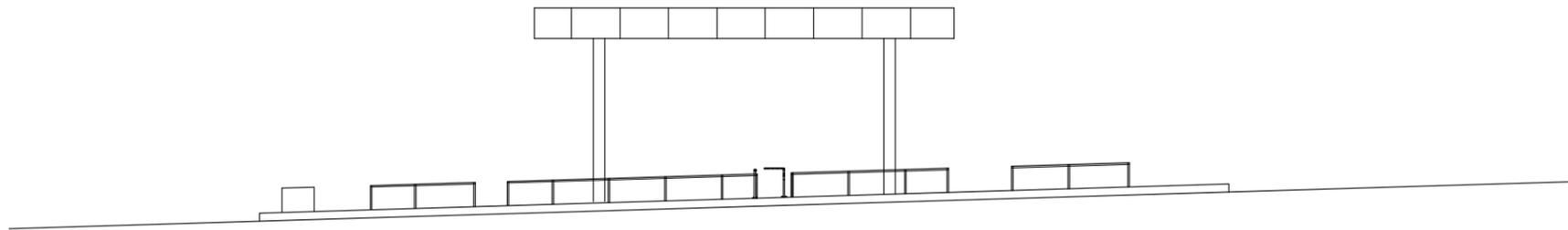


特記事項	
コンクリート設計基準強度	Fc=30 N/mm ²
鉄筋	S295A・D10以上
金物仕様	溶融亜鉛メッキ
その他	共通仕様による

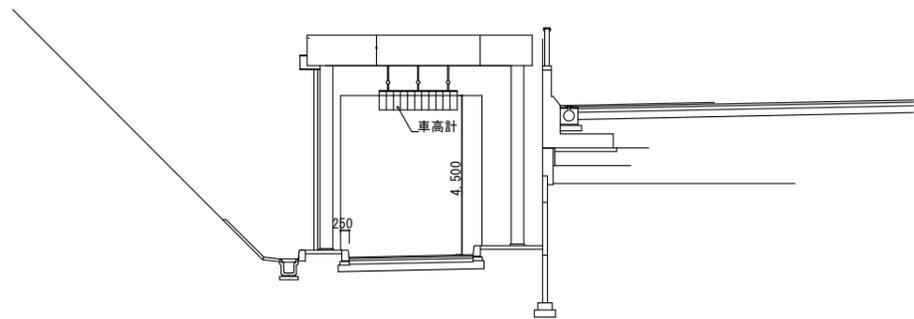
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山料金所(ON) 立面図	番号	A-08
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



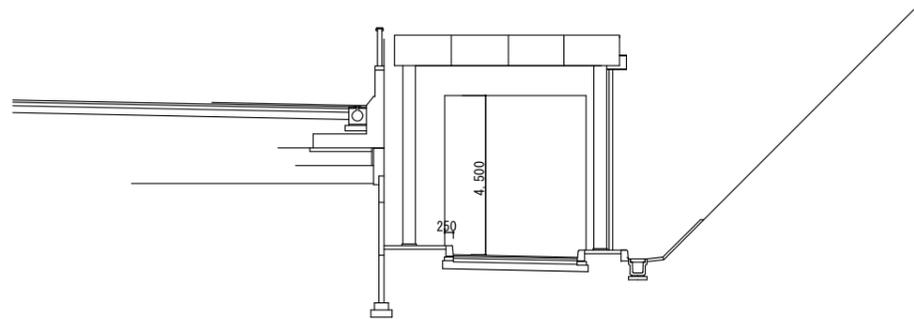
北立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

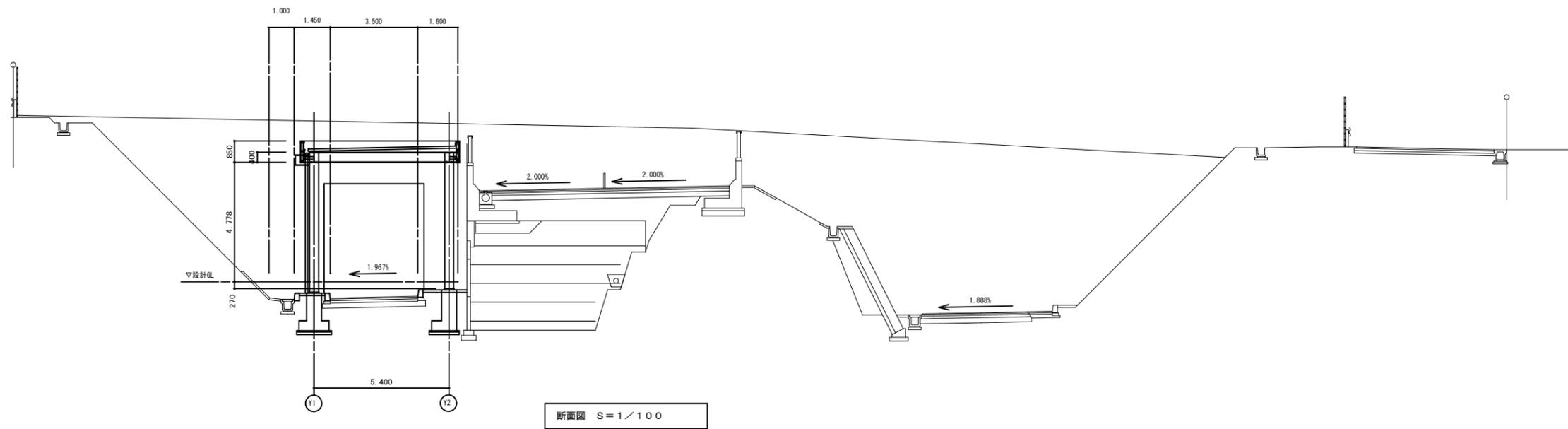


東側立面図 S=1/100

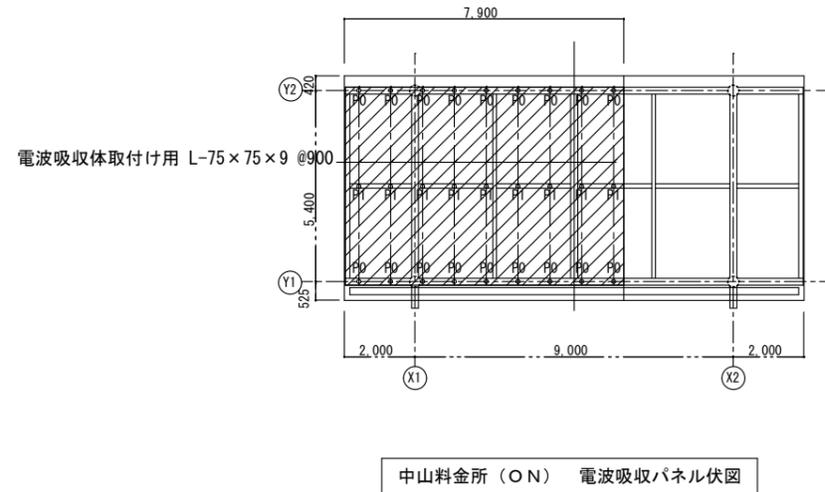


西側立面図 S=1/100

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山料金所(ON) 断面図	欄 #	A-09
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

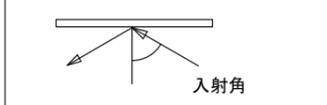
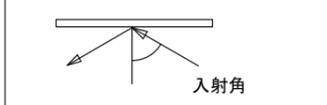
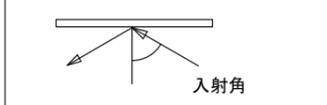


令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100, 1:200	
図名	中山料金所(ON) 電波吸収パネル範囲図	番号	A-10
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



 電波吸収体パネル取り付け範囲を示す。

P0 電波吸収体取り付け用ベース 80×100 1-M12
P1 電波吸収体取り付け用ベース 80×140 1-M12
P2 電波吸収体取り付け用ベース 80×240 1-M12

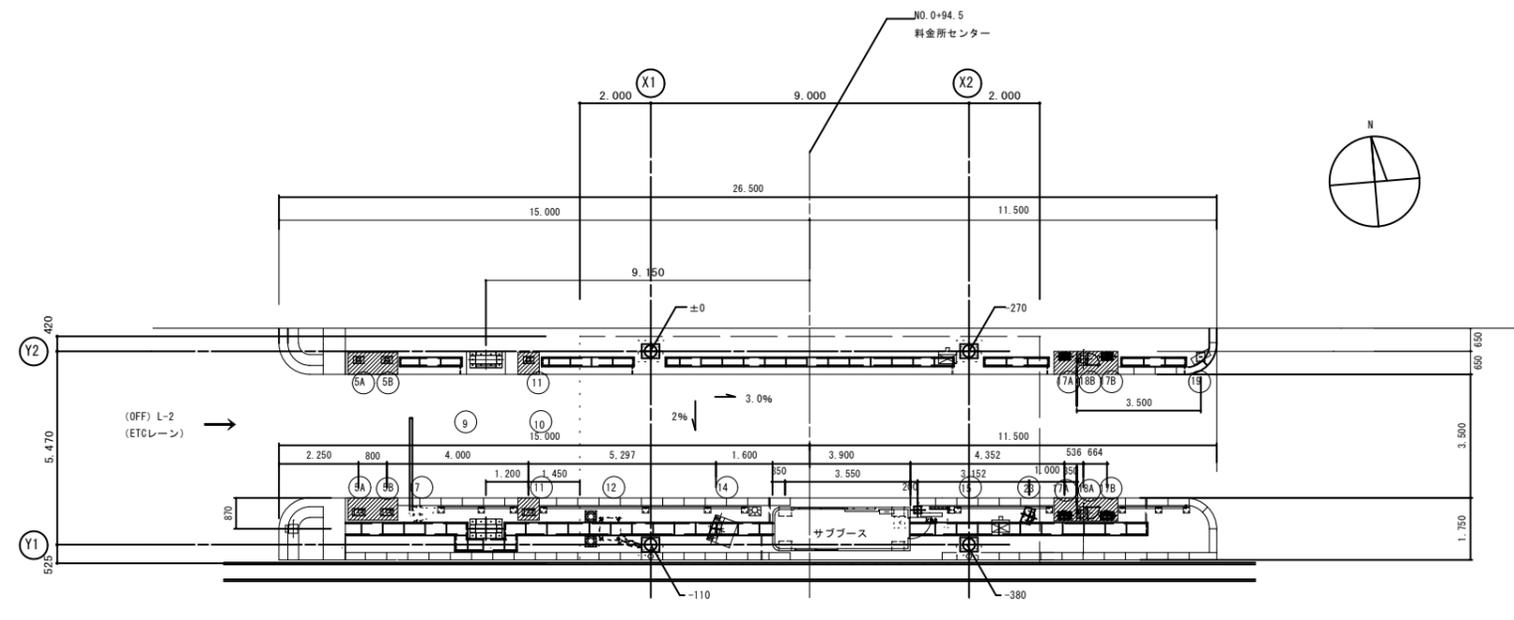
電波吸収パネル仕様	電波吸収パネルは、ETC路側機器設置レーン及びその隣接レーンに設置し、機能は以下のとおりとする。									
	(1) ETC路側装置のアンテナから放射される5.8GHz帯の電波波の内、 構造物からの不要反射波を吸収し、電波環境を整える。 (2) 通常火災等の災害時に、延焼しないものとする。									
電波吸収性能	パネルの電波吸収性能は、周波数5.8GHzの円偏波において、表1の特性を保証するものとする。									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表1：電波吸収性能</th> <th>入射角</th> <th>円偏波</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">  </td> <td>$0^\circ \leq \theta \leq 40^\circ$</td> <td>20dB以上</td> </tr> <tr> <td>$40^\circ \leq \theta \leq 50^\circ$</td> <td>15dB以上</td> </tr> </tbody> </table>	表1：電波吸収性能	入射角	円偏波		$0^\circ \leq \theta \leq 40^\circ$	20dB以上	$40^\circ \leq \theta \leq 50^\circ$	15dB以上	
表1：電波吸収性能	入射角	円偏波								
	$0^\circ \leq \theta \leq 40^\circ$	20dB以上								
	$40^\circ \leq \theta \leq 50^\circ$	15dB以上								
	※三菱電線工業、新日本電波吸収体、積水樹脂の製品又は同等品以上とする。									

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100, 1:200	
図名	中山料金所 (OFF) 仕上表・平面図・求精図	番号	A-11
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

上屋 仕上表	
屋根	折板 (フッ素鋼板) t=0.8 (山高85以上)
幕板	フッ素樹脂鋼板 t=1.6
柱・梁	鋼管・形鋼 : 溶融亜鉛メッキの上、フッ素樹脂系DP塗 (DP-1)
縦樋	カラーVP100
縦樋	カラーVP100
その他	屋根下部防鳥ネット (ポリエステル製 440T 目合 20mm)

アイランド 仕上表	
アイランド	床版 : コンクリート直均しの上、フッ素樹脂系DP塗 (DP-1) プロテクター : コンクリート打放しフッ素樹脂系DP塗 (DP-1)
防護柱	鋼管 : 165.5φ加工 H=3900, H=1800、溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂系DP塗 (DP-1)
遮断機	片支持タイプ
ヒット蓋	GRC t=20
仕上ユニット	安全手摺、横断注意、注意喚起バー、車高計

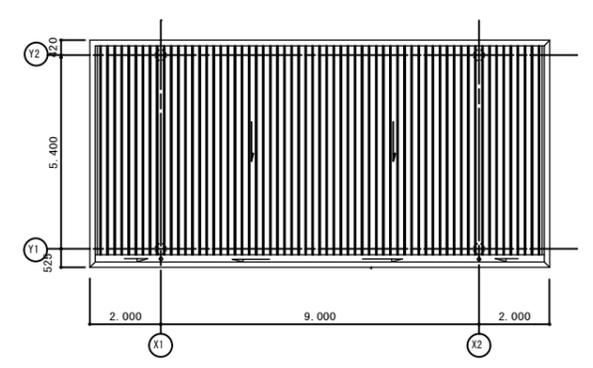
No.	機器名称
①	車両検知器 S1A
②	車両検知器 S1B
③	車高検知器 (券券機用)
④	遮断機
⑤	車線表示板
⑥	路側無線装置 (第一)
⑦	車両検知器 S2
⑧	車線制御装置
⑨	アイランド分電盤
⑩	路側表示器
⑪	アイランド用スイッチ
⑫	自動券券機
⑬	車両検知器 S4A
⑭	車両検知器 S4B
⑮	発進制御装置 右側
⑯	発進制御装置 左側
⑰	CCTVカメラ
⑱	路側無線装置 (第二)
⑲	遮断機
⑳	自動券券機 (定ハンドル用)
㉑	料金表示器
㉒	車線監視制御装置 (屋外型)
㉓	車両検知器 S4A (券券機用)
㉔	車両検知器 S4B (券券機用)
㉕	車両検知器 S1A (券券機用)
㉖	車両検知器 S1B (券券機用)
㉗	車高検知器



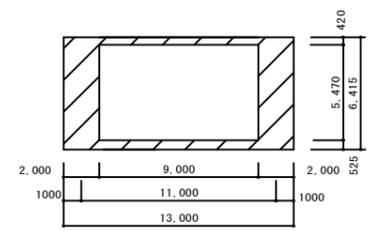
平面図 S=1/100

ブースリスト

サブブース	1,200W × 3,900L × 2,650H
-------	--------------------------



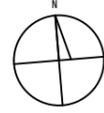
屋根伏図 S=1/100



求精図 S=1/200

床面積	9 × 5.47 = 49.23	m ²
建築面積	11 × 5.47 = 60.17	m ²
屋根面積	13 × 6.415 = 83.40	m ²

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(OFF) 平面詳細図	非 中	A-12
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



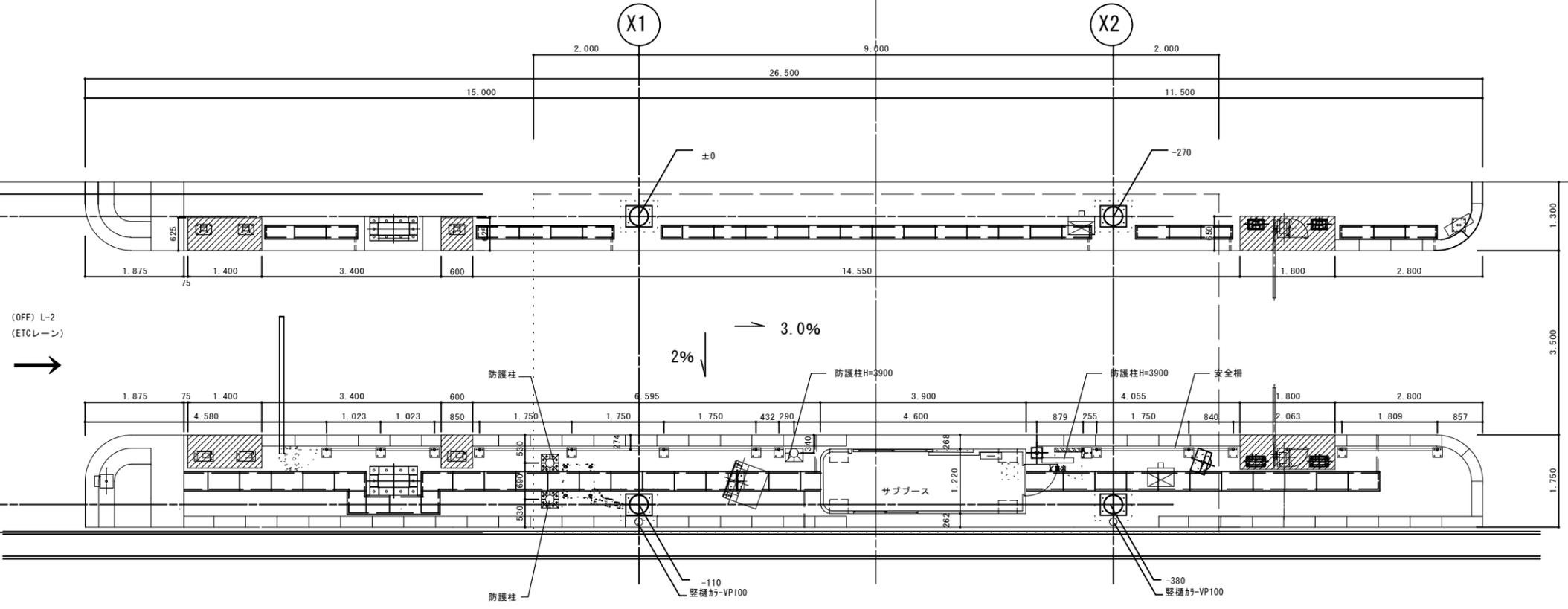
NO. 0+94.5
料金所センター

X1

X2

Y2

Y1



(OFF) L-2
(ETCレーン)
➔

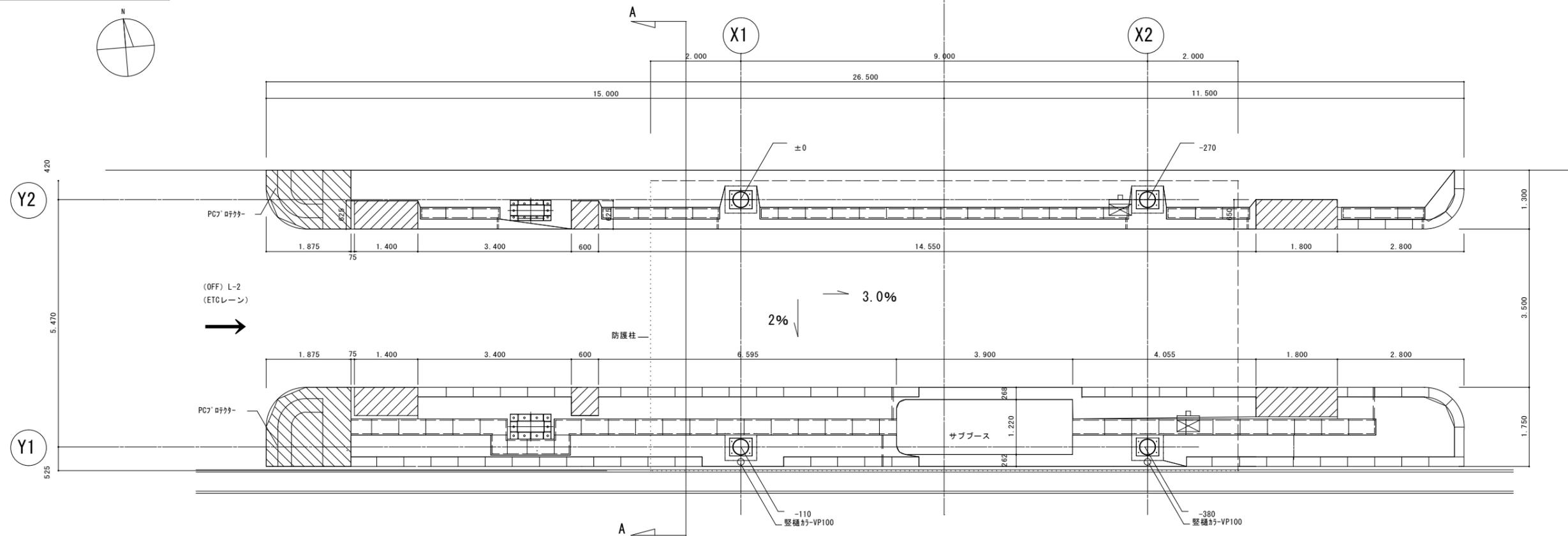
平面詳細図 S=1/50

令和6年度			
工事名	高速5号線 料金所等新築工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(OFF) アイランド配筋要領図	番号	A-13
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



アイランド配筋要領図 S=1/30

NO. 0+94.5
料金所センター

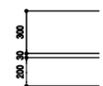


A-A断面図 S=1/15

蓋: GRC板 t=20 (枠周囲がスケルトン W=10)
ピット: W300×H330

縁石: 210/180×300×600

既存側溝



敷モルタル

土間コンクリート t=200
砕石 t=100

縁石: 210/180×300×600

敷モルタル

▽道路仕上面

敷モルタル

土間コンクリート t=200
砕石 t=100

ピット: W300×H330
蓋: GRC板 t=20 (枠周囲がスケルトン W=10)

凡例

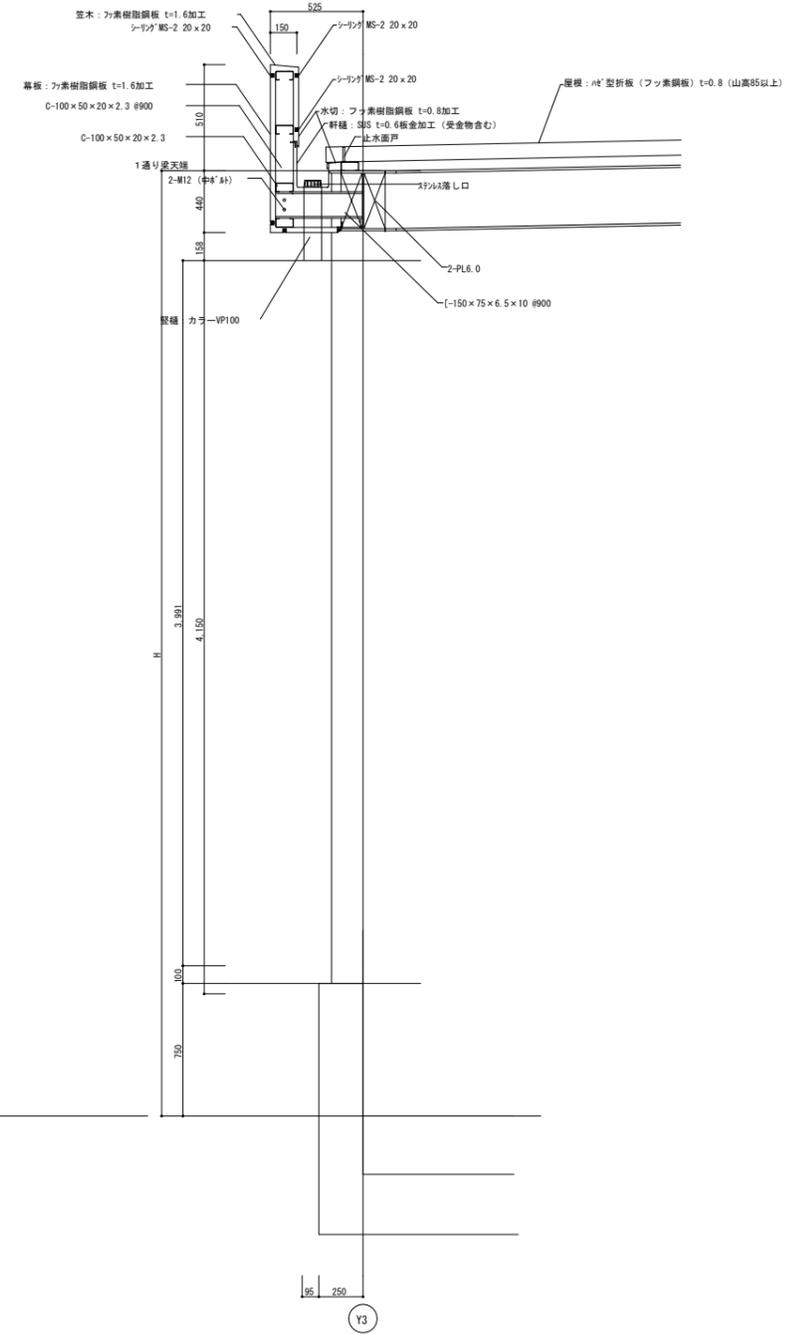
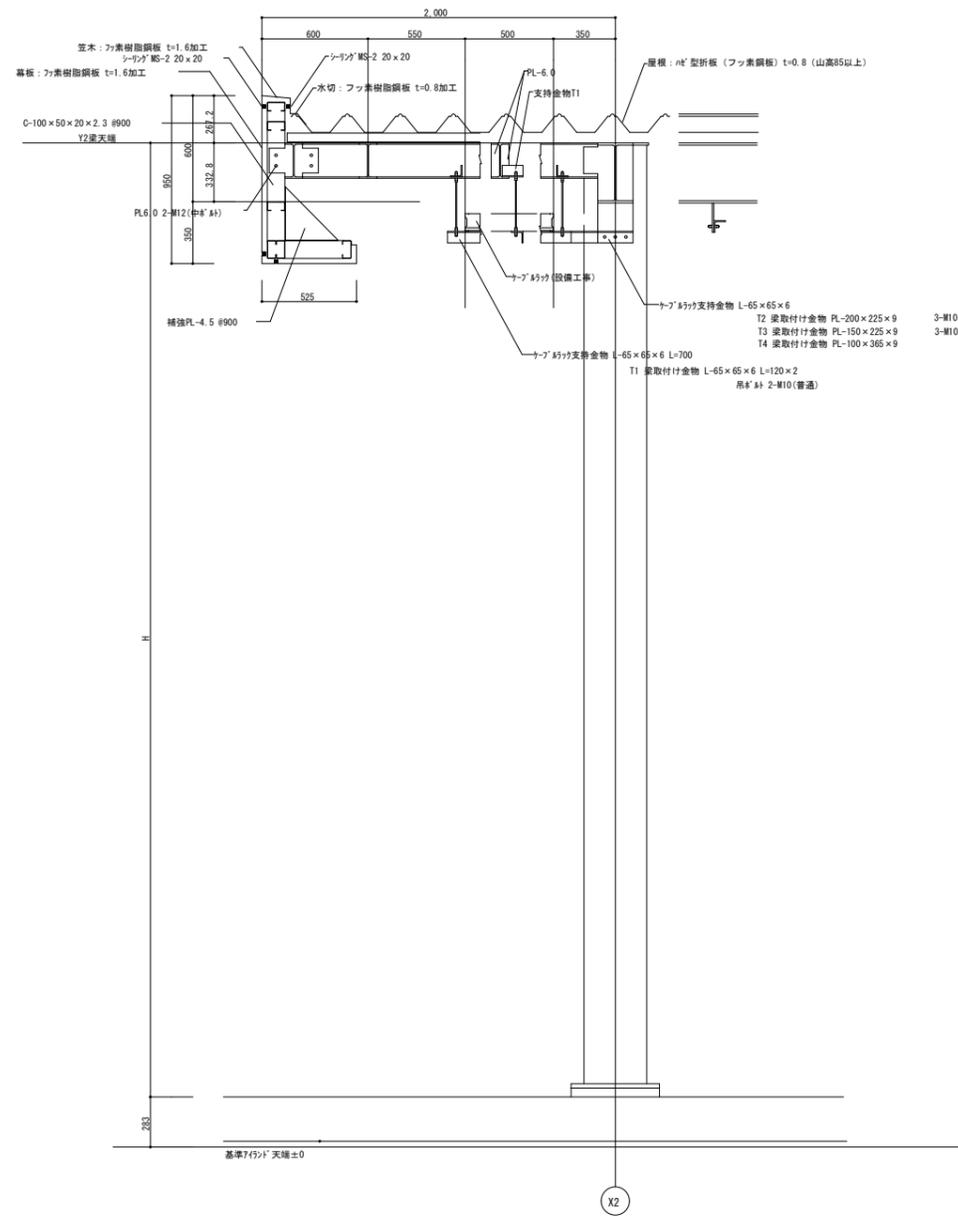
- 縁石ブロック 210/180×300×600
- アイランド切込み 舗装面+100
- PCコンクリート2次製品
- アイランドコンクリート 舗装面より+250 FC24N S15

*配線ピットには、水下に水抜き塩ビφ50を設置する。

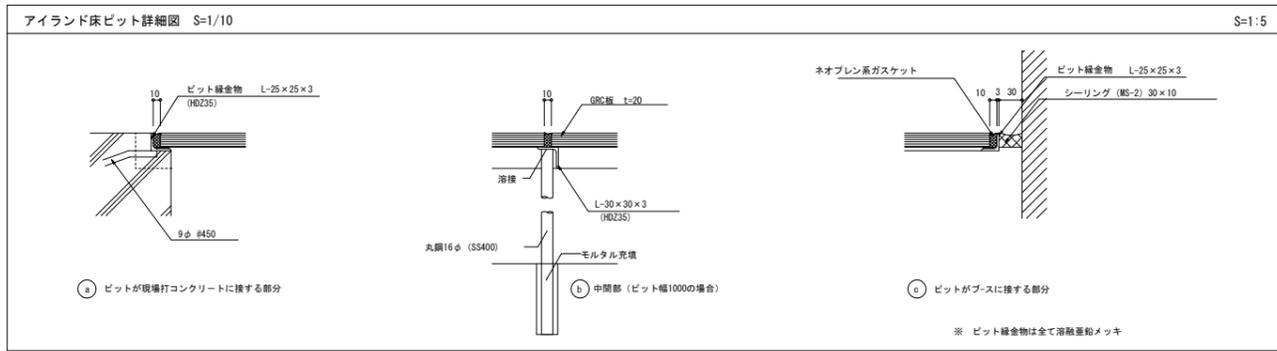
(注記)

1. アイランドの切込みと埋設配管の位置は、ETC設備工事業者と調整を行い決定すること。
2. 配線ピット間を接続する埋設配管は、電気設備工事業者と調整を行い決定すること。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/20 1/10	
図名	中山料金所 (OFF)	番号	A-14
	各部詳細図		
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



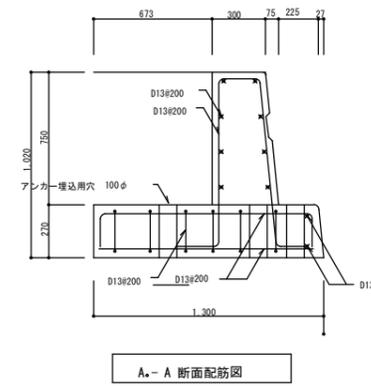
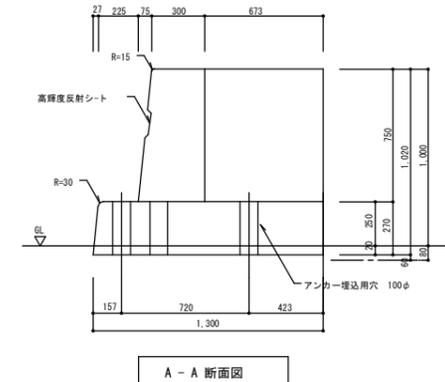
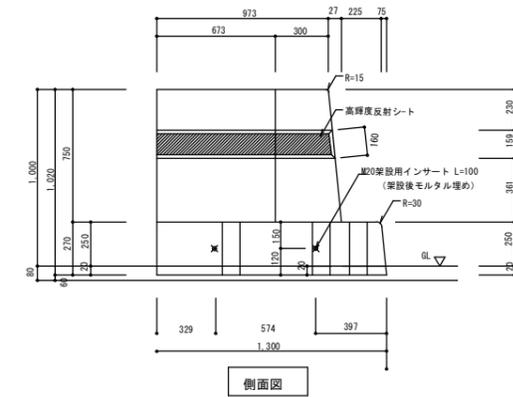
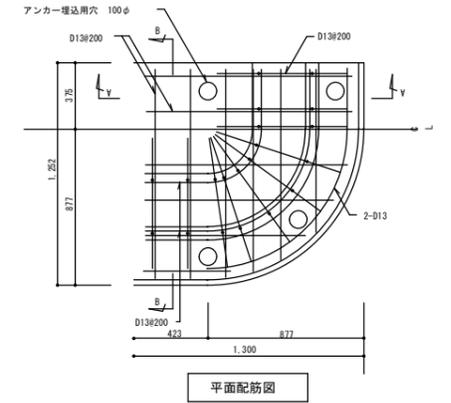
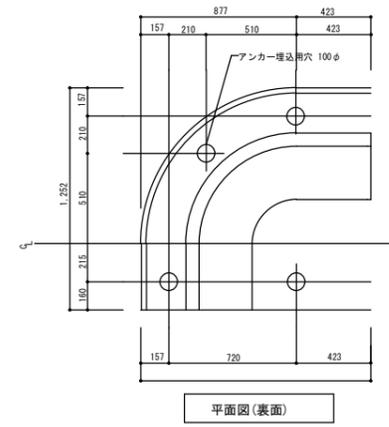
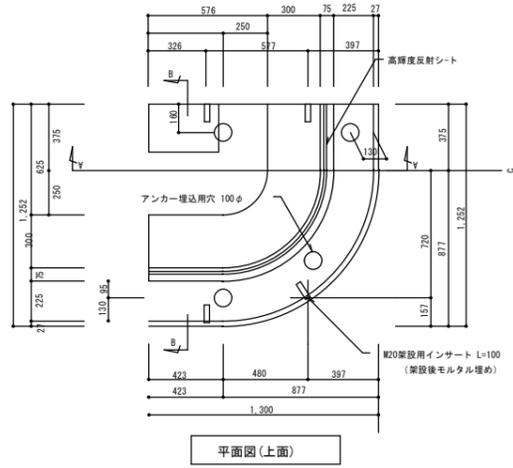
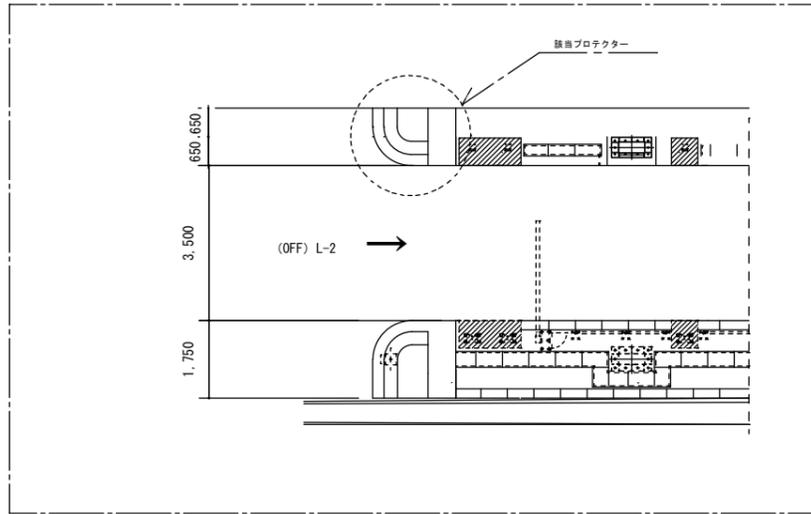
植軒先詳細図 S=1/20



アイランド床ビット詳細図 S=1/10

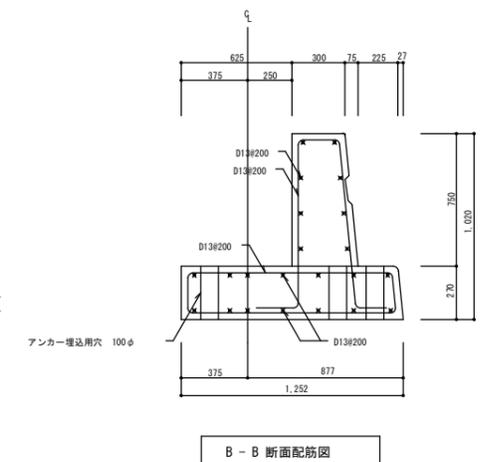
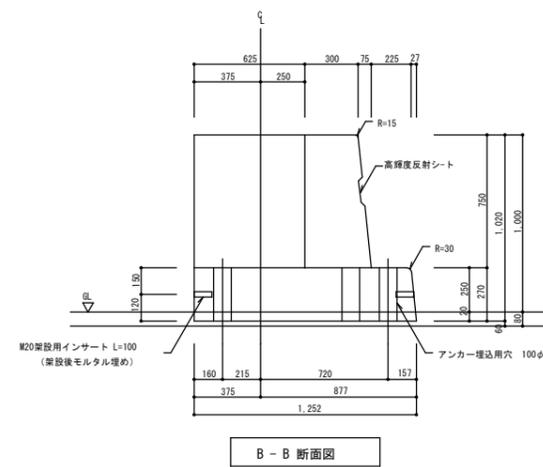
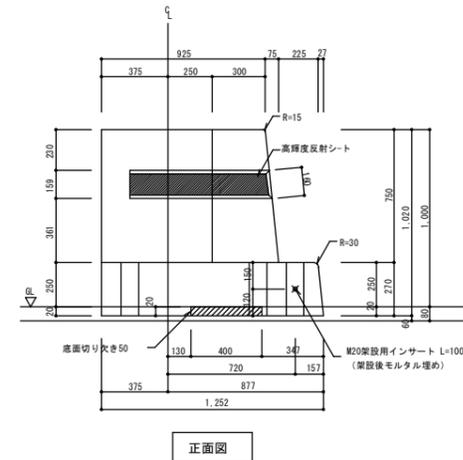
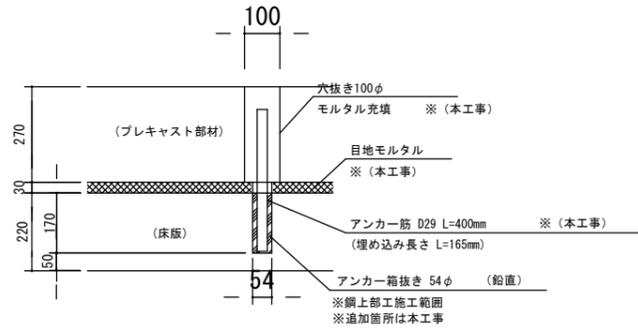
S=1:5

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/20 1/10	
図名	中山料金所 PCプロテクター詳細図(3) OFFランプ(1)	番号	A-15
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



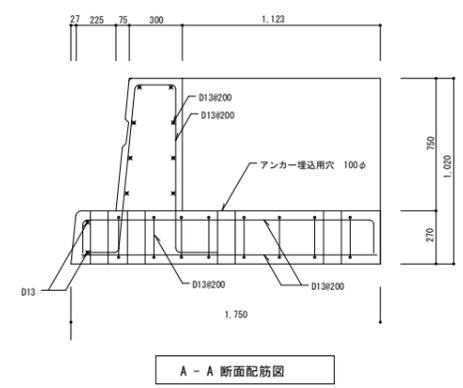
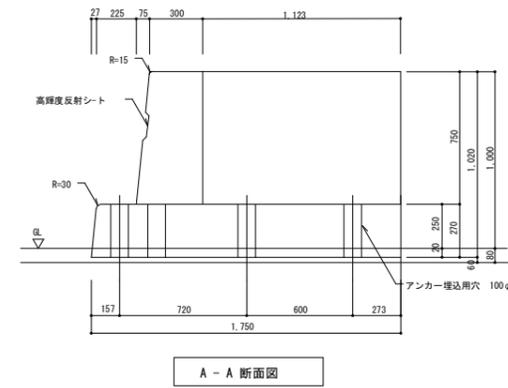
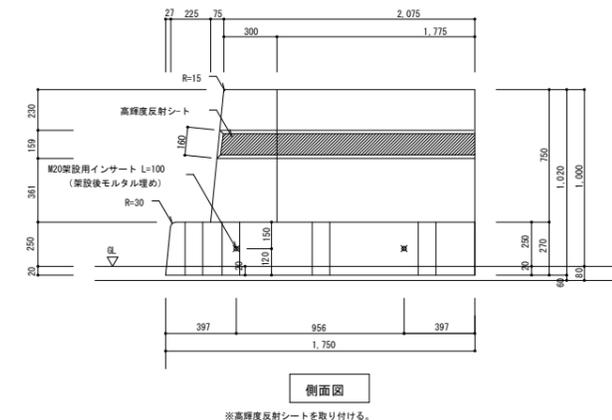
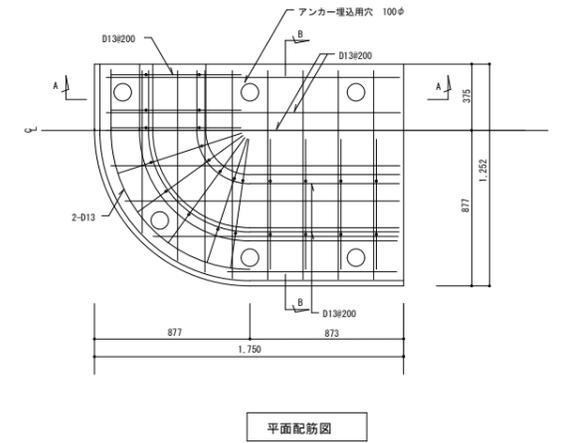
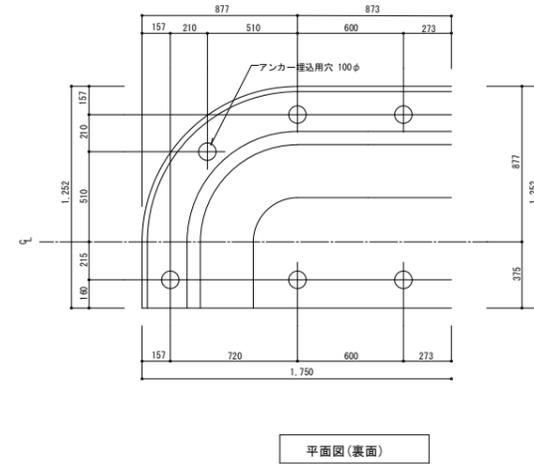
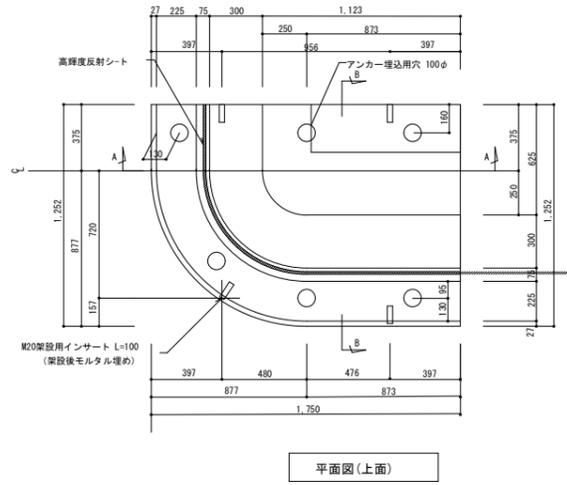
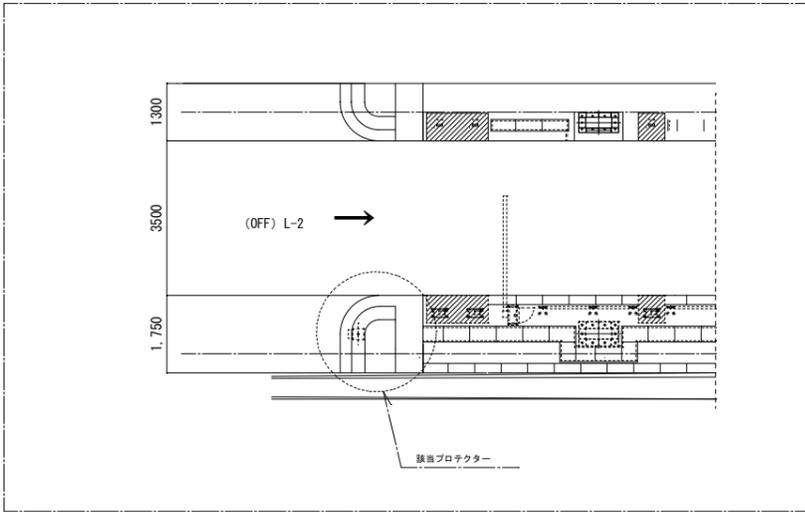
PCプロテクター固定部詳細図

S = 1 : 10



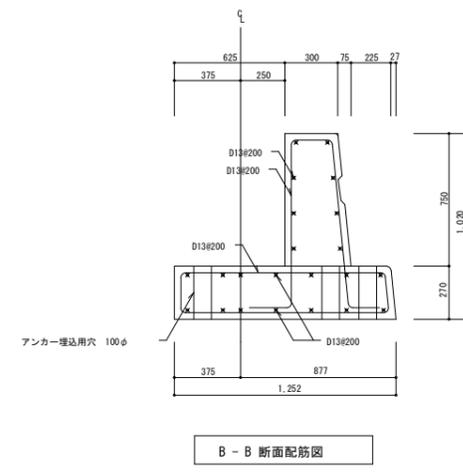
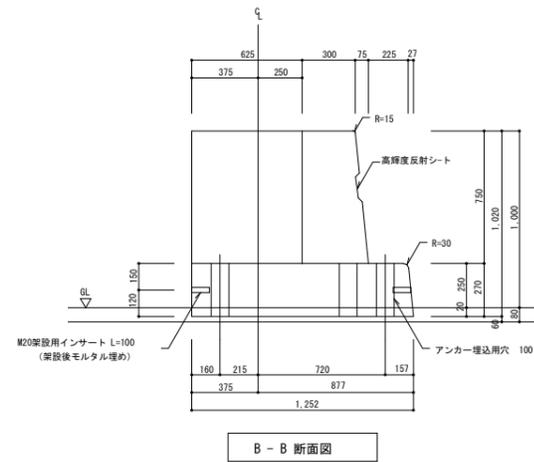
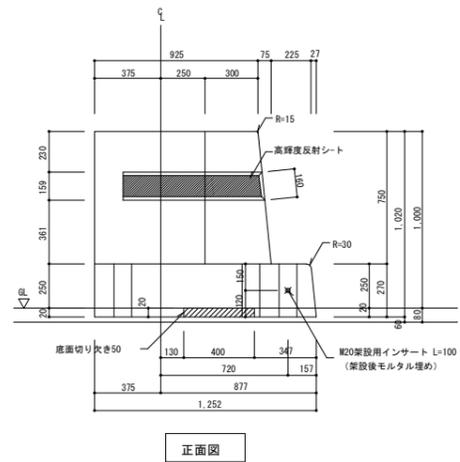
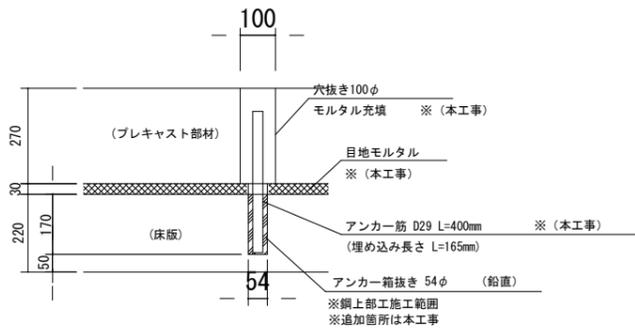
特記事項	
コンクリート設計基準強度	Fc=30 N/mm ²
鉄筋	SD295A・D10以上
食物仕様	溶融亜鉛メッキ
その他	共通仕様による

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/20 1/10	
図名	広島駅北口料金所 PCプロテクター詳細図(2)	番号	A-16
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



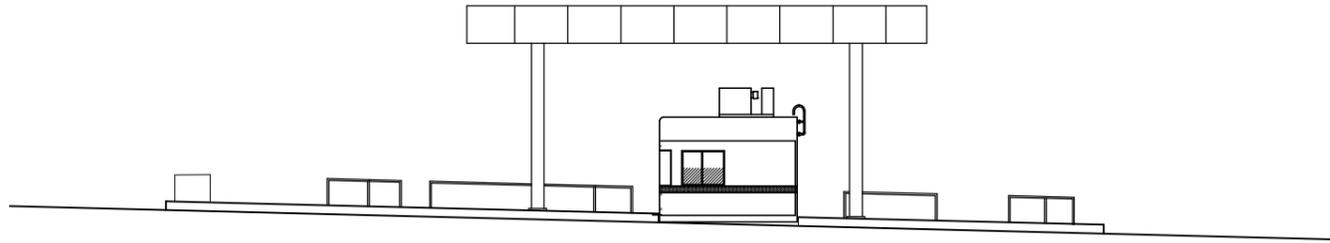
PCプロテクター固定部詳細図

S = 1 : 10

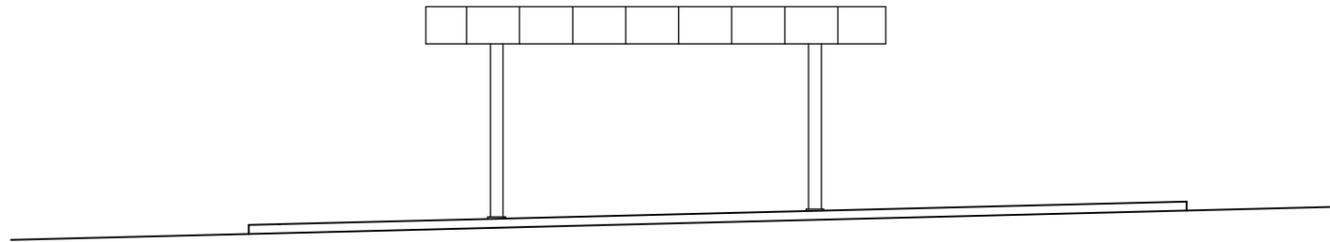


特記事項	
コンクリート設計基準強度	Fc=30 N/mm ²
鉄筋	S8295A・D10 以上
金物仕様	溶融亜鉛メッキ
その他	共通仕様書による

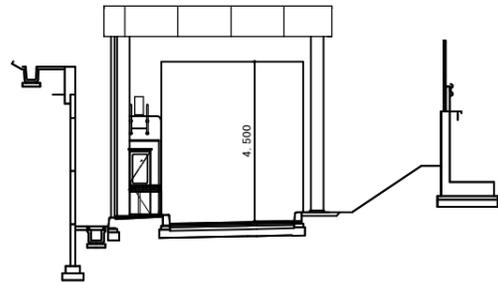
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100, 1:200	
図名	中山料金所(OFF) 立面図	番号	A-17
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



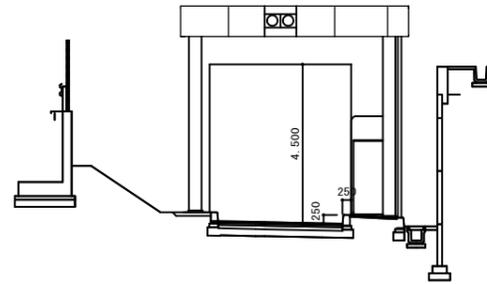
南側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100

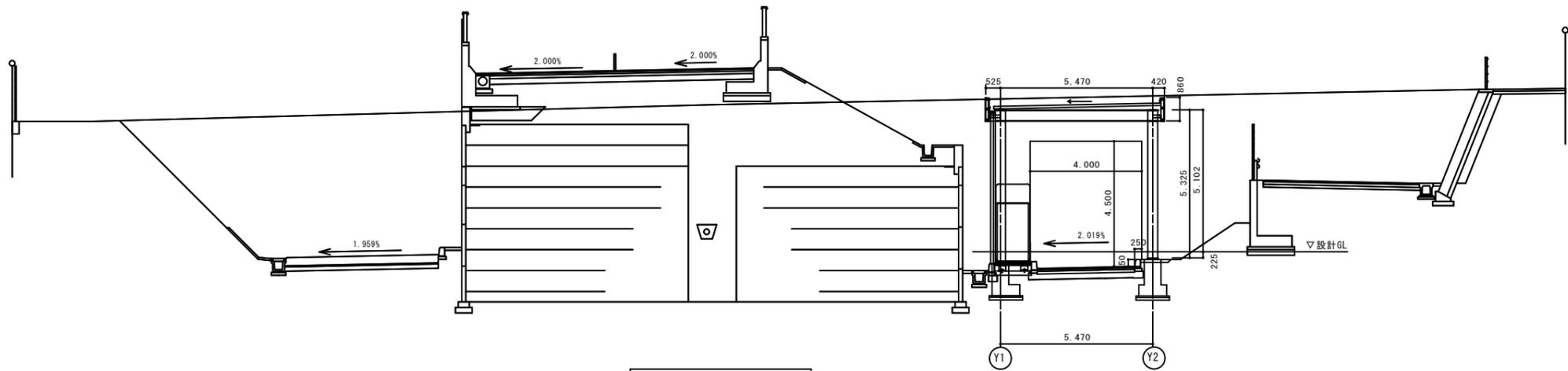


東立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山料金所(OFF)断面図	番号	A-18
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

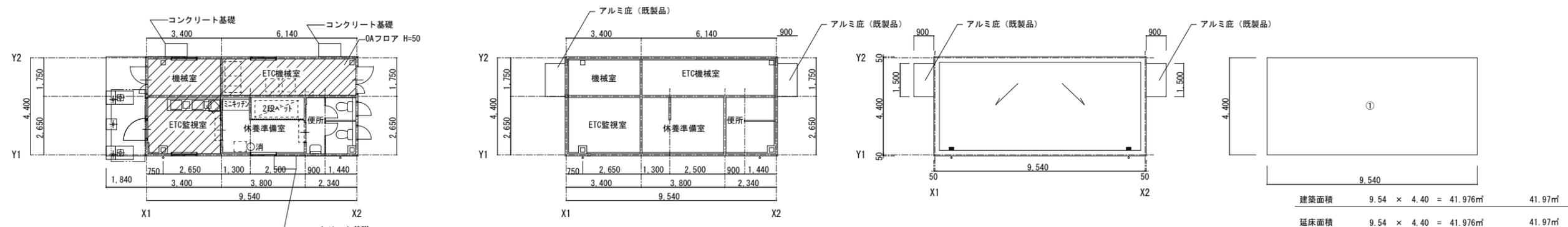


断面図 S=1/100

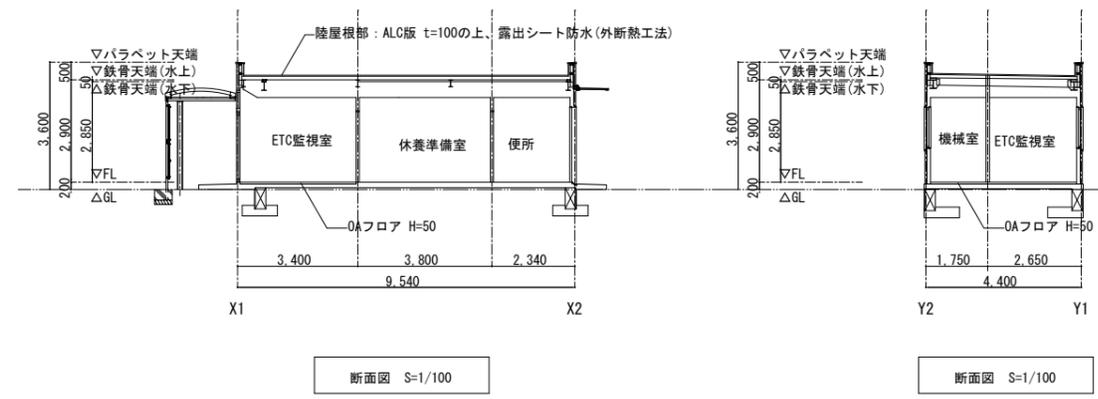
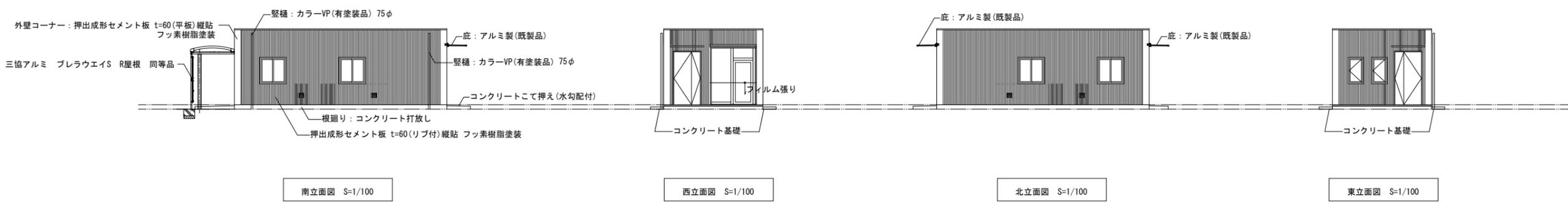
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	収受員待機室 仕上表・平面図 立面図・断面図	番号	A-19
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

外部仕上表								
部位	仕上		部位	仕上		部位	仕上	
屋根	ALC版 t=100の上、露出シート防水(外断熱・遮熱工法) 一部 モルタル塗(水勾配付) 断熱材: ポリスチレンフォーム t=30		外壁	押出成形セメント板 t=60(リブ付) 縦貼 フッ素樹脂塗装 コーナー役物: 押出成形セメント板 t=60(平板) 縦貼 フッ素樹脂塗装 断熱材: グラスウール t=50		縦樋	カラーVP(有塗装品) 75φ (ステンレス掴み金物φ1200以内) 横引鋼鉄製ドレイン75用	
パラベット	ALC版 t=50の上、露出シート防水立上げ アルミ製笠木(既製品) W=275		根廻り	コンクリート打放し		建具	アルミ製	
庇	アルミ製(既製品) W=1500, D=900		ポーチ	床: コンクリートこて押え(水勾配付)		雑	コンクリート基礎 1,000×600×150H	

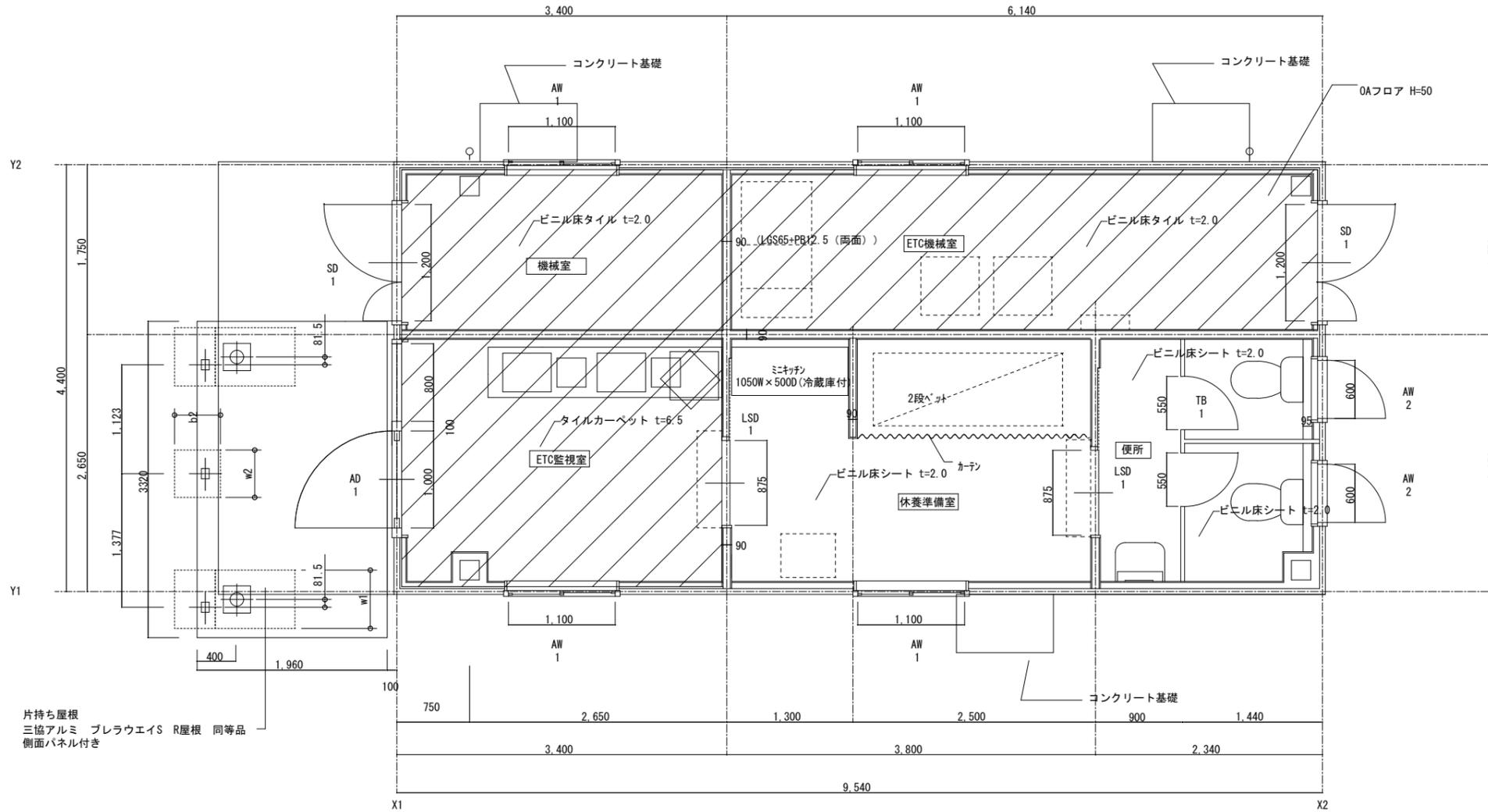
内部仕上表														
階	室名	床			巾木		壁		天井			廻り縁	備考	
		下地	仕上	床高(FL±)	仕上	高さ	下地	仕上	塗装	下地	仕上			塗装
1階	ETC監視室	C	タイルカーペットt=6.5 0Aフロア H=50	±0 (-50)	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼		LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)		2,400	塩ビ製 机 ブラインド、ブラインドボックス
	休養準備室	C	ビニル床シート t=2.0	±0	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼		LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)		2,400	塩ビ製 ミニキッチン: 1050W×500D(冷蔵庫付)、2段ベッド カーテン(防炎) H=2000、ブラインド、ブラインドボックス
	便所	C	ビニル床シート t=2.0	±0	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼		LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)		2,400	塩ビ製 カウンター天板: メラミン化粧板、洗面器、鏡300×360 吊戸棚: メラミン化粧板フラッシュ450×130
	機械室・ETC機械室	C	ビニル床タイルt=2.0 0Aフロア H=50	±0 (-50)	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼		LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)		2,400	塩ビ製



平面図 S=1/100 天井伏図 S=1/100 屋根伏図 S=1/100 求積図 S=1/100

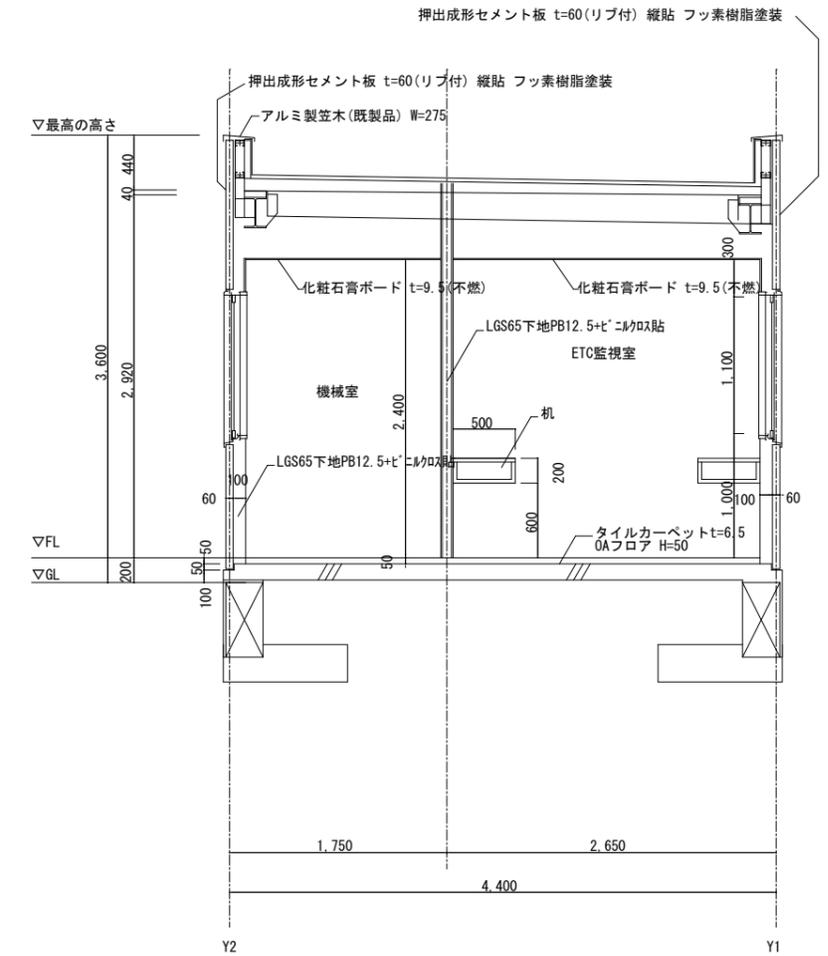


令和6年度			
工事名 広島高速5号線料金所等新築その他工事			
図面番号	縮尺	1:50	
図名	收受員待機室 平面詳細図・矩計図	番号	A-20
路線名 高速5号線			
広島高速道路公社			



片持ち屋根
三協アルミ プレラウエイS R屋根 同等品
側面パネル付き

平面詳細図 S=1/30

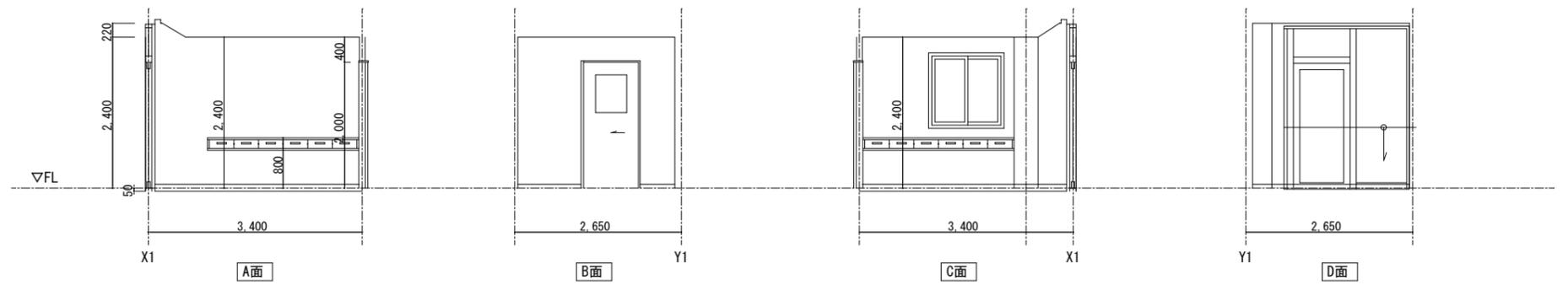


机仕様
天板：珪藻土化粧板 (ランバ-コア芯t=30)
引出し：前板珪藻土化粧板貼
内部：ポリ合板
スライドレール、取手 (ステンレス)
側板：珪藻土化粧板貼

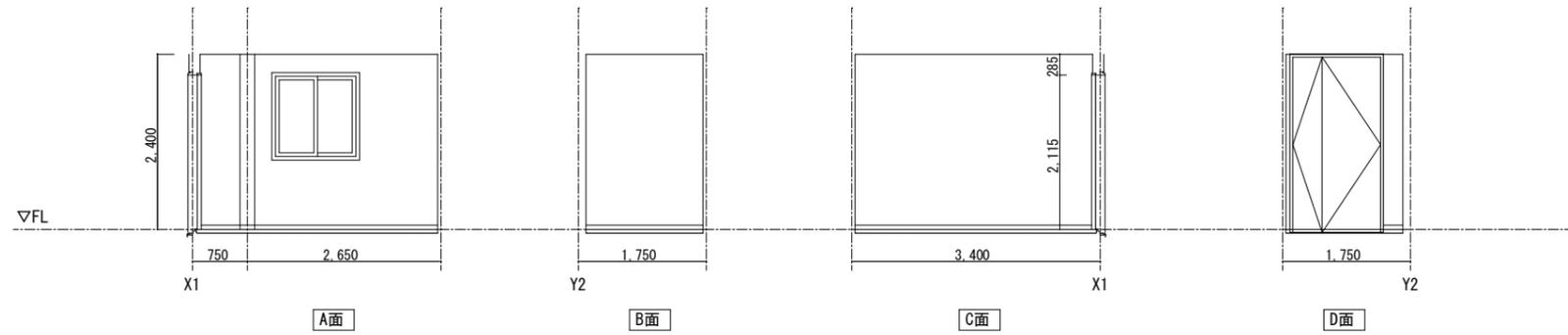
矩計図 S=1/30

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	収受員待機室 展開図	番号	A-21
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

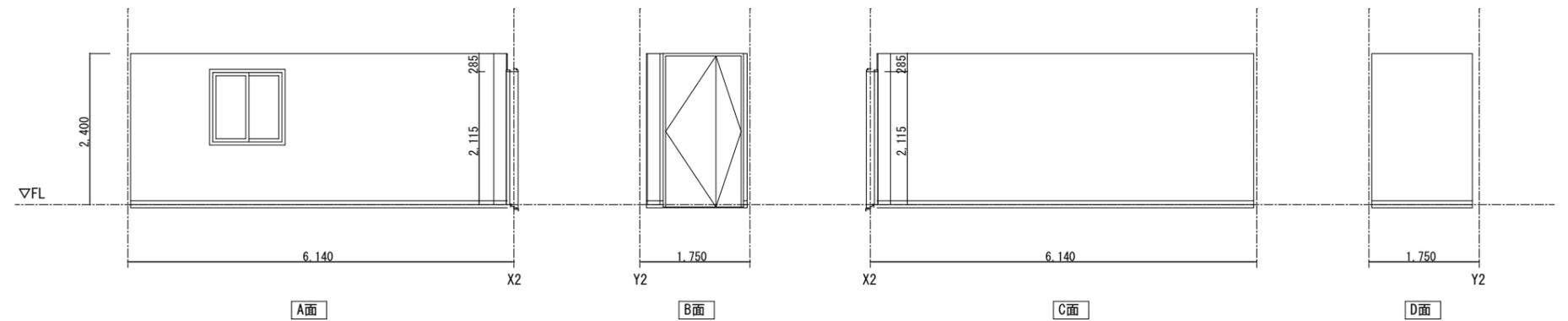
室名	ETC監視室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	机、ブラインド、ブラインドボックス



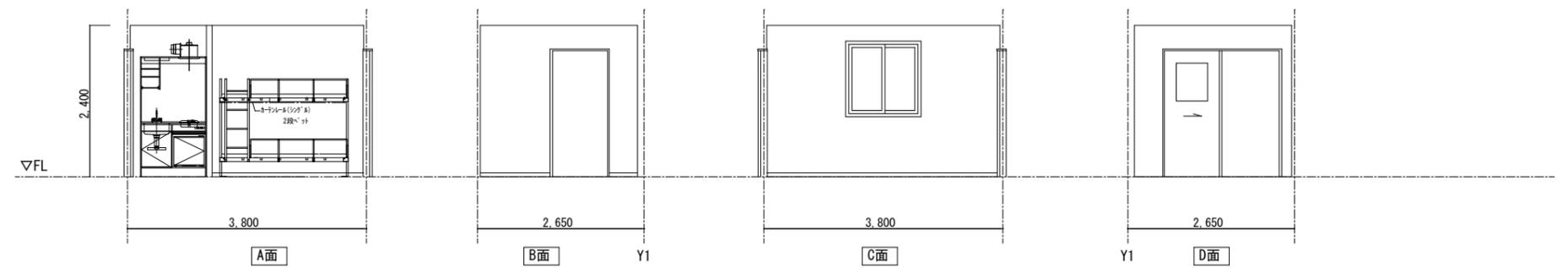
室名	機械室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	



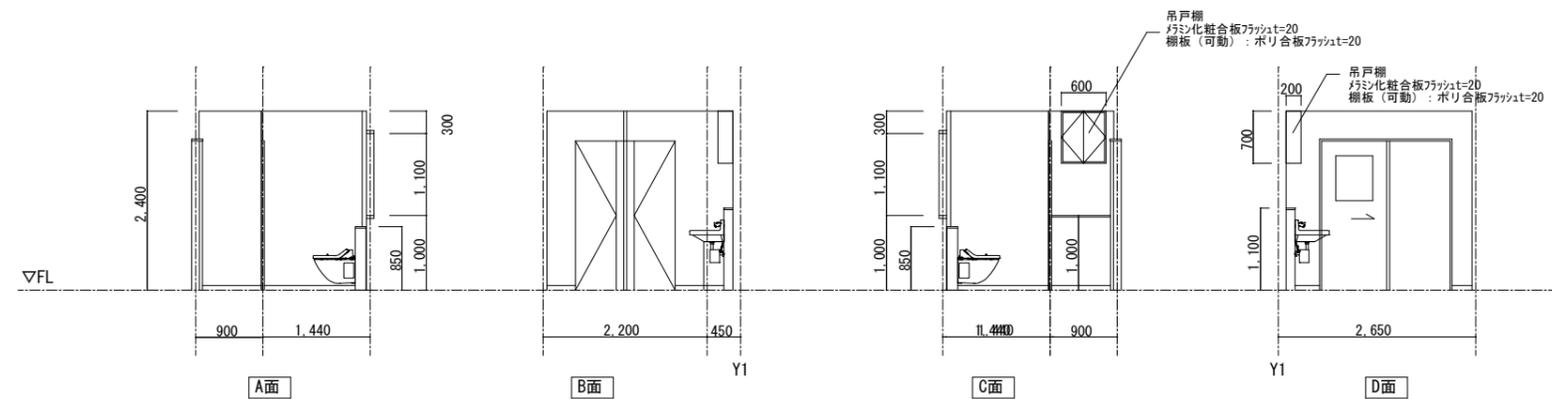
室名	ETC機械室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	



室名	休養準備室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	ミニキッチン：1050W×500D(冷蔵庫付)、畳カーテン(防災) H=2000、ブラインド、ブラインドボックス

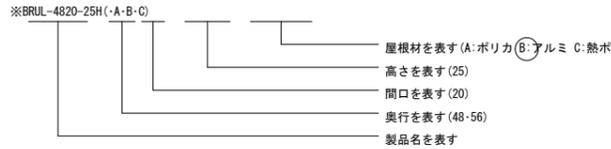


室名	便所
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	カウンター天板：メラミン化粧板、洗面器、鏡 吊戸棚：メラミン化粧板フラッシュ



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	収受員待機室 建具表・外部片持ち屋根	番号	A-22
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

規格寸法一覧			
W48	W56	間口(D)	高さ(H)
BRUL-4820-25H(-A-B-C)	WRUL-5620-25H(-A-B-C)	20	25



部材リスト		
名称	材質	規格
桁	アルミ合金押出形材	A6N01S-T5
パネル押え	アルミ合金押出形材	A6063S-T5
柱カバー	アルミ合金押出形材	A6063S-T5
腕木カバー	アルミ合金押出形材	A6063S-T5
垂木	アルミ合金押出形材	A6063S-T5
パネル押え	アルミ合金押出形材	A6063S-T5
妻垂木	アルミ合金押出形材	A6063S-T5
中棧	アルミ合金押出形材	A6063S-T5
側面パネル柱	アルミ合金押出形材	A6N01S-T5

部品リスト		
名称	材質	規格
柱	一般構造用角形鋼管	STKR400 Z18
腕木	一般構造用角形鋼管	STKR400 Z18
桁連結プレート	一般構造用圧延鋼材	SS400
端部キャップ	アルミニウム合金鋳物	AC3A
屋根パネル	ポリカーボネート板 (t=2.5) 熱線遮断ポリカーボネート板 (t=2.5) アルミニウム板 (t=2.0)	DW-9054 DW-9054 A1100P-H14
ビスボルト類	ステンレス	

■地耐力の簡易判別法

地層の硬さ		素掘り	推定地耐力 (kN/m ²)
粘土質	極軟	鉄筋を容易に押し込むことができる	20以下
	軟	シャベルで容易に掘れる	30
	中位	シャベルに力を入れて掘る	50
	硬	シャベルを強く踏んでようやく掘れる	100
	極硬	つるはしが必要	200
地下水面上の砂質土	非常にゆるい	孔壁が崩れやすく、深い足跡ができる	30以下
	ゆるい	シャベルで容易に掘れる	50
	中位	シャベルに力を入れて掘る	100
		シャベルを強く踏んでようやく掘れる	200
	密	つるはしが必要	300

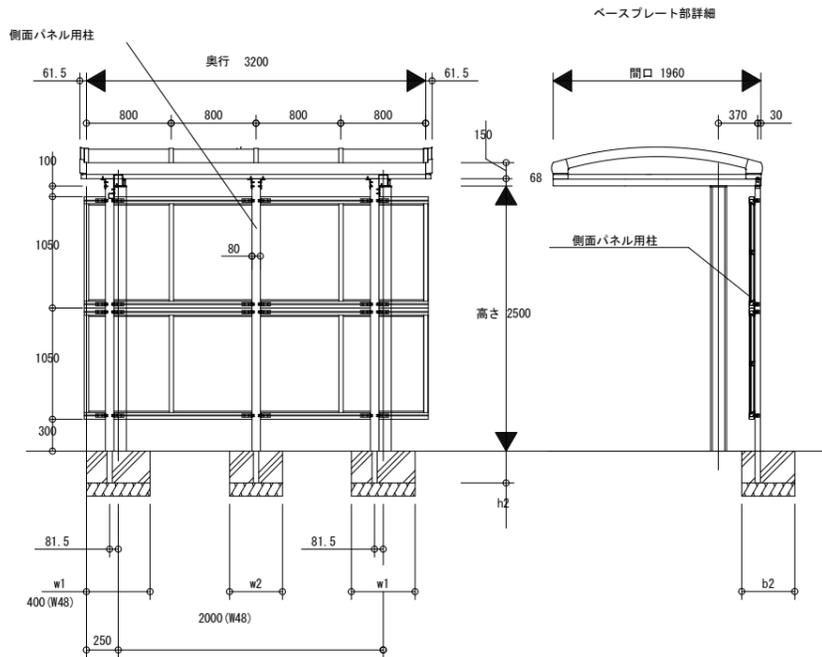
■基礎寸法(本体)

側面パネル	地耐力 (kN/m ²)	隣地境界線までの距離 (mm)	b1 (mm)	w1 (mm)	h1 (mm)
なし	30 ≤ N < 50	L ≤ 500	1150	800	500
		L > 500	1000	600	500
有り	30 ≤ N < 50	L ≤ 500	1250	800	500
		L > 500	1200	600	500
	50 ≤ N	L ≤ 500	1250	800	500
		L > 500	1200	600	500

■基礎寸法(側面パネル)

長期地耐力 (kN/m ²)	隣地境界線までの距離 (mm)	b2 (mm)	w2 (mm)	h2 (mm)
30 ≤ N < 50	L ≤ 500	750	750	300
	L > 500	500	500	300
50 ≤ N	L ≤ 500	700	700	300
	L > 500	500	500	300

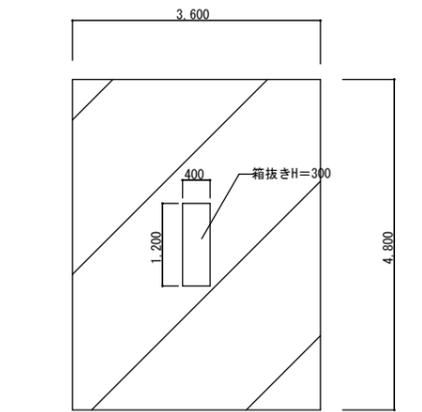
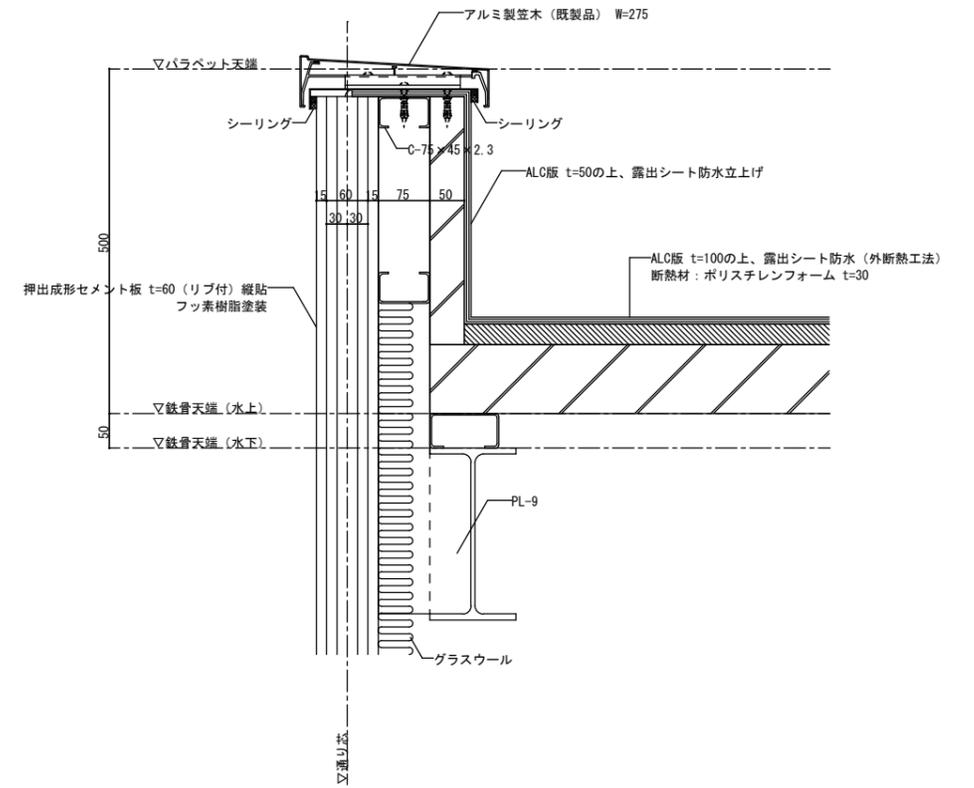
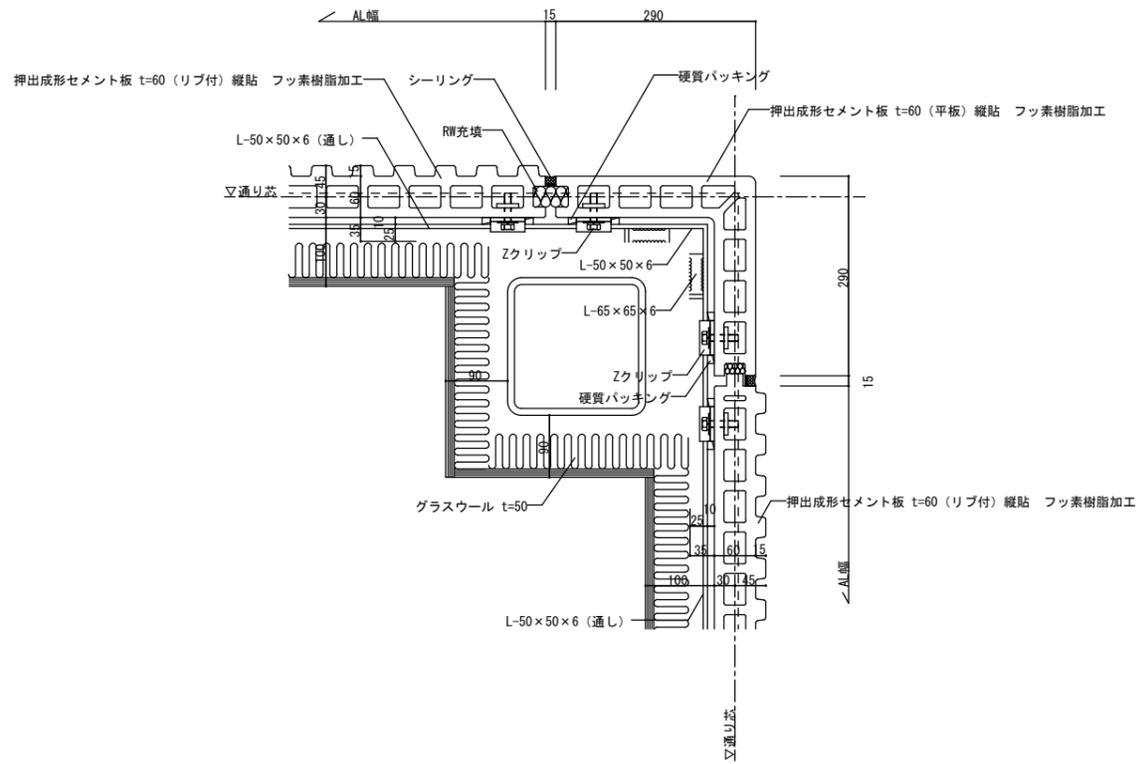
- 地耐力が30kN/m²未満の地盤には設置できません。
- 地耐力の簡易判別方法は上表を参照してください。



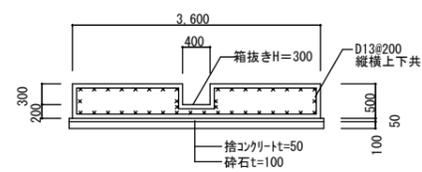
建具表

符号名称	親子開きフラッシュドア	片袖ランマ付き片開き扉ドア	
位置個数	機械室・ETC機械室 2	ETC監視室 1	
形状寸法			
材質	扉:スチール t=1.6 枠:スチール t=2.3	アルミ	
仕上	SOP塗装	アルマイト	
金物	シリンダー本締め・レバーハンドル・丁番・戸当り(7ヶ付) フランス落し・ドアチェック	付属金物1式、シリンダー錠、丁番、取手(ステンレス) アンクルピース (3方) アルミ額縁	
硝子		網入り透明ガラスt=6.8	
見込	枠:100 扉:40	100	
備考	窓枠: SUS304 t=2.0	タテ型'ライント'	
符号名称	引違窓	片開き窓	片引き戸
位置個数	機械室・ETC機械室・ETC監視室・休養準備室 4	便所 2	休養準備室 2
形状寸法			
材質	アルミ	アルミ	スチール
仕上	アルマイト	アルマイト	化粧鋼板
金物	付属金物1式、アルミ水切り、網戸 アンクルピース (4方) アルミ額縁	付属金物1式、アルミ水切り、網戸 アンクルピース (4方) アルミ額縁	ハンガーレール、戸車、引手、シリンダー錠 アンクルピース (4方) アルミ額縁
硝子	網入り透明ガラスt=6.8	網入り透明ガラスt=6.8	型板ガラスt=4
見込	70	70	110
備考	'ライント'	'ライント'	ステンレス窓枠
符号名称	トイレブース		
位置個数	便所 1		
形状寸法			
材質	FRP化粧板		
仕上	FRP化粧板		
金物	ラッチ表示錠、SUS巾木H=60、戸当たり衣箱掛け ラバトリーヒンジ、付属金物1式		
硝子	網入り透明ガラスt=6.8		
見込	40		
備考			

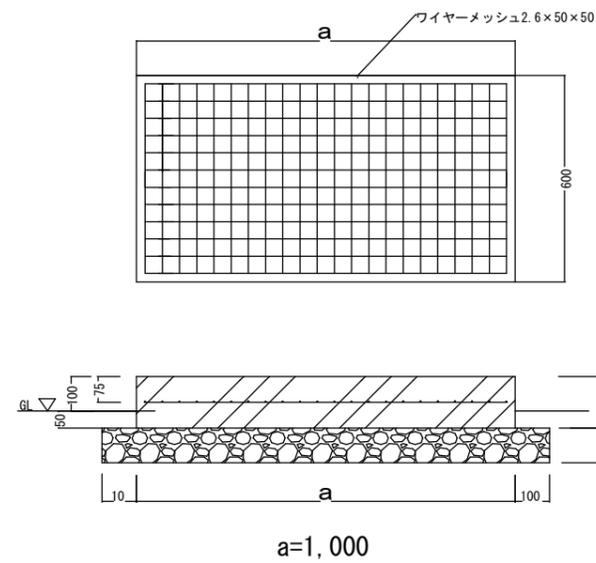
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:5	
図名	收受員待機室 部分詳細図	番号	A-23
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



伏図

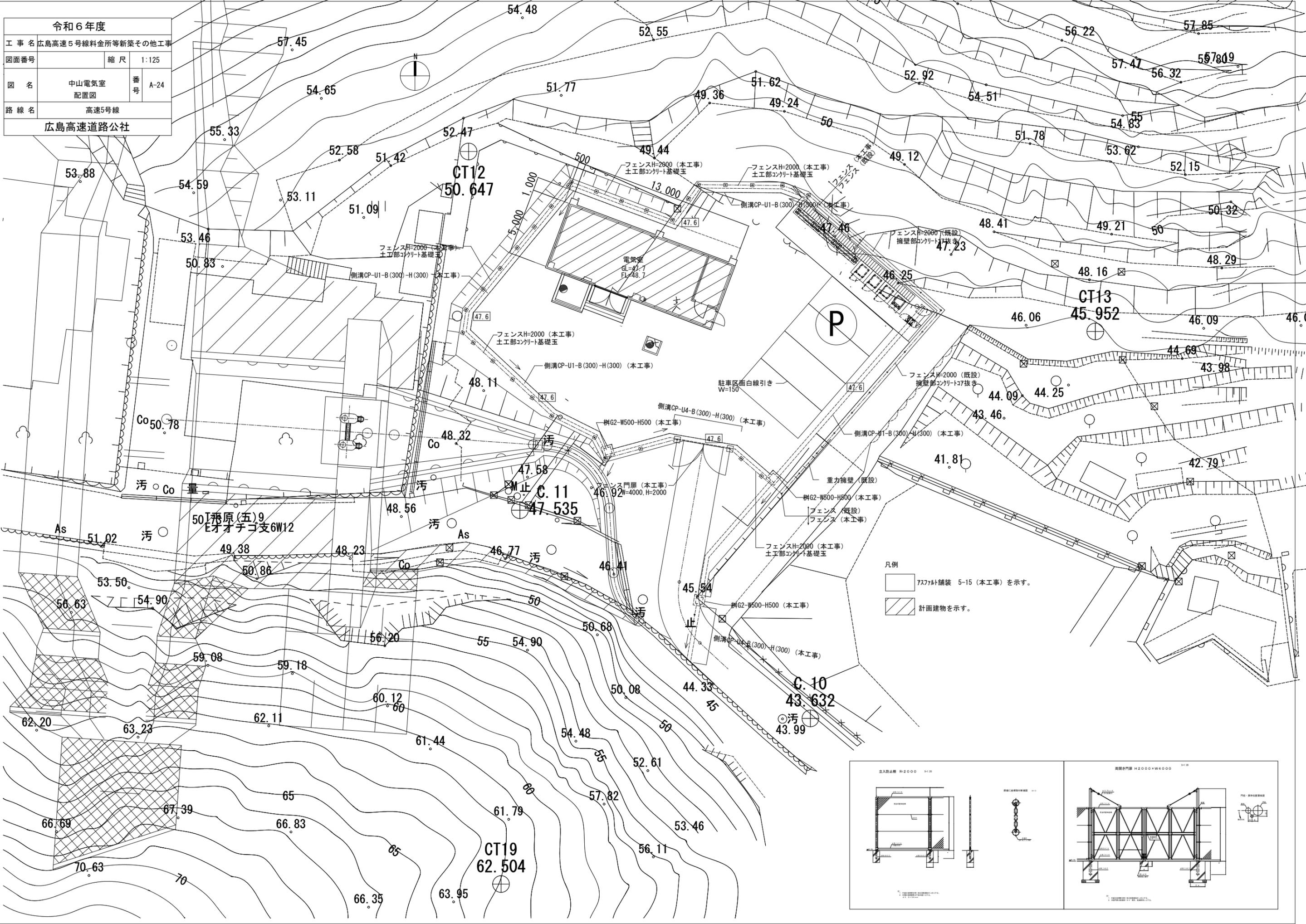


断面図

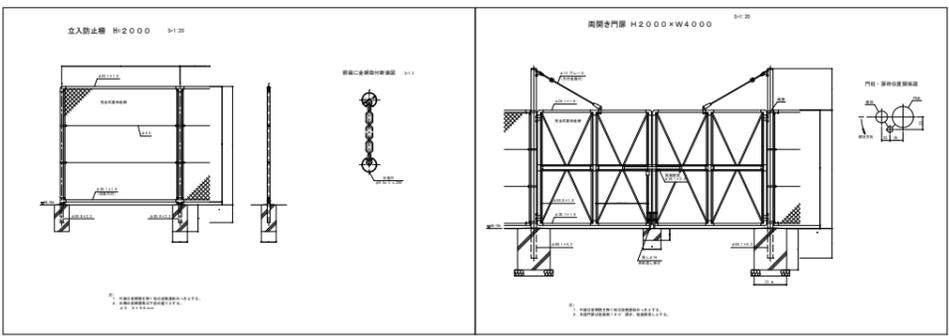


a=1,000

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:125	
図名	中山電気室 配置図	番号	A-24
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



- 凡例
- アスファルト舗装 5-15 (本工事) を示す。
 - 計画建物を示す。



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山電気室 仕上表・平面図・立面図・断面図	番号	A-25
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

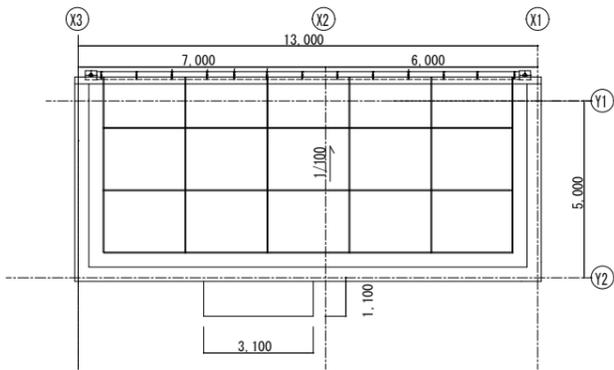
外部仕上表 (電気室)

屋根	コンクリート直均し(水勾配1/100付)の上、屋根保護防水密着断熱工法(AI-1)(断熱材:押出法ポリスチレン保温板3種bスキン層付) 押えコンクリート(溶接金網φ×100×100敷込み)t=80直均し 成形伸縮目地材W=25
外壁	コンクリート打放し(B種)の上、複層塗材RE(耐候形1種)水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂エナメル
根廻り	コンクリート打放し(B種)
建具	搬入口:鋼製扉(SOP 性能等級:気密性A-3 水密性W-1)
土間(搬入口部)	コンクリート直均し仕上

窓	・タラップ:ステンレス製タラップφ22 W=400 (既製品、H.H部)
	・タテ種:が-VP100(有塗装品) 2ヶ所・錆鉄製ルーフトレイン:呼称100φ用2ヶ所・オーバーフロー管VP60φ
	・ハンドホール:錆鉄製マンホール蓋600φ簡易密閉型(歩行用)鎖付き
	・コンクリート基礎1100×600×150H

内部仕上表

階数	室名	床	床高(FL)	巾木	内壁	外部に面する内壁	天井	天井高	備考
1階	電気室	下地	SL+300	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	直天	・配線用ビット(W=300)
		仕上							
1階	通信機械室	下地	SL+300	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	直天	・配線用ビット(W=300)
		仕上							



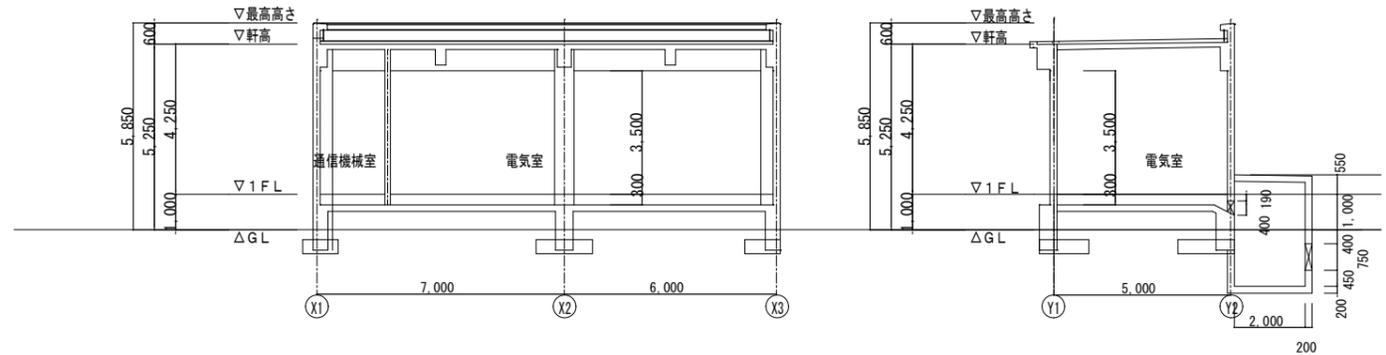
屋根伏図 S=1/100

機器リスト

番号	名称	備考
①	受電盤	
②	変圧器一次盤	
③	動力変圧器盤 200kVA	
④	照明変圧器盤 75kVA	
⑤	所内変圧器盤 20kVA	
⑥	直流電源装置	
⑦	照明制御盤	
⑧	照明コントロールセンタ(1)	
⑨	照明コントロールセンタ(2)	
⑩	排煙用換気制御盤	
⑪	換気コントロールセンタ(1)	
⑫	保守用変圧器盤 20kVA	
⑬	UPS 1kVA	
⑭	保守切替盤	
⑮	接地端子盤	
⑯	保守用接続箱	
⑰	IP-10子局	
⑱	通信機器収容箱	
⑲	MDF	

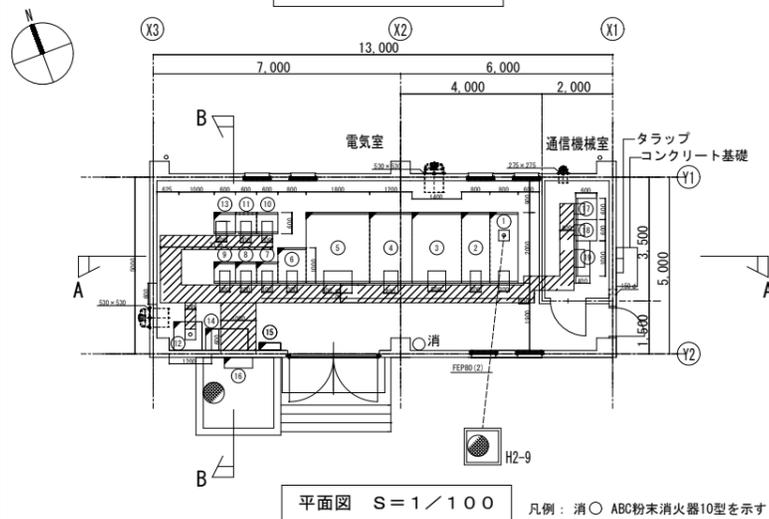
* 機器は別途工事

配線用ビット 規格 14.5
ビニル巾木 長さ取付用
ビット内セパレーター



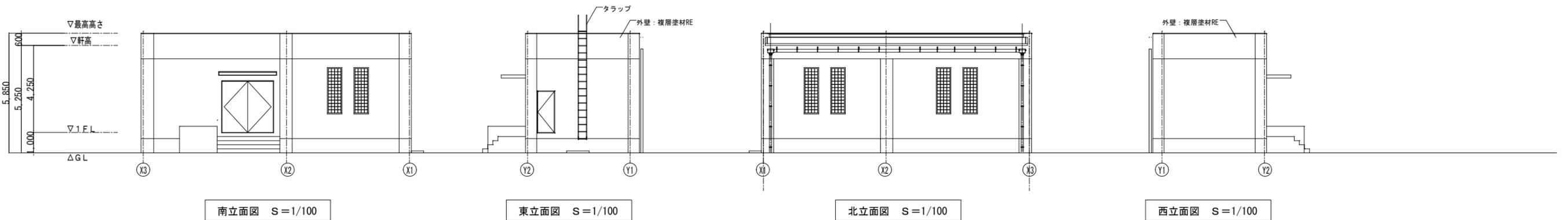
A-A断面図 S=1/100

B-B断面図 S=1/100



平面図 S=1/100

凡例: 消○ABC粉末消火器10型を示す



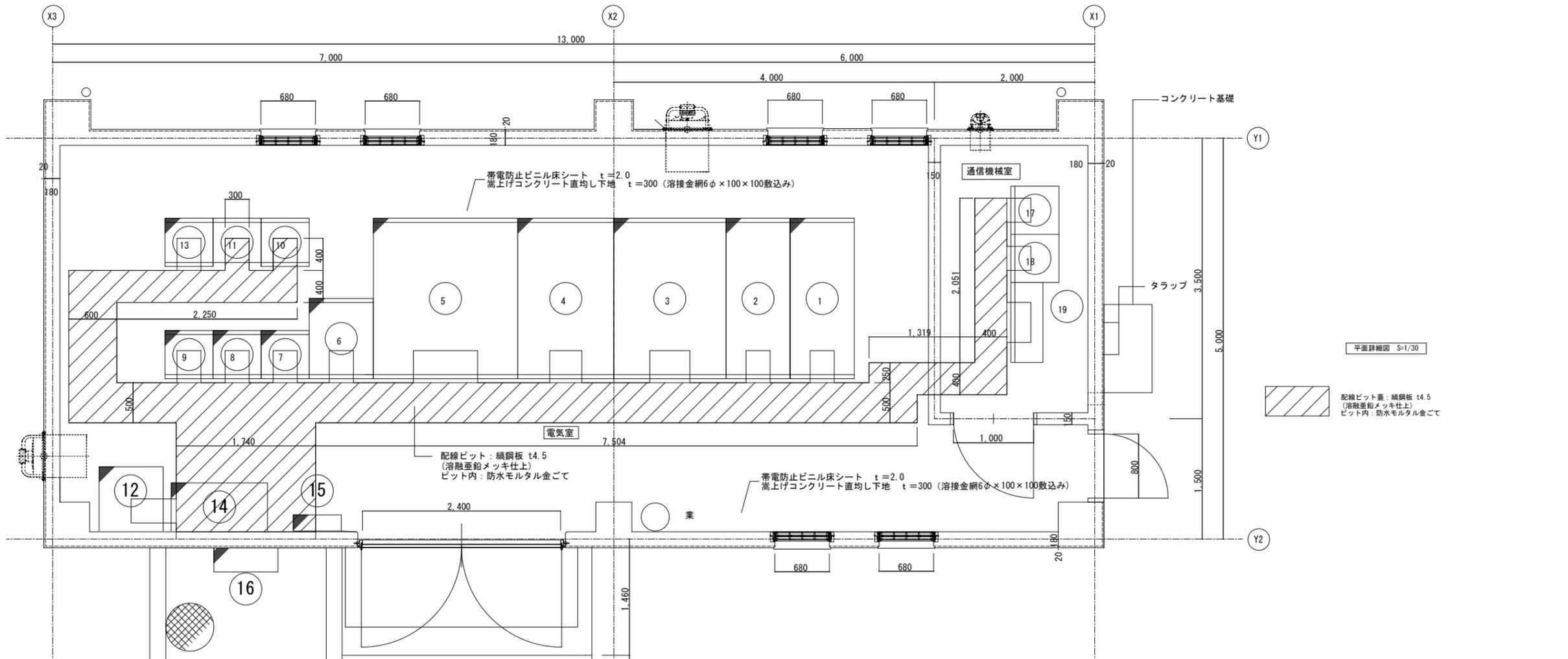
南立面図 S=1/100

東立面図 S=1/100

北立面図 S=1/100

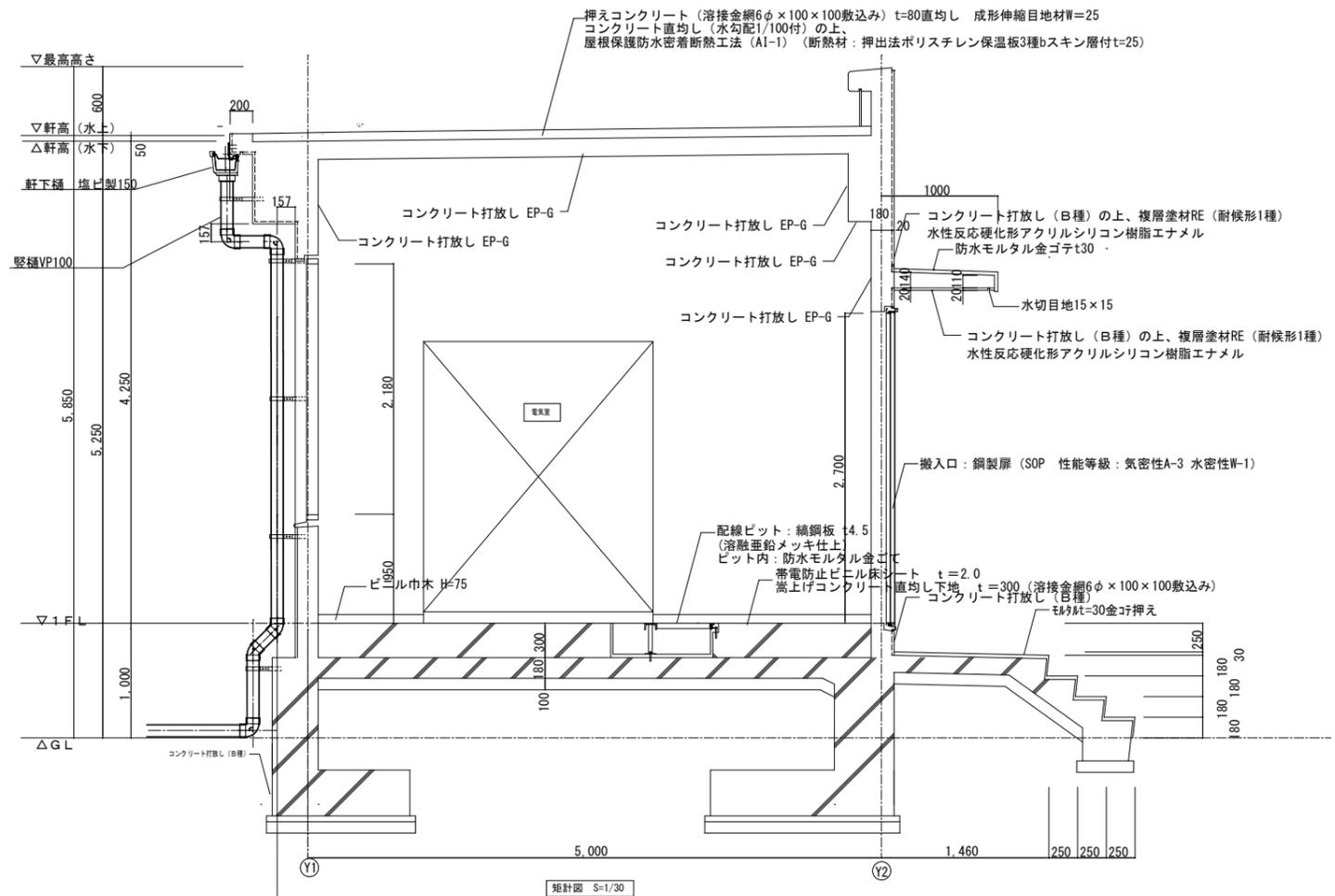
西立面図 S=1/100

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:30	
図名	中山電気室 平面詳細図・矩計図	番号	A-26
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



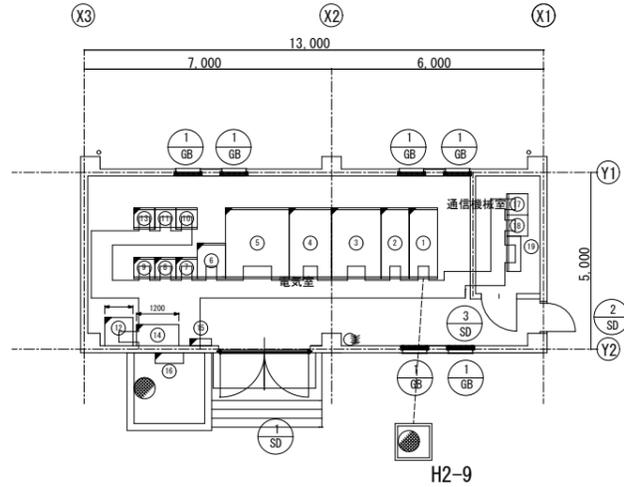
平面詳細図 S=1/30

配線ビット：綿銅板 t4.5
(溶融亜鉛メッキ仕上)
ビット内：防水モルタル金ごて

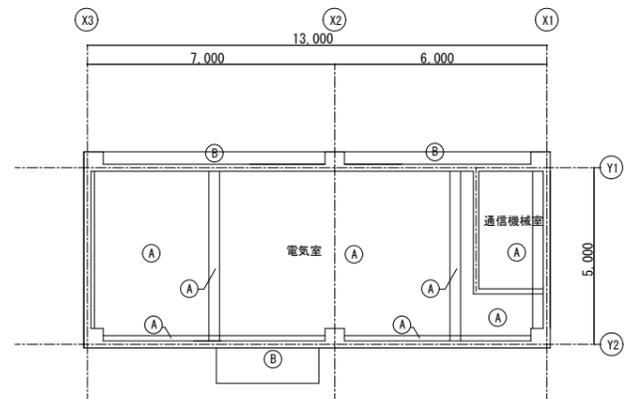


矩計図 S=1/30

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山電気室 建具符号図・天井伏図 建具表	番号	A-27
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



建具符号図 S=1/100



天井伏図 S=1/100

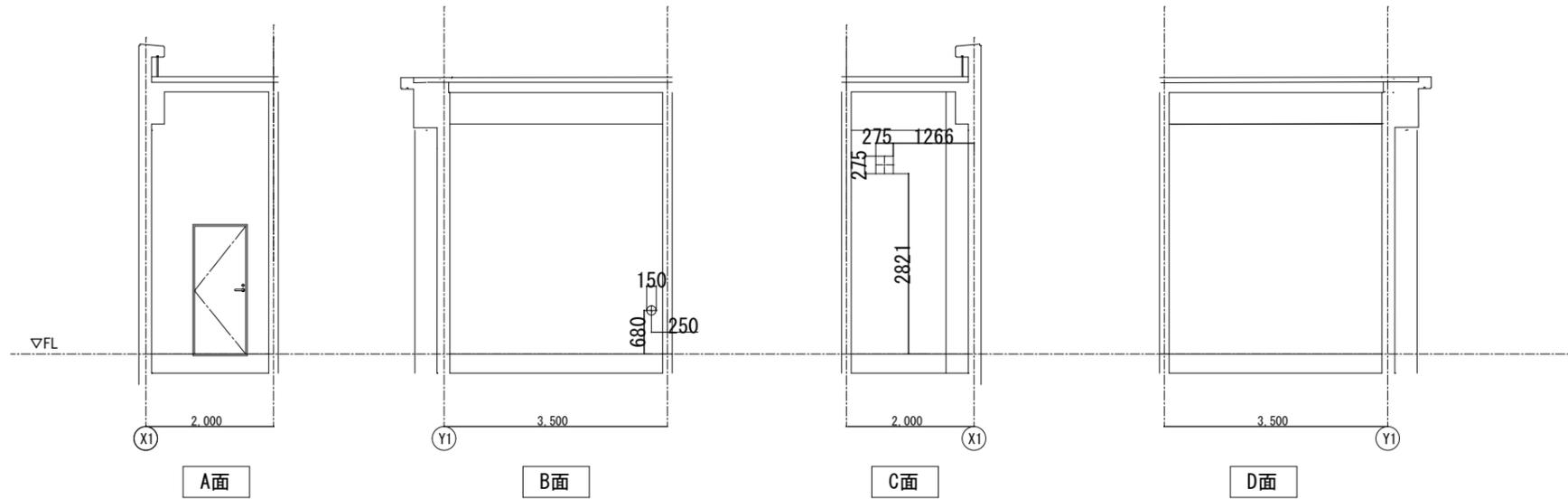
【天井仕上凡例】

記号	天井仕上	廻縁
(A)	コンクリート打放し EPG	
(B)	底裏：コンクリート打放し（増打ち 厚20） 撥水塗材RE（耐候形1種）水性反応硬化形	
	アクリルシリコン樹脂エナメル	

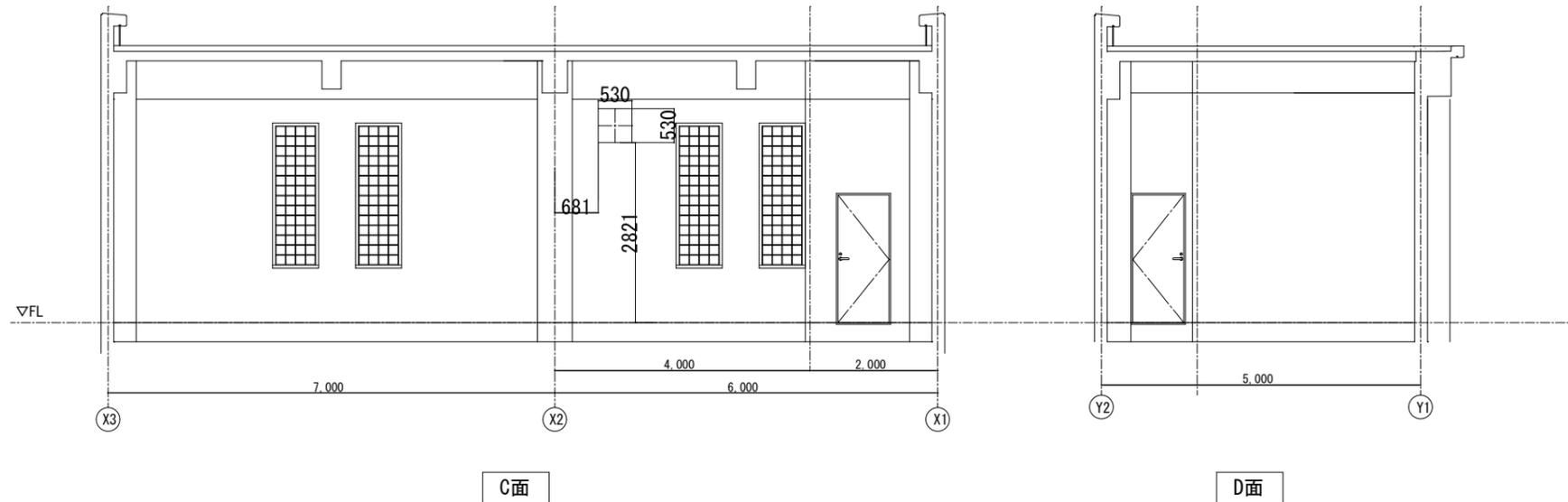
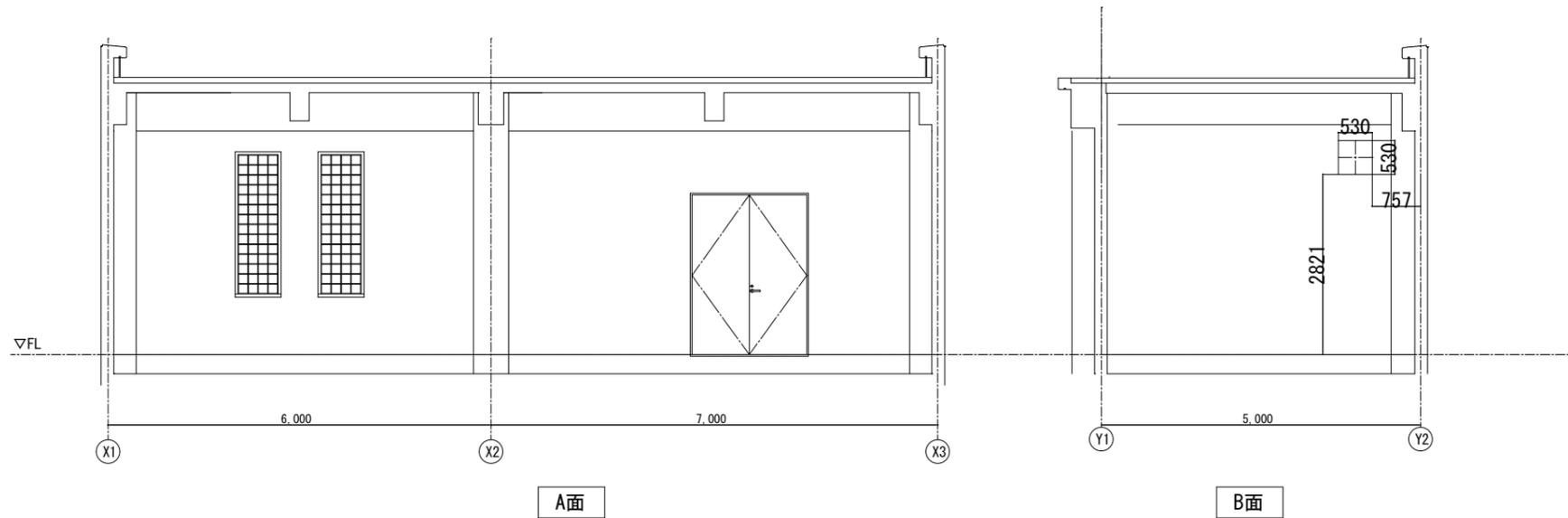
建具表		S=1/50	
符号名称	SD 1 両開きフラッシュドア	SD 2 片開きフラッシュドア	SD 3 片開きフラッシュドア
位置個数	電気室・通信機械室 1	電気室 1	電気室・通信機械室 1
形状寸法			
材質	扉:スチール t=1.6 枠:スチール t=2.3	扉:スチールt=1.6 枠:スチール t=2.3	扉:スチールt=1.6 枠:スチール t=2.3
仕上	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装
金物	シリンダー本締め・レバーハンドル・丁番・戸当り(7ヶ付) フランス落し・ドアチェック	シリンダー本締め・レバーハンドル・丁番 戸当り(7ヶ付)・ドアチェック	シリンダー本締め・レバーハンドル・丁番 戸当り(7ヶ付)・ドアチェック
硝子			
見込	枠:100 扉:40	枠:80 扉:40	枠:80 扉:40
備考	番指:SUS304 t=2.0	番指:SUS304 t=2.0	番指:SUS304 t=2.0
符号名称	GB 1 ガラスブロック窓		
位置個数	電気室・通信機械室 6		
形状寸法			
材質	アルミ		
仕上	アルマイト		
金物	付属金物1式		
硝子	ガラスブロック145*145*95		
見込	枠 100		
備考	アルミ額縁		
符号名称			
位置個数			
形状寸法			
材質			
仕上			
金物			
硝子			
見込			
備考			

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山電気室 展開図	番号	A-28
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

室名	通信機械室
床	ビニル床シート(帯電防止)厚2.0
巾木	ビニル巾木 H=75
壁	コンクリート打放し EP-G
天井	コンクリート打放し EP-G
備考	配線ビット、換気扇枠(機械設備工事)
柱型	コンクリート打放し EP-G

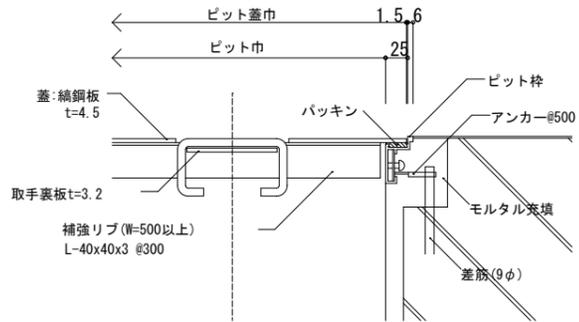


室名	電気室
床	ビニル床シート(帯電防止)厚2.0
巾木	ビニル巾木 H=75
壁	コンクリート打放し EP-G
天井	コンクリート打放し EP-G
備考	配線ビット、換気扇枠(機械設備工事)
柱型	コンクリート打放し EP-G



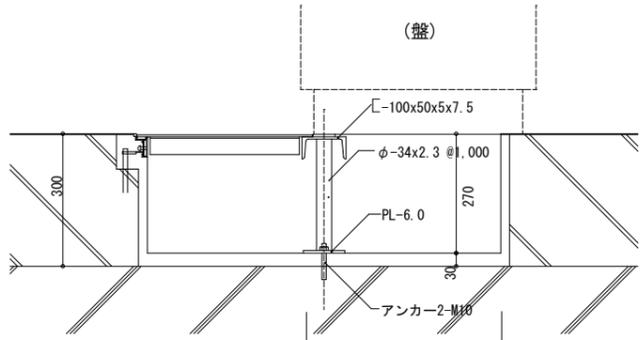
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山電気室 部分詳細図	番号	A-29
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

配線ピット蓋詳細図 S=1/5



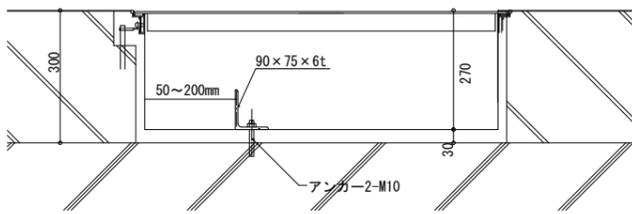
※鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上とする。
※枠はメーカー既製品(硬質アルミ枠)とする。

配線ピット盤受支柱詳細図 S=1/10

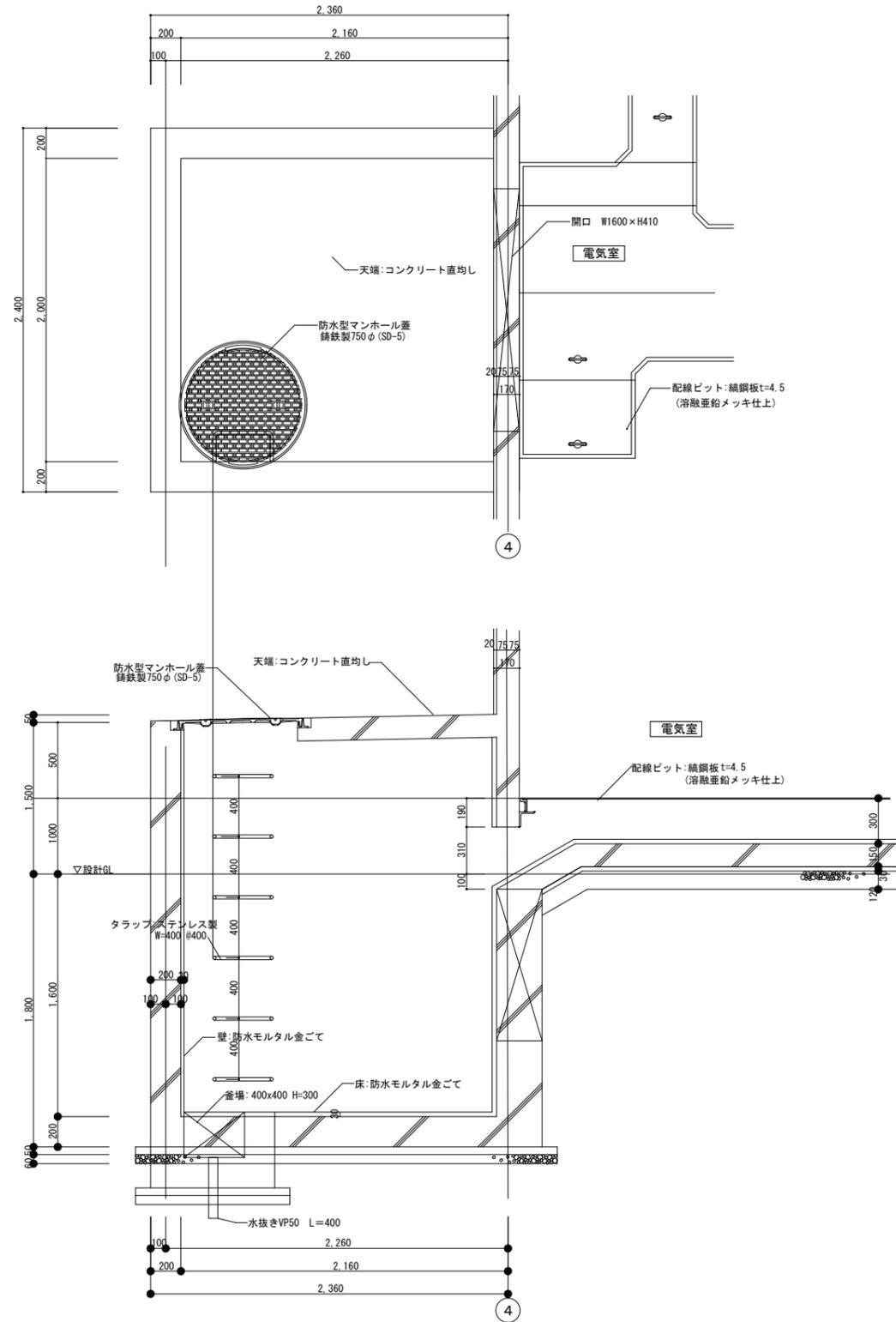


※鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上とする。

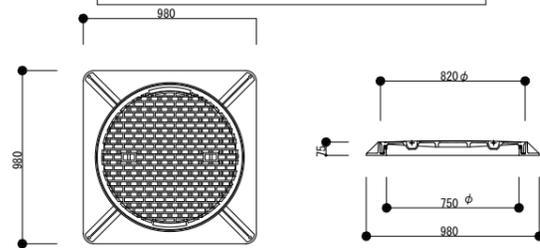
配線ピットセパレーター詳細図 S=1/10



※鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上とする。

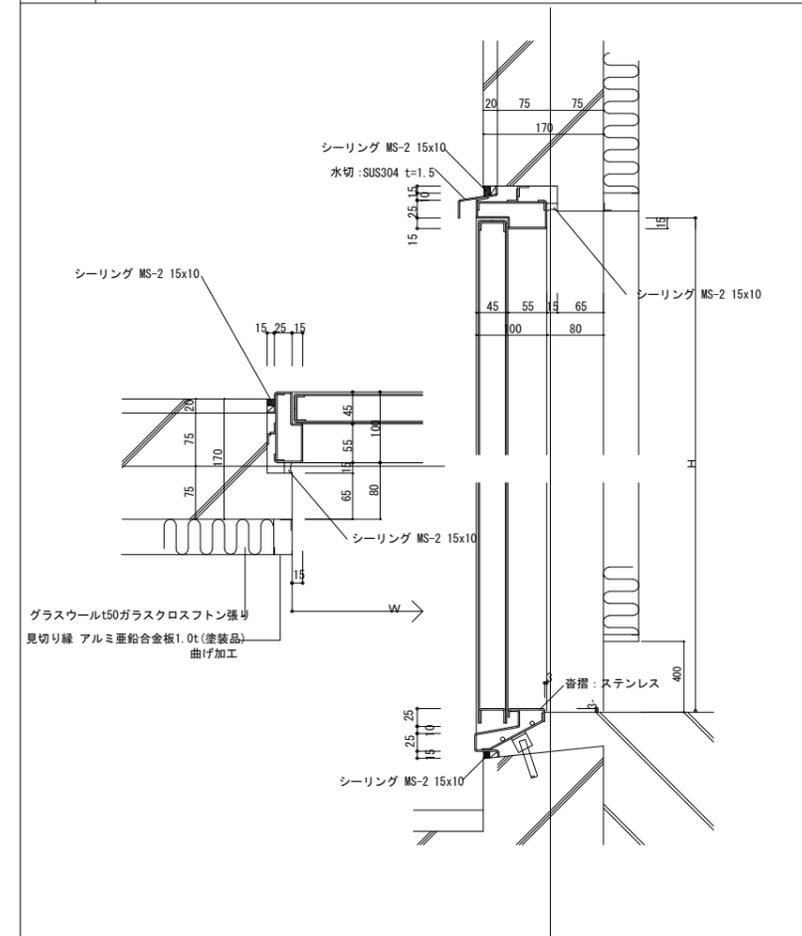


電気室(A通り)ハンドホール詳細図 S=1/20

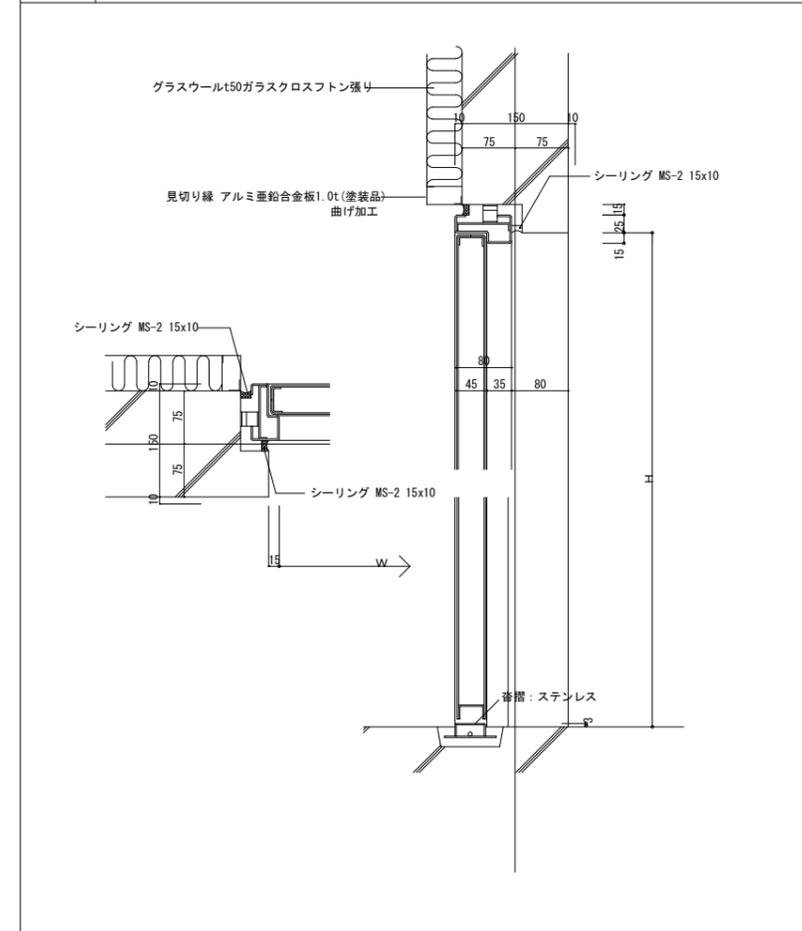


マンホール蓋(SD-6) S=1/20

外部スチールドア詳細図 S=1/5



内部スチールドア詳細図 S=1/5



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺		
図名	中山料金所 (OFF) ブース特記仕様書	番号	BA-01
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

料金所ブース工事 特記仕様書

I 総則

- 適用範囲 この特記仕様書はブース製作工事に適用するものとする。

II 工事概要

- 工事名称 高速5号線 料金所等新設工事 (仮称)
- 工事位置 高速5号線
中山料金所 (OFF)
- 工事種目

A. ブース本体	サブブース 1220W×3900L	新設一式: 1台	(中山料金所 (OFF): 1台)
B. 電気設備	(電灯動力設備、弱電設備)	新設一式	
C. 機械設備	(冷暖房換気設備)	新設一式	
- 使用材料 本工事に使用する資材は、メーカー仕様によるものとし、監督職員の承諾を得るものとする。

III 特記仕様

- 総則
 - 本仕様書に記載されていない事項はすべて下記諸仕様書並びに、基準によるほか、監督職員の指示によるものとする。

建築工事標準仕様書 (最新版)	国土交通大臣官房官庁営繕部監修
電気設備工事標準仕様書 (最新版)	国土交通大臣官房官庁営繕部監修
機械設備工事標準仕様書 (最新版)	国土交通大臣官房官庁営繕部監修
鋼構造設計基準	日本建築学会編
軽量形鋼構造設計施工指針 同解説	日本建築学会編
溶接工作基準 同解説	日本建築学会編
電気設備技術基準	
その他関係諸規定	

- 本仕様書その他の設計図書に明記されていない事項で、工事施工上当然必要と思われるもの及び詳細不明のものについては、監督職員の指示をうけ、施工する。

2. 特別注意事項

- 本工事においてブース据付面 (台枠下面) と、アイランド基準アンカー面はすべて同一レベルを原則としますが、道路面に縦断勾配がある場合には基礎の納まり、取り合い等の施工図を作成の上、主任監督員の承諾を得るものとする。
その他別途工事等の取り合いは図示によるも細部については、監督職員の指示により施工する。

3. 工事種目別特記事項

- ブース本体
 - 鉄骨工事
 - 外板及び屋根板: 溶融亜鉛アルミニウム合金めっき鋼板 t=2.3mmを、電気溶接にて取付ける。
 - 建具工事
 - アルミ製引違いサッシ: 製品は枠見込み70mmとする。

3) 塗装工事

- 塗装範囲
 - P1工程: 室内化粧鉄部、屋根上部 (R部分は含まず)
 - P2工程: 外部 (P1工程部分は含まず)
: 低汚染形セラミック変性ウレタン樹脂塗装。
- 構体骨組錆止塗装: クロムフリー錆止塗装

P1工程	P2工程
1) 汚れ付着物除去	1) 汚れ付着物除去
2) 油類除去	2) 油類除去
3) 錆止塗料 (1回目)	3) 錆止塗料 (FL+300mmまでを2回塗り)
4) 研磨紙摺り	4) 錆止塗料 (ブース全体1回目)
5) 錆止塗料 (2回目)	5) 研磨紙摺り
6) 研磨紙摺り	6) 錆止塗料 (ブース全体2回目)
7) 中塗り	7) 穴埋め及びパテかい
8) 上塗り	8) 研磨紙摺り
	9) 中塗り
	10) 上塗り

- 塗装色

外部色	全体色: U75-30P	
	ライン色: Y75-90B	(日本塗料工業会)
内部色	U22-85D	(")

4) 雑工事

- プリント鋼板: 耐熱限界140℃以下、被膜厚0.03mm 厚さ0.7mmとし、ビス又はリベットにて取付ける。
- 断熱材: (グラスウール)又は発泡ポリスチレンフォーム
天井裏、片開戸、片引戸・・・ (2号32K25t)
側壁、間仕切壁、・・・ (2号24K50t)
床、・・・ (発泡ポリスチレンフォーム40t)
- ビニルシート: 下記以外の床面は、厚さ2.5mmを接着する。
但し、ETC監視室及び便所床は厚2.5mm イボ付とする。
- ベッド: ベッドマットは畳とする。
- アクリル樹脂板: 静電気現象防止処置を施したものとする。
- シーリング: 雨樋、建具、アルミサッシ廻り等のシーリングにはシリコン系を使用する。
- カーテンレール: ステンレス製C型とする。
- 流し台及び吊戸棚: 木製キャビネット、ステンレス製水槽、冷蔵庫付とする。

B. 電気設備

- 電気方式

(イ) 動力配線設備	3φ 3W 200V	60Hz
(ロ) 電灯設備	1φ 3W 210/105V	60Hz
- 弱電設備
 - 非常ベル押釦 (別途、電気設備工事。)
 - インターホン (別途、電気設備工事。)

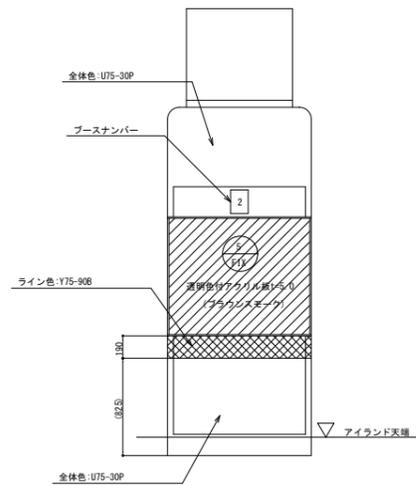
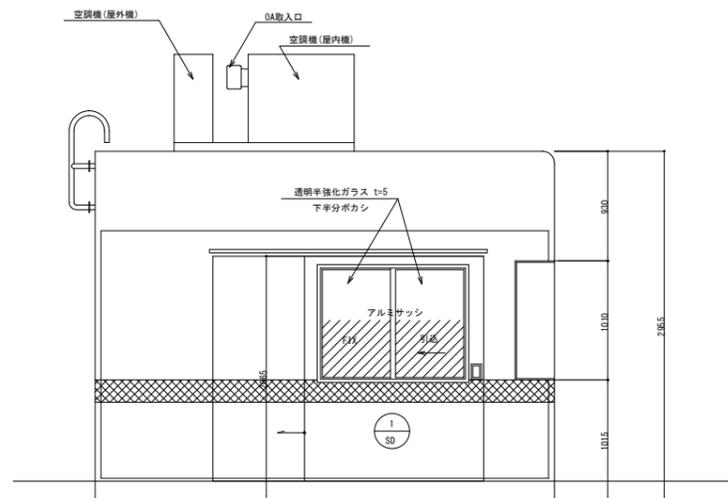
3) 工事範囲

- 設計図記載に基づき、下記事項に留意するものとする。
- 電灯動力配線設備
 - ブース内に設ける分電盤二次側からブース内の照明、換気、SW、コンセントの各機器迄 (配管配線、分電盤、端子盤、端子台などの接続線を含む)は本工事とする。
ブース外取付の機器については別途工事とする。
 - 収受室の天井面にバッテリー内蔵の非常灯を設置します。
 - ETC・CCTV設備
 - ブース内に設ける端子盤二次側より各端末機、機器までの配管は、本工事、配線は別途とする。
また、端子盤一次側の配線、引き込みも別途工事とする。

C. 機械設備

- 空気調和換気設備工事
サブブースにはエアカーテン、ヒートポンプ式パッケージエアコン及び床ヒーターを設置する。
- 衛生設備工事
給水管は水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PB (JWWA K132)、排水管及び通気管は硬質ポリ塩化ビニル管 VP (JIS K6741)とし、給水管の保温は標準仕様書第二編 3・1・5、d・(ハ)・Ⅶとする。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/30	
図名	中山料金所 (OFF) サブブース 仕上表 平面図・屋根伏・立面図	番号	BA-02
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

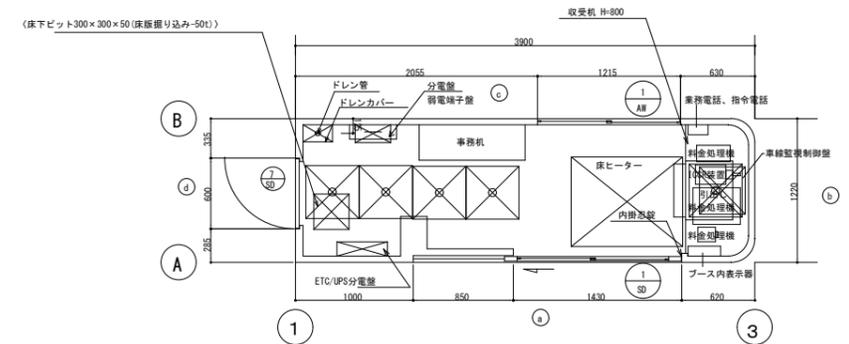
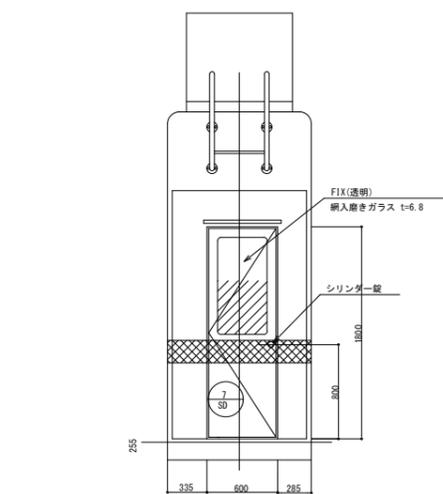
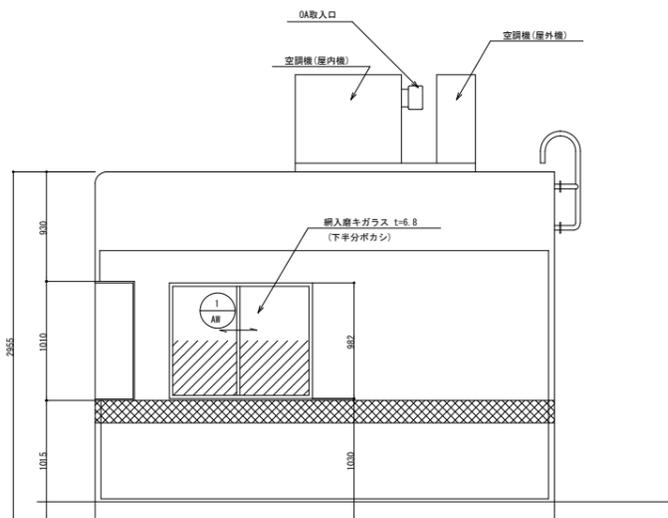
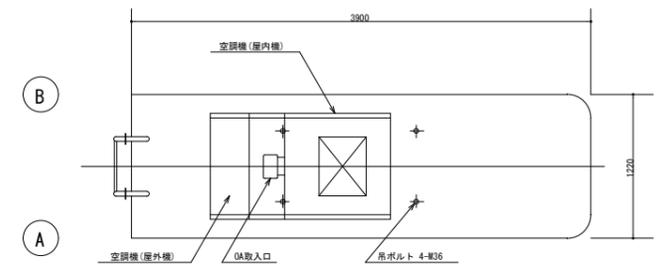


<外部仕上表>

	材質・仕上	備考
屋根	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板2.3mm 非汚染形セラミック変性ウレタン樹脂塗装	吊金物(4ヶ所)
外壁	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板2.3mm 非汚染形セラミック変性ウレタン樹脂塗装(屋根隅部を含む)	
建具	鋼製及びアルミ合金製(アルマイト処理)	
硝子	透明アクリル板t=5 遮光フィルム張り 網入磨きガラスt=6.8 下半分ボカシ	網入磨きガラスt=6.8 下半分ボカシ 透明強化ガラスt=5 下半分ボカシ
ブースナンバー	アクリル板(乳白色地に黒色番号貼付)	150×200×3

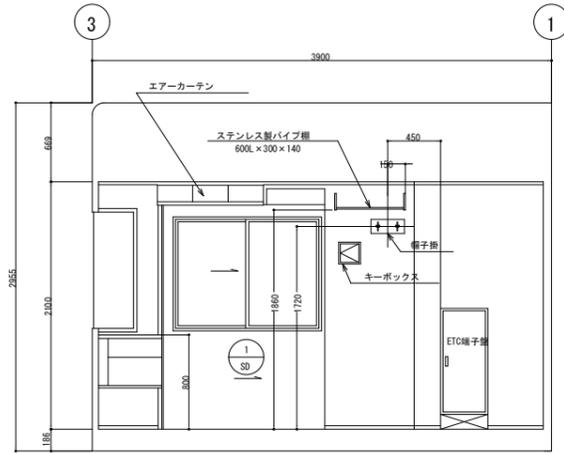
<内部仕上表>

	床	中木	壁・天井	天井高	備考
収受室	イボ付ビニールシートt=2.5	ビニール中木H=60	プリント鋼板 t=0.7	2100	収受機・床ヒーター 事務機 900×750×300 椅子盤 400×900×125 パイプ棚 900×300×140

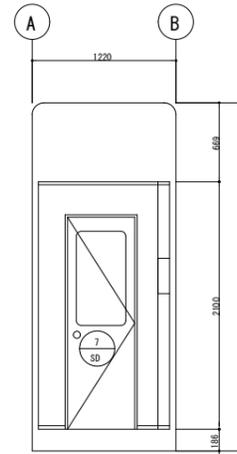


共通凡例
(床下ピット300×300×50(床版掘り込み=50t)) : 別途工事
⊗ : 床下点検口
盤下、機器下には配線取り出し開口を適宜設けることとする。

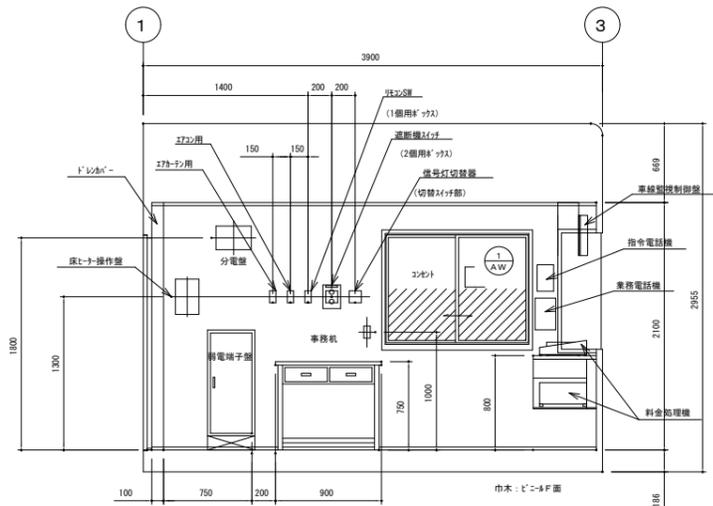
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/30	
図名	中山料金所(OFF) サブブース 展開図	番号	BA-03
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



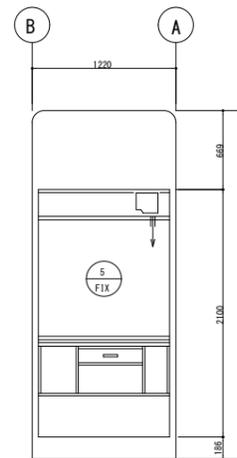
④ 通芯側内観図



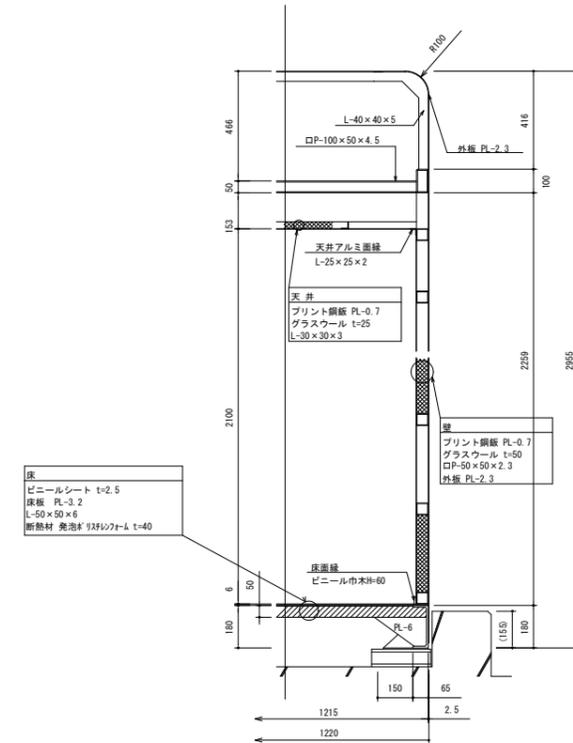
③ 通芯側内観図



⑥ 通芯側内観図



① 通芯側内観図

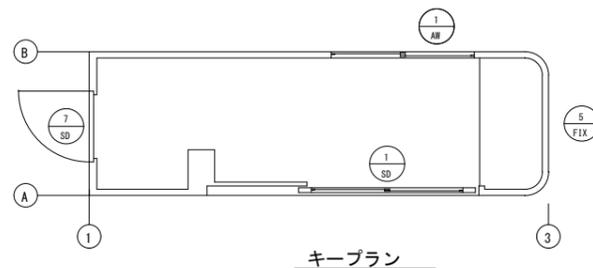


矩計詳細図 1/15

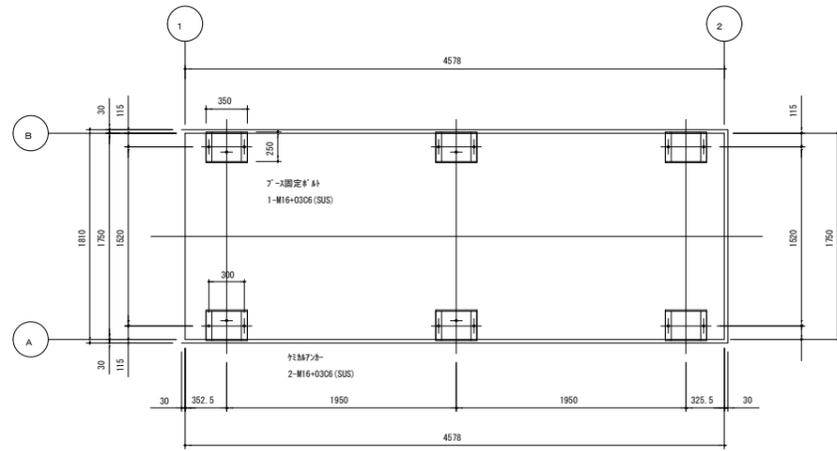
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/30	
図名	中山料金所(OFF) サブブース 建具表	番号	BA-04
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

建 具 表 (ブース棟分)				
記号・場所	① SD	⑦ SD	① AM	⑤ FIX
姿 図				
見込寸法	43.8 (ドア), 48.5 (片引アルミサッシ)	32.8	70 (サッシュ), 93 (枠)	嵌殺し窓 1 61 (枠)
形式・数量	鋼製片引腰高フラッシュ戸 1	鋼製片開フラッシュ戸 1	引違いアルミ窓 1	外板切込
材質・塗装	外. 鋼板 1.6 非汚染形セラミック変性 内. 鋼板 1.2 ポリウレタン樹脂塗装	外. 鋼板 1.6 非汚染形セラミック変性 内. 鋼板 1.2 ポリウレタン樹脂塗装	アルミ 表面アルマイト処理	透明色付アクリル板 t=5 ブラウンスモーク
硝 子	透明半強化ガラス t=5 下半分ボカシ	網入硝子 t=6.8 下半分ボカシ	網入ガラス t=6.8 下半分ボカシ	室内側押え枠 鋼板 t=1.6 (メラミン焼付)
附属金物	ハンガー複数戸車 2 ステンレスプレス把手 2 内掛忍錠 1 (鍵付) アルミ窓 (1300×1066) 1	127mm面付旗丁番 3 握玉付シリンダー錠 1 アームストッパー 1	室内側サッシュ押え枠 鋼板1.6 (メラミン焼付)	溝ゴム シリコンコーキング
備 考	ガラスウール充填 "T=50 32K"	ガラスウール充填 "T=25 32K"	外板側シリコンコーキング	

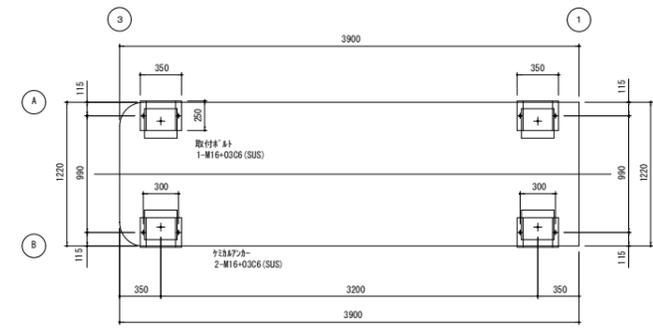
(注記) 1. ガラス窓が軽く動くこと。



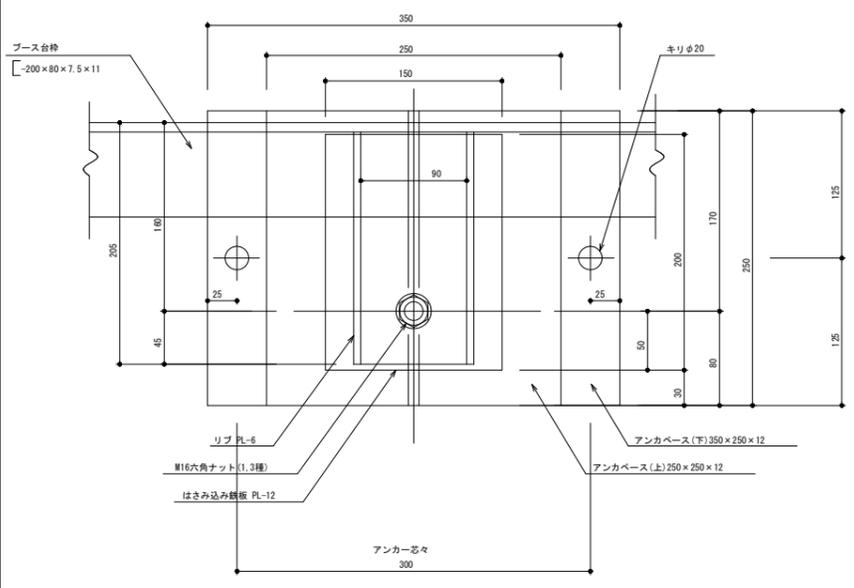
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/30 1/3	
図名	中山料金所 (OFF) ブースアンカー詳細図(2) サブブース	番号	BA-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



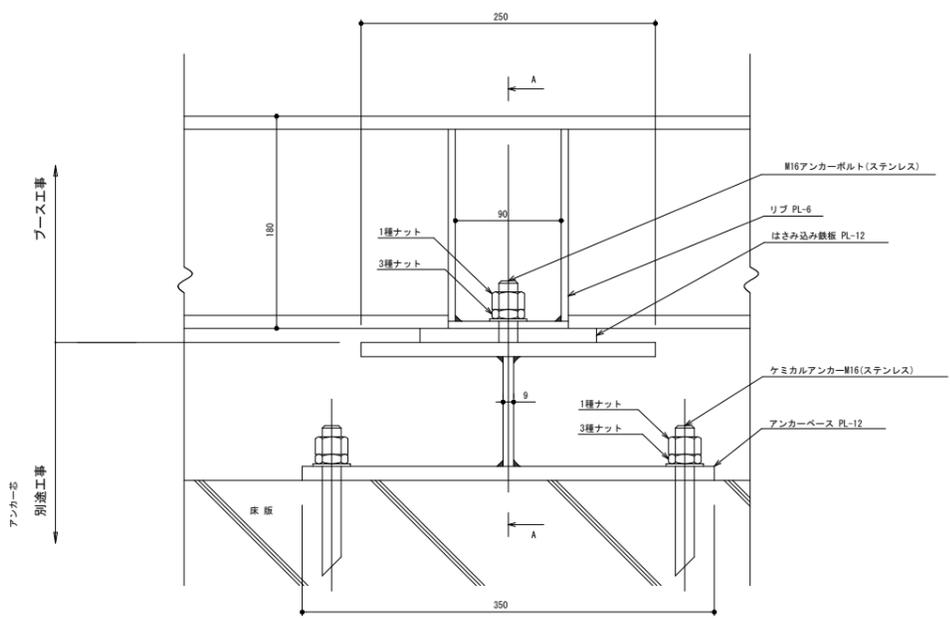
機械室ブースアンカーベース配置図 S=1/30
(ベース振付は別途工事)



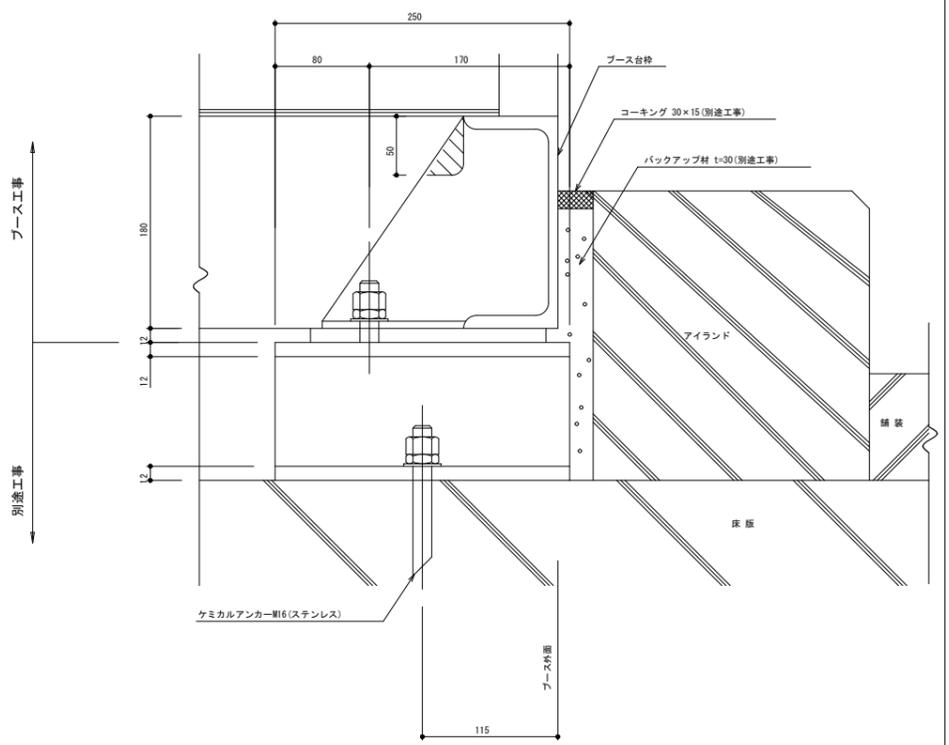
サブアンカーベース配置図 S=1/30
(ベース振付は別途工事)



台枠アンカー取合平面図 S=1/3



台枠アンカー取合正面図 S=1/3

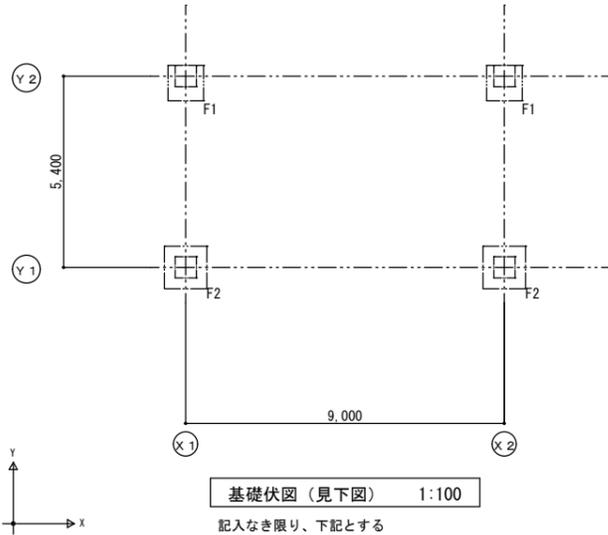


A-A断面図 S=1/3

注記:フロアヒーター設置部のみ斜線部分をカットする。

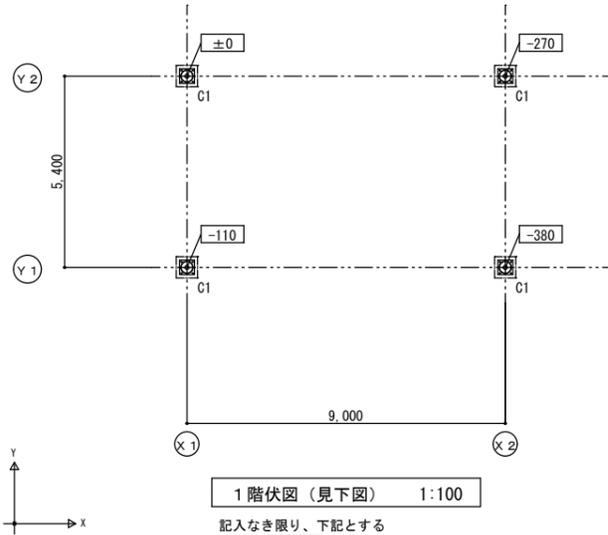
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	中山料金所 (ON) 伏図・軸組図	番号	CS-20
高速5号線			
広島高速道路公社			

共通事項		
鋼材	円型鋼管	STKM400B
	H型钢	SN400A、SN400B
	ダイヤフラム	SN490C
	ペースプレート	SN490C
	軽量型钢	SSC400
	高力ボルト	F8T
備考	・鋼材の仕上げは、溶融亜鉛メッキとすること	



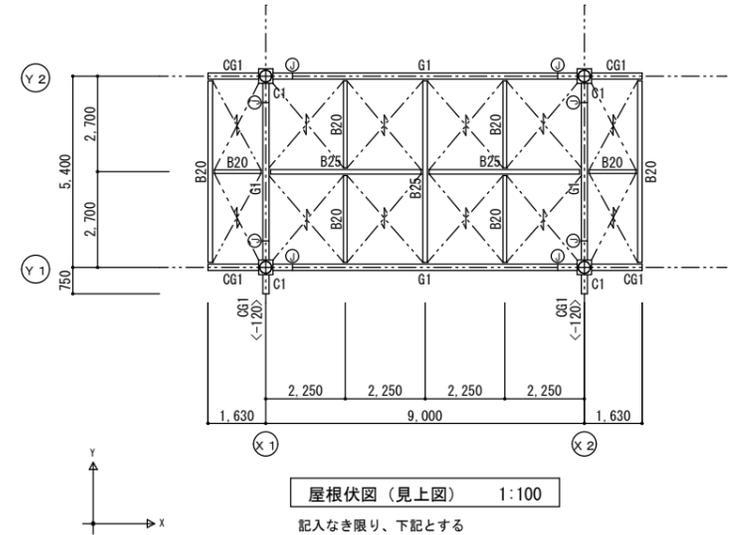
基礎伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. 基礎下端レベル GL-1000~1380
 2. 基礎は施工済みである。



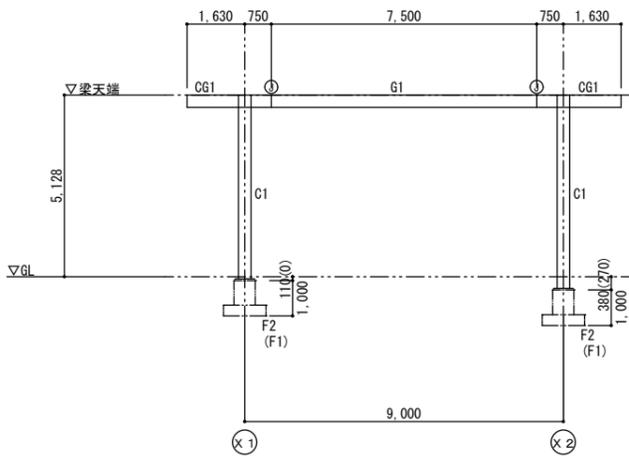
1階伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. ○○○はGLからのアイランド天端レベルを示す。
 2. アカネ印の埋込まで施工済みである。



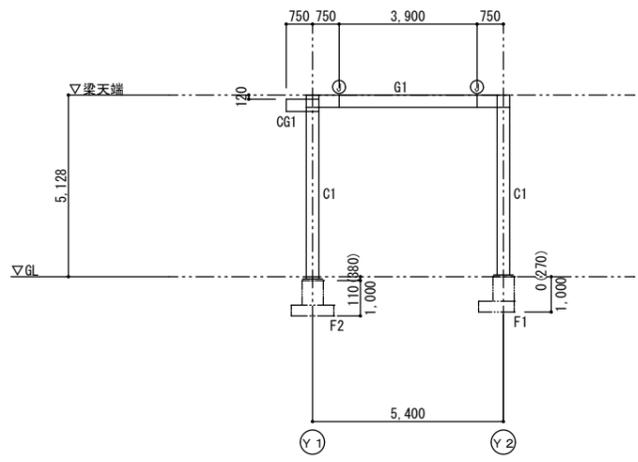
屋根伏図 (見上図) 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. 梁天端レベル GL+5128
 2. <○○○>は上記の高さからの梁天端レベルを示す。
 3. ←印は折板方向を示す。
 4. ---印は屋根ブレースHV1を示す。
 5. ⊙は現場継手位置を示す。



Y1・Y2通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. ⊙は現場継手位置を示す。
 2. ()はY2通りのレベル及び符号を示す。



X1・X2通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. ⊙は現場継手位置を示す。
 2. ()はX2通りのレベル及び符号を示す。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1 一般事項

1.1 適用範囲
この章は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等の鉄筋工事に適用する。

1.2 基本要項
(a) 鉄筋工事に用いる材料は、所定のものであること。
(b) 組み立てられた鉄筋は、所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に保持されていること。また、鉄筋の表面は、所要の状態であること。
(c) 鉄筋の継手及び定着部は、作用する力を伝達できるものであること。

1.3 配筋検査
主要な配筋は、コンクリート打込み前先立ち、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。

1.4 その他準拠基準
・ 壁式構造配筋指針・解説(日本建築学会)

2 材料

2.1 鉄筋
鉄筋は表2.1により、種類の記号は特記による。

規格番号	規格名称	種類の記号
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	S R 235, S R 295 S D 295 A, S D 295 B, S D 345, S D 390
—	建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたせん断補強筋	—

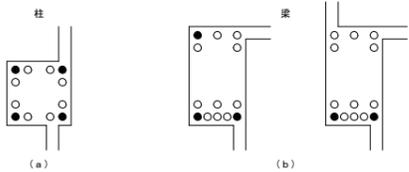
2.2 溶接金網
溶接金網はJIS G 3551(溶接金網及び鉄筋格子)により、網目の形状、寸法及び鉄線の径は特記による。

2.3 材料試験
鉄筋の品質を試験により証明する場合は、適用するJIS又は建築基準法に基づき定められた方法により、それぞれ材料に相応したものとする。

3 加工及び組立

3.1 一般事項
(a) 鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工して組み立てる。
なお、異形鉄筋の径(この章の本文、図、表において「d」で示す。)は、呼び名に用いた数値とする。
(b) 有害な曲がり又は損傷等のある鉄筋は、使用しない。
(c) コイル状の鉄筋は、直線状態にしてから使用する。この際、鉄筋に損傷を与えない。
(d) 鉄筋には、点付け溶接を行わない。また、アークストライク起してはならない。

3.2 加工
(a) 鉄筋の切断は、シヤーカー等によって行う。
(b) 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。
(1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。
(2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合(基礎梁を除く。)
(3) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む。)
(4) 杭基礎のベース筋
(5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋



(c) 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表3.1及び表3.2による。

表3.1 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所(末端部)

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)			使用箇所
		S D 295 A, S D 295 B S D 345	S D 390		
180°		D16 以下	D19 ~D38	D19 ~D38	柱・梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上	
135° 及び 90°		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上	あばら筋、帯筋、 スパイラル筋 D13以下の鉄筋
		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上	
90° 及び 90°		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上	T形及びL形の 梁のあばら筋
		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上	
135° 及び 90°		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上	幅止め筋
		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上	

表3.2 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所(中間部)

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)			使用箇所
		S D 295 A, S D 295 B S D 345, S D 390(注)			
90° 以下		D16 以下	D19 ~D25	D29 ~D38	あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
		3 d 以上	4 d 以上	—	
90° 及び 90°		4 d 以上 (5 d 以上)	6 d 以上 (6 d 以上)	8 d 以上 (8 d 以上)	その他の鉄筋
		4 d 以上 (5 d 以上)	6 d 以上 (6 d 以上)	8 d 以上 (8 d 以上)	

(注) SD390は、使用箇所が、その他の鉄筋の場合に、()内を適用する。

3.3 組立
鉄筋の組立は、鉄筋継手部分及び交差部の要所を径0.8mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にスペーサー、吊金物等を使用して行う。
なお、スペーサーは、転倒及び作業荷重等に耐えられるものとし、スラブのスペーサーは、原則として、鋼製とする。また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。

3.4 継手及び定着
(a) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手又は溶接継手とし、適用は特記による。特記又は該当する章での指定がなければ、柱及び梁の主筋はガス圧接とし、その他の鉄筋は重ね継手とする。
(b) 鉄筋の重ね継手は、次による。
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
(1) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。耐力壁の鉄筋の重ね継手の場合、特記がなければ、4dと表3.3の重ね継手長さのうち大きい値とする。
(2) (1)以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表3.3による。

表3.3 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc)(N/mm ²)	重ね継手の長さ	
		フックなし	フックあり
S D 295 A S D 295 B	18	45 d	35 d
	21	40 d	30 d
	24, 27	35 d	25 d
	30, 33, 36	35 d	25 d
S D 345	18	50 d	35 d
	21	45 d	30 d
	24, 27	40 d	30 d
	30, 33, 36	35 d	25 d
S D 390	21	50 d	35 d
	24, 27	45 d	35 d
	30, 33, 36	40 d	30 d
	—	—	—

(注) 1. L₁、L₂ : 重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL₁、L₂は、図3.1に示すようにフック部分Iを含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の数値に5dを加えたものとする。

図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(3) 隣り合う継手の位置は、表3.4による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。
なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、特記による。

表3.4 隣り合う継手の位置

フックありの場合	フックなしの場合	圧接継手・溶接継手	機械式継手の場合
a=0.5L ₁	a=0.5L ₂	a≥0.5L ₁	aは、400mm以上、かつ、(b+40)mm以上

(c) 鉄筋の定着は、次による。
(1) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、表3.5により、適用は特記による。
(2) (1)以外の鉄筋の定着の長さは、表3.5により、適用は特記による。

表3.5 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc)(N/mm ²)	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ			
		L ₁	L ₂	小梁	スラブ	L _{1a}	L _{2a}	小梁	スラブ
S D 295 A S D 295 B	18	45 d	40 d	—	—	35 d	30 d	—	—
	21	40 d	35 d	—	—	30 d	25 d	—	—
	24, 27	35 d	30 d	—	—	25 d	20 d	—	—
	30, 33, 36	35 d	30 d	—	—	25 d	20 d	—	—
S D 345	18	50 d	40 d	20 d	10 d かつ 150mm 以上	35 d	30 d	10 d	—
	21	45 d	35 d	—	—	30 d	25 d	—	—
	24, 27	40 d	35 d	—	—	30 d	25 d	—	—
	30, 33, 36	35 d	35 d	—	—	25 d	20 d	—	—
S D 390	21	50 d	40 d	—	—	35 d	30 d	—	—
	24, 27	45 d	40 d	—	—	35 d	30 d	—	—
	30, 33, 36	40 d	35 d	—	—	30 d	25 d	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. L₁、L₂ : 2. 及び3. 以外の定着長さ。
2. L₁ : 新築後おそれのない箇所への定着長さ。
3. L₂ : 小梁及びスラブの下端部の定着長さ。ただし、基礎断柱スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
4. フックありの場合のL_{1a}、L_{2a}及びL_{1b}は、図3.2に示すようにフック部分Iを含まない。
なお、フックありの場合、中間部で折曲げを行わない。
5. 軽量コンクリートの場合は、表の数値に5dを加えたものとする。

(3) 定着の方法は、図3.2による。
なお、梁主筋の柱内定着において、縦に折り曲げて定着する場合は、図3.2(d)に示すように、原則として柱せいの3/4倍以上とする。ただし、折り曲げた先の直線部の長さが10dに満たなくなる場合は、監督職員と協議する。

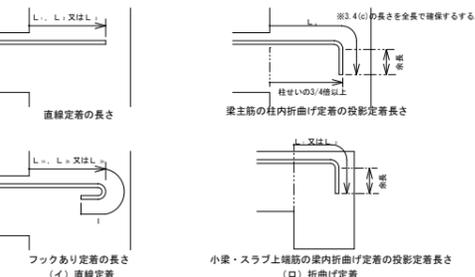


図3.2 定着の長さ

(d) その他の鉄筋の継手及び定着は、次による。
(1) 溶接金網の継手及び定着は、図3.3による。
なお、L₁及びL₂は表3.5の(注)による。

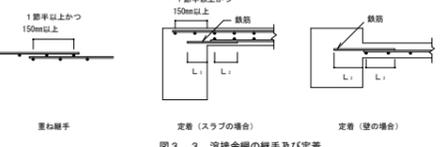


図3.3 溶接金網の継手及び定着

(2) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.4による。

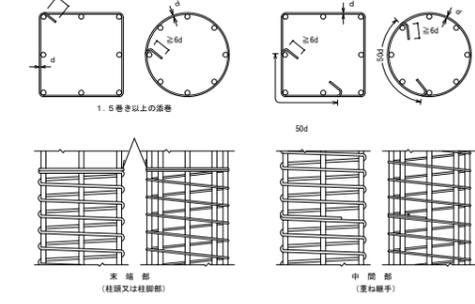


図3.4 スパイラル筋の継手及び定着

3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表3.6による。ただし、柱及び梁の主筋にD25以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表3.6 鉄筋の最小かぶり厚さ(単位: mm)

構造部分の種類	最小かぶり厚さ		
	スラブ、耐力壁 以外の壁	柱、梁、耐力壁	
土に接しない部分	仕上げあり	20	
	仕上げなし	30	
	層内	仕上げあり	30
		仕上げなし	30
	層外	仕上げあり	30
		仕上げなし	40
層外、耐圧スラブ	—	40	
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁	40	
	基礎、煙突、耐圧スラブ	60	
煙突等熱を受ける部分	—	60	

(注) 1. *部のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効で無い仕上げ(仕上り材、塗装等)のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び煙突で、直接土に接する部分のかぶり厚さは、隣コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭頭部からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
(d) 鉄筋相互のあきは図3.5により、次の値のうち最大のものを以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、特記による。

(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2) 25mm
(3) 隣り合う鉄筋の平均径(3.1(a)によるd)の1.5倍

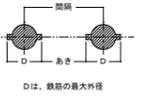


図3.5 鉄筋相互のあき

(a) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
(f) 貫通孔に挿入する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

3.6 鉄筋の保護

(a) 鉄筋の組立後、スラブ、梁等には、歩み板を置き渡し、直接鉄筋の上を歩かないようにする。
(b) コンクリート打込みによる鉄筋の乱れは、なるべく少なくする。特に、かぶり厚さ、上端筋の位置及び間隔の保持に努める。

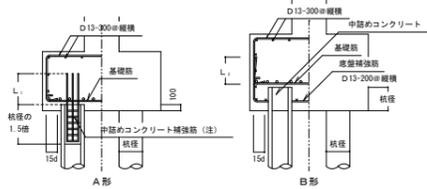
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

4 基礎及び基礎梁の配筋

4.1 杭基礎

杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法は、次に由る。
 なお、本文中の3つの数字は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の章・節・項を示している。また、図中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する。(以下、この別図において同じ。)

- 既製コンクリート杭の杭頭部の補強方法は、図1.1のA形又はB形とし、適用は特記による。特記がなければ、B形とする。
- 中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ割合のコンクリートを使用する。
- 既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。



(注) 1. 中詰めコンクリート補強筋は、次に由る。
 ● 杭径300φ以下 ……4-D13
 ● 350-400φ ……6-D13
 ● 450-600φ ……8-D13
 ● 600φ以上 ……10-D100φ
 2. 中詰めコンクリート補強筋は、フックを付けない。

図1.1 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法

4.2 直接基礎

(a) 直接基礎(独立基礎)の場合の配筋は、図1.2による。

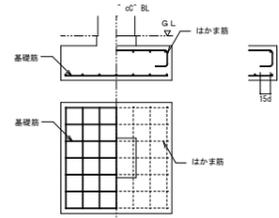


図1.2 独立基礎の配筋

(b) 直接基礎(連続基礎)の場合の配筋は、図1.3による。

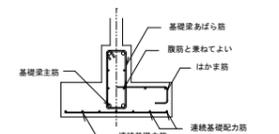
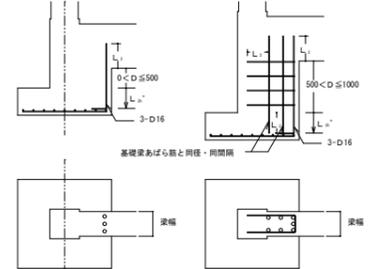


図1.3 連続基礎の配筋

4.3 基礎接合部の補強

基礎接合部の補強配筋は、図1.4による。



(注) L₁ を確保できない場合は、3.4(c)によることができる。
 図1.4 基礎接合部の補強配筋

4.4 基礎梁

(a) 一般事項

- 上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

- 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図1.5による。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、3.1(a)による。

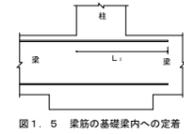
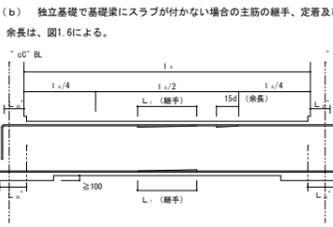
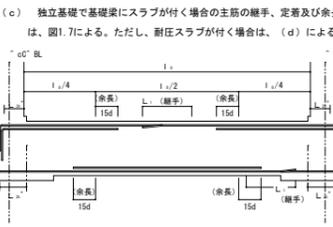


図1.5 梁筋の基礎梁内への定着



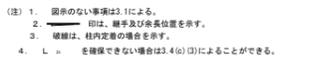
(b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.6による。



(c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.7による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。



(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.8による。



(注) 1. 図示のない事項は3.1による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. L₁ を確保できない場合は3.4(c)によることができる。

4.5 基礎梁のあばら筋等

(a) あばら筋

- あばら筋の径及び間隔は、特記による。
- あばら筋組立ての形及びフックの位置は、3.2(b)による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図1.9によることができる。

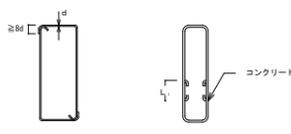


図1.9 あばら筋組立ての形及びフックの位置

- 腹筋及び幅止め筋は、3.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は、特記による。
- あばら筋の割付けは、3.2(a)による。

4.6 基礎梁の補強

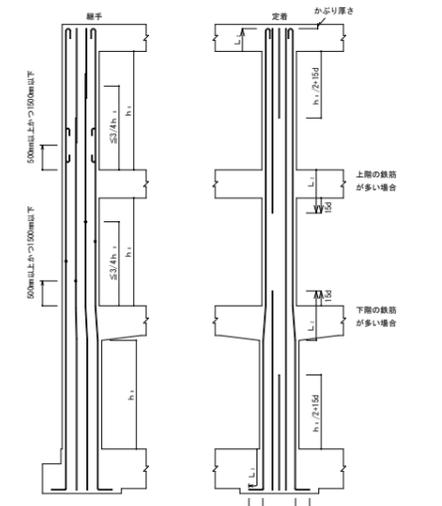
- 打増し補強筋は、3.3による。
- 土間スラブ等の打増し補強筋は、5.3(c)及び(d)による。

5 柱の配筋

5.1 柱

柱主筋の継手、定着及び余長は、次に由る。

- 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下、かつ、 $3/4h$ (h は柱の内法高さ) 以下とする。
- 継手、定着及び余長は図2.1による。ただし、柱頭定着長さL₁が確保できない場合は、オールフック付とする。



- 5.3.2 [加工] (b) (1) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 異なる継手の位置は、5.3.4による。
- 継手、定着は、すべての層に適用できる。

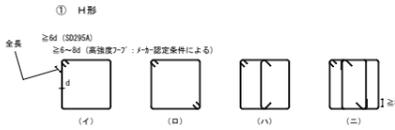
図2.1 柱主筋の継手、定着及び余長

5.2 帯筋

(a) 帯筋の種類及び間隔は、特記による。

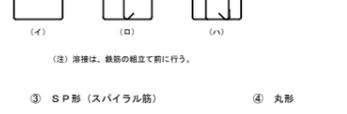
(b) 帯筋組立ての形は図2.2により、適用は特記による。特記がなければ、次による。

- H形とする。
- H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
- 溶接する場合の溶接長さL₁は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。



(注) 溶接は、鉄筋の組立て前に行う。

③ S P 形(スパイラル筋)



(注) S P 形において、柱筋及び帯筋の幅は、1.5倍以上の巻ききを行う。

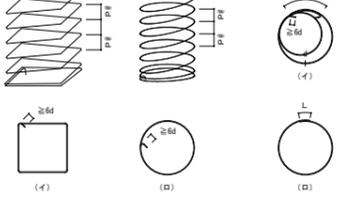
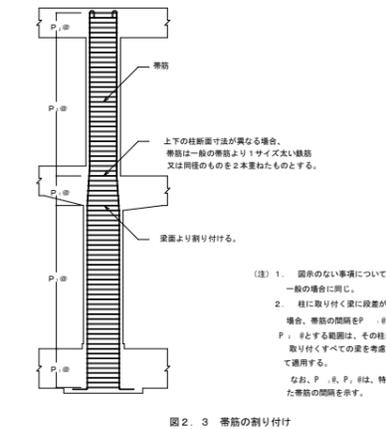


図2.2 帯筋組立ての形

- フック及び継手の位置は、交互とする。
- 帯筋の割付けは、特記による。特記がなければ、図2.3による。

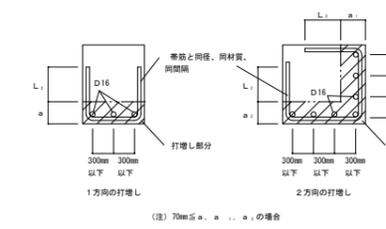


(注) 1. 図示のない事項については、一般の場合に同じ。
 2. 柱に打ち付けに段差がある場合、帯筋の間隔をP₁又はP₂とする範囲は、その柱に打ち付けすべての段差を考慮して適用する。
 なお、P₁、P₂、P₃は、特記された帯筋の間隔を示す。

図2.3 帯筋の割り付け

5.3 柱の打ち増し補強

- 柱の打ち増し補強筋は図2.4により、打増し幅が70mm以上の場合を示す。
- 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径・同材質・同間隔とし、定着長さL₁とする。
- 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。



(注) 70mm≦a、a₁、a₂の場合

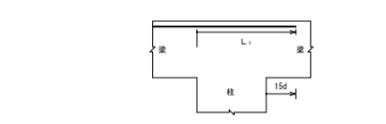
図2.4 柱の打ち増し補強筋

6 梁の配筋

6.1 大梁

(a) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- 継手中心位置は、次に由る。
 上端筋：中央 $l/2$ 以内
 下端筋：柱面より梁せい(D)以上とし、 $l/4$ を加えた範囲以内
- 継手中央部の位置、継手長さはL₁とし、定着長さ及び余長は図3.3及び図3.4による。
- 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(4)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図3.1による。



(注) 上層に柱がある場合の定着長さはL₁とし、15dを省略できる。

図3.1 梁主筋の梁内定着

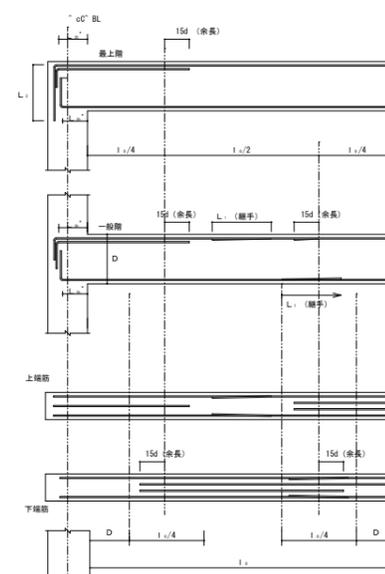
- 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は、次に由る。
 なお、定着の方法は、5.3.4 [継手及び定着] (b) (2)による。
 上端筋：曲げ降ろす。
 下端筋(一般)：曲げ上げる。ただし、やむを得ない場合は、監督職員の承認を受けて、曲げ降ろすことができる。
 下端筋(ハンチ付き)：曲げ降ろす。
- 梁にハンチをつける場合、その傾斜は特記による。特記がなければ1:4とする。
- 段違い梁は、図3.2によることができる。



図3.2 段違い梁

(注) 昇上げ筋は、一般のあばら筋より1サイズ大きい鉄筋又は同等径のものを2本重ねたものとする。

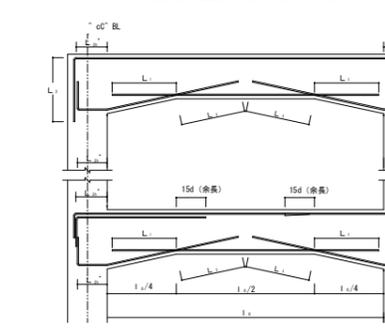
(b) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図3.3による。



- 5.3.2 [加工] (b) (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 印は、継手及び余長を示す。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。
- L₁ を確保できない場合は3.4(c) (3) によることができる。

図3.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

(c) ハンチのある場合の定着及び余長は、図3.4による。



- 5.3.2 [加工] (b) (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 印は、継手及び余長を示す。
- 梁内定着の下部下端筋が挿入するときは、 $l/4$ のように引き通すことができる。
- 破線は、柱内定着を示す。
- L₁ を確保できない場合は、3.4(c) (3) によることができる。

図3.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

6.2 あばら筋等

(a) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

- あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。
- 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、特記による。特記がなければL₁とする。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000φ程度とする。

(b) あばら筋組立ての形及びフックの位置

- 形は、図3.5 (イ) とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ)、T形梁の場合は (イ) ~ (ニ) とすることができる。



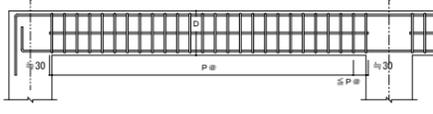
図3.5 あばら筋組立ての形

- フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L形ではスラブのつく側、T形では交互とする。
 なお、(ハ) の場合は、スラブのつく側を90°折曲げとする。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)

(c) あばら筋の割付け

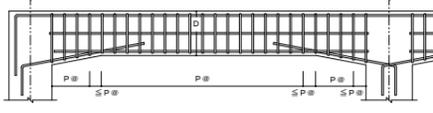
(1) 間隔が一様で、ハンチのない場合は、図3.6による。



(注) 1. あばら筋は、柱面的位置から割り付ける。
2. 図中のP_中は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.6 あばら筋の割付け(その1)

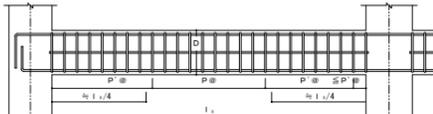
(2) 間隔が一様で、ハンチのある場合は、図3.7による。



(注) 1. あばら筋は、柱面的位置から割り付ける。
2. 図中のP_中は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.7 あばら筋の割付け(その2)

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図3.8による。



(注) 1. あばら筋は、柱面的位置から割り付ける。
2. 図中のP_中、P_端は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.8 あばら筋の割付け(その3)

(d) 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の要は、図3.9による。

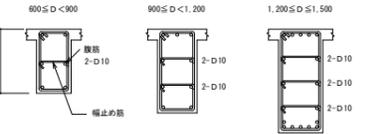


図3.9 腹筋及び幅止め筋(その1)

(2) 壁梁の場合は、図3.10による。

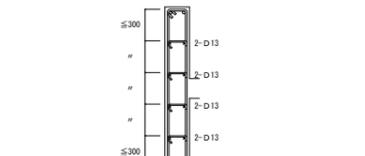
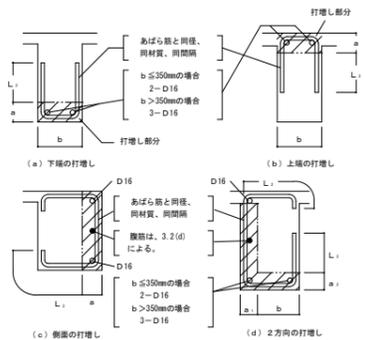


図3.10 腹筋及び幅止め筋(その2)

6.3 梁の打増し補強

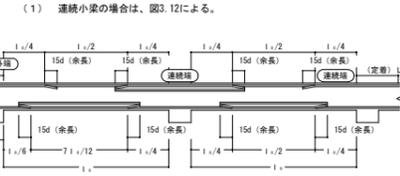
(a) 梁の打増し補強筋は図3.11により、打増し幅が70mm以上の場合は示す。
(b) 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径・同材質・同間隔とし、定着長さL₁とする。



(注) 70mm ≤ a、a、a' の場合
図3.11 梁の打増し補強配筋

6.4 小梁

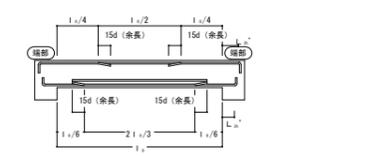
(a) 小梁主筋の継手、定着及び余長



(注) 1. 印は、継手及び余長位置を示す。
2. 図示のない事項は、1.4及び3.11に準ずる。

図3.12 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

(2) 単独小梁の場合は、図3.13による。



(注) 1. 印は、継手及び余長位置を示す。
2. 図示のない事項は、1.4及び3.11に準ずる。
3. L₁、L₂ を確保できない場合は3.4(a)(b)(c)によることができる。

図3.13 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)



(注) 1. 印は、継手及び余長位置を示す。
2. 図示のない事項は、1.4及び3.11に準ずる。
3. L₁、L₂ を確保できない場合は3.4(a)(b)(c)によることができる。

図3.14 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

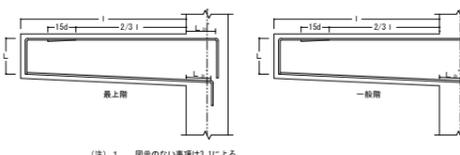
(b) あばら筋は、3.2による。

(c) 打増し補強筋は、3.3による。

6.5 片持梁

(a) 片持梁主筋の定着及び余長

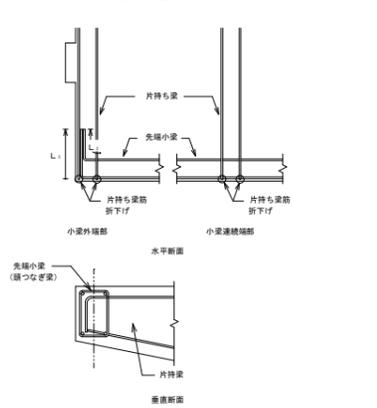
(1) 先端に小梁のない場合は、図3.14による。



(注) 1. 図示のない事項は3.11による。
2. 印は、余長を示す。
3. 先端の折曲げの長さL₁は、梁せいのより厚さを除いた長さとする。
4. 腹筋を引き過ぎない場合は、取合い材に定着する。ただし、柱に取合する場合、全取合を要する場でも、上腹筋は、2本以上を柱に定着する。
5. L₁、L₂ を確保できない場合は3.4(a)(b)(c)によることができる。

図3.14 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁のない場合)

(2) 先端に小梁がある場合は、図3.15による。



(注) 1. 図示のない場合は、(1)による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続筋は、片持梁の先端を貫通する過し筋としてよい。

図3.15 片持梁主筋の定着

(b) あばら筋は、3.2による。

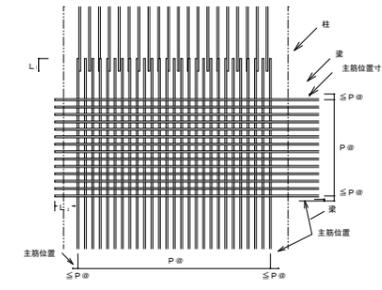
(c) 打増し補強筋は、3.3による。

7 壁、その他の配筋

7.1 壁

(a) 一般事項

(1) 壁配筋の重ね継手及び定着の長さは、特記がなければL₁とする。
(2) 土圧等を受ける壁及び耐震壁として特記されたものは、重ね継手長さをL₁、定着長さをL₂とする。
(3) 重ね継手及び定着の長さが取れない場合は、監督職員と協議する。
(4) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000程度とする。
(5) 一般部壁の配筋は、図4.1による。



(注) 図中のP_中は、特記された壁筋の間隔を示す。

図4.1 壁の配筋

(b) 壁の基準配筋は表4.1により、種別は特記による。

種別	縦筋及び横筋	断面図
W10	D10-250@シングル	100
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(c) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表4.2により、種別は特記による。

種別	縦筋及び横筋	断面図	階段の配筋種別(表6.1)
KW1	縦筋 D13-200@ ダブル	100	KA1
	横筋 D10-200@ ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ ダブル	200	KA2
	横筋 D10-200@ ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

(d) 壁の交差部及び端部の配筋は、図4.2による。

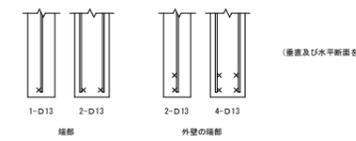
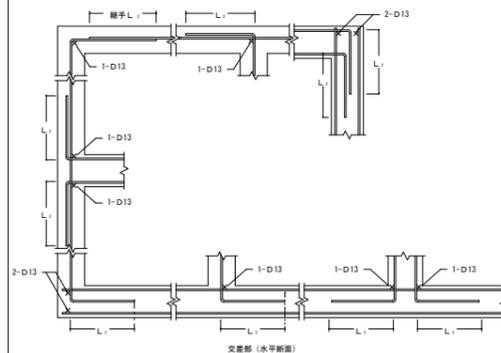


図4.2 壁の交差部及び端部の配筋

7.2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強

(1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋はA形は表4.3、B形は表4.4とし、適用は特記による。特記がなければ、B形とする。
なお、耐震壁の補強筋は、特記による。

壁の種別	補強筋	
	縦、横	斜め
W12、W15	1-D13	1-D13
W18、W20	2-D13	2-D13

壁の種別	補強筋	
	縦、横	斜め
W12、W15	2-D13	1-D13
W18、W20	4-D13	2-D13

(2) 壁開口部補強の定着長さは、図4.3による。

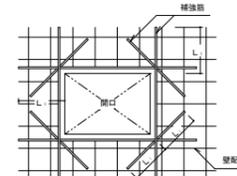


図4.3 壁開口部補強筋の定着長さ

(3) 開口部が柱及び梁に接する部分又は最大径が300mm以下で鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
(b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記による。

(c) 壁の打増し補強配筋
壁の打増し補強配筋は図4.4により、打増し厚さaが50mm以上の場合に適用する。

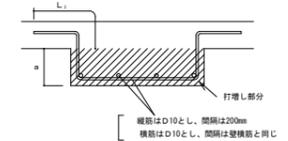


図4.4 壁の打増し補強配筋

7.3 パラベット

パラベットの配筋は、表4.5による。

コンクリート厚さ	方向	配筋	先端補強筋
特記による	縦	D10-150ダブル	D10-150@ 4-D13
	横	D10-150ダブル	D10-150@ 4-D13

8 スラブの配筋

8.1 スラブ

スラブの配筋は、次による。

(1) スラブの基準配筋(S形基準配筋)は表5.1及び図5.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、特記による。

表5.1 S形基準配筋

配筋種別	短辺方向(主筋) 全域		長辺方向(主筋) 全域	
	配筋	短辺方向(主筋) 全域	配筋	長辺方向(主筋) 全域
S1	D13-100@	D13-100@	S8	D10、D13-150@
S2	同上	D13-150@	S9	同上
S3	同上	D10、D13-150@	S10	D10、D13-200@
S4	D13-150@	D13-150@	S11	同上
S5	同上	D10、D13-150@	S12	同上
S6	同上	D10-150@	S13	D10-200@
S7	D10、D13-150@	D10、D13-150@	S14	同上

(注) 上縁筋、下縁筋とも同一配筋とする。



図5.1 スラブの配筋

(2) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
(3) 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。
(4) 定着長さ及び受け筋は、図5.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図5.3により梁内に定着する。

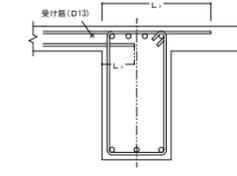


図5.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)

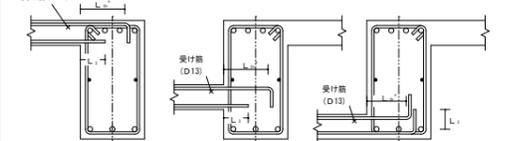


図5.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

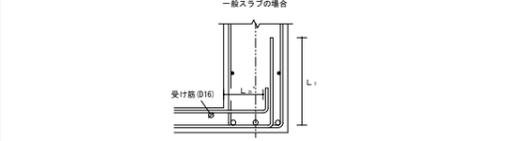


図5.4 片持スラブの配筋(CS1からCS5)

8.2 片持スラブ

片持スラブの配筋は、次による。

(1) 片持スラブの基準配筋(CS形基準配筋)は表5.2並びに図5.4及び図5.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、特記による。

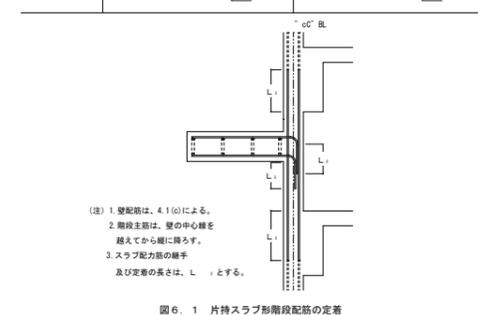
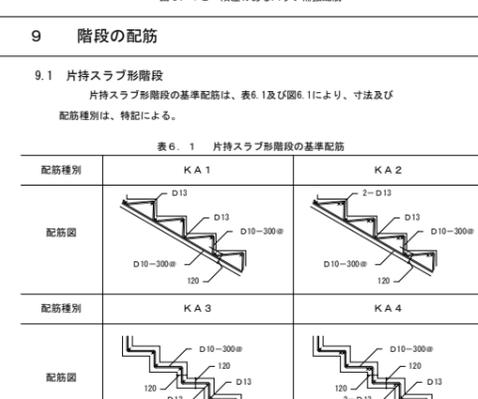
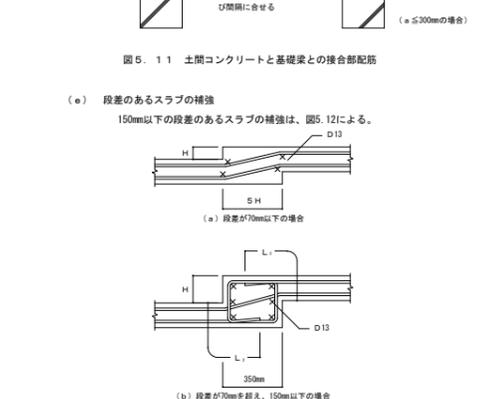
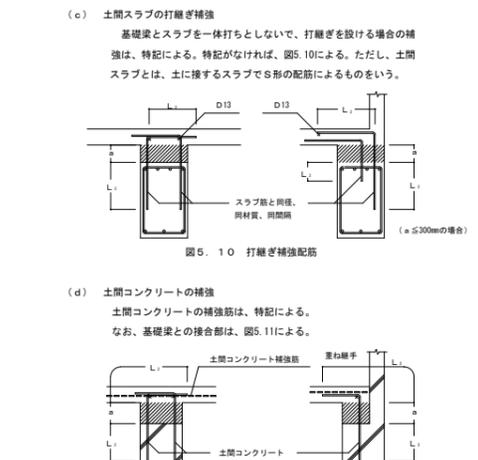
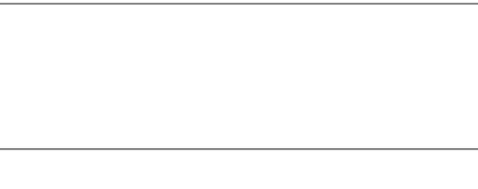
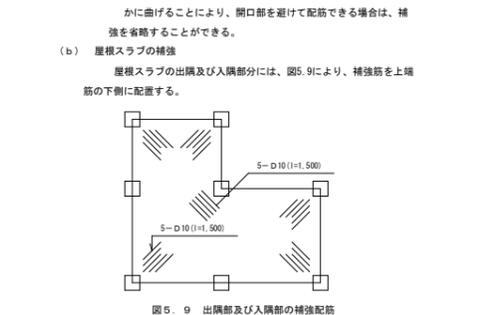
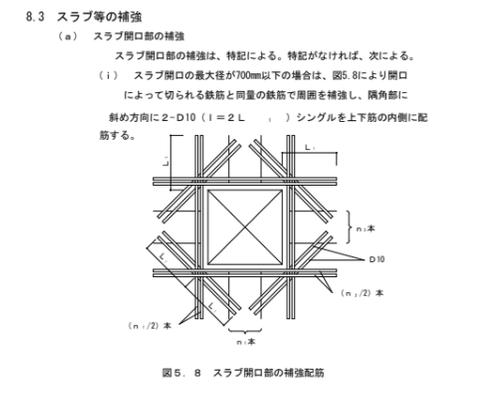
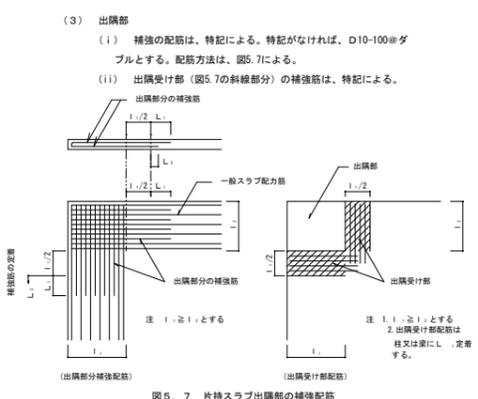
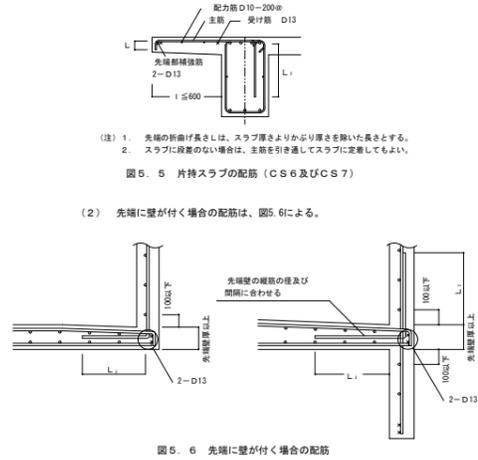
配筋種別	主筋		配筋種別	主筋	
	上	下		上	下
CS1	上	D13-100@	CS5	上	D10-200@
	下	D13-200@		下	D10-400@
CS2	上	D13-150@	CS6	上	D10、D13-200@
	下	D13-300@		下	—
CS3	上	D10、D13-150@	CS7	上	D10-200@
	下	D10、D13-300@		下	—
CS4	上	D10、D13-200@	CS8	上	—
	下	D10-200@		下	—



(注) 1. 先端の折曲げの長さL₁は、スラブ厚さより厚さを除いた長さとする。
2. スラブに取合のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

図5.5 片持スラブの配筋(CS1からCS8)

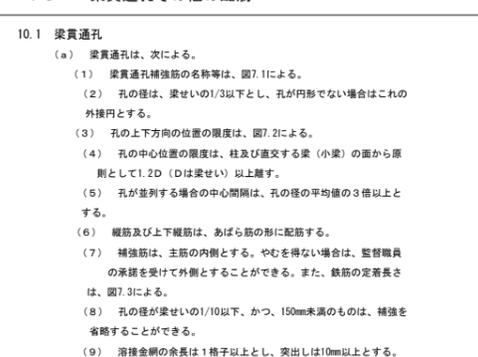
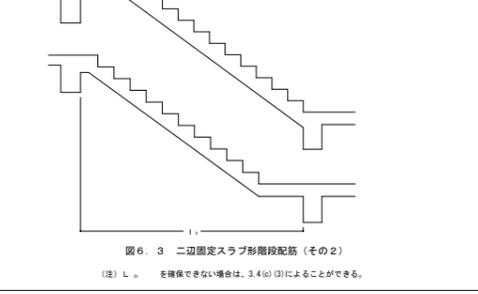
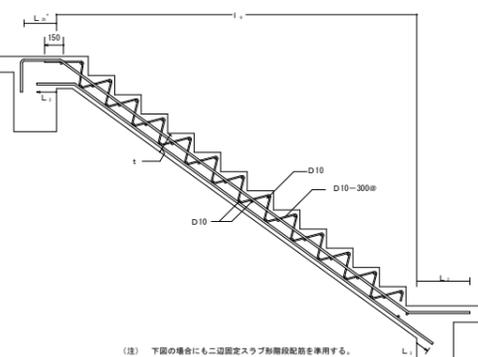
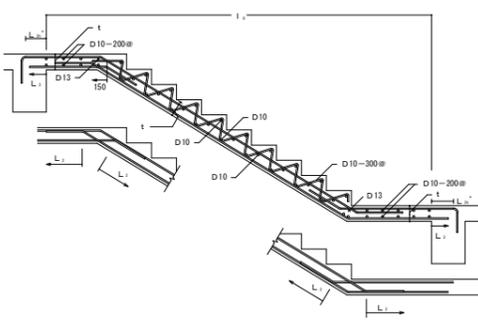
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)



9.2 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋は表6.2並びに図6.2及び図6.3により、寸法及び配筋種別は、特記による。

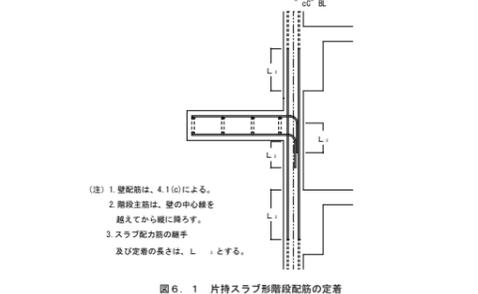
配筋種別	スラブ厚さ t (mm)	上端筋、下端筋 全長
KB 1	150	D13-200φ
KB 2	150	D13-150φ
KB 3	150	D13-100φ
KB 4	180	D13, D16-150φ
KB 5	180	D16-150φ
KB 6	180	D16-125φ
KB 7	200	D16-100φ



9 階段の配筋

9.1 片持スラブ階段
片持スラブ階段の基準配筋は、表6.1及び図6.11により、寸法及び配筋種別は、特記による。

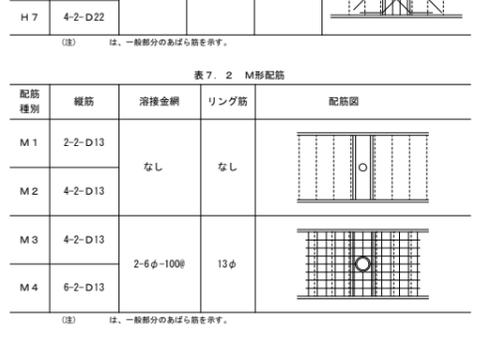
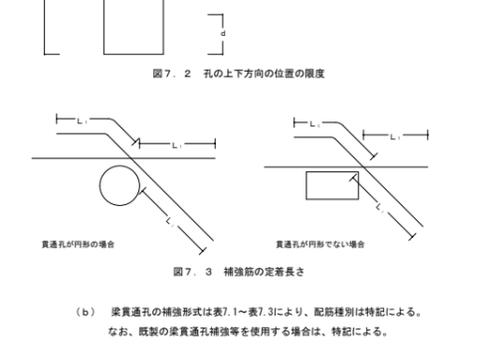
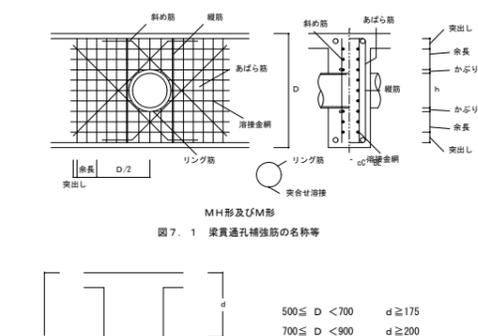
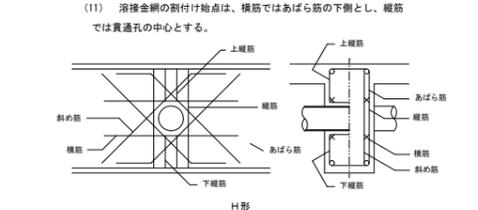
配筋種別	KA 1	KA 2
配筋図		
配筋種別	KA 3	KA 4
配筋図		



10 梁貫通孔その他の配筋

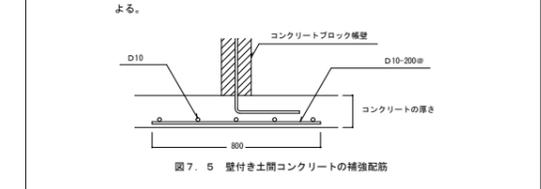
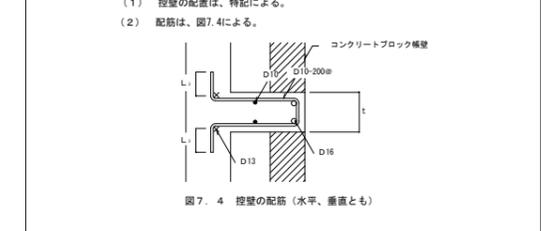
10.1 梁貫通孔
(a) 梁貫通孔は、次による。
(1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図7.1による。
(2) 孔の径は、梁せい1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外積円とする。
(3) 孔の上下方向の位置の限度は、図7.2による。
(4) 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁(小梁)の面から原則として1.2D(Dは梁せい)以上とする。
(5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
(6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(7) 補強筋は、主筋の内側とする。やむを得ない場合は、監督職員の承認を受けて外側とすることができる。また、鉄筋の定着長さは、図7.3による。
(8) 孔の径が梁せい1/10以下、かつ、150mm未満のものは、補強を省略することができる。
(9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。

10.2 コンクリートブロック横壁との取合い



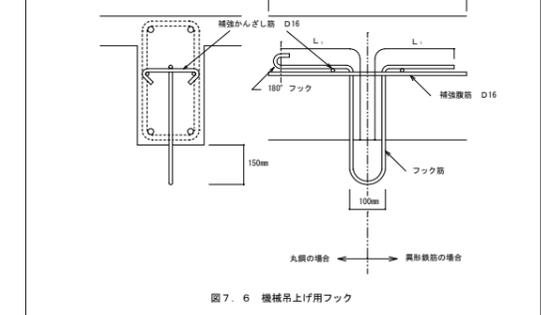
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	リング筋	配筋図
MH 1	なし	なし	なし	なし	
MH 2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
MH 3	2-2-D13	なし	なし	なし	
MH 4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	13φ	
MH 5	4-2-D16	なし	なし	なし	
MH 6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100φ	13φ	
MH 7	4-2-D19	なし	なし	なし	

10.2 コンクリートブロック横壁との取合い
(a) 控壁
(1) 控壁の配筋は、特記による。
(2) 配筋は、図7.4による。



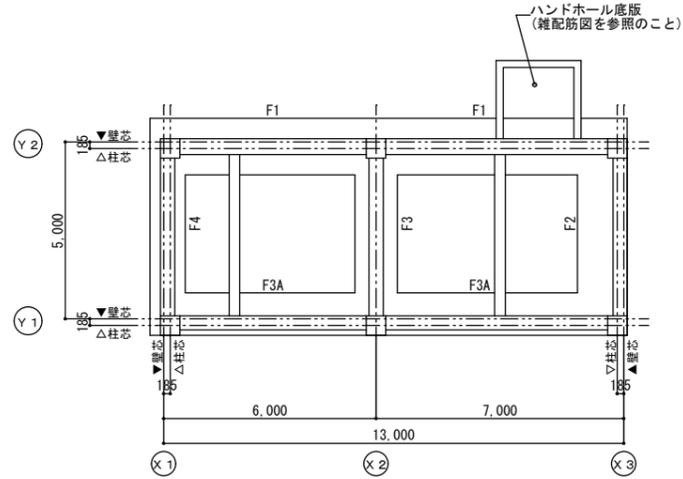
10.3 機械吊上げ用フック
梁に設ける機械吊上げ用フックは表7.4及び図7.6により、種別は特記による。

種別	A種	B種	C種
フック筋	φ25又はD25	φ22又はD22	φ19又はD19
曲げ内のり直径 (mm)	100		
補強かんざし筋	2-D16		
補強鉄筋 (mm)	D16, l=900	D16, l=750	D16, l=600
吊上げ荷重 (KN)	50≧W>30	30≧W>10	10≧W



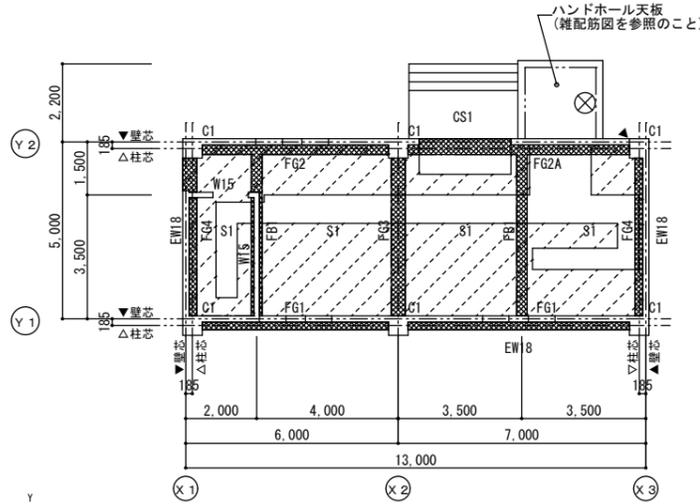
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	中山電気室 伏図・軸組図	番号	CS-05
高速5号線			
広島高速道路公社			

共通事項				
長期鉛直地耐力	qa=100kN/m ² (支持層: 砂質土層 N ₆₀ ≥20 GL-2.64m)	土間コンクリート	普通コンクリート F _c =24N/mm ² S=18cm	備考 ・打設時期にあった構造体強度補正を行うこと ・コンクリートの仕様は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事)最新版」による ・基礎下の表層改良は、施工済である。 なお、基礎傾斜部は改良体の一部を掘削する必要がある。
鉄筋	D19未満 SD295A (重ね継手) D19以上 SD345 (圧接)	捨てコンクリート	普通コンクリート F _c =18N/mm ² S=15cm ・コンクリート厚 50mm	
コンクリート	普通コンクリート F _c =24N/mm ² S=18cm	砕石	・厚さ 100mm	
基礎コンクリート	普通コンクリート F _c =24N/mm ² S=15cm			



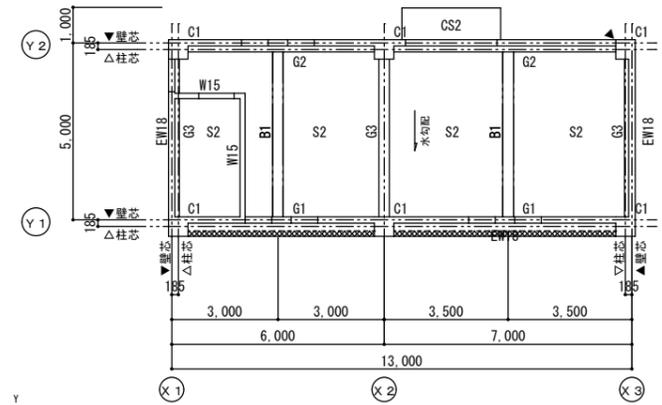
基礎伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 基礎下端レベル: GL-680 (一部、GL-2,000※軸組図参照)



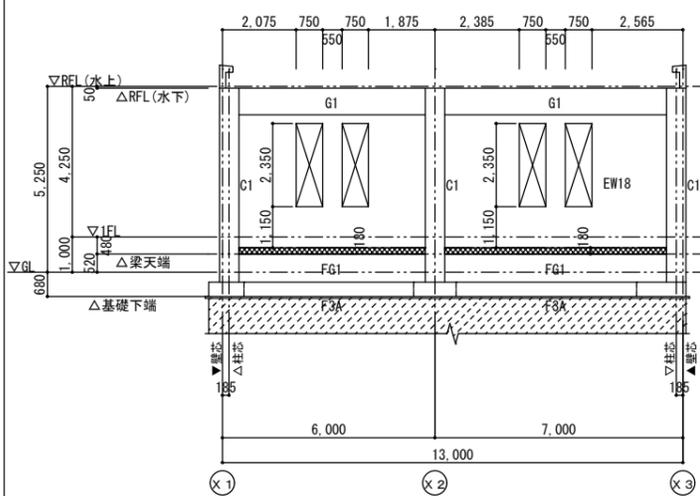
1階床伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 基礎梁天端レベル: GL+520 (Y2通りのみ、GL+410)
2. 床レベル: GL+700
3. 壁はW18とする。
4. 床はS1とする。
5. ▼はスリットを示す。
6. [斜線]は増打ち範囲を示す。
7. [点線]は無筋コンクリートt=300増打ちを示す。



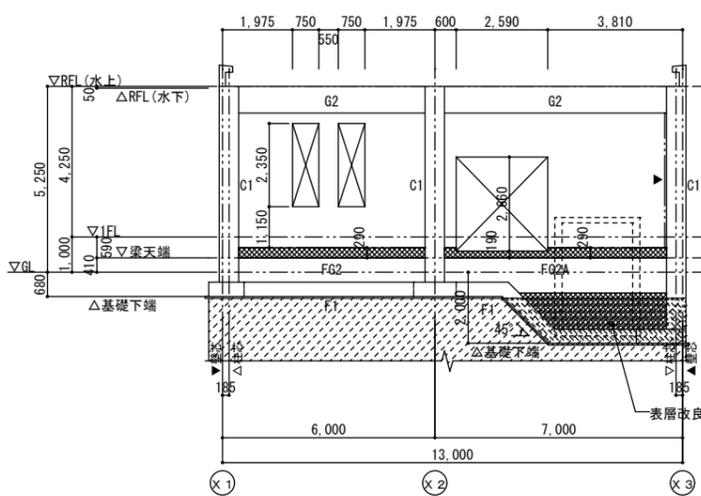
1階柱壁R階梁床伏図 (見上図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 梁天端レベル: RFL-50 (Y1) ~ ±0 (Y2)
2. 床レベル: RFL-50 (Y1) ~ ±0 (Y2)
3. 壁はW18とする。
4. 床はS2とする。
5. ▼はスリットを示す。



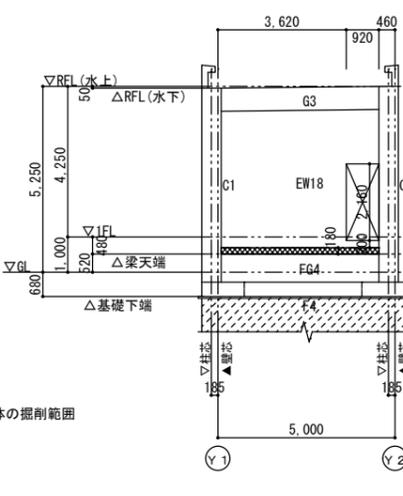
Y1通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]は増打ち範囲を示す。
4. [点線]は施工済の表層改良範囲を示す。



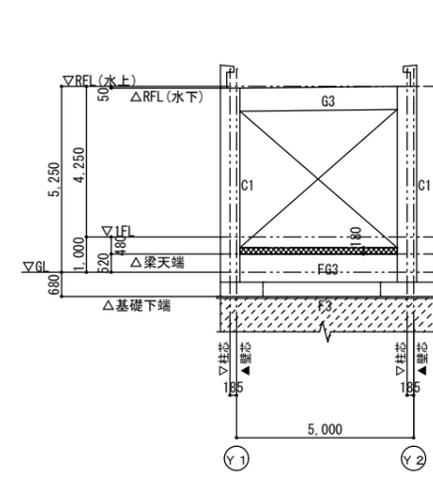
Y2通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]は増打ち範囲を示す。
4. [点線]は施工済の表層改良範囲を示す。



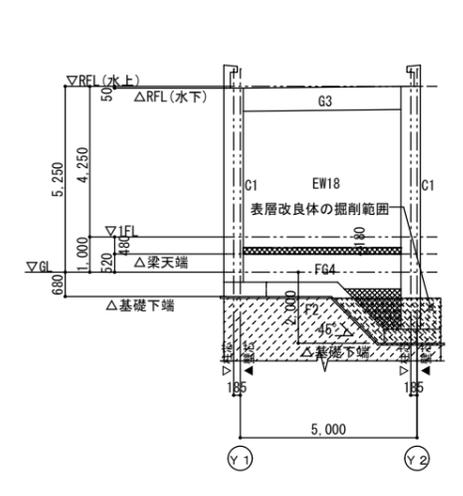
X1通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]は増打ち範囲を示す。
4. [点線]は施工済の表層改良範囲を示す。



X2通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]は増打ち範囲を示す。
4. [点線]は施工済の表層改良範囲を示す。



X3通り軸組図 1:100

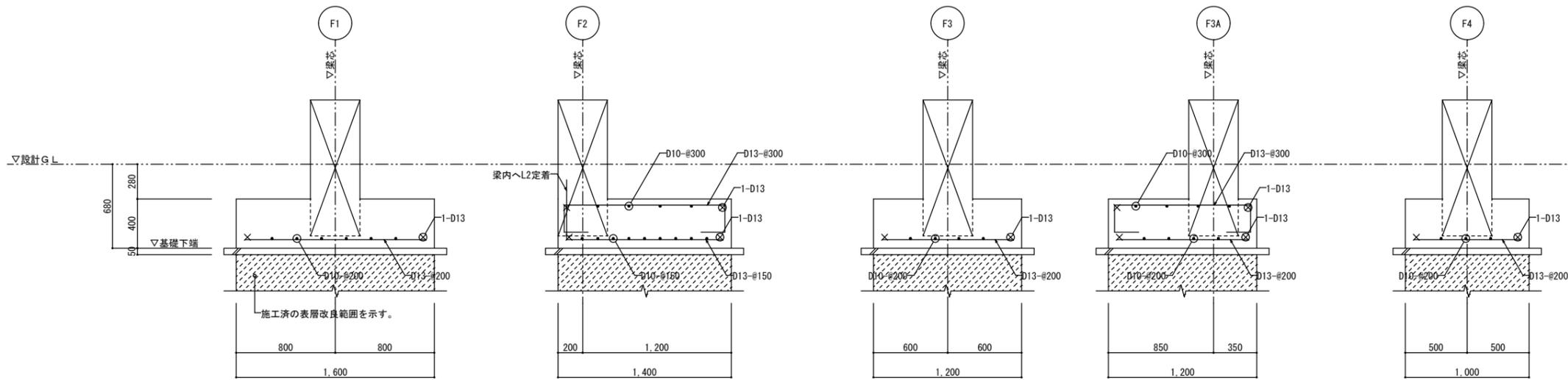
記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]は増打ち範囲を示す。
4. [点線]は施工済の表層改良範囲を示す。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山電気室 基礎リスト	番号	CS-06
高速5号線			
広島高速道路公社			

基礎梁リスト 1:20

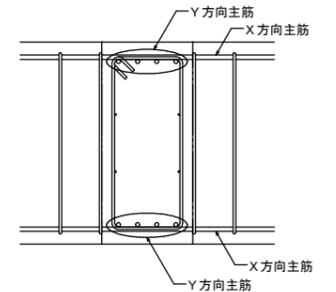
特記外 1. 巾止筋はD10-@1,000とする。

符号	FG1		FG2		FG2A			FG3	FG4	FB1
	位置	外端	中央・内端 (X2通り側)	外端	中央・内端 (X2通り側)	外端 (X3通り側)	中央	内端 (X2通り側)	全断面	全断面
断面										
b x D	400 x 1100		450 x 990		450 x 990			400 x 1100	400 x 1100	300 x 700
上端筋	4-D19	4-D19	5-D19	5-D19	5-D19	7-D19	5-D19	6-D19	4-D19	3-D19
下端筋	4-D19	6-D19	5-D19	7-D19	5-D19	5-D19	7-D19	4-D19	4-D19	3-D19
S T P	□ -D13-@200		□ -D13-@200		□ -D13-@200			□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D10-@200
腹筋	4-D10		4-D10		4-D10			4-D10	4-D10	2-D10

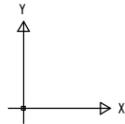


基礎リスト 1:20

基礎梁主筋上下配筋要領図



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山電気室	番号	CS-07
	柱・梁・壁・スラブリスト		
高速5号線			
広島高速道路公社			



柱リスト 1:20

特記外 1. 柱主筋は、全数フック付とする。

符号	C1	
柱頭/柱脚仕口HOOP	□ -D10-@120	
1階		
B x D	550 x 550	
主筋	12-D19	
HOOP	x	□ -D10-@100
	y	□ -D10-@100
幅止め筋	—	

梁リスト 1:20

特記外 1. 巾止筋はD10-@1,000とする。

符号	G1		G2		G3	B1
	位置	外端	中央・内端 (X2通り側)	外端	中央・内端 (X2通り側)	全断面
R階						
b x D	300 x 750		350 x 750		300 x 650	300 x 600
上端筋	3-D19	5-D19	4-D19	7-D19	3-D19	3-D19
下端筋	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19
S T P	□ -D10-@200		□ -D10-@200		□ -D10-@200	□ -D10-@200
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10

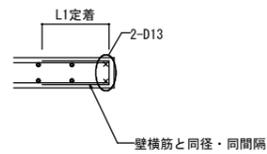
壁リスト 1:20

特記外 1. 巾止筋はD10-@1,000とする。

符号	W15	W18・EW18	開口部補強筋
断面			
縦筋	D10-@200 S	D10-@200 D	
横筋	D10-@200 S	D10-@200 D	
開口部補強筋	a	1-D13	4-D13
	b	1-D13	2-D13
	c	1-D13	—
端部補強筋	1-D13	2-D13	

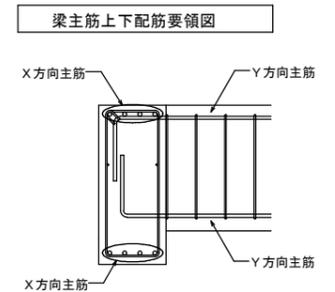
スラブリスト

符号	床厚	位置	短辺方向(主筋方向)			長辺方向(配力筋)		
			端部	中央	周辺部	端部	中央	周辺部
S1	180	上筋	D13-@100	←	←	D13-@100	←	←
		下筋	D13-@100	←	←	D13-@100	←	←
S2	150	上筋	D10-D13-@200	←	←	D10-D13-@200	←	←
		下筋	D10-D13-@200	←	←	D10-D13-@200	←	←
CS1	180	上筋	D13-@100	←	←	D10-@200	←	←
		下筋	D10-@100	←	←	D10-@200	←	←
CS2	150	上筋	D13-@200	←	←	D10-@200	←	←
		下筋	D10-@200	←	←	D10-@200	←	←

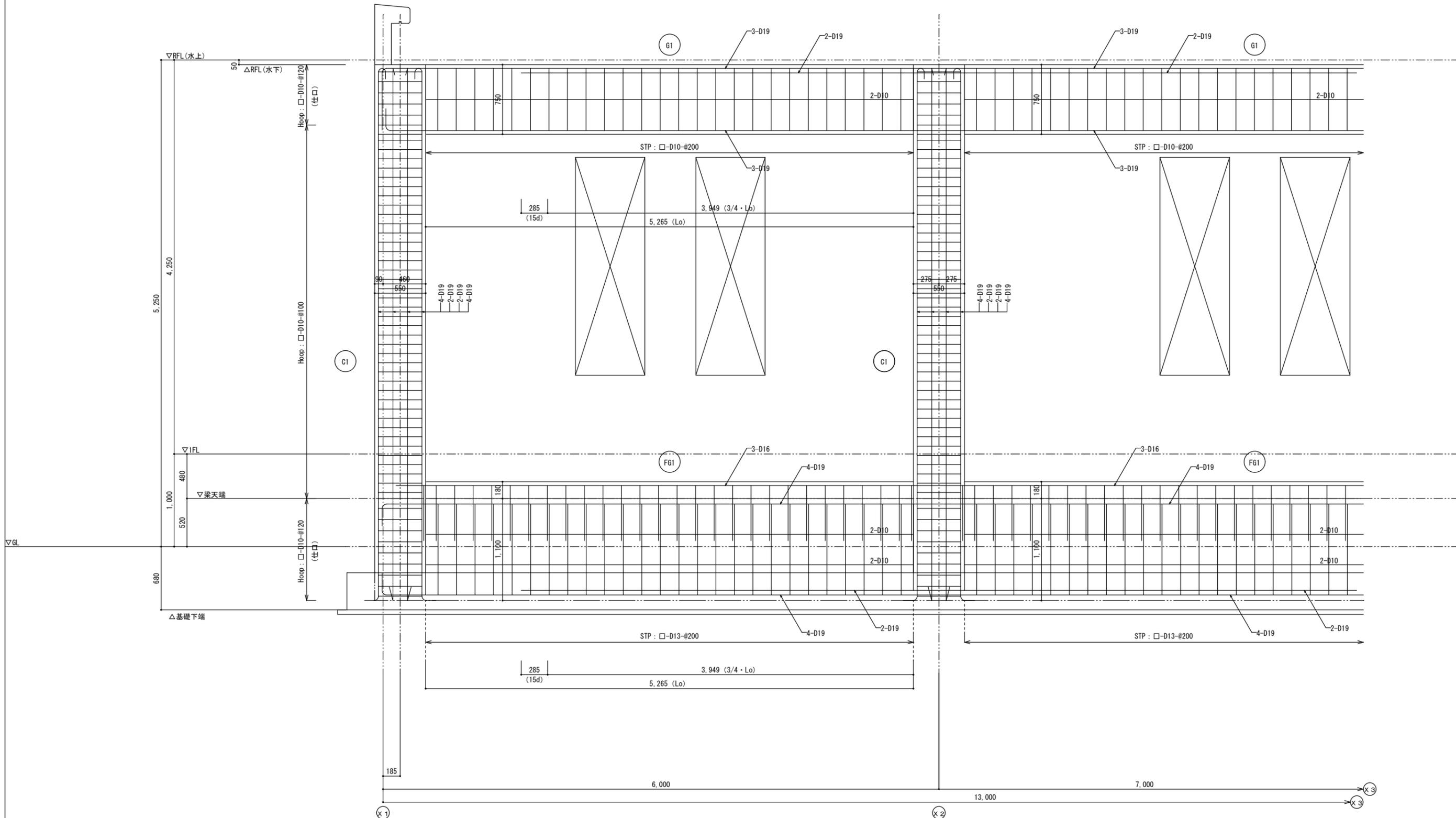


壁端部補強筋 1:20

特記外 1. EWの壁のみ適用すること。



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山電気室 架構配筋詳細図	番号	CS-08
高速5号線			
広島高速道路公社			

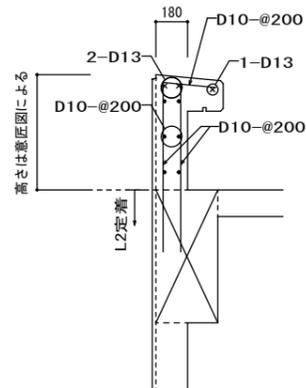


Y 1 通り配筋詳細図 1:20

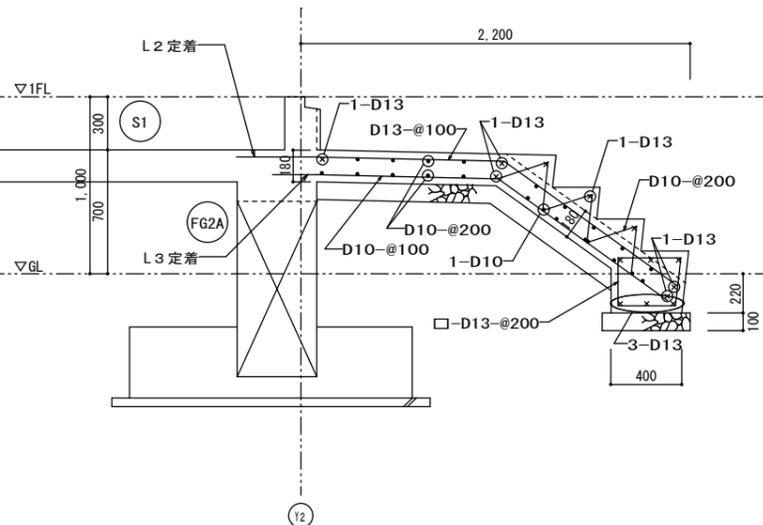
1. 柱主筋は、全数フック付とする。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山電気室 雑配筋詳細図	番号	CS-09
高速5号線			
広島高速道路公社			

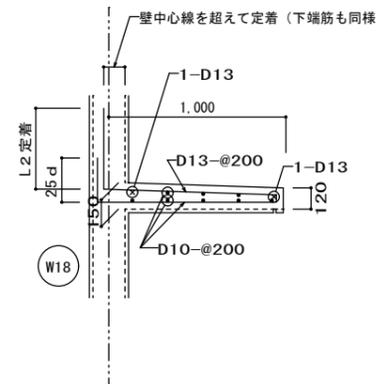
バラベツ配筋詳細図 1:20



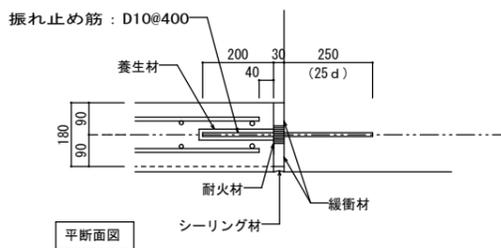
CS1配筋詳細図 1:20



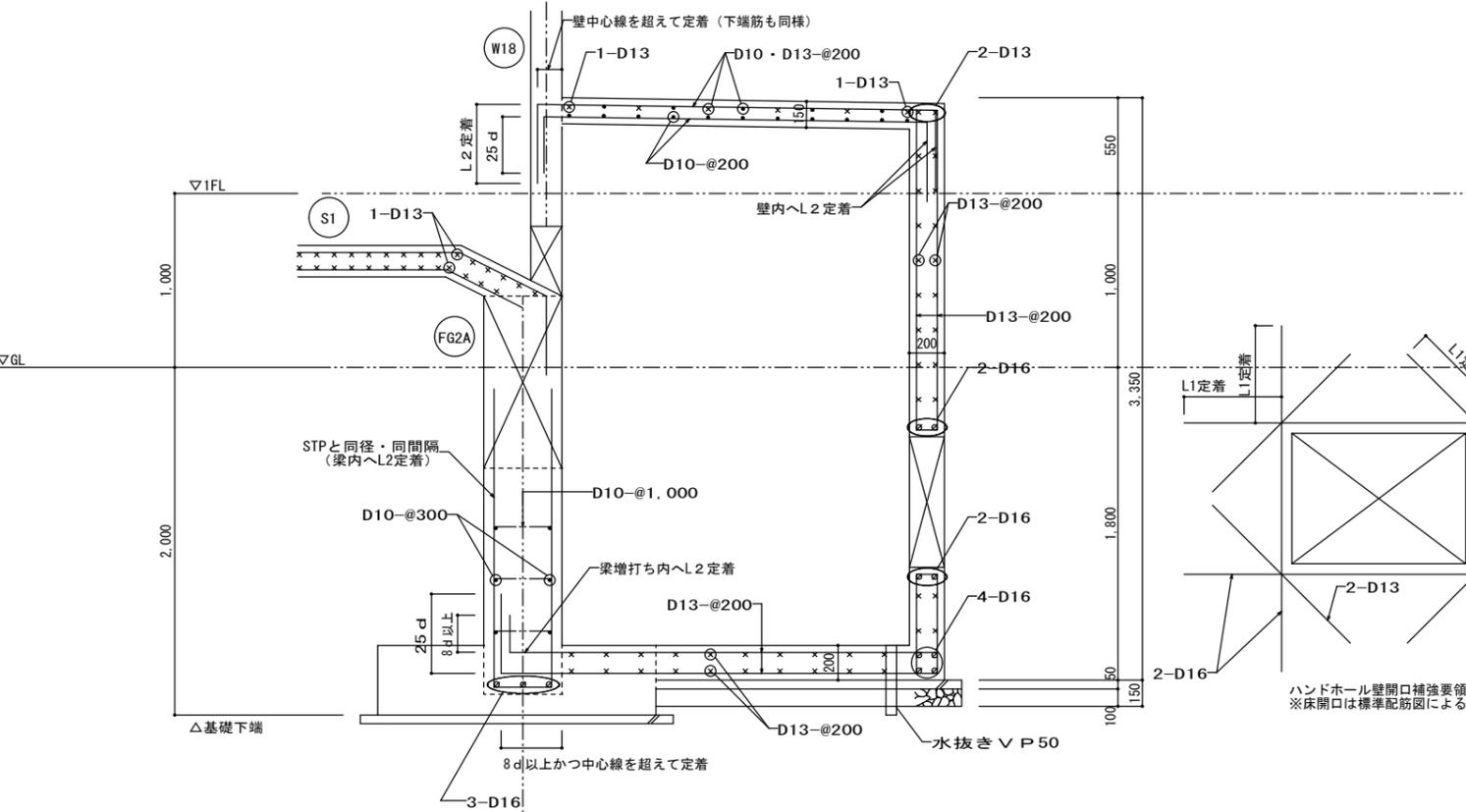
CS2配筋詳細図 1:20



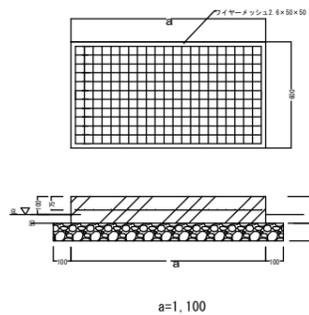
スリット断面詳細図 1:10



ハンドホール配筋詳細図 1:20



コンクリート基礎 1:5



ハンドホール壁開口補強要領
※床開口は標準配筋図による

鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
 - (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、制度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
 - (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 - (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本籍に使用するボルトと、仮締めのボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
 - (ロ) アークエア-ガウジング機 (直流)
 - (ハ) サブマージアーク溶接機一式
 - (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ヘ) 溶接棒乾燥機
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接 (MC)
 - セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC)
 - ガスシールドアーク半自動溶接機 (GC)
 - アークエア-ガウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢
- アーク手溶接 (MC) の溶接姿勢
- 下向 F
 - 立向 V
 - 横向 H
 - 上向 O
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 組立て溶接は溶接の始、終端、隅部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚と同形状のエンドタブを取り付ける
 - エンドタブの材質は、母材と同質とする
 - エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 - プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルアールとする
- 但し梁端が150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする
- (ニ) ノンスカラップ工法
- (ホ) 裏はつり
- 縁部溶接において AAG と記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行なう
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート開削 R: フェース S: 鋭長 (単位mm)

(1) 隅肉溶接

t ≤ 16mm				
t	7以下	8~10	11~13	14~16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS=tとする
・tはt₁、t₂のなる方とする
・余盛は(1+0.1S)mm以下とする
・軸力が加わる場合はSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所) (注)

R ≤ 2 t / 4 ≤ S ≤ 10mm t ≤ t₁

t	t > 16mm
溶接姿勢	F、V

・両側に補強隅肉溶接を付加する

(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

(イ) 平継手

f = t / 4

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F、V

・両側に補強隅肉溶接を付加する AAG

(ロ) T形継手

f = t / 4

のど厚 t mm		余盛の高さ mm	
t mm	θ	G	t ₁ L
6 ≤ t < 12	45°	6	6 5 45° 6 6 5
12 ≤ t < 16	35°	9	9 8 45° 6 9 8
16 ≤ t	35°	9	9 8 35° 9 9 8
溶接姿勢	F、V		

・両側に補強隅肉溶接を付加する

(ハ) T形合せ継手余盛

f = t / 4

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F、V

・AAG () 内はGCはF、Hの場合
・両側に補強隅肉溶接を付加する

(ニ) 平継手

f ≥ 0.5mm (ただし、t ≥ 15mm以上のとき4mmとする)

a > 4mmの場合 (平継手で板厚が異なるとき)

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F、V

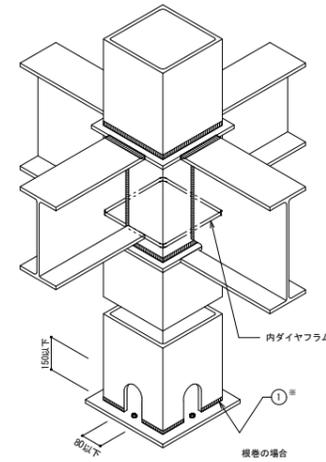
・両側に補強隅肉溶接を付加する

(4) フレア溶接

寸法 (mm)			
φ	B	S	t
9	7	4	4
13	8	4.5	5
16	9	5	6
19	10	6	7
22	11	7	8
25	12	8	

・フレア溶接長は、鋼板に接する全長とする
・9~16mmは1/3以上、19mm以上は2/3以上とする
・溶接角度θは30°~40°とする

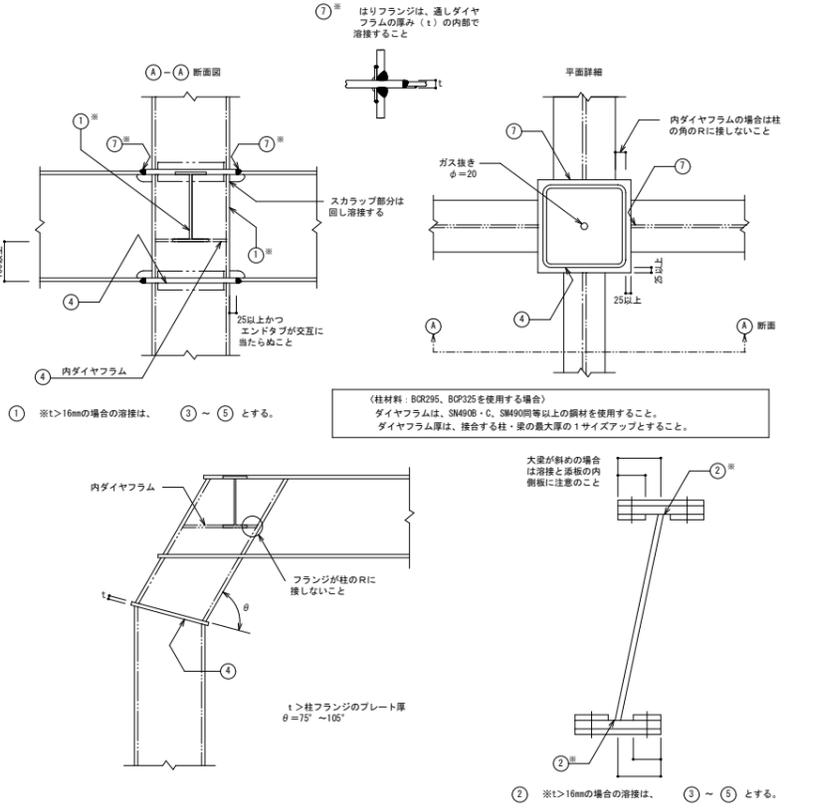
- ・溶接記号番号を○中に記入のこと
- BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



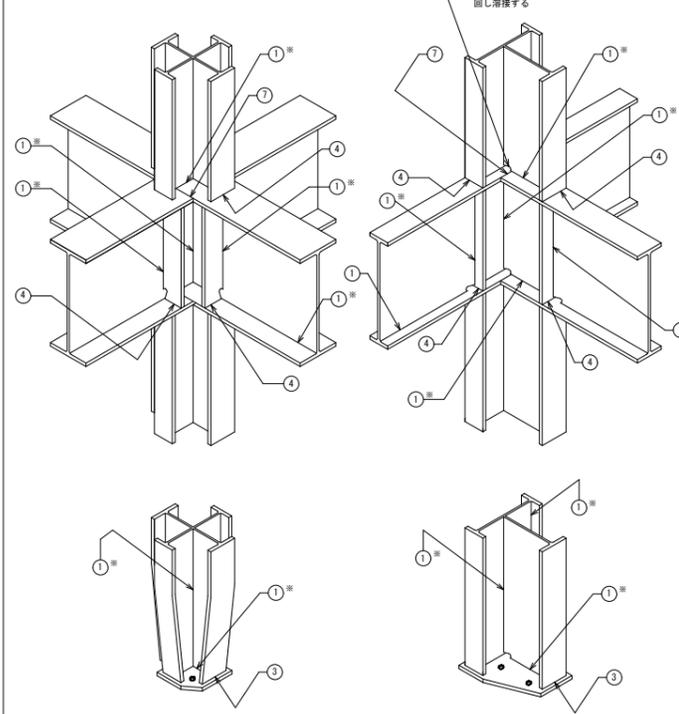
● 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	パス温度差 (°C)
400N 級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	(30)	(250)
	YB-11, 15		
	YB-18, 19		
	YA-50W, 50P		
490N 級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	YB-11, 15		
	YB-18, 19		
	YA-50W, 50P		

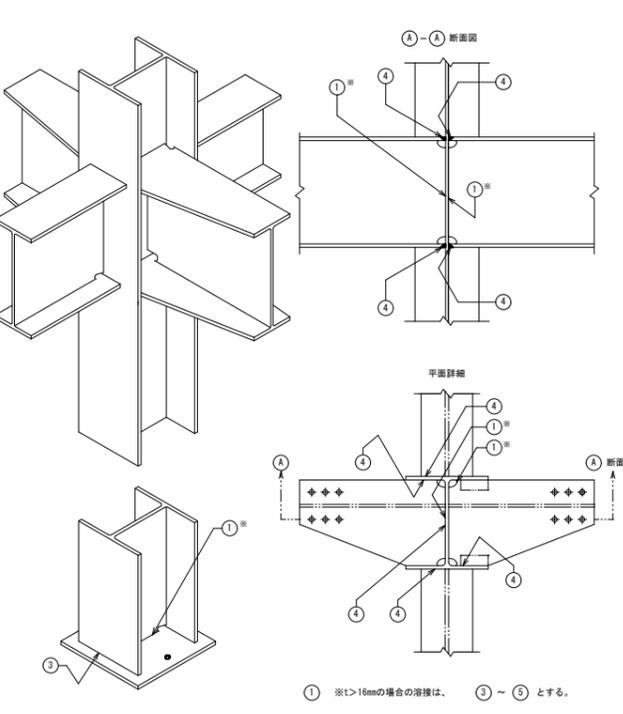
※ () 内はBGP、BCR材の場合



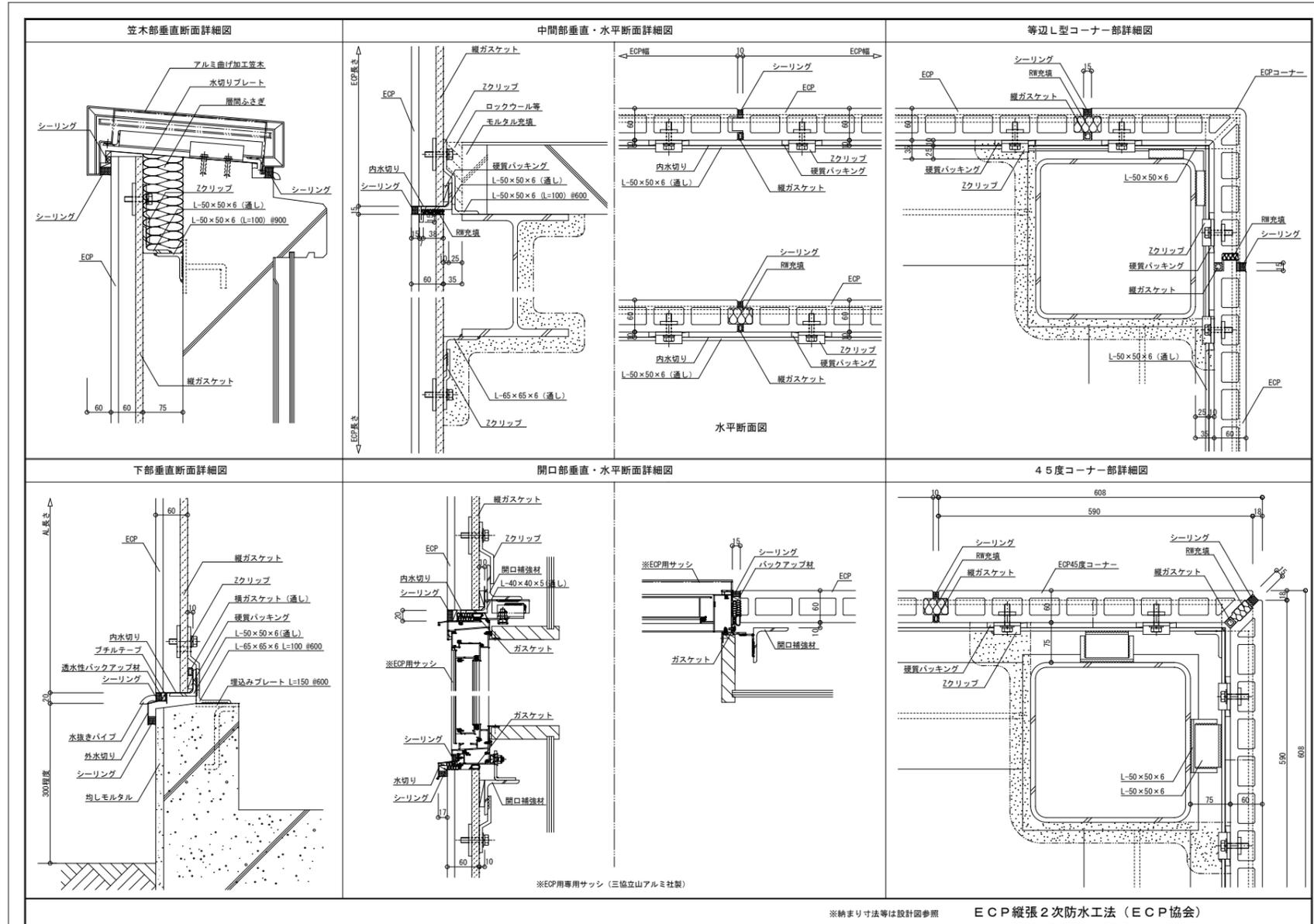
- H、I、H型



- B.H方式



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	—	
図名	ECP縦張標準工法標準図	番号	CS-13
高速5号線			
広島高速道路公社			



開口補強材の目安

(参考) 表4-8 縦張リ工法における開口補強材の寸法目安

縦張リ工法 縦張リ支持スパンℓ=3600mm (3600mm) の場合

開口幅 (mm)	開口モデル (mm)	風圧力 (N/m ²)			
		1200	1500	2000	2500
600	縦材	L-85×85×6	L-85×85×6	L-85×85×6	L-75×75×6
	横材	L-50×50×6	L-50×50×6	L-50×50×6	L-50×50×6
1,200	縦材	L-75×75×6	L-75×75×6	L-75×75×9	L-90×90×7
	横材	L-50×50×6	L-50×50×6	L-50×50×6	L-50×50×6
1,800	縦材	L-75×75×9	L-75×75×9	L-90×90×7	L-90×90×10
	横材	L-85×85×6	L-85×85×6	L-75×75×6	L-75×75×6
2,400	縦材	L-90×90×7	L-90×90×7	L-90×90×10	□-100×100×3.2
	横材	L-75×75×6	L-75×75×9	L-90×90×7	L-90×90×7

※上表の算定条件

縦材

$$P = \frac{\omega \ell}{2}$$

$$\sigma = \frac{Pa}{Z} \leq f_t$$

$$\delta = \frac{Pa(3\ell^2 - 4a^2)}{24EI} \leq \frac{\ell}{200}$$

$$(a \leq \frac{\ell}{4})$$

横材

$$\omega = W \times \frac{\ell - a}{2} \times 10^{-4}$$

$$\sigma = \frac{\omega \ell^2}{8Z} \leq f_t$$

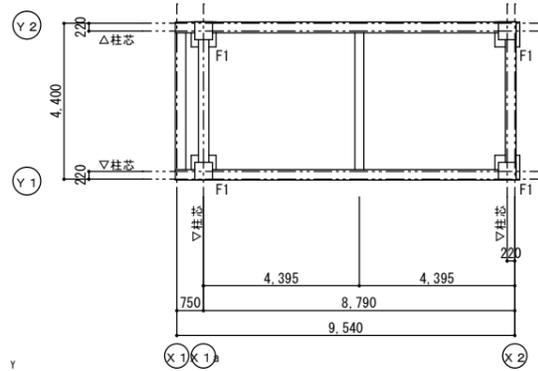
$$\delta = \frac{5\omega \ell^4}{384EI} \leq \frac{\ell}{200}$$

W: 風圧力 (N/m²)
 ω : 風圧力によるパネルに作用する単位荷重 (N/cm)
 ℓ : パネルの支保スパン (cm)
a: 縦上下のパネル長さ (cm)
P: 風圧力により縦材に作用する集中荷重 (N)
 f_t : 鋼材の短期許容曲げ応力度 (N/mm²)
Z: 鋼材の断面係数 (cm³)
I: 鋼材の断面二次モーメント (cm⁴)
E: 鋼材のヤング係数 (N/mm²)
 δ : 鋼材のたわみ量 (cm)

※ECP（押出成形セメント板）協会 ECP施工標準仕様書より

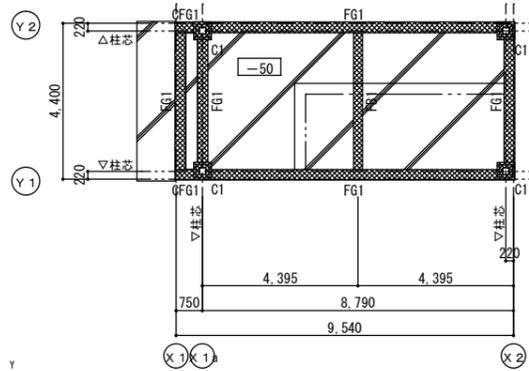
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	收受待機室 伏図・軸組図	番号	CS-14
高速5号線			
広島高速道路公社			

共通事項								
長期鉛直地耐力	qa=300kN/m ² (支持層: 花崗岩層 N ₅₀ GL-0.70m)			土間コンクリート	普通コンクリート Fo=24N/mm ² S=18cm	鋼材	角型鋼管 STKR400	備考 ・打設時期にあった構造体強度補正を行うこと ・コンクリートの仕様は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事) 最新版」による
鉄筋	D19未満	SD295A (重ね継手)		捨てコンクリート	普通コンクリート Fo=18N/mm ² S=15cm	H型鋼	SM400A, SN400B	
	D19以上	SD345 (圧接)			普通コンクリート Fo=24N/mm ² S=18cm	・コンクリート厚 50mm	ダイヤフラム	
コンクリート	普通コンクリート Fo=24N/mm ² S=18cm			砕石	・厚さ 60mm (基礎・基礎梁下) ・厚さ 100mm (土間下)	ベースプレート	SM490C	
基礎コンクリート	普通コンクリート Fo=24N/mm ² S=15cm					高力ボルト	S10T	
						アンカボルト	ABR400	



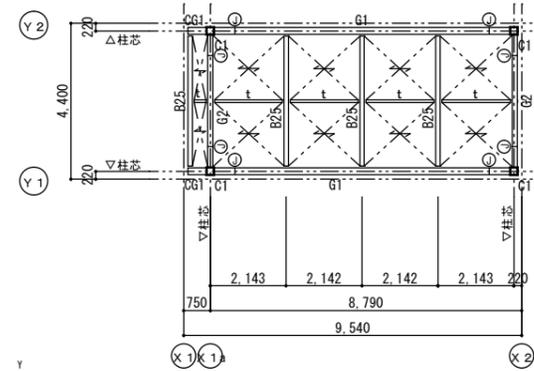
基礎伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 基礎下端レベル GL-700



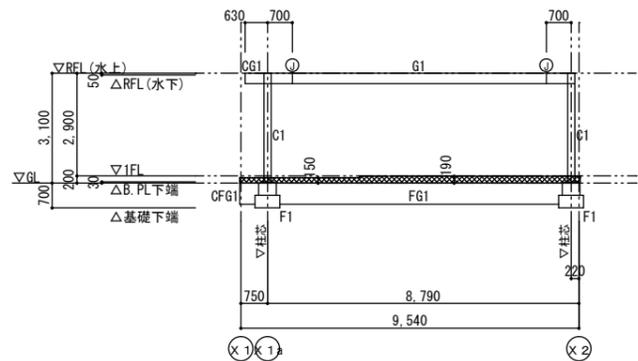
1階伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 基礎梁天端レベル GL±0
2. 土間天端レベル FL-10
3. ○印はFLからの土間天端レベルを示す。
4. 斜線は増打ち範囲を示す。
5. 斜線は土間コンクリート範囲を示す。



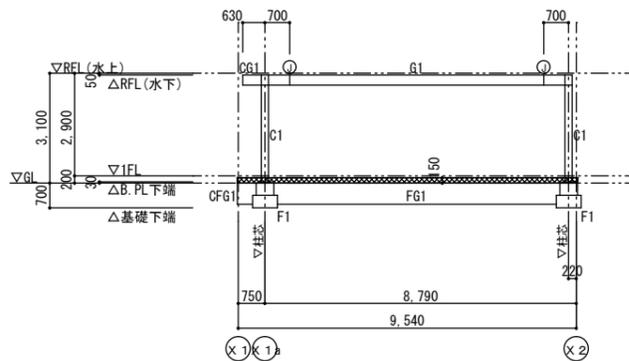
屋根伏図 (見上図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 梁天端レベル GL+3100(Y1)~GL+3050(Y2)
2. ←印はALC方向を示す。
3. ---印は屋根ブレースHV1を示す。
4. 天井受け材を配置すること。
5. ○印は現場継手位置を示す。



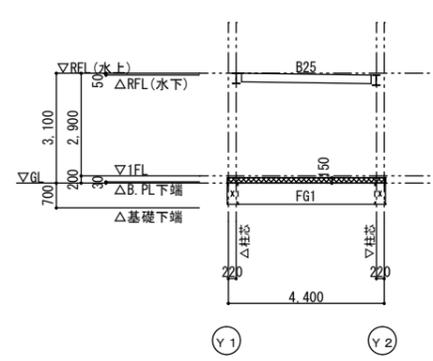
Y1通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○印は現場継手位置を示す。
2. 斜線は増打ち範囲を示す。



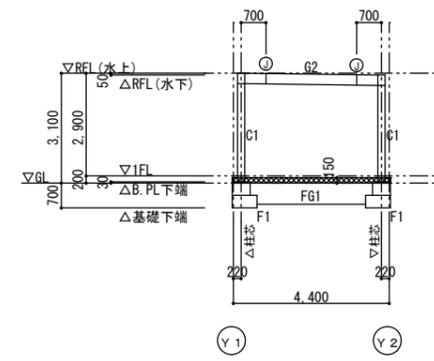
Y2通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○印は現場継手位置を示す。
2. 斜線は増打ち範囲を示す。



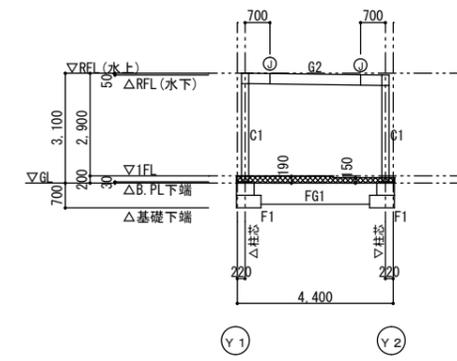
X1通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○印は現場継手位置を示す。
2. 斜線は増打ち範囲を示す。



X1a通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○印は現場継手位置を示す。
2. 斜線は増打ち範囲を示す。



X2通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○印は現場継手位置を示す。
2. 斜線は増打ち範囲を示す。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	収受員待機室 部材リスト	番号	CS-15
高速5号線			
広島高速道路公社			

柱リスト 1:20

- 特記外
 1. アンカーボルトは定着版付・DN締メとする。
 2. トップHOOPは□-D13 (ダブル) とする。

符号	C1
S柱断面	
鉄骨	□-200x200x9 (STKR400)
備考	
柱脚	
B. PL	PL-22x360x360 (SN490C)
A. BOLT	4-M16 (ABR400) L=400
R.C柱断面	
主筋	8-D19 (四隅フック)
HOOP	□-D10@100

鉄骨梁リスト 1:20

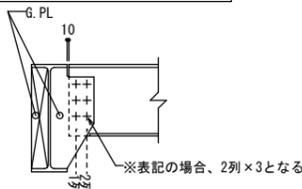
- 特記外
 1. 使用鋼材は、SN400Bとする。

符号	G1	G2	CG1
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
鉄骨	H-294x200x8x12	H-300x150x6.5x9	H-294x200x8x12
備考			

鉄骨部材リスト 1:20

特記外
 1. 使用鋼材は、SN400Aとする。

符号	部材	仕口	備考
B25	H-250x125x6x9	G. PL-6 HTB 2-M20	ボルトは2行×1列配置
t	H-150x75x5x7	G. PL-6 HTB 2-M16	ボルトは1行×2列配置
HV1	1-M12 (チャンネル付)	G. PL-6 HTB 1-M12	JIS製品、SS400
天井受け材	C-100x50x20x2.3@910	G. PL-6 中ボルト1-M12	SSC400
屋根葺き材	ALC t=100		

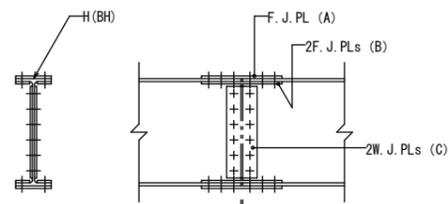


(鉄骨部材リスト：仕口凡例)

大梁継手表

- 特記外
 1. 使用鋼材は、母材に同じとする。
 2. 使用 H.T.B はS10Tとする。
 3. 下表の F.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1フランジに必要な本数とする。
 4. 下表の W.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1ウェブに必要な本数とする。

梁中央部材 (下段)SCSS-H97 継手呼称	FLANGE			WEB		梁使用鋼材
	F. J. PL (A)	2F. J. PLs (B)	F. HTB	2W. J. PLs (C)	W. HTB	
H-294x200x8x12 4X-J-3020-0912-20	9x200x410	9x80x410	Σn=24 6-M20	9x200x170	Σn=6 3-M20	SN400B
H-300x150x6.5x9 4X-J-3015-0609-20	9x150x290	9x60x290	Σn=16 4-M20	6x200x170	Σn=4 2-M20	SN400B



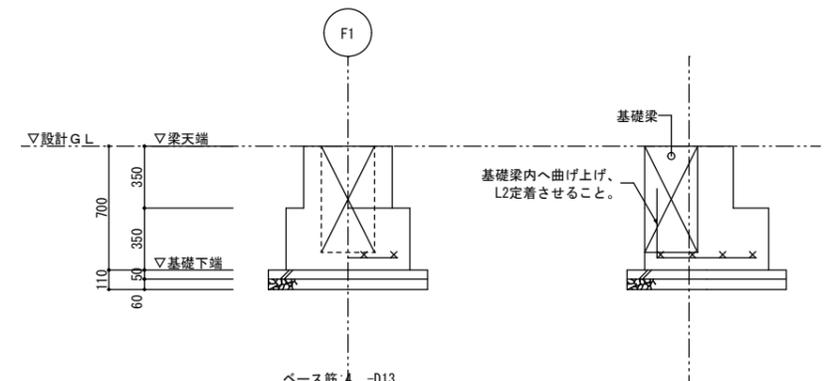
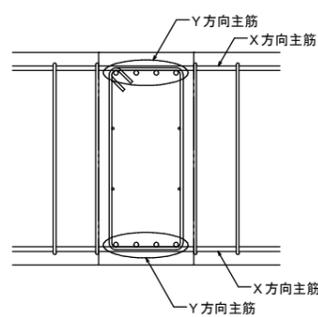
(大梁継手表：継手凡例)

基礎梁リスト 1:20

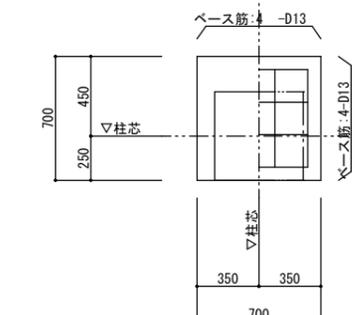
- 特記外
 1. 幅止め筋はD10@1000以下とする。

符号	FG1	FB1
位置	全断面	全断面
▽設計G.L.		
断面		
b x D	300 x 600	250 x 500
上端筋	3-D19	2-D19
下端筋	3-D19	2-D19
S T P	□-D10@200	□-D10@200
腹筋	2-D10	-

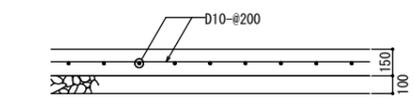
基礎梁主筋上下配筋要領図



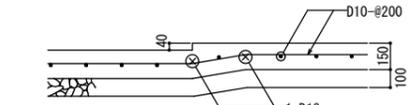
偏心基礎の配筋詳細 1:20



基礎リスト 1:20

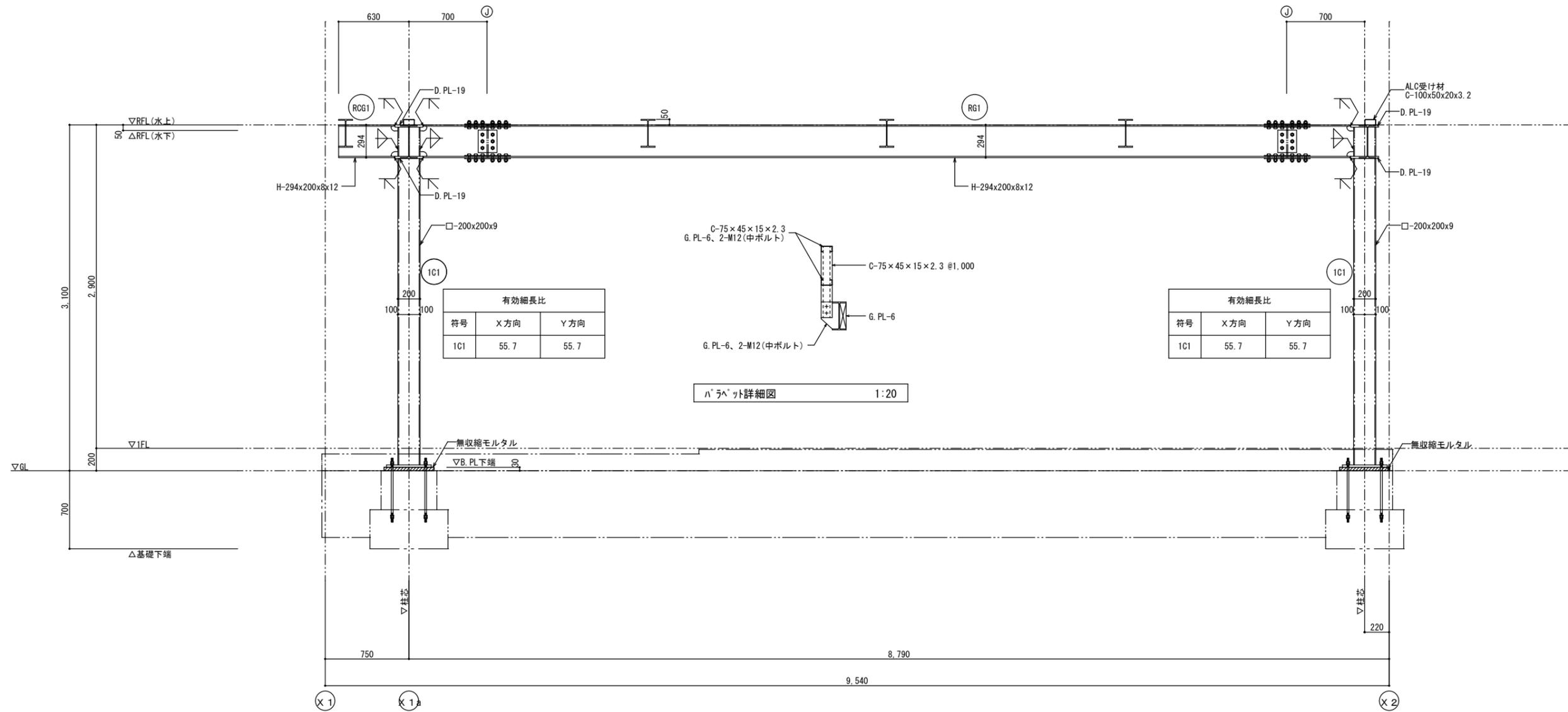


土間コンクリート配筋図 1:20

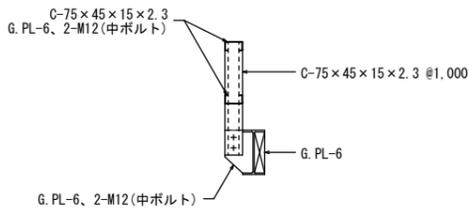


土間コンクリート段差配筋図 1:20

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	收受員待機室 鉄骨詳細図	番号	CS-16
高速5号線			
広島高速道路公社			



有効細長比		
符号	X方向	Y方向
1C1	55.7	55.7



ハ'ラ'ット詳細図 1:20

有効細長比		
符号	X方向	Y方向
1C1	55.7	55.7

Y 1 通り鉄骨詳細図 1:20

壁式配筋基準図 (1)

1. 鉄筋の表示

鉄筋の表示は下表による。

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22
記号	○	×	◇	●	◎

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げ形状・寸法

曲げ角度	折曲げ図	鉄筋の折曲げ内径寸法 (D)	鉄筋の余長	備考
180°		D16以下 3d以上	4d以上	
135°		SD345 (D19~D29) 4d以上	6d以上	
90°		SD390 (D29以上) 5d以上	8d以上	スラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同等に打込みT、L形ばりのキャップタイにのみ用いる。

d: 呼び名に用いた数値

(注) 片持スラブの上筋の先端、壁の自由端に用いる先端にフックを付ける場合の余長は4d以上でよい。

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状、鉄筋の折曲げ角度90°以下

曲げ角度	折曲げ図	使用箇所	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内径寸法 (D)
90°以下		あばら筋 帯筋 スパイラル筋	D16以下	3d以上
			D19以上	4d以上
		上記以外の鉄筋	D16以下	4d以上
			D19~D25	6d以上
D29~D38	8d以上			

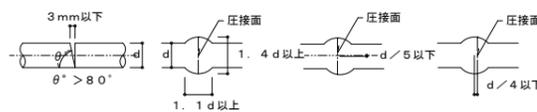
(3) 鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	定着の長さ (L2)		特別の定着および重ね継手長さ (L1)
		一般	下端筋 (L3)	
SD295A	18	40番または30㌻付	小梁	45番または35㌻付
		25番または20㌻付	スラブ	40番または35㌻付
SD295A SD345	21~27 30以上	25番または30番または20㌻付	15㌻付	10㌻付
		35番または40番または30㌻付	15㌻付	15㌻付

(注) 末端のフックは定着長さに含まない。

- 梁および小梁筋の定着のための中間折曲げにあっては、表中の定着長に関わらず、柱および梁の中心を超えてから折曲げる。
- 耐圧スラブの下端筋の定着長さは、一般定着 (L2) とする。
- 径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
- 耐圧スラブを受ける小梁の下端筋 (L2) とする。

a. (ガス圧接形状)



b. (ガス圧接)



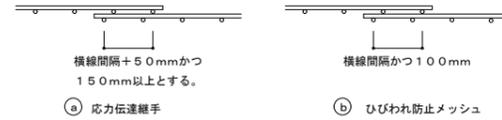
c. (重ね継手)



(下図のいずれかとする)



(4) 溶接金網の継手



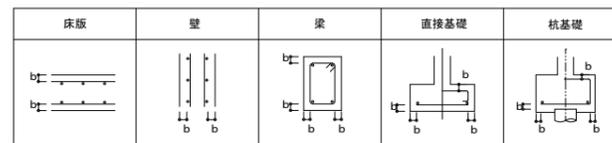
(5) 設計かぶり厚さ

a. 使用区分

(単位: mm)

使用区分	設計かぶり厚さ (b)	備考
土に接しない部分	耐力壁以外の壁	30
	梁・耐力壁	40
	擁壁	50
土に接する部分	梁・床版・壁	50
	基礎・擁壁・耐圧版	70
煙突など高熱を受ける部分	70	

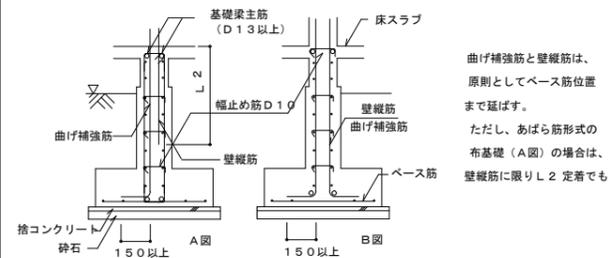
b. 各部分のかぶり厚さ



(注) bには、増しコンクリート厚さは含まない。

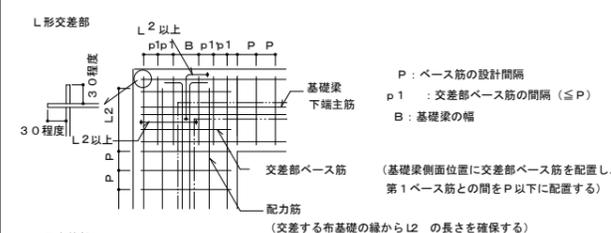
3. 基礎

(1) 直接基礎



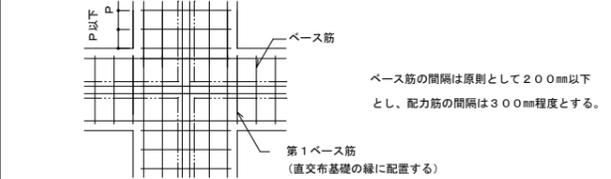
曲げ補強筋と壁縦筋は、原則としてベース筋位置まで延ばす。
ただし、あばら筋形式の布基礎 (A図) の場合は、壁縦筋に限りL2定着でも

布基礎交差部の配筋 (平面)



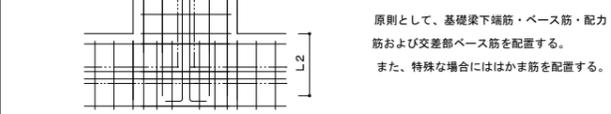
P: ベース筋の設計間隔
p1: 交差部ベース筋の間隔 (≦ P)
B: 基礎梁の幅
(基礎梁側面位置に交差部ベース筋を配置し、第1ベース筋との間をP以下に配置する)

X形交差部



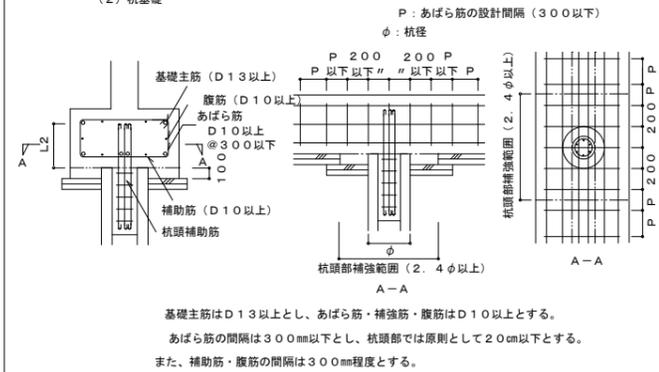
ベース筋の間隔は原則として200mm以下とし、配筋の間隔は300mm程度とする。

T形交差部



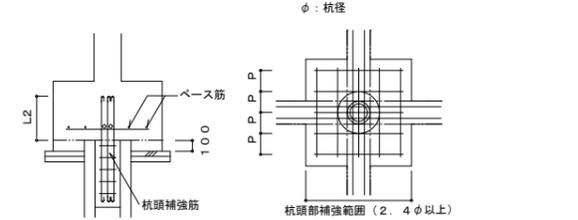
原則として、基礎梁下端筋・ベース筋・配筋および交差部ベース筋を配置する。
また、特殊な場合にははかま筋を配置する。

(2) 杭基礎

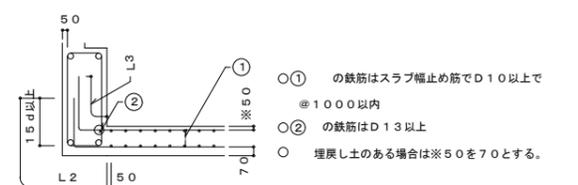


基礎主筋はD13以上とし、あばら筋・補強筋・腹筋はD10以上とする。
あばら筋の間隔は300mm以下とし、杭頭部では原則として200mm以下とする。
また、補助筋・腹筋の間隔は300mm程度とする。

P: ベース筋の設計間隔 (200以下)

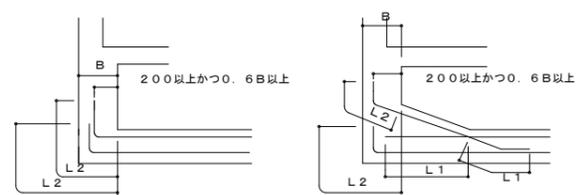


(3) ベタ基礎

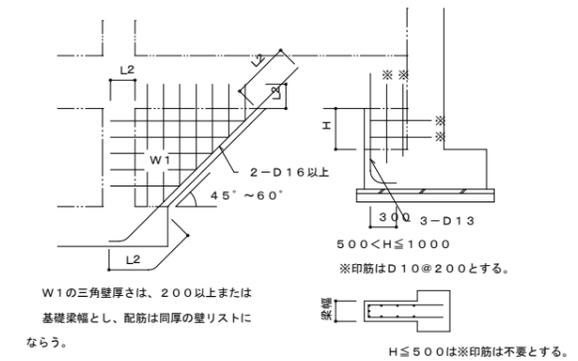


- ① の鉄筋はスラブ幅止め筋でD10以上で @1000以内
- ② の鉄筋はD13以上
- 埋戻し土のある場合は※50を70とする。

(4) 耐圧版 (定着および継手)



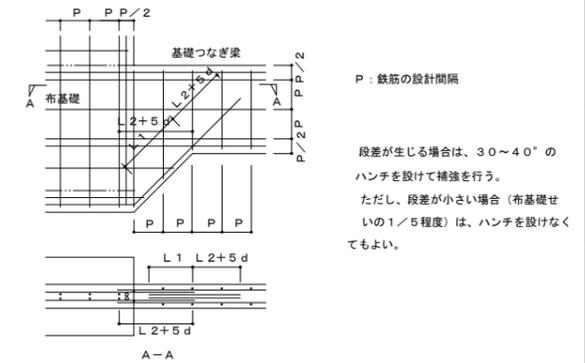
(5) 基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは、200以上または基礎梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう。

H≦500は※印筋は不要とする。

(6) 布基礎と基礎つなぎ梁



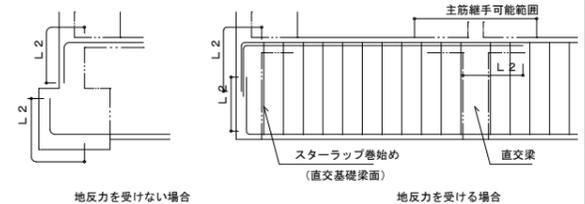
P: 鉄筋の設計間隔

段差が生じる場合は、30~40°のハンチを設けて補強を行う。
ただし、段差が小さい場合 (布基礎せいの1/5程度) は、ハンチを設けなくてもよい。

4. 基礎梁

(1) 基礎はりの配筋

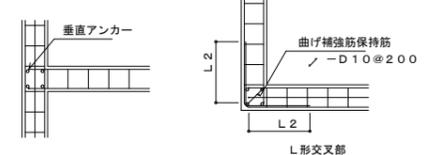
a. 定着・継手



地反力を受けない場合

地反力を受ける場合

b. 主筋定着要領



T形交差部

L形交差部

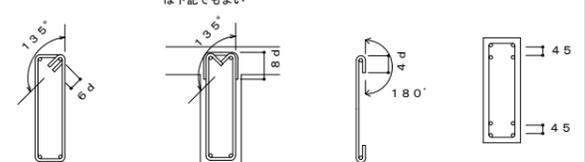
注) 印は、耐力壁の曲げ補強筋を示す。

(2) スターラップの加工、その他

a. スターラップの加工

2G~RGについては、壁式配筋基準図-27による。

一般形状



片側床版以外は、フック位置を交互とする。

c. 鉄筋相互のあき (P) は、下記のうち最大のもの以上とする。

- 1) 粗骨材の最大寸法L: 2.5倍
- 2) 25mm
- 3) 鉄筋径 (d) の1.5倍

D: 鉄筋の最外径、d: 鉄筋径 (呼び名)

(3) 幅止め筋の本数、加工

幅止め筋	必要	不要
腹筋	D<600	不要
	600≦D<900	2-D10 1段
幅止め筋	900≦D<1200	2-D10 2段
	1200≦D	2-D10 @300以内

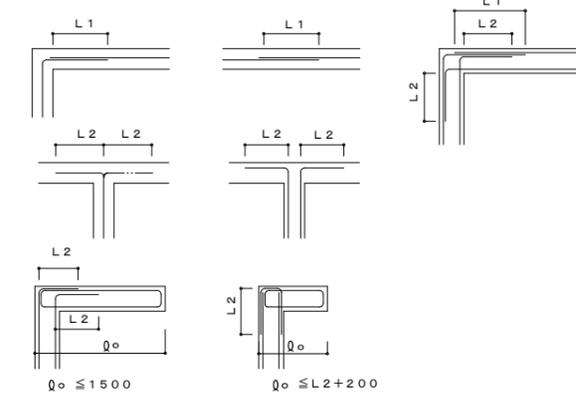
○ 腹筋は柱面より30mm以上定着すること。

壁式配筋基準図 (2)

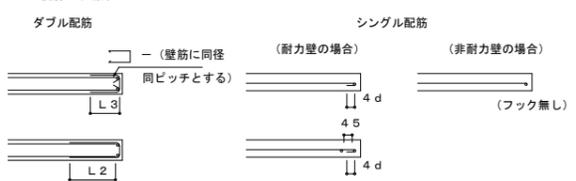
5. 壁の配筋

(1) 横筋の継手、定着、その他

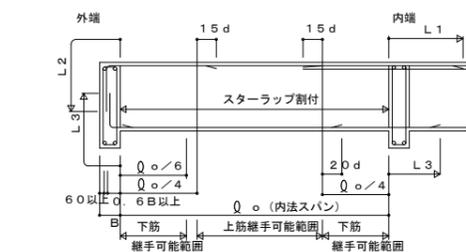
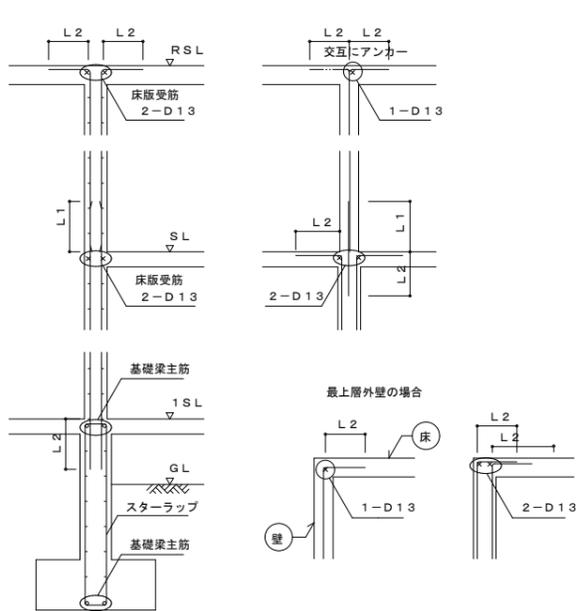
a. 定着・継手



b. 横筋・末端部

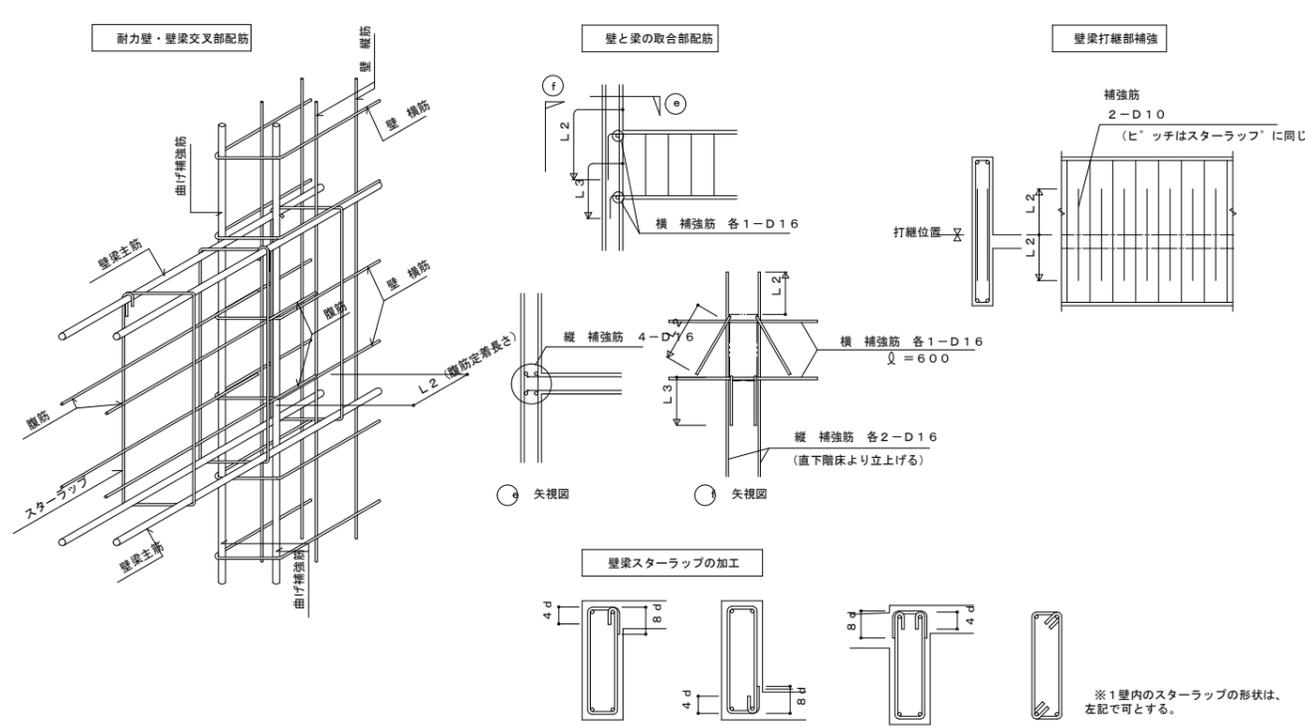
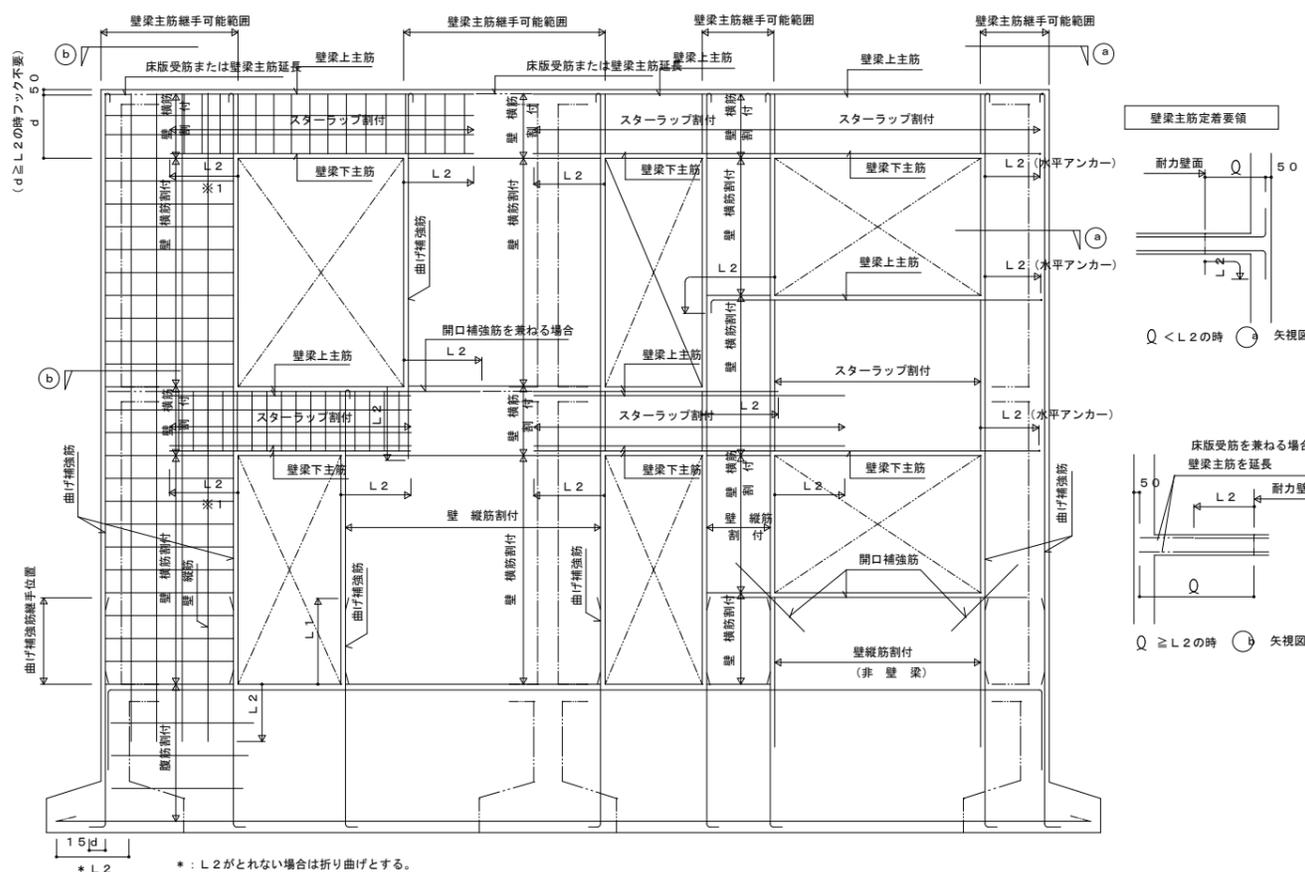


(2) 縦筋の継手、定着

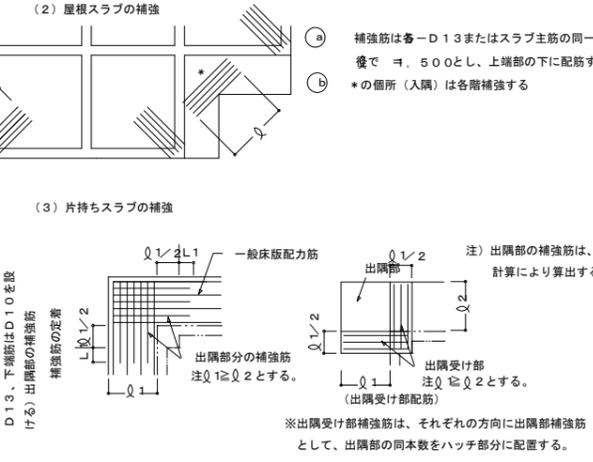
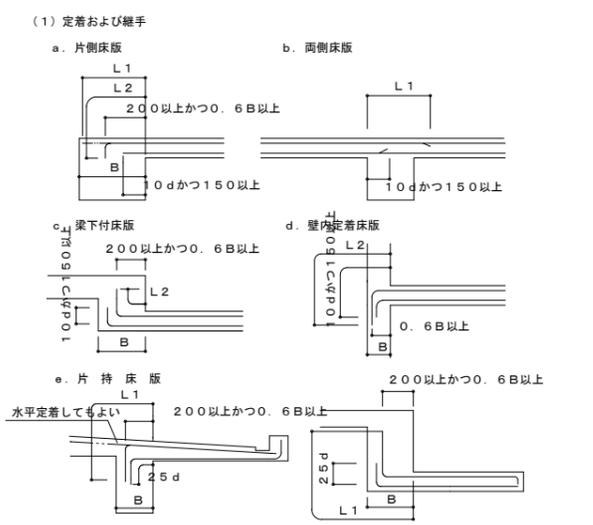


6. 耐力壁・壁梁の配筋詳細

- ・壁梁主筋の定着・継手およびスターラップの割付。
- ・耐力壁曲げ補強筋の定着および継手。縦横筋の割付。



7. 床版

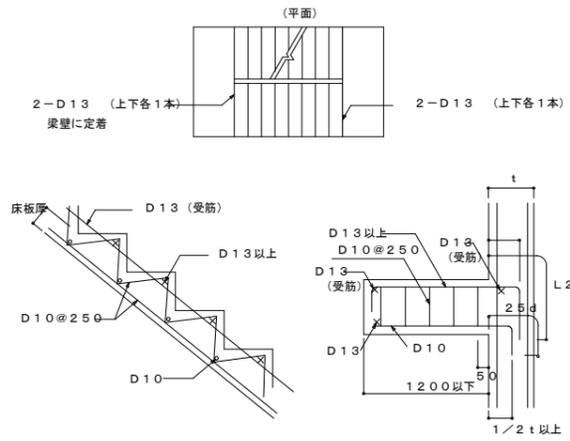


床版厚さD	周囲	斜め
D ≤ 150	各 2-D 13	各 1-D 13
150 < D ≤ 200	20巻 2-D 13	各 2-D 13
200 < D ≤ 300	30巻 2-D 13	各 2-D 13

壁式配筋基準図 (3)

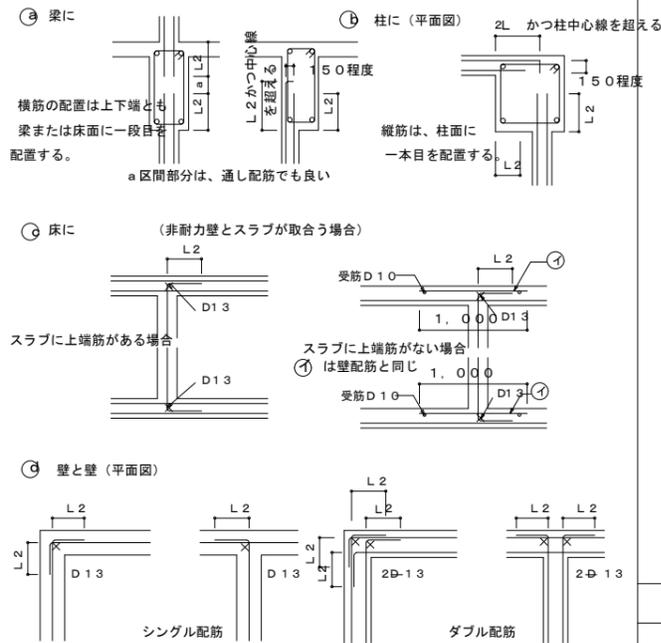
8. 階段

(1) 片持階段

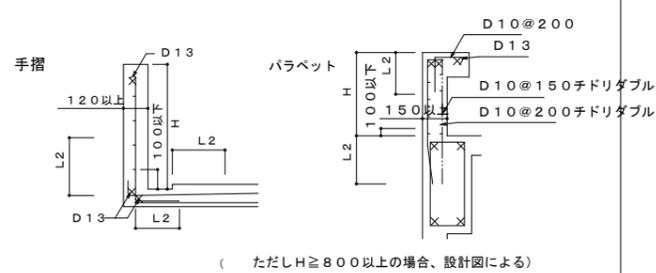


9. 壁

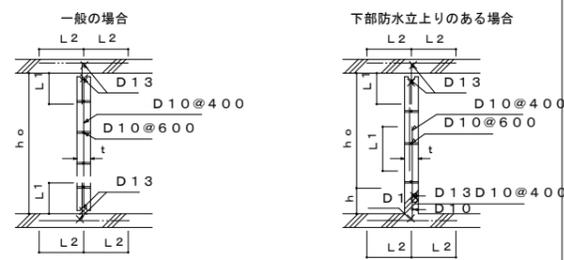
(1) 定着



(2) 手摺、バラベット



(3) コンクリートブロック帳壁

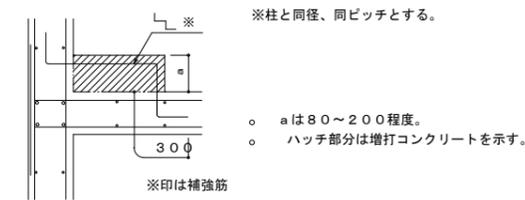


- $H \leq 25t$ かつ 500 以下とする。ただし直交方向 t 以内に壁、または柱がある場合は除く。
- h はコンクリートブロック段数調節寸法とする。ただし $h \leq 400$
- 継手部は必ずモルタルを充填すること。

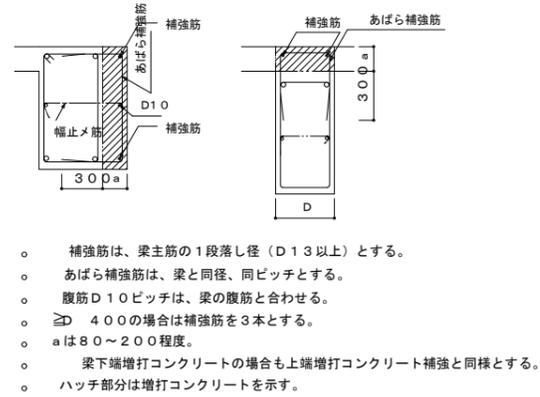
10. 増打コンクリート補強

(増打するときは事前に設計者および工事監理者と打合せのこと)

(1) 壁

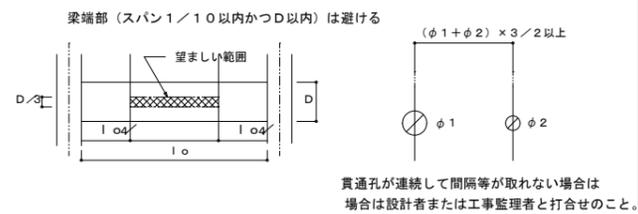


(2) 梁



11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲



(2) 鉄筋標準配筋

ただし $\leq D8$ とする

80 ϕ	1 ϕ 0	100 ϕ	1 ϕ 0	150 ϕ	2 ϕ 0
折筋	2-(2-D13)	折筋	2-(2-D13)	折筋	4-(2-D13)
縦筋	ST2-D13	縦筋	ST4-D13	縦筋	ST4-D13
		横筋	2-(2-D13)	横筋	2-(2-D13)
				上下縦筋	各ST1-D13

(3) 既製品

(使用するときには、監理者の承諾を得ること)

○リング型 ○パイプ型 ○金網型 ○プレート型

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山料金所 (ON) 部材リスト	番号	CS-21
高速5号線			
広島高速道路公社			

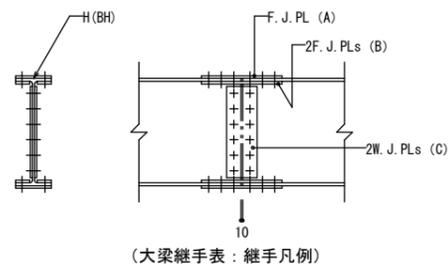
柱リスト 1:20

- 特記外
 1. アンカボルトはDN締めとする。
 2. アンカボルトの埋込まで施工済みである。

符号	C1
S柱断面	
鉄骨	○-355.6x7.9 (STKM400B)
備考	
柱脚	
B. PL	PL-28x420x420 (SN490C)
A. BOLT	4-M20 (施工済み)
R/C柱断面	
※施工済み	
主筋	12-D22
HOOP	□-D13@100

- 特記外
 1. 使用鋼材は、母材に同じとする。
 2. 使用 H.T.B はF8Tとする。
 3. 下表の F.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1フランジに必要な本数とする。
 4. 下表の W.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1ウェブに必要な本数とする。
 5. 継手の仕様は、「建築鉄骨設計基準及び同解説 (平成10年版)」による。

梁中央部材	FLANGE			WEB		梁使用鋼材
	F. J. PL (A)	2F. J. PLs (B)	F. HTB	2W. J. PLs (C)	W. HTB	
H-350x175x7x11	9x175x290	9x70x290	Σn=16 4-M20	6x260x170	Σn=6 3-M20	SN400B



鉄骨梁リスト 1:20

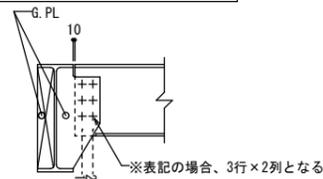
- 特記外
 1. 使用鋼材は、SN400Bとする。

符号	G1	CG1	
位置	全断面	全断面	
断面			
鉄骨	H-350x175x7x11	H-350x175x7x11	
備考			

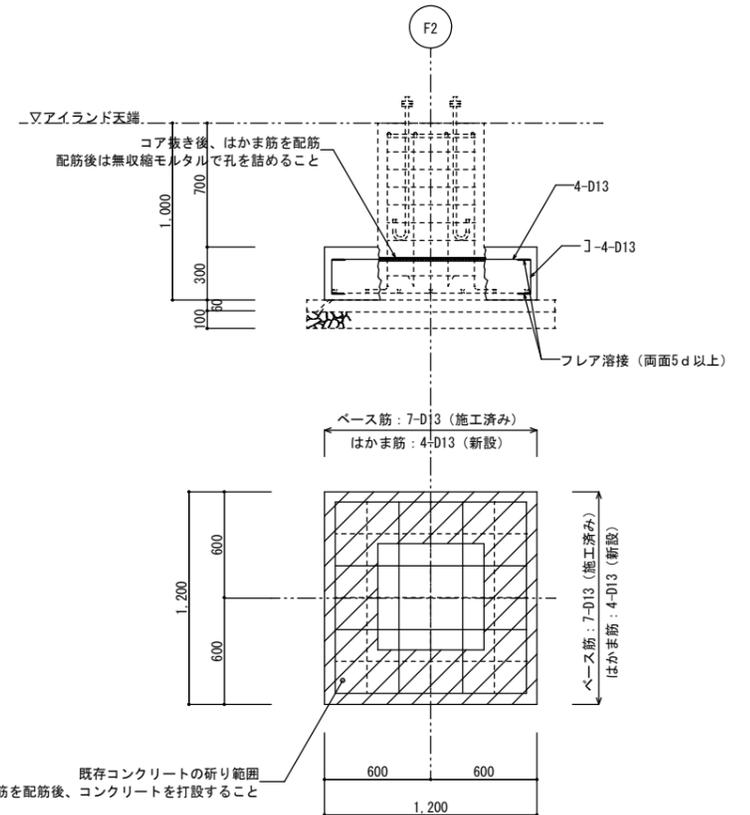
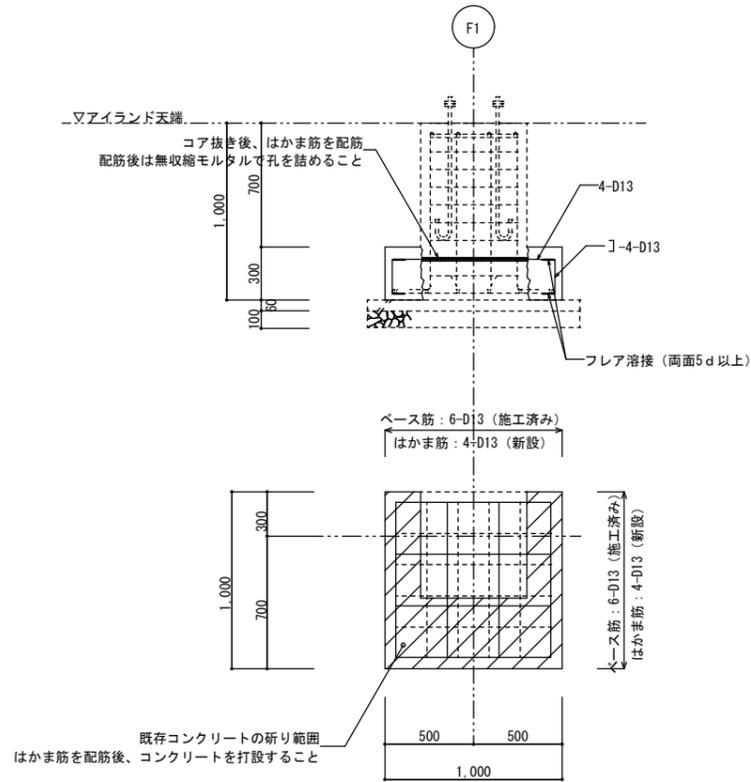
鉄骨部材リスト 1:20

特記外
 1. 使用鋼材は、SN400Aとする。

符号	部材	仕口	備考
B25	H-250x125x6x9	G. PL-6 HTB 3-M20	ボルトは3行×1列配置
B20	H-200x100x5.5x8	G. PL-6 HTB 4-M16	ボルトは2行×2列配置
HV1	1-M12 (タンパック付)	G. PL-9 HTB 1-M16	JIS製品、SS400
屋根葺き材	折板 t=0.8 (山高85以上)		



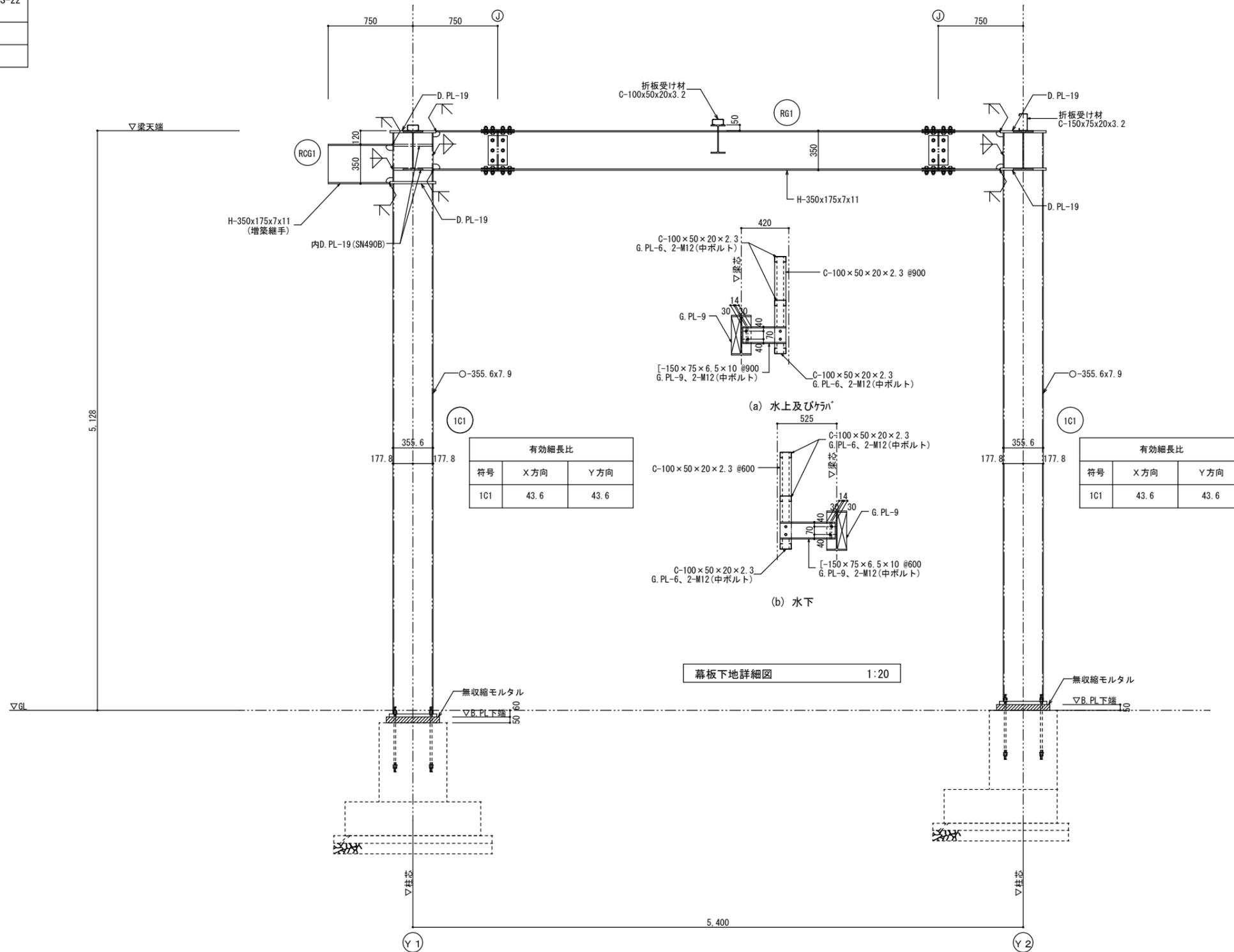
(鉄骨部材リスト：仕口凡例)



基礎リスト 1:20

- <材料特記>
 ・無収縮モルタル Fm=30N/mm2
 ・コンクリート Fc=21N/mm2 S-15mm
 ・鉄筋 SD295A

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山料金所 (ON)	番号	CS-22
	鉄骨詳細図		
高速5号線			
広島高速道路公社			



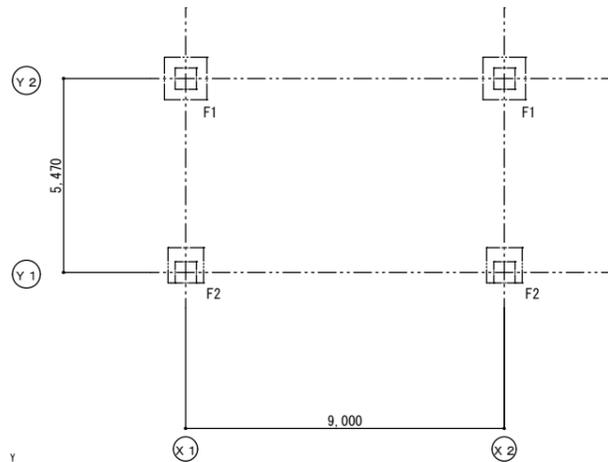
有効細長比		
符号	X方向	Y方向
IC1	43.6	43.6

有効細長比		
符号	X方向	Y方向
IC1	43.6	43.6

X 1 通り鉄骨詳細図 1:20

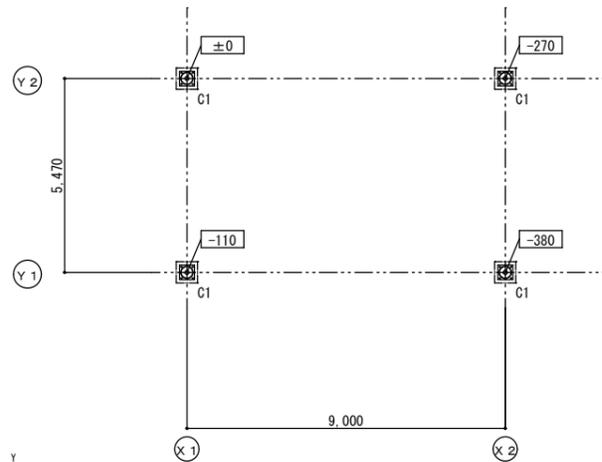
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	中山料金所 (OFF) 伏図・軸組図	番号	CS-23
高速5号線			
広島高速道路公社			

共通事項		
鋼材	円型鋼管	STKM400B
	H型钢	SN400A、SN400B
	ダイヤフラム	SN490C
	ペースプレート	SN490C
	軽量型钢	SSC400
	高力ボルト	F8T
備考	・鋼材の仕上げは、溶融亜鉛メッキとすること	



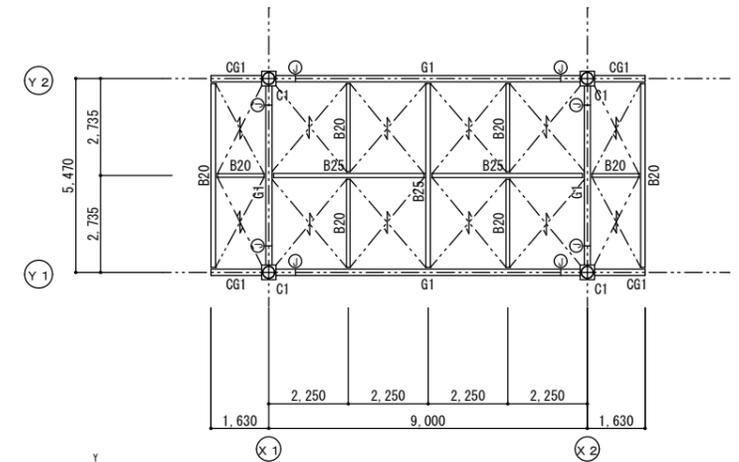
基礎伏図 (見下図) 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- 基礎下端レベル GL-1000~1380
 - 基礎は施工済みである。



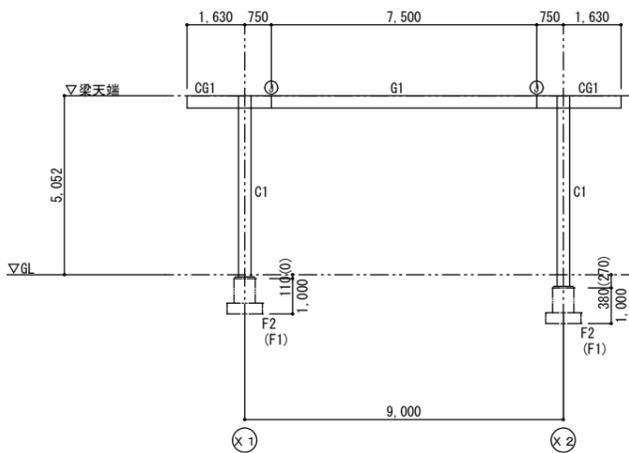
1階伏図 (見下図) 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- はGLからのアイランド天端レベルを示す。
 - アーカーの埋込まで施工済みである。



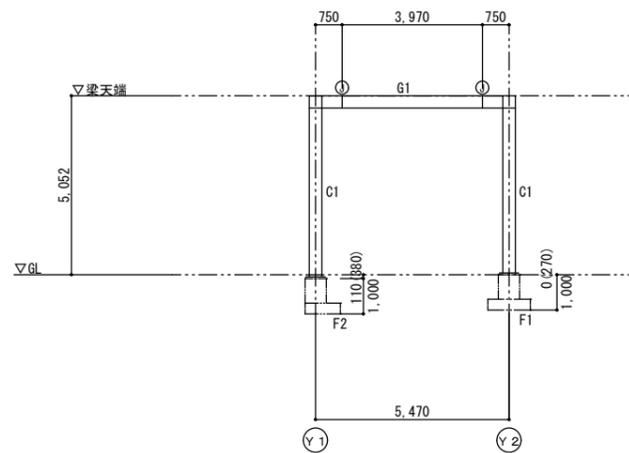
屋根伏図 (見上図) 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- 梁天端レベル GL+5052
 - ←印は折板方向を示す。
 - 印は屋根ブレースHV1を示す。
 - 印は現場継手位置を示す。



Y1・Y2通り軸組図 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- 印は現場継手位置を示す。
 - ()はY2通りのレベル及び符号を示す。



X1・X2通り軸組図 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- 印は現場継手位置を示す。
 - ()はX2通りのレベル及び符号を示す。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山料金所 (OFF)	番号	CS-24
	部材リスト		
高速5号線			
広島高速道路公社			

柱リスト 1:20

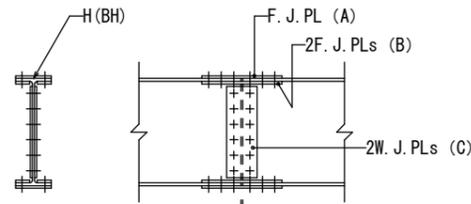
- 特記外
 1. フナギはDN締メとする。
 2. フナギの埋込まで施工済みである。

符号	C1
S柱断面	
鉄骨	○-355.6x7.9 (STKN400B)
備考	
柱脚	
B. PL	PL-28x420x420 (SN490C)
A. BOLT	4-M20 (施工済み)
R.C柱断面	
※施工済み	
主筋	12-D22
HOOP	□-D13@100

大梁継手表

- 特記外
 1. 使用鋼材は、母材に同じとする。
 2. 使用 H.T.B はF8Tとする。
 3. 下表の F.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1フランジに必要な本数とする。
 4. 下表の W.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1ウェブに必要な本数とする。
 5. 継手の仕様は、「建築鉄骨設計基準及び同解説 (平成10年版)」による。

梁中央部材	FLANGE			WEB		梁使用鋼材
	F. J. PL (A)	2F. J. PLs (B)	F. HTB	2W. J. PLs (C)	W. HTB	
H-350x175x7x11	9x175x290	9x70x290	4-M20 Σn=16	6x260x170	3-M20 Σn=6	SN400B



(大梁継手表：継手凡例)

鉄骨梁リスト 1:20

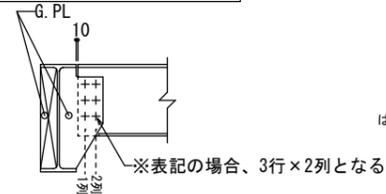
- 特記外
 1. 使用鋼材は、SN400Bとする。

符号	G1	CG1	
位置	全断面	全断面	
断面			
鉄骨	H-350x175x7x11	H-350x175x7x11	
備考			

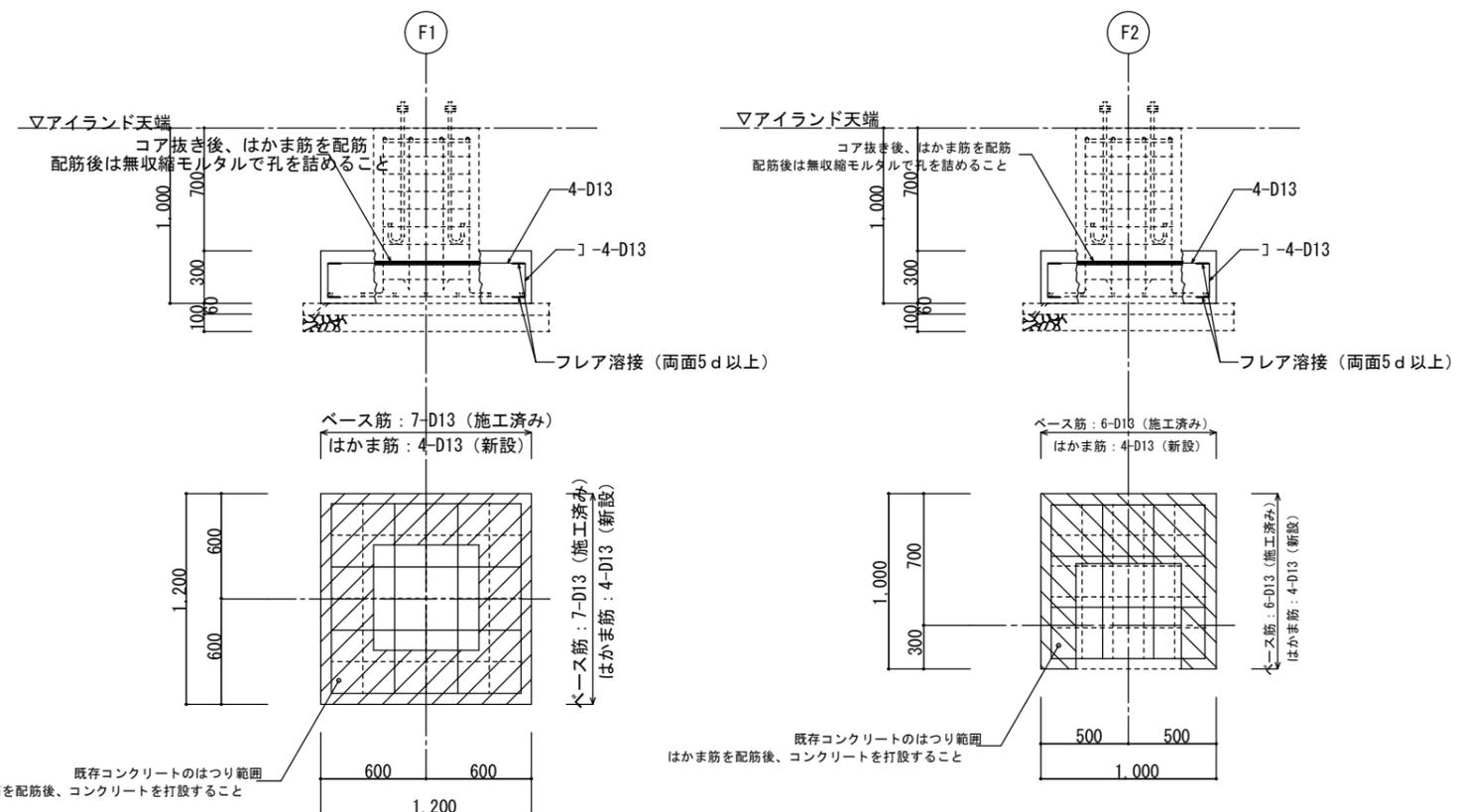
鉄骨部材リスト 1:20

特記外
 1. 使用鋼材は、SN400Aとする。

符号	部材	仕口	備考
B25	H-250x125x6x9	G. PL-6 HTB 3-M20	ボルトは3行×1列配置
B20	H-200x100x5.5x8	G. PL-6 HTB 4-M16	ボルトは2行×2列配置
HV1	1-M12 (ターナッカル付)	G. PL-9 HTB 1-M16	JIS製品、SS400
屋根葺き材	折板 t=0.8 (山高85以上)		



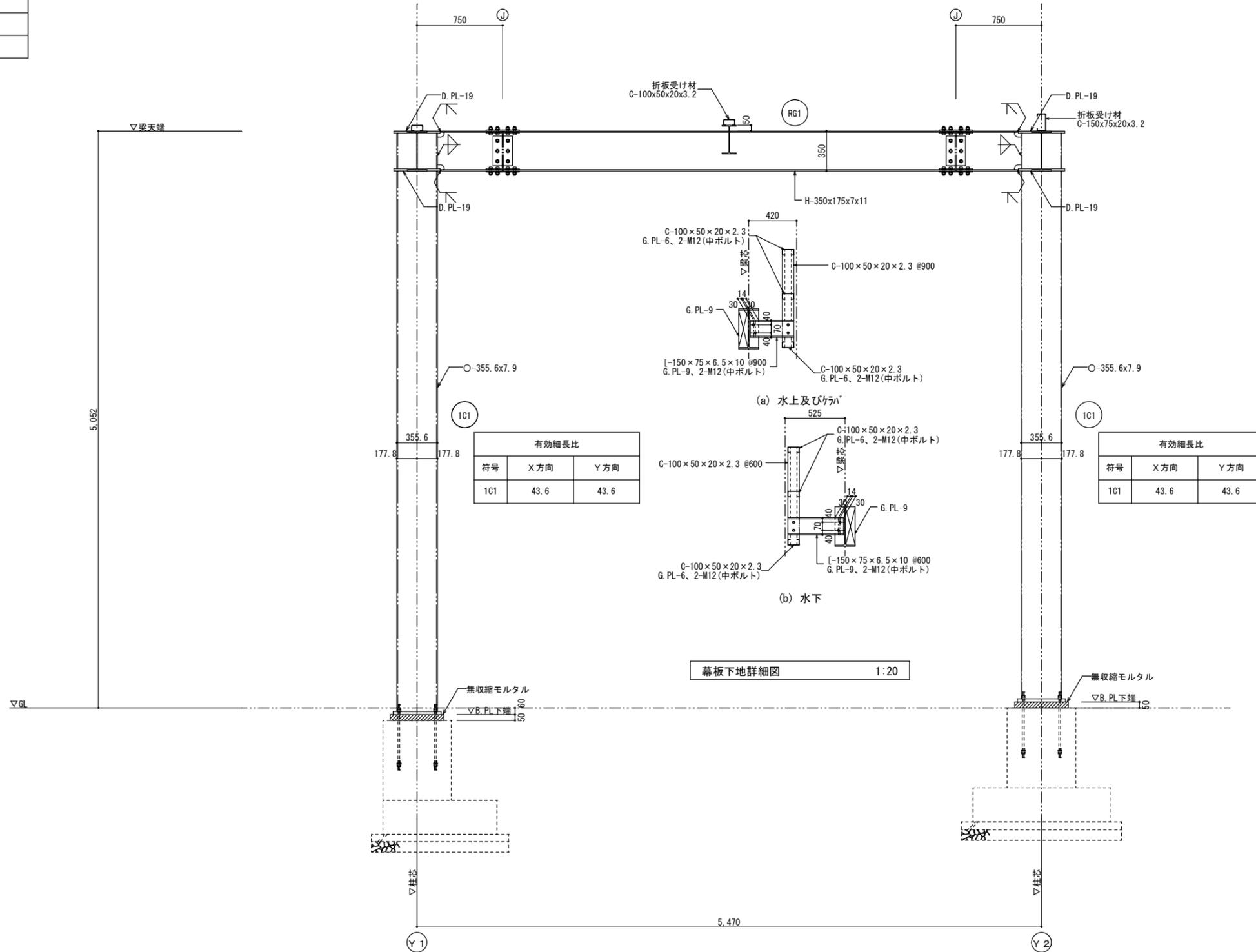
(鉄骨部材リスト：仕口凡例)



基礎リスト 1:20

- <材料特記>
 ・無収縮モルタル Fm=30N/mm2
 ・コンクリート Fc=21N/mm2 S-15mm
 ・鉄筋 SD295A

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山料金所 (OFF) 鉄骨詳細図	番号	CS-25
高速5号線			
広島高速道路公社			



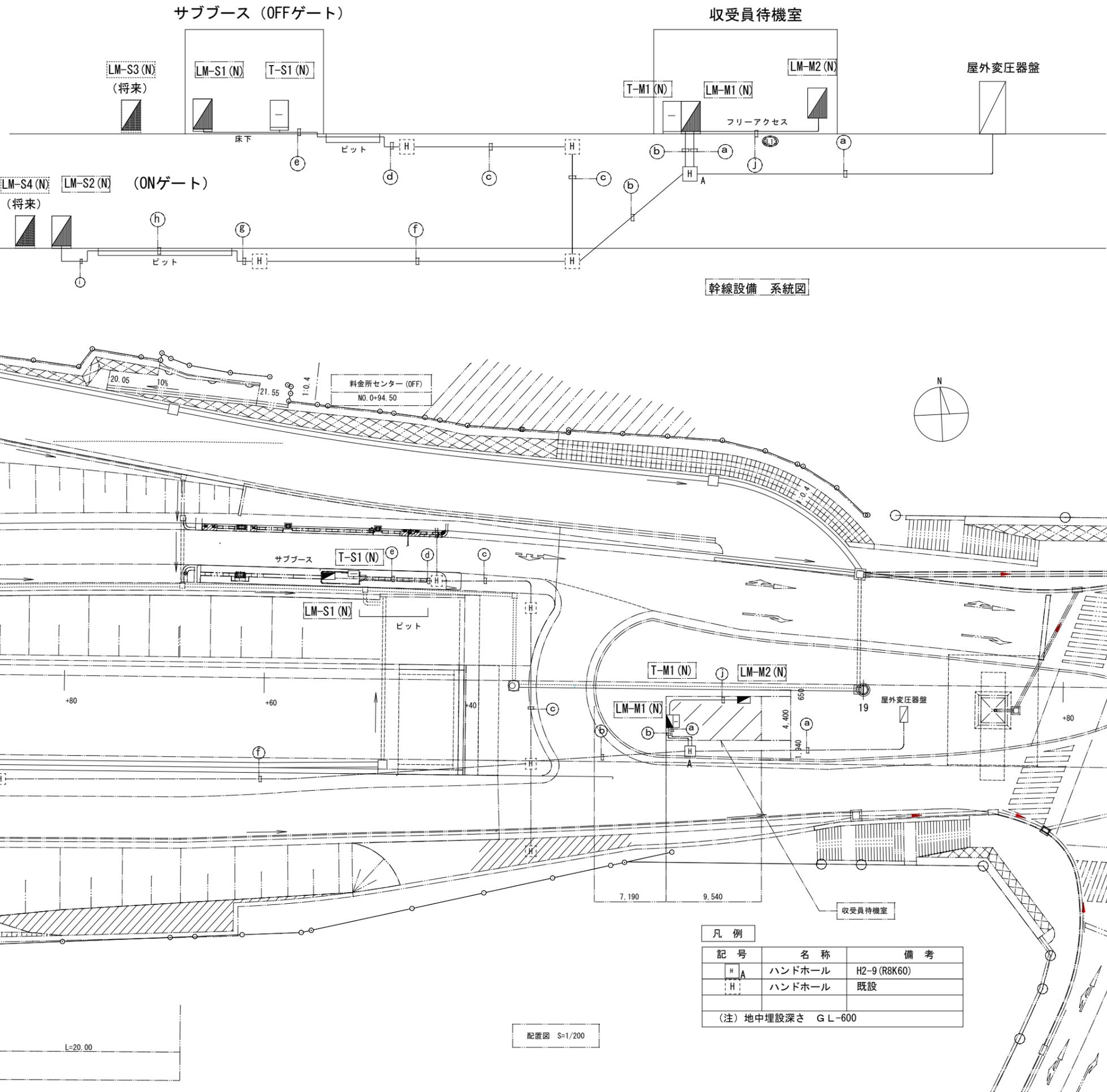
X 1 通り鉄骨詳細図 1:20

特記なき材料種別は、共通事項に記載のある通りとする。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:200	
図名	中山料金所 電気設備配置図	番号	E-01
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

屋外（新設）

記号	ルートNO	幹線NO	負荷名称	電圧	配線サイズ	配管サイズ		自	至
						屋内	屋外配管		
a	G11	P11	(電源) 収受員待機室	1φ3W AC/GC	CVT 60sq E8sq	-	(FE-PS75 別途工事)	変圧器盤	LM-M1(N)
			(電源) 収受員待機室	3φ3W AC	CV 8sq-3C	-	(FE-PS50 別途工事)		
b	G11	P11	(電源) サブブース	1φ3W AC/GC	CV 8sq-3C E5.5sq	-	(FE-PS50 別途工事)	LM-M1(N)	LM-S1(N)
			(電源) サブブース	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C	-	(FE-PS50 別途工事)		
c	G11	P11	(電源) サブブース	1φ3W AC/GC	CVT 14sq E5.5sq	-	(FE-PS50 別途工事)	LM-M1(N)	LM-S2(N)
			(電源) サブブース	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C	-	(FE-PS50 別途工事)		
d	G11	P11	(電源) サブブース	1φ3W AC/GC	CV 8sq-3C E5.5sq	-	(FE-PS50 既設)	LM-M1(N)	LM-S1(N)
			(電源) サブブース	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C	-	(FE-PS50 既設)		
e	G11	P11	(電源) サブブース	1φ3W AC/GC	CV 8sq-3C E5.5sq	-	(FE-PS50 既設)	ETC監視室 T-M1(N)	OFFゲート T-S1(N)
			(電源) サブブース	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C	-	(FE-PS50 既設)		
f	G11	P11	(電源) サブブース	1φ3W AC/GC	CV 8sq-3C E5.5sq	-	(PF36 別途工事)	ETC監視室 T-M1(N)	OFFゲート T-S1(N)
			(電源) サブブース	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C	-	(PF36 別途工事)		
g	G11	P11	(電源) サブブース	1φ3W AC/GC	CV 8sq-3C E5.5sq	-	(FE-PS75 既設)	ETC監視室 T-M1(N)	OFFゲート T-S1(N)
			(電源) サブブース	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C	-	(FE-PS75 既設)		
h	G11	P11	(電源) ONゲート	1φ3W AC/GC	CVT 14sq E5.5sq	-	(PF54 別途工事)	ETC監視室 T-M1(N)	ONゲート LM-S2(N)
			(電源) ONゲート	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C	-	(PF54 別途工事)		
i	G11	P11	(電源) ONゲート	1φ3W AC/GC	CVT 14sq E5.5sq	-	(FE-PS50 別途工事)	ETC監視室 T-M1(N)	ONゲート LM-S2(N)
			(電源) ONゲート	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C E3.5sq	-	(FE-PS50 別途工事)		
j	G11	P11	(電源) ETC機械室	1φ3W AC/GC	CV 5.5sq-3C E3.5sq	-	-	LM-M1(N)	LM-M2(N)
			(電源) ETC機械室	3φ3W AC	CV 5.5sq-3C E3.5sq	-	-		
k	G11	P11	リモコンスイッチ用配線	1φ3W AC/GC	OPEV1. 2-2C	-	-	LM-S2(N)	LM-S1(N)
			リモコンスイッチ用配線	3φ3W AC	OPEV1. 2-2C	-	-		



幹線設備 系統図

凡例		
記号	名称	備考
H A	ハンドホール	H2-9 (R8K60)
H	ハンドホール	既設

(注) 地中埋設深さ G L-600

配置図 S=1/200

料金所センター (ON)
NO. 1+40.00

トールアイランド
L=30.00

料金所広場 L=60.00

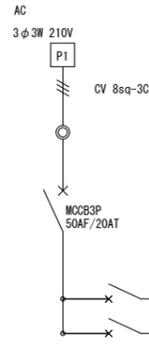
L=10.00

L=20.00

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 分電盤結線図・照明姿図 (収受員待機室)	番号	E-02
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

照明器具姿図			
A 1	LSS9-4-48	F	LBF3MP/RP-2-13
A 2	LSS9-4-65		
A 3	LSS9MP/RP-2-14		
A 4	LSS9MP/RP-4-64		
B 1	LRS6-4-48	G	K1-LRS11-1非常灯 埋込
B 2	LRS6-4-65		非常灯評定番号: LALE-004
器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 3.2m 3.4m 3.6m 3.8m 4.0m			
単体配置 A 1 3.8 4.0 4.0 2.8 - - - - -			
直線配置 A 2 8.5 9.4 9.9 10.1 - - - - -			
四角配置 A 4 6.9 7.6 8.1 8.9 - - - - -			
C 1	LSS1-4-48	H	K1-LSS11-1非常灯 直付
C 2	LSS1-4-65		非常灯評定番号: LALE-007
器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 5.0m 6.0m 7.0m 8.0m			
単体配置 A 1 3.8 4.0 4.0 2.8 - - - - -			
直線配置 A 2 8.5 9.4 9.9 10.1 - - - - -			
四角配置 A 4 6.9 7.6 8.1 8.9 - - - - -			
D	LRS1-08		
E 1	LEDブラケット (FL20形)		
E 2	LEDブラケット (Hf32形)		
屋白色 (5000K)、Ra83 電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー: プラスチック (乳白) 両面化粧タイプ			

分電盤名称	LM-M1 (N)	
キャビネット形式	T	
電気方式	種別	非常用回路
	相線	1φ3W
	電圧	210/105V
	電圧	3φ3W
	電圧	210V
負荷容量	VA	20231
	VA	2.88kW
主幹器	定格電流	100A
	定格遮断電流	2.5kA



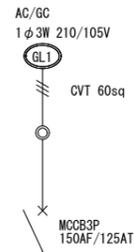
回路番号	負荷名称	負荷容量 kW	配線用遮断器
A	E T C機械室 AC-3	1.15	ELCB 3P 50AF/15AT
B	サブプース LM-S1 (ACP-1)	2.43	ELCB 3P 50AF/15AT

注 記

- 分岐用配線遮断器は2P (協約計1Pサイズ) とする。
- 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
- 図中記入なきものは下記による。

◇ 20 単相100V回路 (2P1E)

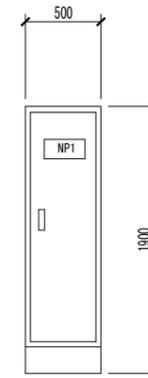
□ 2 単相200V回路 (2P2E)



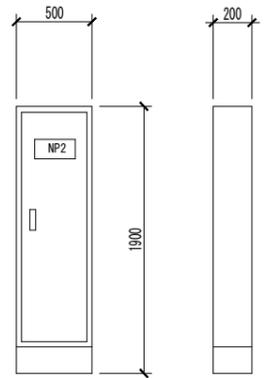
負荷容量 VA	MCCB定格電流 (A)	負荷名称	回路番号
2755	470	3P サブプース (OFF) LM-S1	GL11
1300	136	3P 機械室 LM-M2	GL13
		サブプース (OFF) LM-S3 (将来)	
570		ELCB 2P 収受員控室 室内空調機 AC-2	◇ 1
	320	2P 収受員控室 電灯	◇ 3
120		2P 全熱交換機	◇ 5
300		2P 休養準備室 コンセント	◇ 7
410		2P 便所暖房便座	◇ 9
400		2P 事務所モニター	◇ 11
2400		2P 軸重計 (将来)	◇ 13
1000		2P 通信機器収容架	◇ 15
9255	926	計	
10181			

回路番号	負荷名称	MCCB定格電流 (A)	負荷容量 VA
GL12	ONゲート LM-S2	3P 50AF/30AT	370 2800
	ONゲート LM-S4 (将来)		
◇ 2	E T C監視室 室内空調機 AC-1	ELCB 2P 50AF/20AT	570
◇ 4	ミニキッチン コンセント	ELCB 2P 50AF/20AT	1200
◇ 6	冷蔵庫	ELCB 2P 50AF/20AT	800
◇ 8	便所暖房便座	ELCB 2P 50AF/20AT	410
◇ 10	事務所アンプレインターホン	2P 50AF/20AT	100
◇ 12	温水器	ELCB 2P 50AF/20AT	1100
◇ 14	軸重計 (将来)	2P 50AF/30AT	2400
◇	予備	2P 50AF/20AT	500
計			370 9880
			10250

LM-M1 (N)



T-M1 (N)



分電盤姿図

端子盤姿図

分電盤・端子盤仕様

函板	鋼板 1.6t 以上
扉板	鋼板 1.6t 以上
把手	平面フラットハンドル No. 200
塗装	メラミン焼付

盤名称

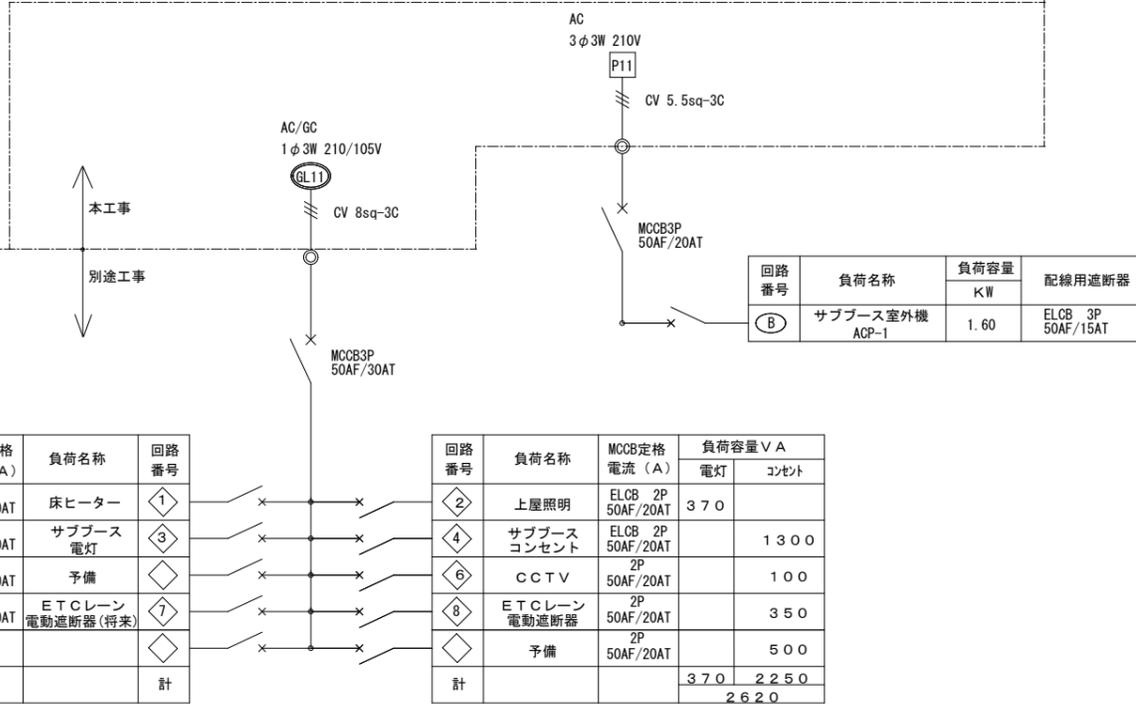
NP1	LM-M1 (N)
NP2	通信端子盤

(注記)

- 図中、寸法は参考とする。
- 端子盤内は、木製基板 (15mm) 付とする。

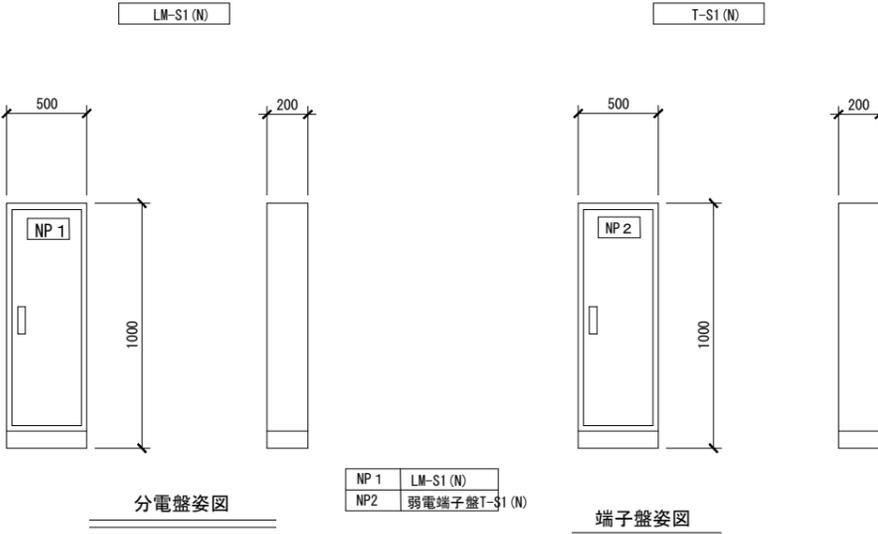
令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所(ON)(OFF)分電盤結線図	番号	E-03
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

分電盤名称	LM-S1(N)(OFFゲート)		
キャビネット形式	T		屋内自立型(銅板製)指定色塗装
電気方式	種別	非常用回路	常用回路
	相線	1φ3W	3φ3W
負荷容量VA	電圧	210/105V	210V
	電流	322.5	1.60kW
主幹器具	定格電流	50A	-
	定格遮断電流	2.5kA	-



分電盤仕様	銅板 1.6t以上
扉板	銅板 1.6t以上
把手	平面フラットハンドルNo.200
塗装	メラミン焼付

- (注記)
1. 図中、寸法は参考とする。
 2. 端子盤内は、木製基板(15mm)付とする。



- 注記
1. 分岐用配線遮断器は2P(協約計1Pサイズ)とする。
 2. 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
 3. 図中記入なきものは下記による。
- | | |
|---|----------------|
| ① | 単相100V回路(2P1E) |
| ② | 単相200V回路(2P2E) |

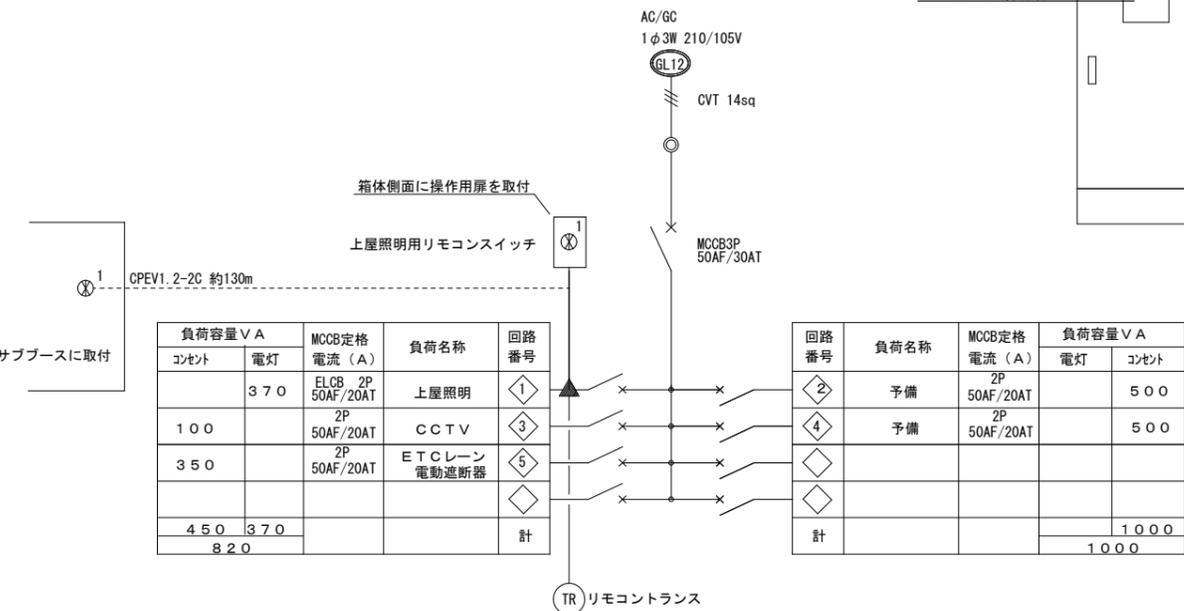
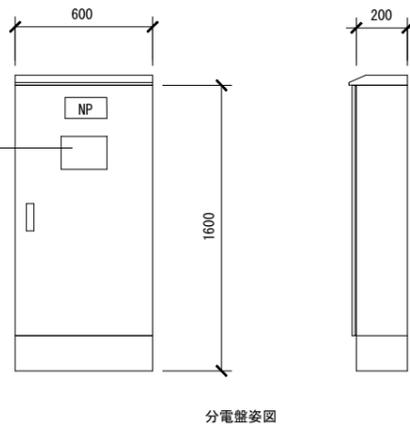
分電盤名称	LM-S2(N)(ONゲート)		
キャビネット形式	T		屋外自立型(SUS304)指定色塗装
電気方式	種別	非常用回路	
	相線	1φ3W	
負荷容量VA	電圧	210/105V	
	電流	317.0	
主幹器具	定格電流	50A	
	定格遮断電流	2.5kA	

分電盤仕様(屋外)

LM-S2(N)	銅板	SUS304 1.2t以上
	扉板	SUS304 1.2t以上
	把手	平面フラットハンドルNo.200
	塗装	メラミン焼付

- (注記) 図中、寸法は参考とする。

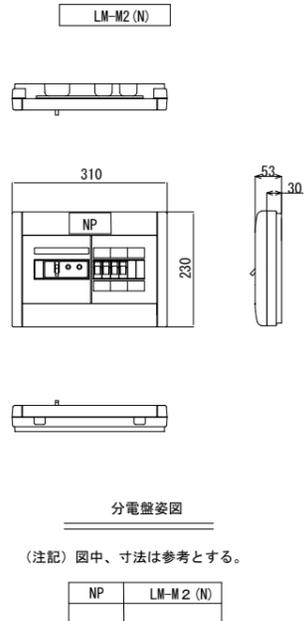
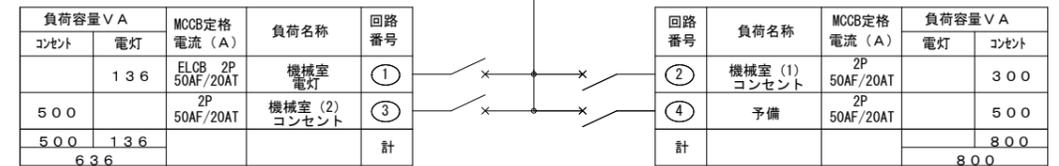
ゲート上屋
照明スイッチ操作扉



- 注記
1. 分岐用配線遮断器は2P(協約計1Pサイズ)とする。
 2. 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
 3. 図中記入なきものは下記による。
- | | |
|---|----------------|
| ① | 単相100V回路(2P1E) |
| ② | 単相200V回路(2P2E) |

分電盤名称	LM-M2(N)		待機室
キャビネット形式	T		屋内壁掛型(樹脂製)
電気方式	種別	非常用回路	
	相線	1φ3W	
負荷容量VA	電圧	210/105V	
	電流	143.6	
主幹器具	定格電流	-	
	定格遮断電流	-	

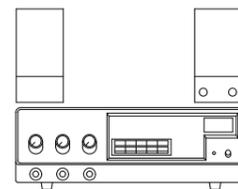
- 注記
1. 分岐用配線遮断器は2P(協約計1Pサイズ)とする。
 2. 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
 3. 図中記入なきものは下記による。
- | | |
|---|----------------|
| ① | 単相100V回路(2P1E) |
| ② | 単相200V回路(2P2E) |



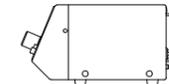
令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所 収受員待機室 動力・電灯・コンセント 弱電設備 1階平面図	番号	E-04
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

放送用アンプ仕様

電源	AC100V 60Hz
定格出力	30W
周波数特性	50Hz~20kHz
スピーカースイッチ	5周+一斉
入力回路	マイク入力 2以上
出力回路	平衡: 300Ω(100系)+4Ω

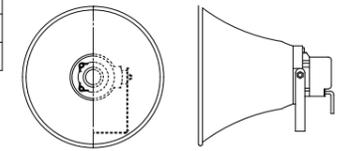


マルチメディアスピーカー
5W (参考MM-SPL2N3)



ホーンスピーカー仕様 (2台)

入力インピーダンス	670Ω(15W)
定格入力	15W
出力音圧レベル	99dB(1m/1W)
周波数特性	150Hz~15kHz



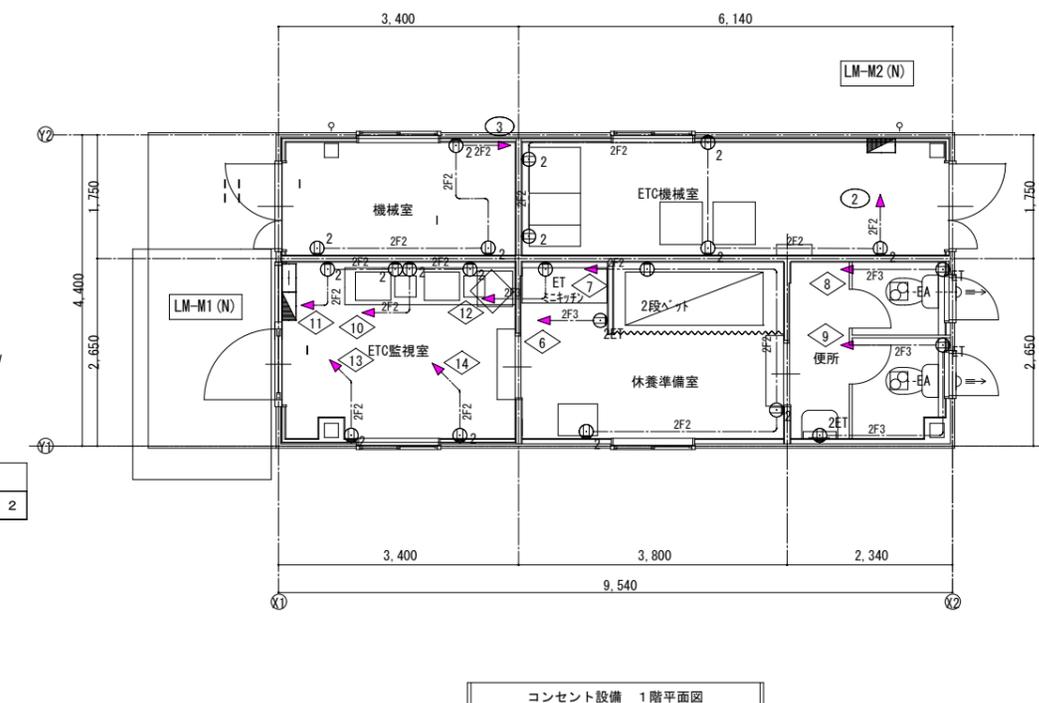
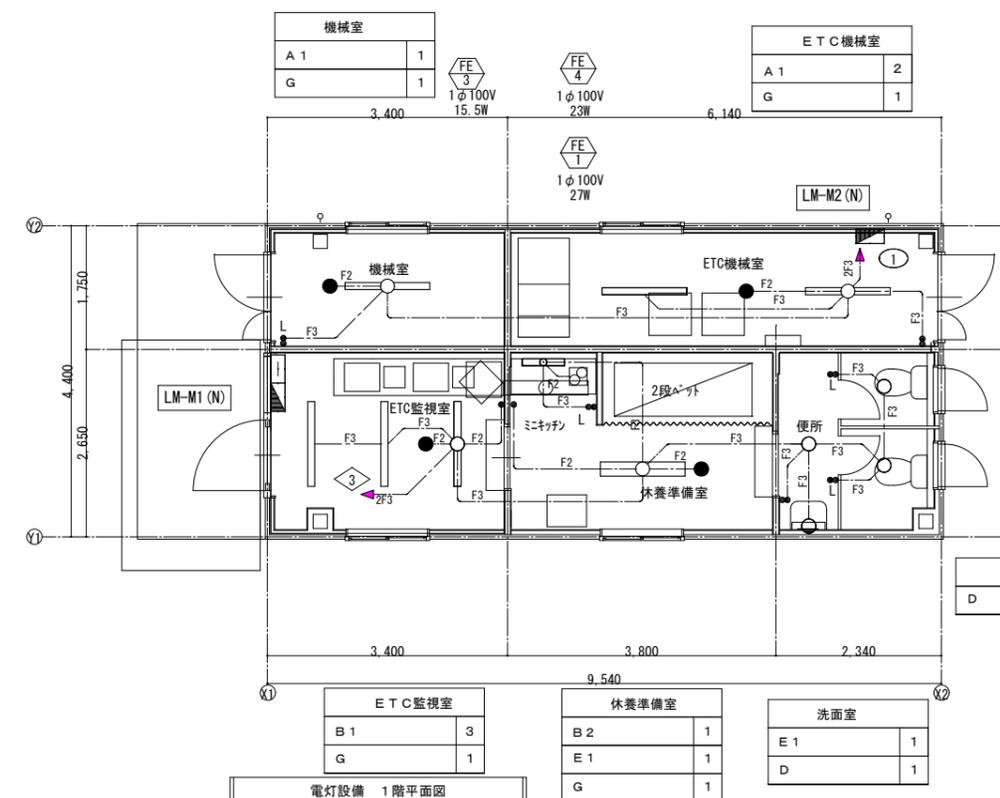
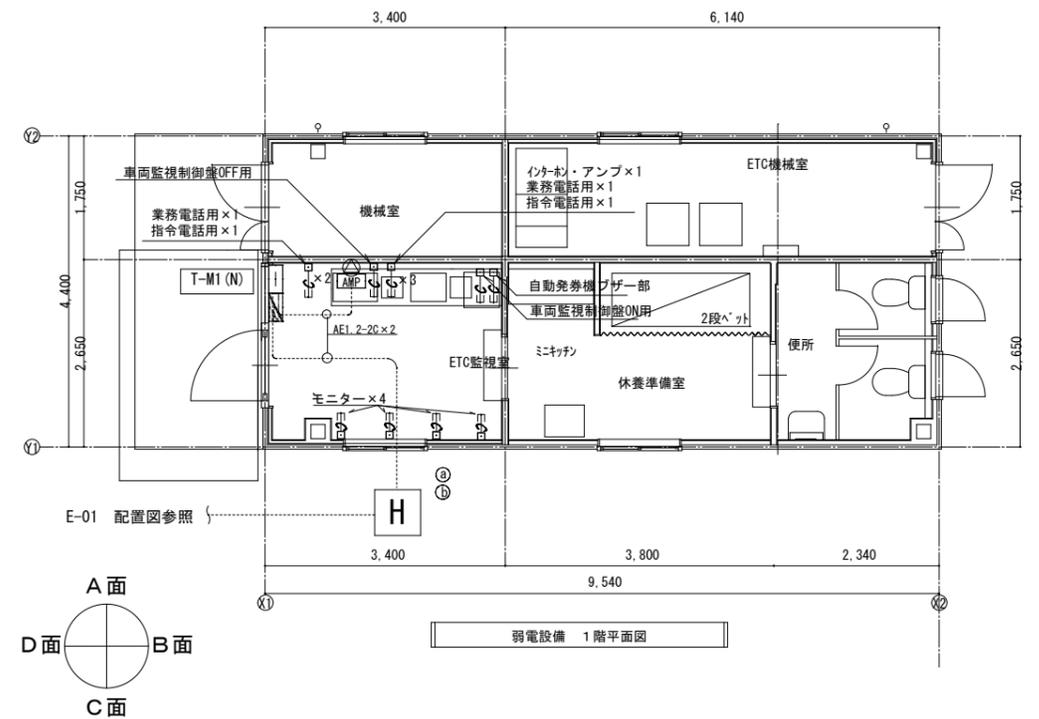
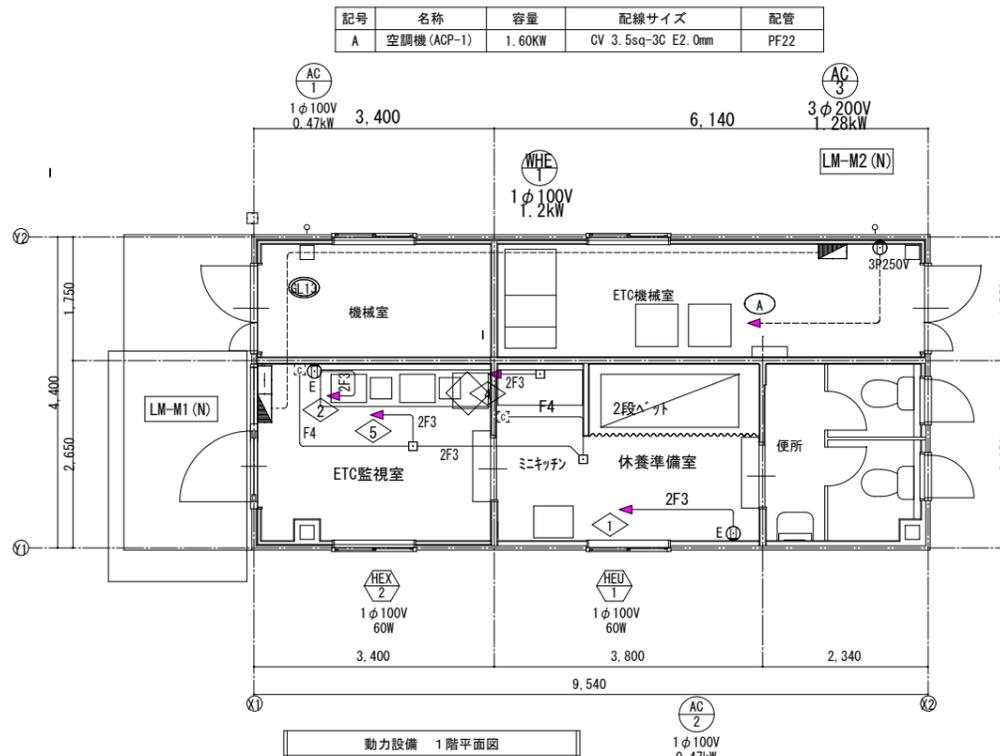
凡例

記号	名称	備考
電球	電灯動力盤	
LED	LED照明	参考図参照
○	LED照明	参考図参照
●	非常用照明	電池内蔵型
●	タンブラスイッチ	1P15A×1
●L	タンブラスイッチ	1P15A×1確認表示灯付
●3	タンブラスイッチ	3W15A×1
Ⓛ	コンセント	2P15A×1
Ⓛ2	コンセント	2P15A×2
ⓁE	コンセント	2P15A×1 接地極付
ⓁET	コンセント	2P15A×1 接地端子付
Ⓛ2ET	コンセント	2P15A×2 接地端子付
Ⓛ2EETWP	防水コンセント	2P15A×2 接地極接地端子付
Ⓛ3P250V	コンセント	3P15A×1 3相200V用
□	アウトレットボックス	
Ⓛ	温度スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付: 本工事付帯電気工事)
Ⓛ	空調リモコンスイッチ	本工事付帯機械設備支給品
Ⓛ	全熱交換機スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付: 本工事付帯電気工事)
Ⓛ	端子盤	
AMP	アンプ	モニタースピーカー付
Ⓛ	ダイナミックマイクロホン	

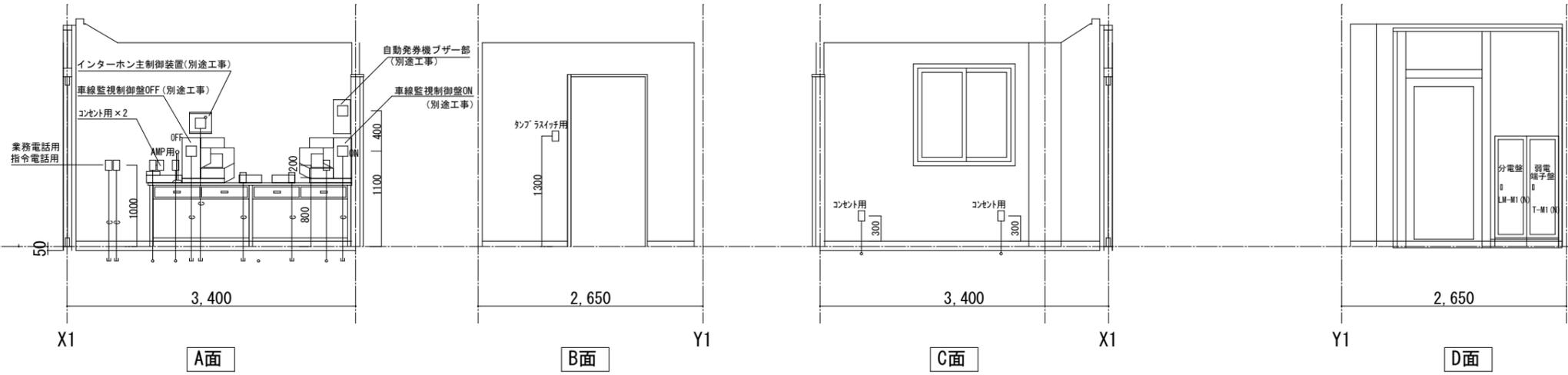
(注記)

1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

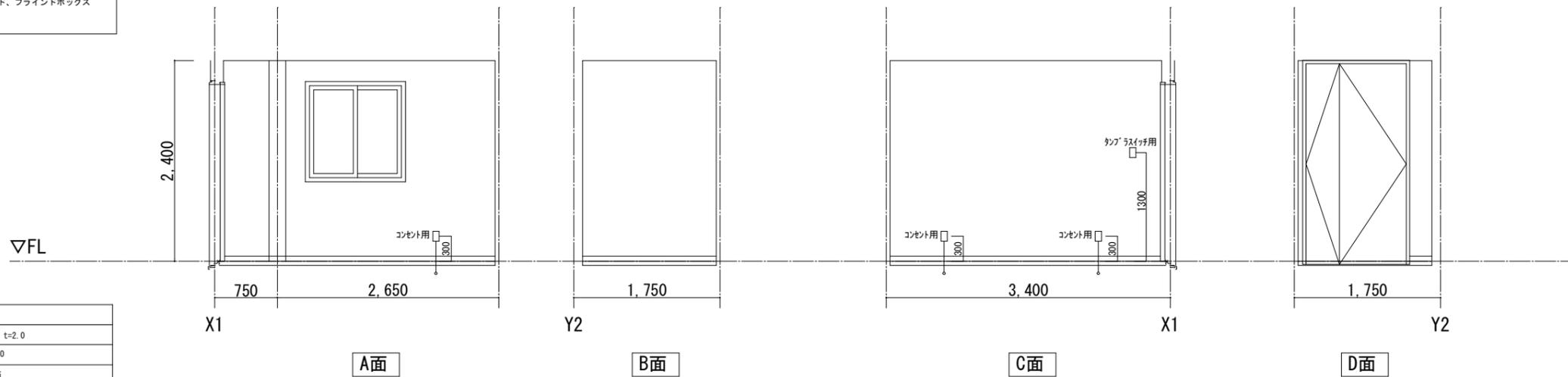
———	天井隠ぺい	
-----	床下隠ぺい	
.....	露出	
電灯・コンセント設備(床隠ぺいの例)		
F2	VF1.6-2C	(立上りPF16)
F3	VF1.6-3C	(立上りPF16)
F4	VF1.6-2C×2	(立上りPF22)
2F2	VF2.0-2C	(立上りPF16)
2F3	VF2.0-3C	(立上りPF22)
2F4	VF2.0-2C×2	(立上りPF22)
////	IV2.0×2	(PF16)
-----	空配管	(PF22)
-----	CVV1.25-2C	
////	AE1.2-2C×2	



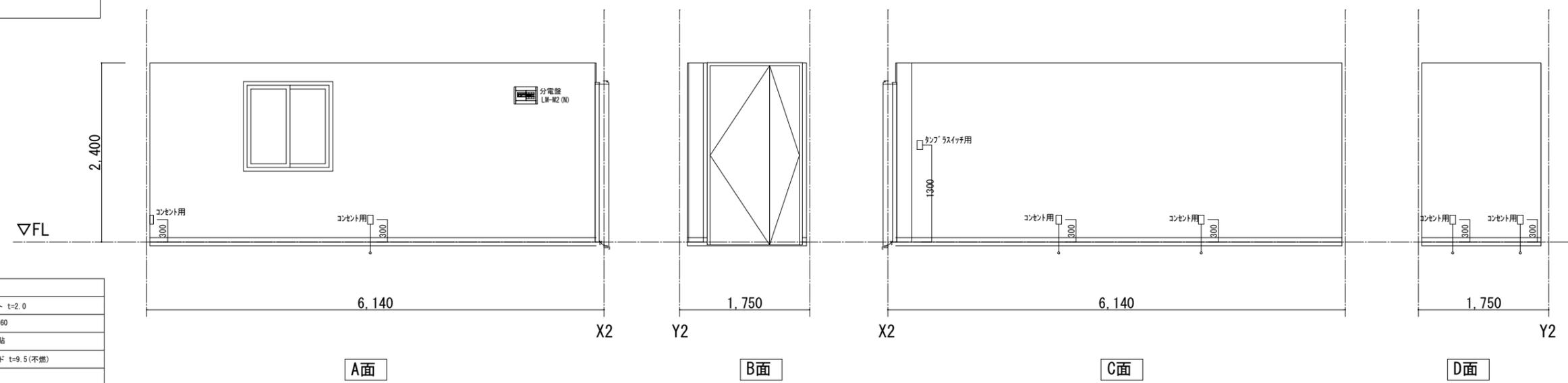
令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:30	
図名	中山料金所 収受員待機室 電気設備 展開図	番号	E-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



室名	ETC監視室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)
備考	机、ブラインド、ブラインドボックス

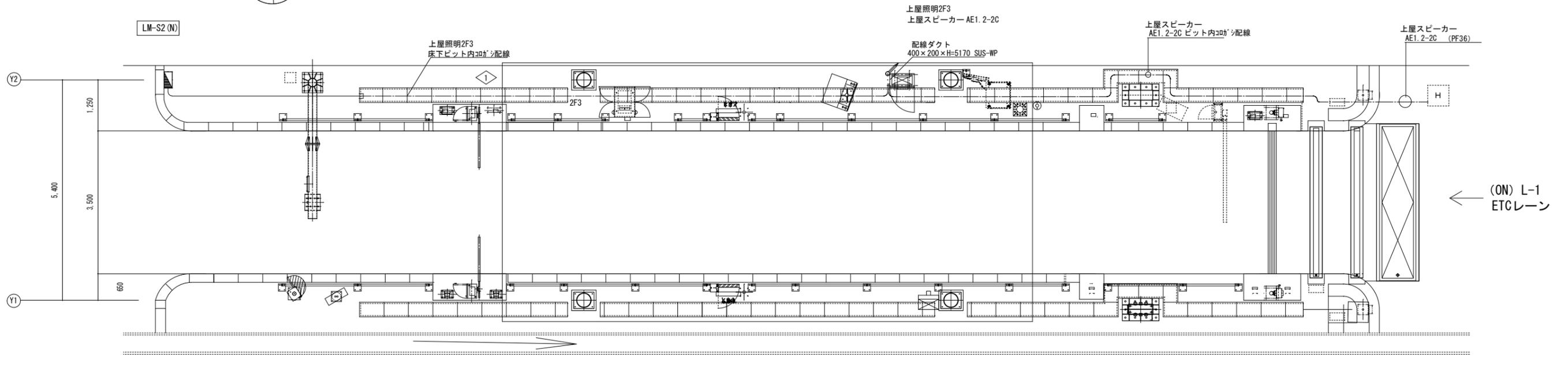
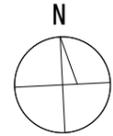


室名	機械室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)
備考	



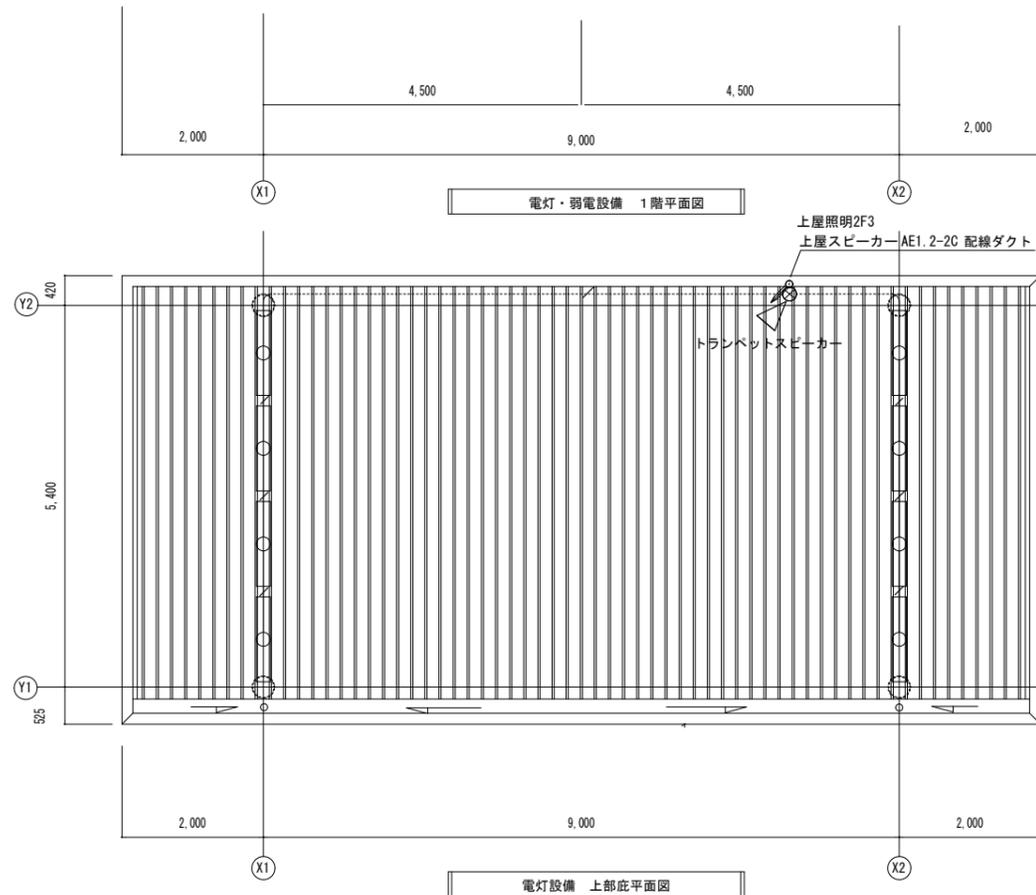
室名	ETC機械室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)
備考	

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(ON) 電灯設備 1階・屋根 平面図	番号	E-06
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



記号	名称	備考
	電灯動力盤	
	LED照明	参考委図 参照
	LED照明	参考委図 参照
	非常用照明	電池内蔵型
	タンブラスイッチ	1P15A×1
	タンブラスイッチ	1P15A×1確認表示灯付
	タンブラスイッチ	3W15A×1
	コンセント	2P15A×1
	コンセント	2P15A×2
	コンセント	2P15A×1 接地極付
	コンセント	2P15A×1 接地端子付
	コンセント	2P15A×2 接地端子付
	防水コンセント	2P15A×2 接地極接地端子付
	アウトレットボックス	
	換気扇・ハイブファン	本工事付帯機械設備工事
	温度スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付: 本工事付帯電気工事)
	空調リモコンスイッチ	本工事付帯機械設備工事
	全熱交換機スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付: 本工事付帯電気工事)
	端子盤	
	アンプ	
	ダイナミックマイクロホン	
	トランベツトスピーカー	15W

ONゲート 上部底	
A 4	8



(注記)
1. 図中特記なき配管記線は下記とする。

電灯・コンセント設備

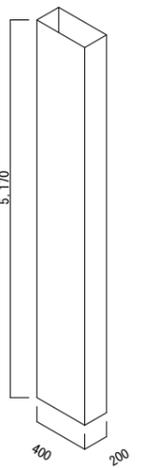
2F3	WF2.0-3C	(立上りPF22)
----	IV1.6×2E1.6	(G16露出)
----	IV1.6×3	(G16露出)
----	IV1.6×4	(G22露出)
----	IV1.6×5	(G22露出)
----	IV2.0×2E2.0	(G16露出)

(注記)
1. 図中特記なき配管記線は下記とする。

電灯・コンセント設備

----	WF1.6-2C	(立上りPF16)
F3	WF1.6-3C	(立上りPF16)
F4	WF1.6-2C×2	(立上りPF22)
2F2	WF2.0-2C	(立上りPF16)
2F4	WF2.0-2C×2	(立上りPF22)
----	CV3.5sq-3CE2.0	(立上りPF22)
----	IV2.0×2	(PF16)
----	空配管	(PF22)
1.2	AE1.2-2C×2	(PF22)

配線ダクト S-NON
SUS304-WP



1. 本体は2分割、蓋は4分割とする
2. 内部にケーブル支持バーを取り付けること

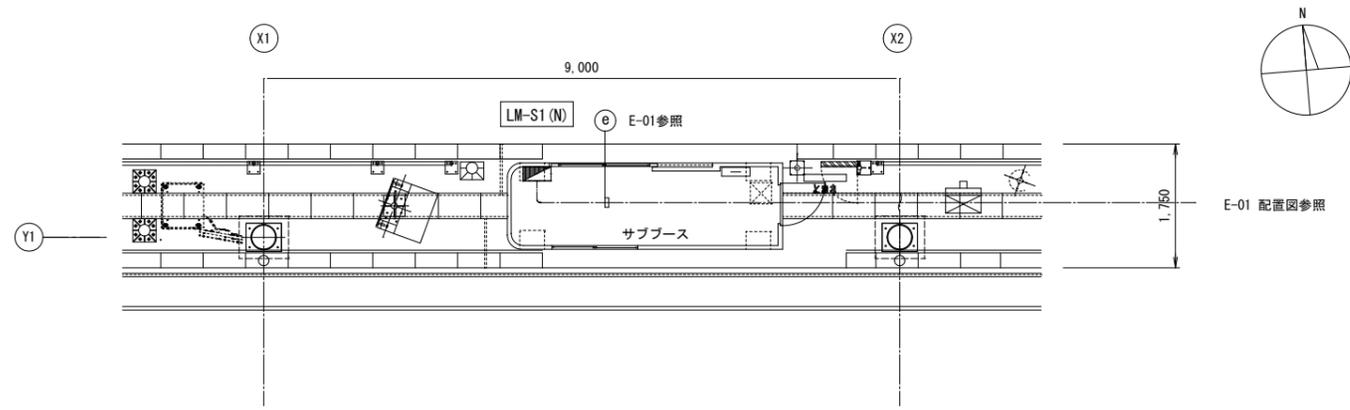
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(OFF) 動力・電灯・コンセント・弱電設備 1階・屋根 平面図	番号	E-07
路線名	高速5号線 広島高速道路公社		

(注記)

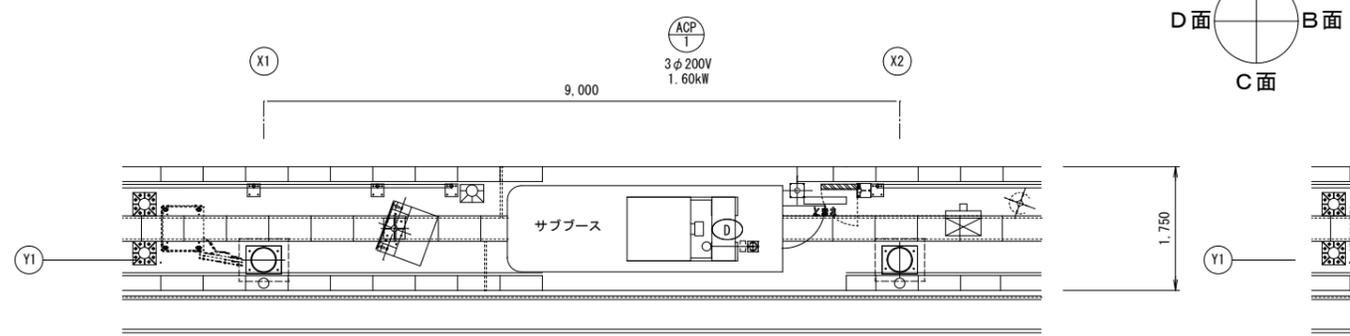
1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

-----	天井隠ぺい	
-----	床下隠ぺい	
-----	露出	
電灯・コンセント設備(床隠ぺいの例)		
-----	WF1.6-2C	(立上りPF16)
-----	F3 WF1.6-3C	(立上りPF16)
-----	F4 WF1.6-2C×2	(立上りPF22)
-----	2F2 WF2.0-2C	(立上りPF16)
-----	2F3 WF2.0-3C	(立上りPF22)
-----	2F4 WF2.0-2C×2	(立上りPF22)
-----	IV2.0×2	(PF16)
-----	空配管	(PF22)
-----	CV1.25-2C	
-----	AE1.2-2C×2	

凡例	記号	名称	備考
		電灯動力盤	
		LED照明	参考姿図 参照
		LED照明	参考姿図 参照
		非常用照明	電池内蔵型
		タンブラスイッチ	1P15A×1
		タンブラスイッチ	1P15A×1確認表示灯付
		タンブラスイッチ	3W15A×1
		コンセント	2P15A×1
		コンセント	2P15A×2
		コンセント	2P15A×1 接地極付
		コンセント	2P15A×1 接地端子付
		コンセント	2P15A×2 接地端子付
		防水コンセント	2P15A×2 接地極接地端子付
		アウトレットボックス	
		換気扇・パイプファン	本工事付帯機械設備工事
		温度スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付:本工事付帯電気工事)
		空調リモコンスイッチ	本工事付帯機械設備工事
		全熱交換機スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付:本工事付帯電気工事)
		端子盤	
		アンプ	
		ダイナミックマイクロホン	

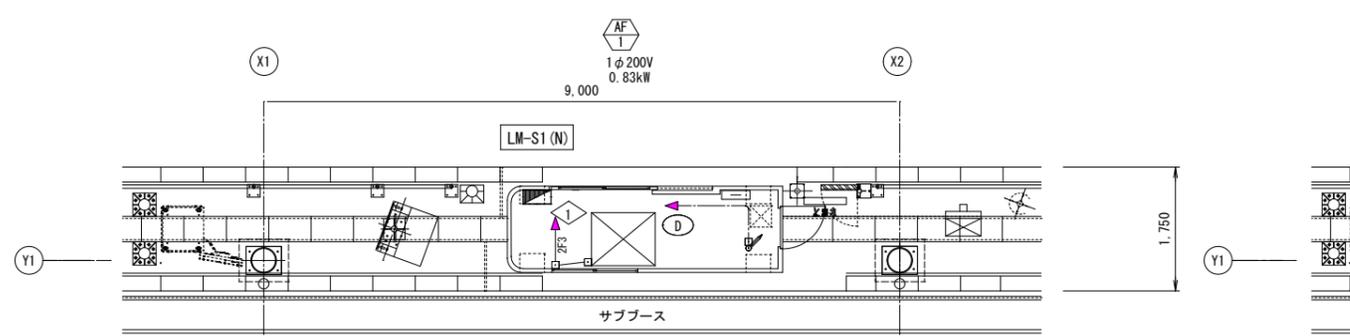


幹線設備 1階平面図

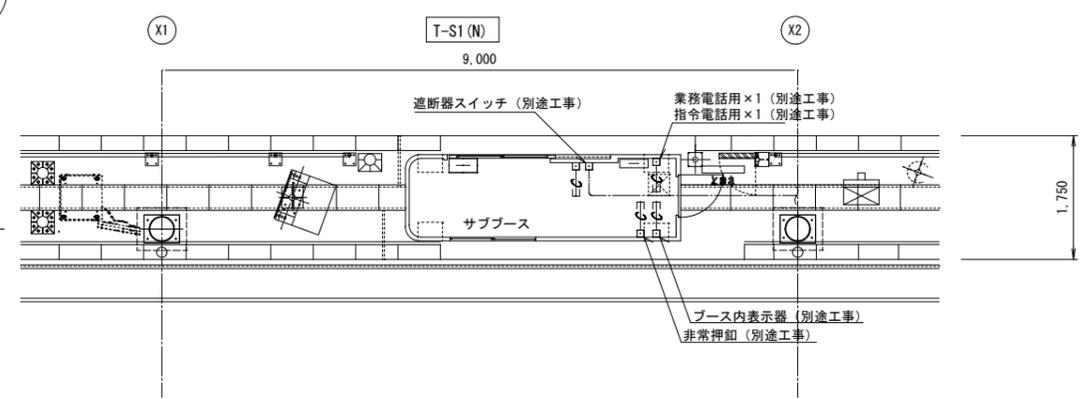
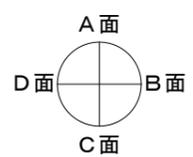


記号	名称	容量	配線サイズ	配管
D	空調機(ACP-1)	1.60kW	CV 3.5sq-3C E2.0mm	PV24 露出

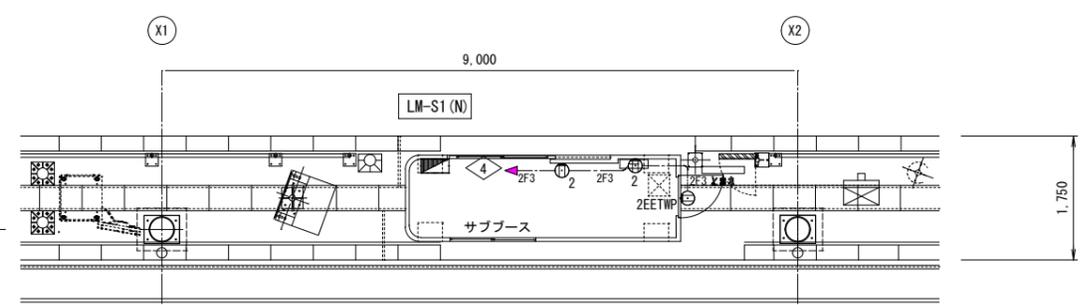
動力設備 屋根伏図



動力設備 1階平面図



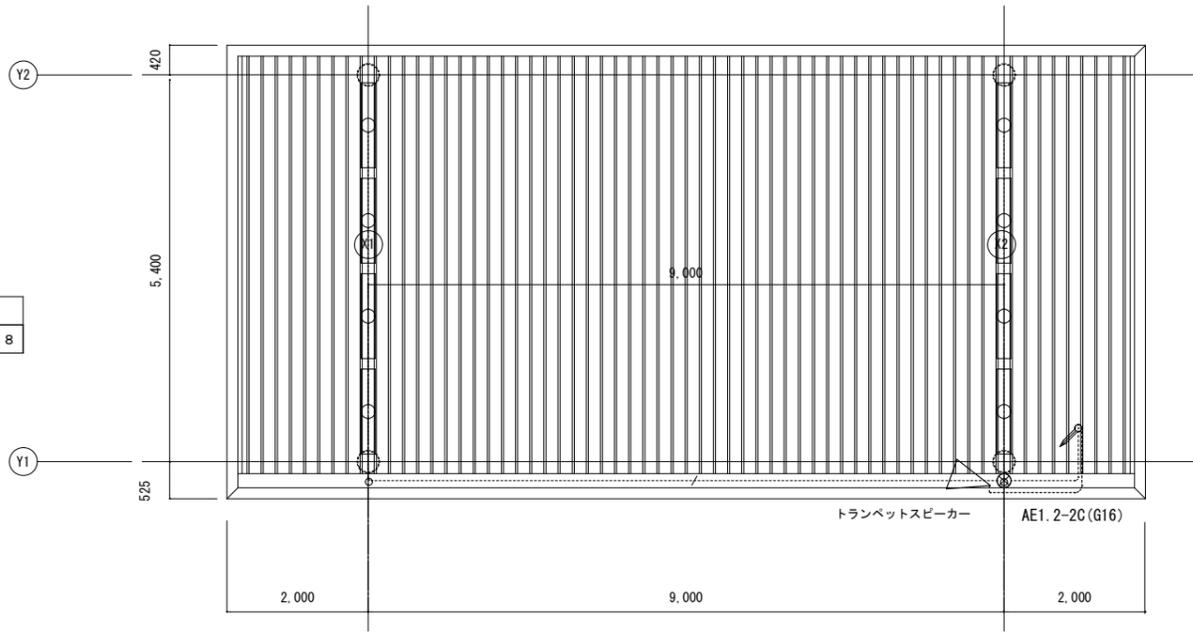
弱電設備 1階平面図



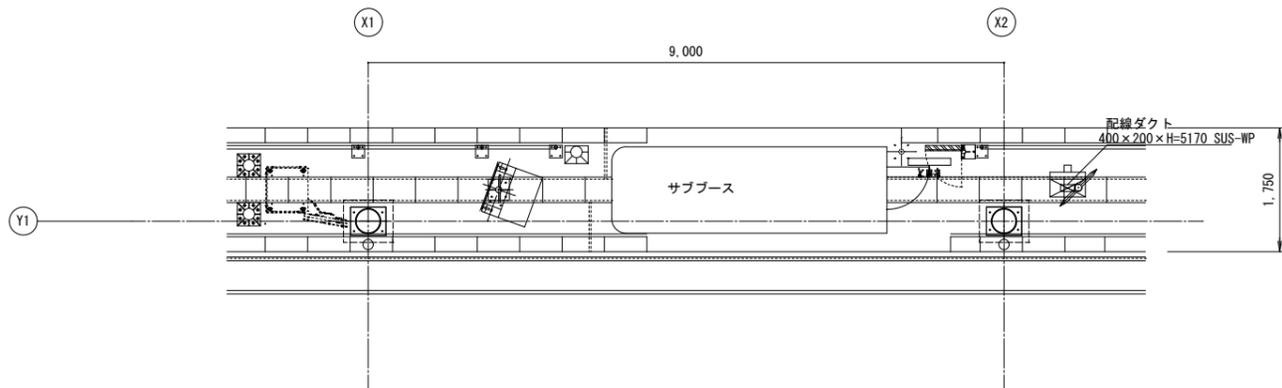
コンセント設備 1階平面図

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(OFF) 電灯・弱電設備 1階・屋根 平面図	番号	E-08
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

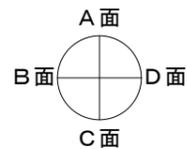
ゲート 上部庇	
A 4	8



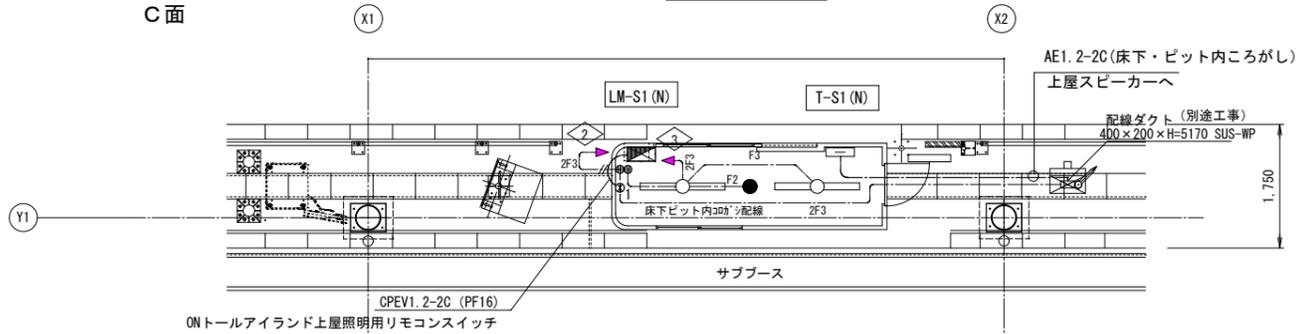
電灯・弱電設備 上部庇平面図



電灯・弱電設備 屋根伏図



サブブース	
B 1	4.750? 2



電灯・弱電設備 1階平面図

凡例

記号	名称	備考
◻	電灯動力盤	
◻	LED照明	参考図 参照
○	LED照明	参考図 参照
●	非常用照明	電池内蔵型
●	タンブラスイッチ	1P15A×1
●L	タンブラスイッチ	1P15A×1確認表示灯付
●3	タンブラスイッチ	3W15A×1
Ⓛ	コンセント	2P15A×1
Ⓛ2	コンセント	2P15A×2
ⓁE	コンセント	2P15A×1 接地極付
ⓁET	コンセント	2P15A×1 接地端子付
Ⓛ2ET	コンセント	2P15A×2 接地端子付
Ⓛ2EETWP	防水コンセント	2P15A×2 接地極接地端子付
□	アウトレットボックス	
Ⓛ1	リモコンスイッチ1回路	(リモコンはLM-S2(N)に設置)
⊗	換気扇・パイプファン	本工事付帯機械設備工事
⋮	温度スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付本工事付帯電気工事)
⋮	空調リモコンスイッチ	本工事付帯機械設備工事
⋮	全熱交換機スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付本工事付帯電気工事)
◁	トランベツスピーカ	15W
◻	端子盤	
AMP	アンプ	
Ⓜ	ダイナミックマイクロホン	

(注記)

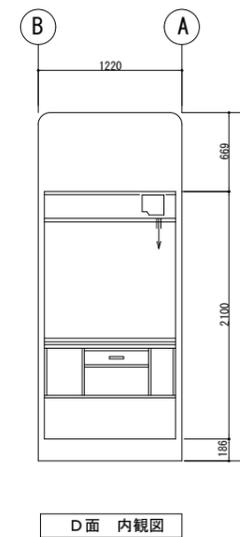
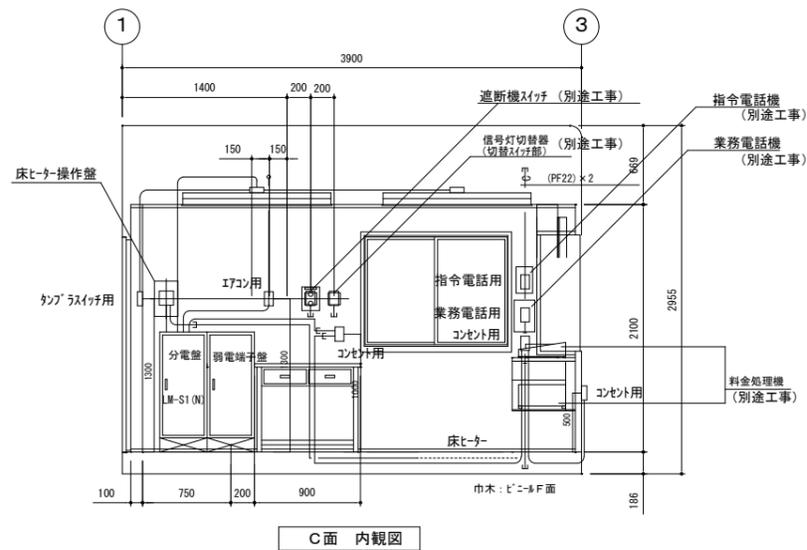
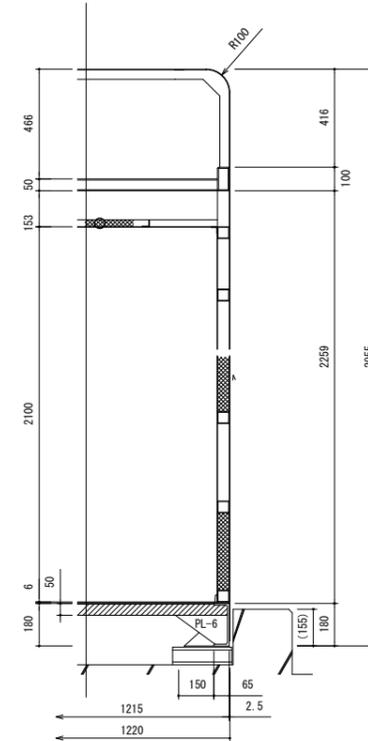
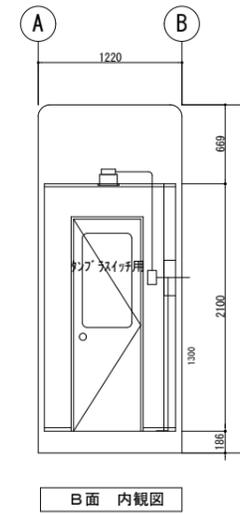
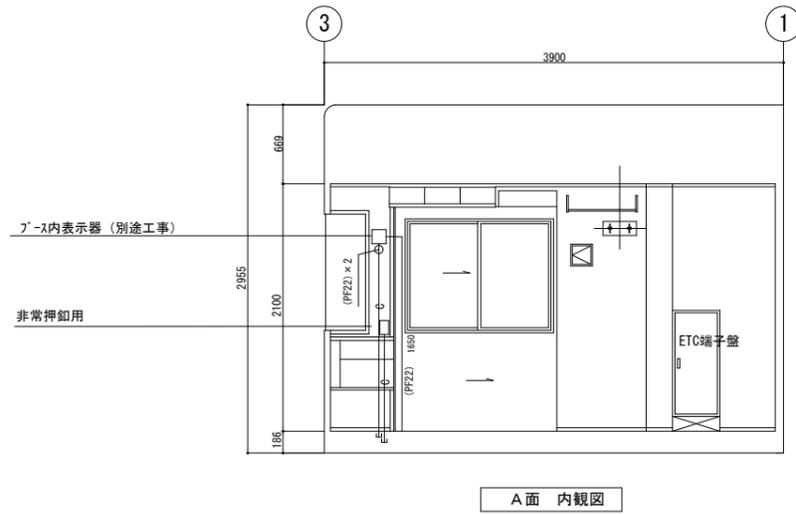
1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

- 天井隠ぺい
- - - 床下隠ぺい
- ⋯ 露出

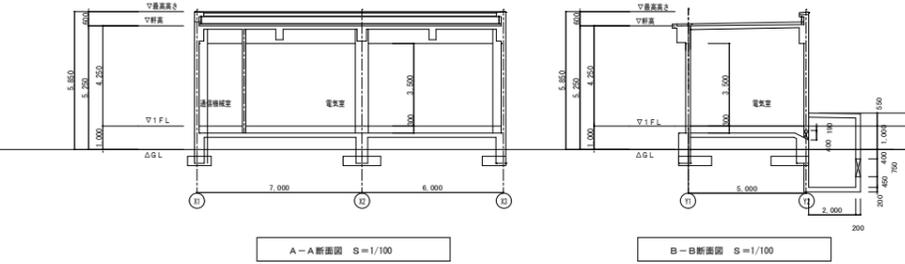
電灯・コンセント設備(床隠ぺいの例)

----	VWF1. 6-2C	(立上りPF16)
----	F3	VWF1. 6-3C (立上りPF16)
----	F4	VWF1. 6-2C×2 (立上りPF22)
----	2F2	VWF2. 0-2C (立上りPF16)
----	2F3	VWF2. 0-3C (立上りPF22)
----	2F4	VWF2. 0-2C×2 (立上りPF22)
----	IV2. 0×2	(PF16)
----	⊖	空配管 (PF22)
----	CVV1. 25-2C	
----	AE1. 2-2C×2	
----	IV1. 6×2 E1. 6	(PF16)

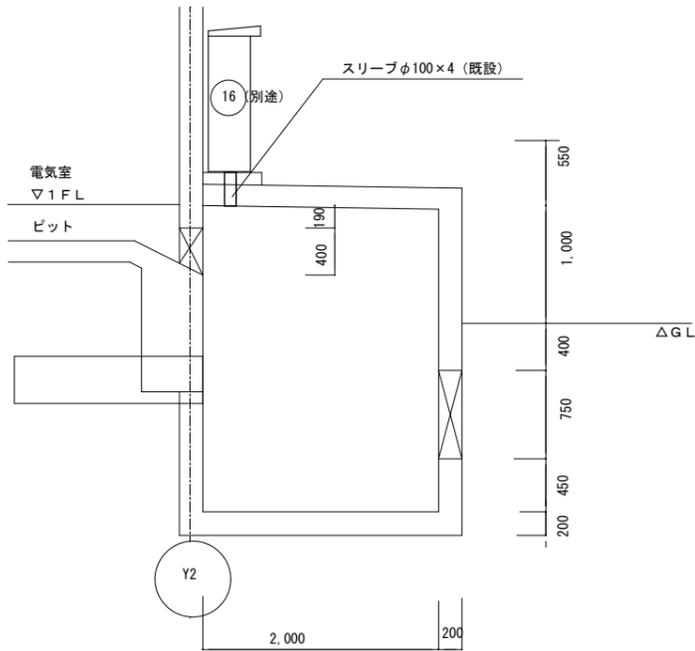
令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:30	
図名	中山料金所(OFF) サブブース 展開図	番号	E-09
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 電気室 分電盤結線図	番号	E-10
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



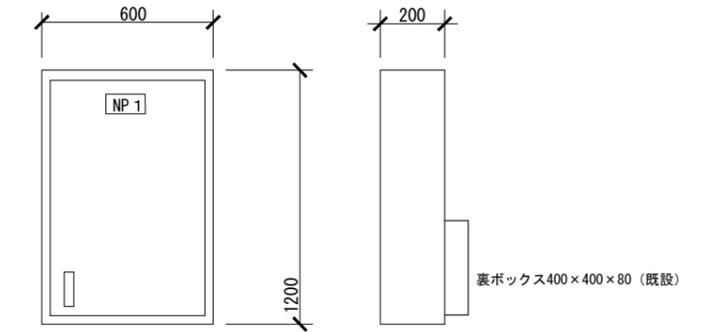
保守接続盤⑬用スリーブ図



分電盤名称	LM-E1 (N)	
キャビネット形式	T	屋内壁掛型 (鋼板製) 指定色塗装
電気方式	種別	非常用回路 常用回路
	相線	1φ3W 3φ3W
	電圧	210/105V 200V
負荷容量 VA	2726	0.995 kW
主幹器具	定格電流	50A
	定格遮断電流	2.5 kA

分電盤姿図

NP 1	LM-E1 (N)
------	-----------

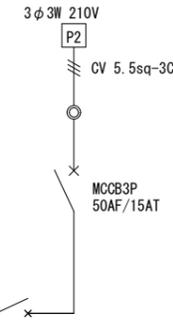


分電盤・端子盤仕様

面板	鋼板 1.6 t 以上
扉板	鋼板 1.6 t 以上
把手	平面フラットハンドル No. 200
塗装	メラミン焼付

(注記) 図中、寸法は参考とする。

配線用遮断器	負荷容量	負荷名称	回路番号
	KW		
ELCB 3P 50AF/20AT	0.995	通信機械室 AC-1	C



負荷容量 VA	MCCB 定格電流 (A)	負荷名称	回路番号	回路番号	負荷名称	MCCB 定格電流 (A)	負荷容量 VA
コンセント	2P 50AF/15AT	電気室・通信機械室 電灯	1	2	電気室 換気扇	2P 50AF/15AT	860
430	2P 50AF/15AT	通信機械室 換気扇	3	4	電気室 コンセント	2P 50AF/15AT	200
30	2P 50AF/20AT	電気室・通信機械室 コンセント	5	非	電気室・通信機械室 非常照明	2P 50AF/15AT	6
200	2P 50AF/20AT	予備			予備	2P 50AF/20AT	500
500	700	460	計	計		866	700
1160						1566	

注記

- 分岐用配線遮断器は2P (協約計1Pサイズ) とする。
- 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
- 図中記入なきものは下記による。



照明器具姿図

C 1	LSS1-4-48
C 2	LSS1-4-65
H	K1-LSS11-1
F	LBF3MP/RP-2-13

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山電気室 高圧引込・幹線 動力・電灯設備	番号	E-11
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

注記

1. スラブ内の配管・ボックスを施工済である。
2. 屋外側に取り付けられている既設のアウトレットボックスには水が浸入しないようカバープレートが取り付けられている。

記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
□	直付照明器具	姿図参照
○	非常用照明 電池内蔵型	〃
○	ブラケット	〃 OB102×44 (既設)
●	タンブラスイッチ	1P15A×1 〃
●L	タンブラスイッチ	1P15A×1オフピカ付 〃
●WP	防水タンブラスイッチ	1P15A×1 (防水) 〃
□	エアコン電源引出口	PBWP200角×200SUS 裏OB119×54 (既設)
Ⓜ	ワイヤードリモコン	OB102×44 (既設)
□	リモコンケーブル引出口	〃
□	故障情報ケーブル引出口	〃
☒	プルボックス	PB200角×200 裏OB119×54 (既設)

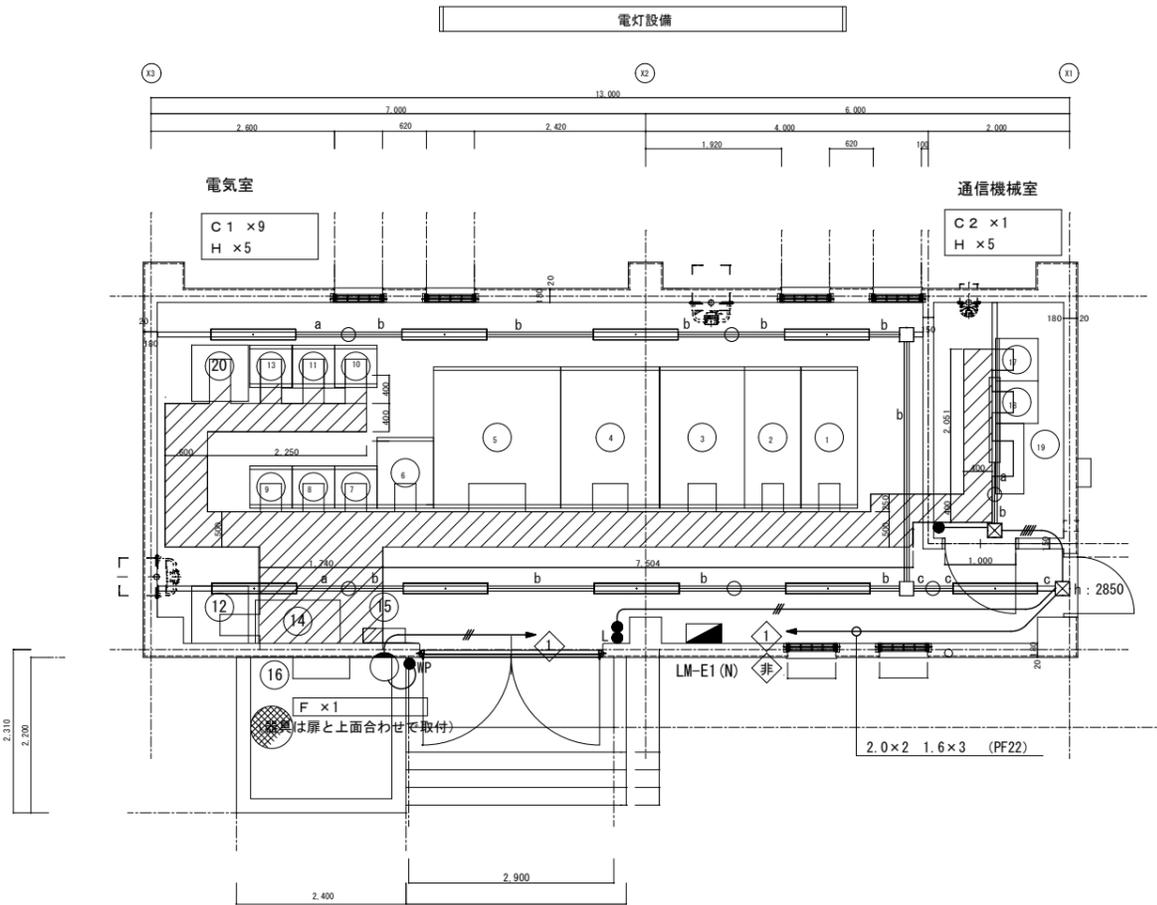
(注記)

1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

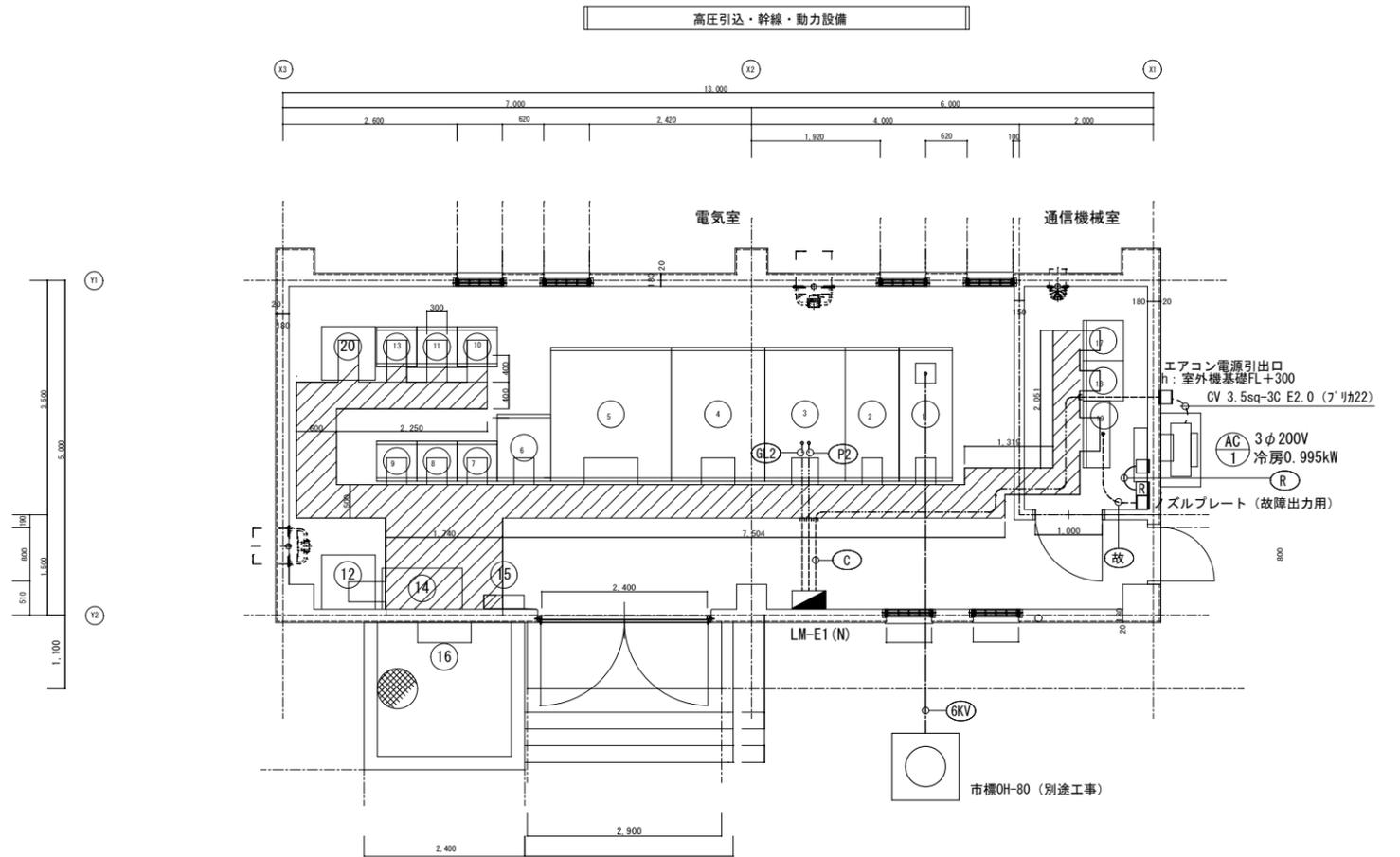
———	スラブ内いんべい配線
-----	床スラブ内いんべい配線
-----	ビット内ころがし配線
=====	レースウェイ内配線
-----	地中埋設配線

機器リスト (別途工事)

番号	名称	備考
①	受電盤	別途工事
②	変圧器一次盤	〃
③	所内変圧器盤 20kVA	〃
④	照明変圧器盤 100kVA 将来: 150kVA	〃
⑤	動力変圧器盤 300kVA	〃
⑥	直流電源装置	〃
⑦	照明制御盤	〃
⑧	照明コントロールセンタ (1)	〃
⑨	照明コントロールセンタ (2)	〃
⑩	排煙用換気制御盤	〃
⑪	換気コントロールセンタ (1)	〃
⑫	保守用変圧器盤	〃
⑬	UPS 3kVA	〃
⑭	保守切替盤	〃
⑮	接地端子盤	〃
⑯	保守接続盤 (屋外防水SUS仕様)	〃
⑰	IP-IG子局	〃
⑱	通信機器収容箱	〃
⑲	MDF	〃
⑳	保守用変圧器盤	〃



記号	配線サイズ	備考
———	1.6×2 (PF16)	配管のみ既設
———	1.6×3 (PF16)	〃
———	1.6×5 (PF22)	〃
a	1.6×3 (レースウェイ40×30)	
b	1.6×5 (レースウェイ40×30)	
c	1.6×6 (レースウェイ40×30)	



記号	名称	電圧	配線サイズ	備考
6KV	高圧引込	6.6KV	6.6KVCVT38sq FEP80×2, FEP50×1	配管のみ既設 (配線は別途工事)
GL2	LM-E1 (N)	1φ 3W	CV 5.5sq-3C E2.0mm PF28×3 (ビット内コカシ)	配管のみ既設
P2	3φ 3W	3φ 3W	CV 5.5sq-3C PF28×2 (ビット内コカシ)	〃
C	空調機 (AC-1)	1.12KW	CV 3.5sq-3C E2.0mm PF22 (ビット内コカシ)	〃
故	空調機故障情報	CVV 1.25sq-2C	PF16 (ビット内コカシ)	〃
R	ワイヤードリモコン	VCTF 0.3sq-2C	PF16	〃

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山電気室 換気・コンセント 業務電話設備	番号	E-12
路線名	広島高速5号線		
	広島高速道路公社		

注記 1. スラブ内の配管・ボックスを施工済である。

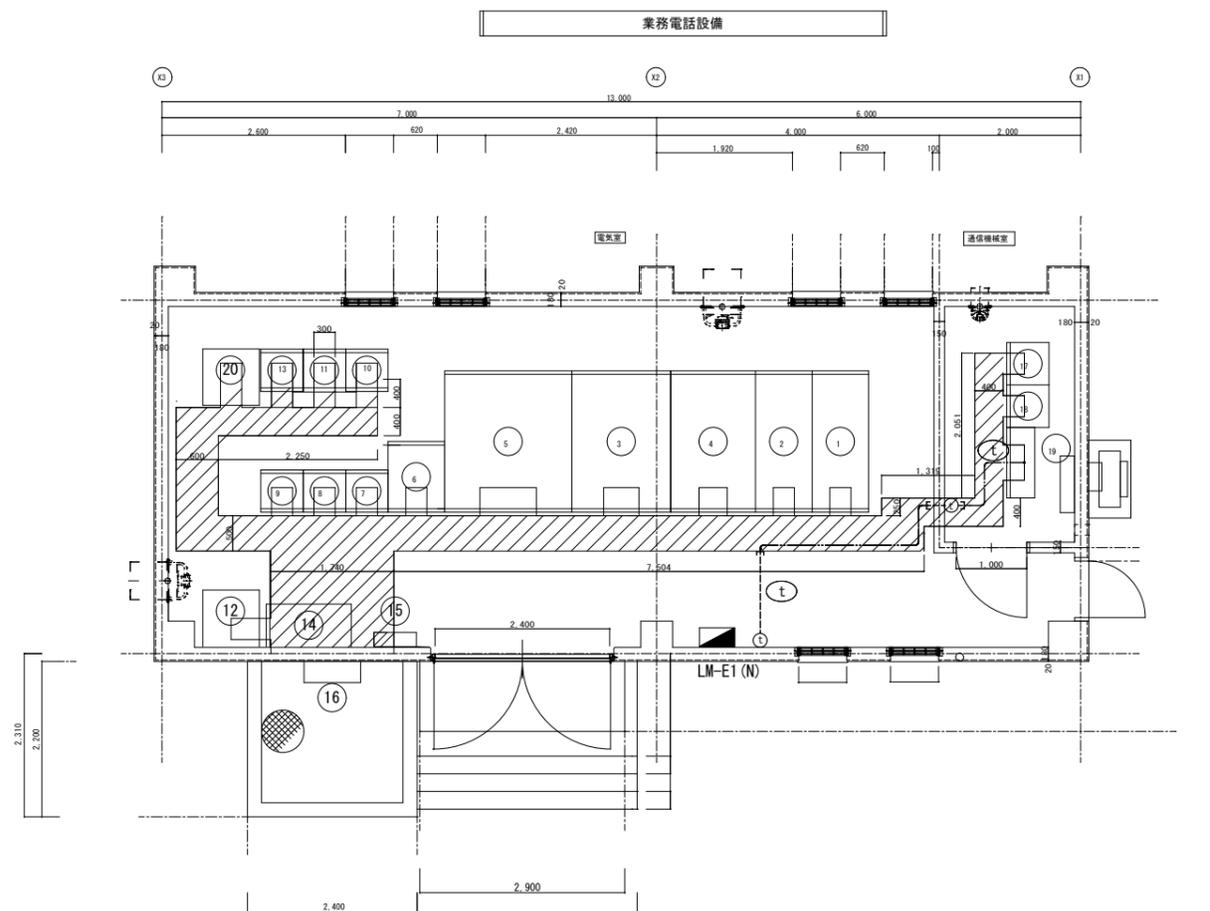
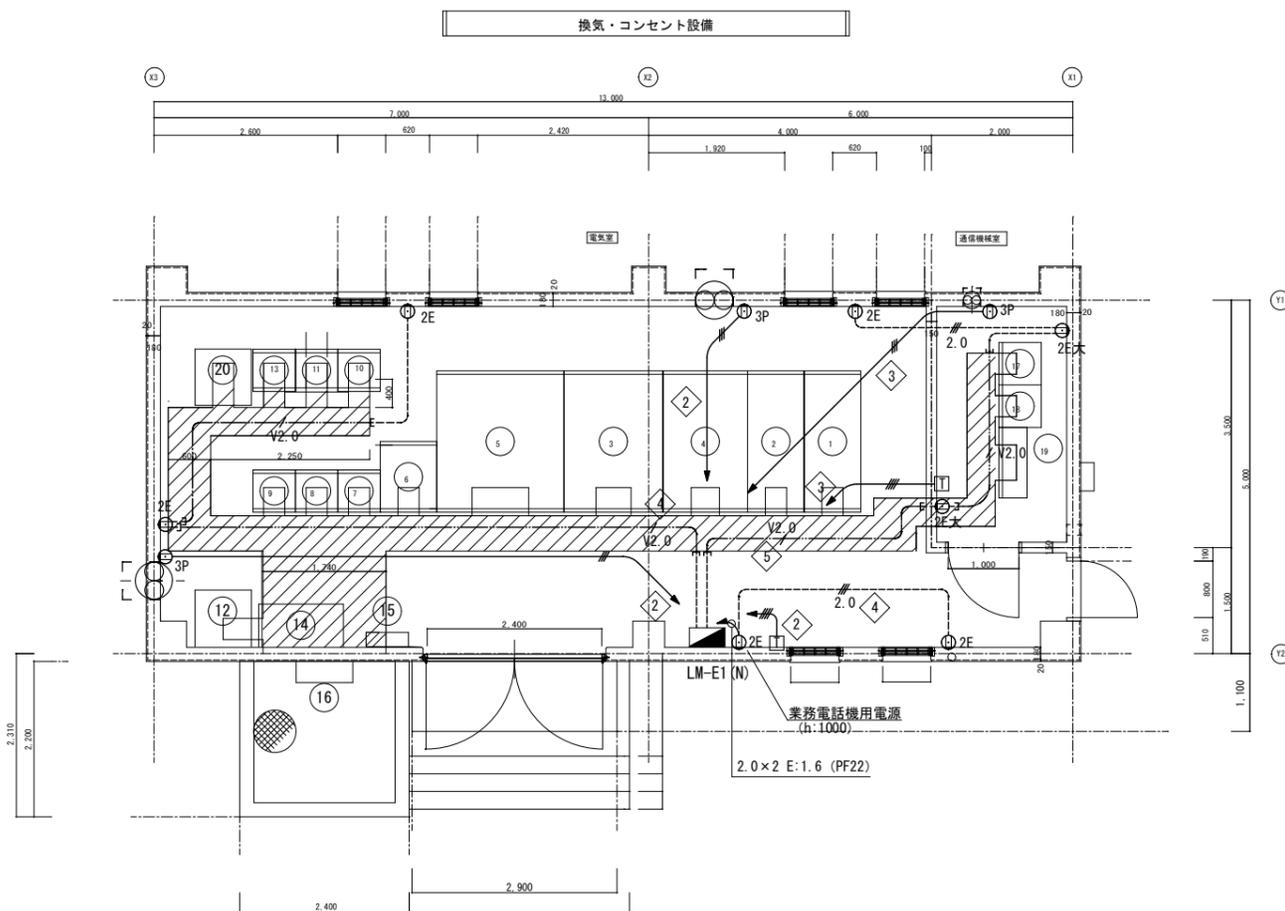
凡例

記号	名称	備考
	電灯動力盤	
	有圧換気扇	
	コンセント	2P15A×2E端子付 OB102×44 (既設)
	コンセント	2P15A×2E端子付 OB119×54 (既設)
	換気扇用コンセント	3P引掛15Aキャップ付
	サーモスタット	(本工事付帯機械設備工事支給品) OB102×54 (既設)
	電話用モジュージャック	OB102×44 (既設)

(注記)

1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

- スラブ内いんべい配線
- 床スラブ内いんべい配線
- ビット内ころがし配線



記号	配線サイズ	
		配管のみ施工済
	2.0×2 E:1.6 (PF16)	"
	1.6×2 E:1.6 (PF16)	"
	VVF2.0-3C (PF22) (ビット内コトガシ)	"
	1.6×4 (PF16)	"

記号	名称	配線サイズ	
	業務電話回線	AE1.2-2C PF16 (ビット内コトガシ)	配管のみ施工済

令和 6 年度			
工事名	広島高速 5 号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 設備凡例	番号	M-01
路線名	高速 5 号線		
広島高速道路公社			

設備凡例 S=NON

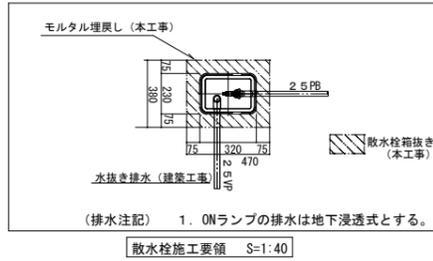
凡例

記号	名称	配管材料及びその他使用材料	備考
—R—	冷媒管	一般：冷媒用被覆銅管（室内外機渡り配線は本工事） JCDA 0009	※屋外露出部は樹脂製化粧カバーにて保護（メーカー仕様）
—D—	ドレン管	一般：硬質塩化ビニル管（VP） JIS K 6741	※隠ぺい部は保温チューブ巻きを行うこと。屋内露出部は保温チューブ+配管化粧カバー巻きを行うこと。
—SA—	給気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	※屋内隠ぺい部は保温を行うこと、種別は I・（ロ）・XI とする。
—RA—	還気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	
—OA—	外気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	
—EA—	排気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	
—  —	ベントキャップ	SUS製深型（指定色焼付塗装）	
	ドアガラリ		※建築工事
	サーモスタッド		
— -- —	給水管	水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管（SGP-PB） JWWA K 132	屋内配管（屋外露出・桁内） 保温防露施工 屋外露出は e ₂ ・（ハ）・VII、天井内・PS内は c・（ハ）・VII、床下・ピット内は d・（ハ）・VII とする。
		水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管（SGP-PD） JWWA K 132	土間配管
		水道用ポリエチレン管 1種 2層管 JIS K 6762	屋外埋設（道路、歩道下）
— — —	排水管	硬質塩化ビニル管（VP） JIS K 6741	屋内配管（桁内）、埋設配管（100φ以下）
		硬質塩化ビニル管（VU） JIS K 6741	埋設配管（150φ以上）
		排水用塩ビライニング鋼管 WSP 042	屋外立管（屋外露出）、MD継手
.....	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） JIS K 6741	

- (注記) 1. 本工事に使用する材料は下記仕様書による。
 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）国土交通省監修
 上記に該当しない場合は承諾を得るものとする。
2. 本工事に使用するコンクリートアンカーについて特記なき場合は金属拡張おねじアンカーとする。
3. 本工事に使用する金属製弁類、継手類について特記なき場合は管端防食を行うこと。
4. 本工事に使用する電線類（電源線、操作線、接地線等）について特記なき場合はJCS規格による。
5. 床下、ピット内配管は、レベルバンド支持とする。
6. 給水設備は全て広島市水道局の指定品、指定工法とする。

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1 : 200	
図名	中山料金所 給排水設備 配置図	番号	M-02
路線名	高速5号線 広島高速道路公社		

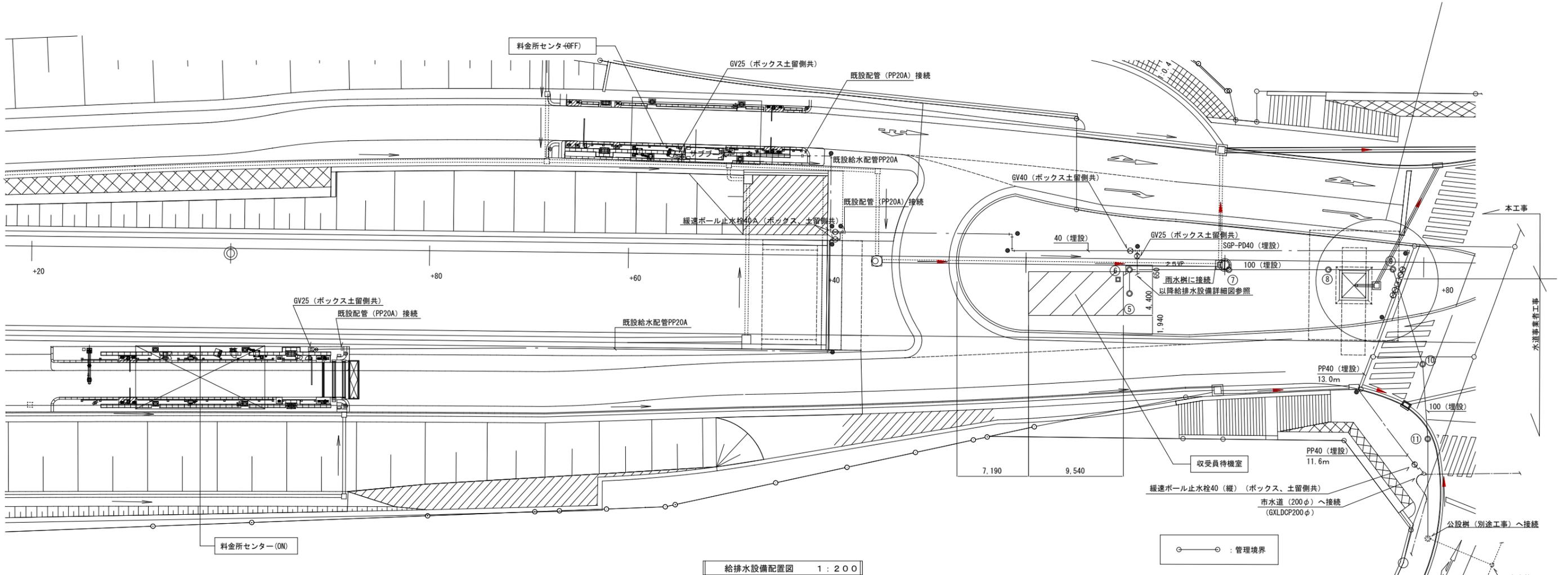
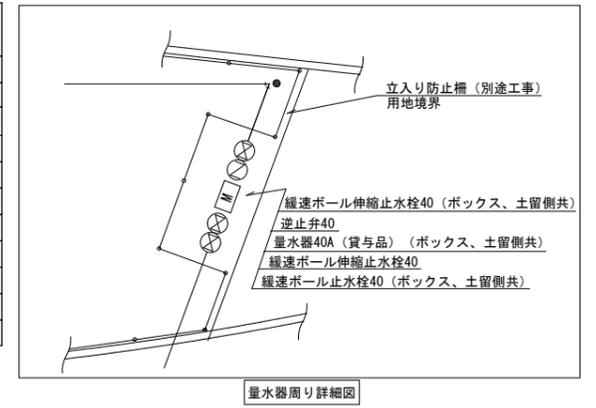
器具表			
器具名	広島市機械設備工事標準図記号	数量	備考
散水栓	13-HF1	2	
散水栓ボックス	B-3	2	屋外
仕切弁	GV-25 10k	2	
仕切弁	GV-40 10k	2	



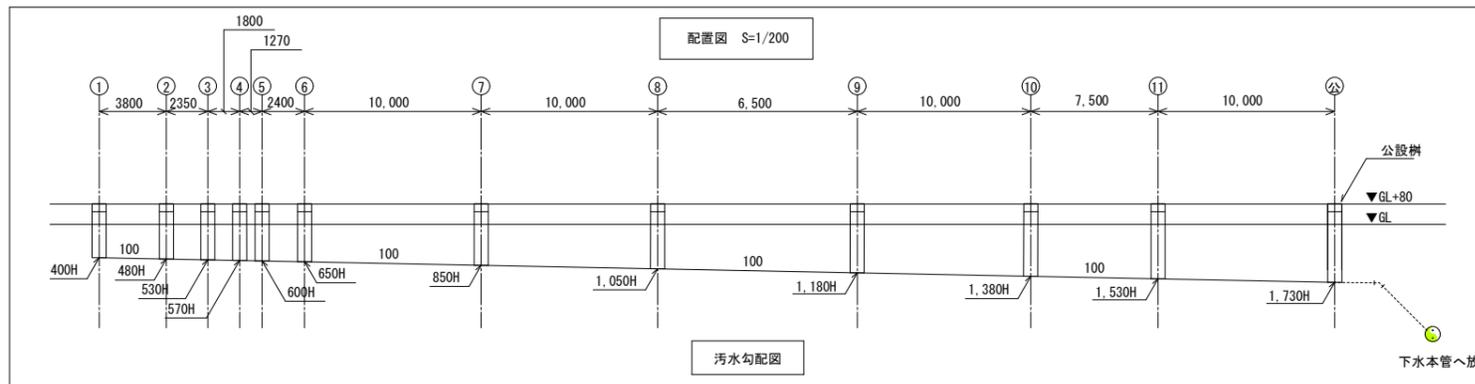
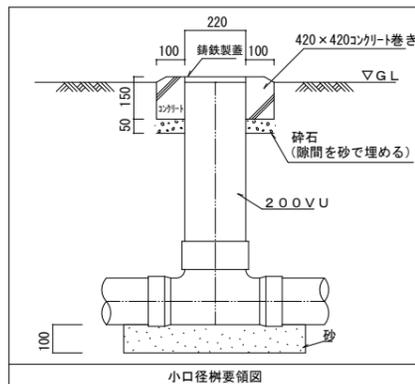
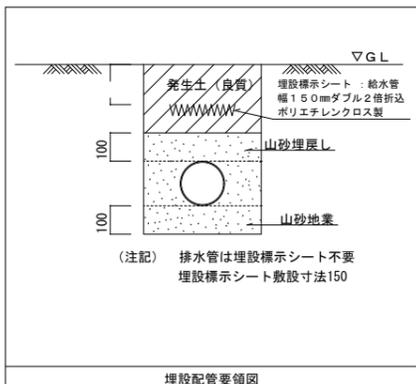
排水樹リスト

番号	名称	種類	仕様	GL±0からの管底H (mm)	計画GLからの管底H (mm)	地盤高 (計画GL)	マンホール	備考
①	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 L	+140	+220	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
②	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 Y	+230	+310	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
③	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 L	+280	+360	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
④	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 Y	+320	+400	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
⑤	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 Y	+520	+600	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
⑥	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 L	+570	+650	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
⑦	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - ST	+770	+850	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
⑧	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - ST	+970	+1,050	+80	鑄鉄製防護蓋 (T-8)	
⑨	インバート樹	RC樹	900 - 100 - 90 L	+1,100	+1,180	+80	MHA-600	SC-4
⑩	インバート樹	RC樹	900 - 100 - ST	+1,300	+1,380	+80	MHD-600	SC-4
⑪	インバート樹	RC樹	900 - 100 - ST	+1,450	+1,530	+80	MHD-600	SC-4

(排水樹注記) 1 排水管の勾配は原則1/50以上とする。
2 地盤高、会所深さは参考値とし、現場にて調整する。
3 インバート樹施工については、本図及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) を参考とする。



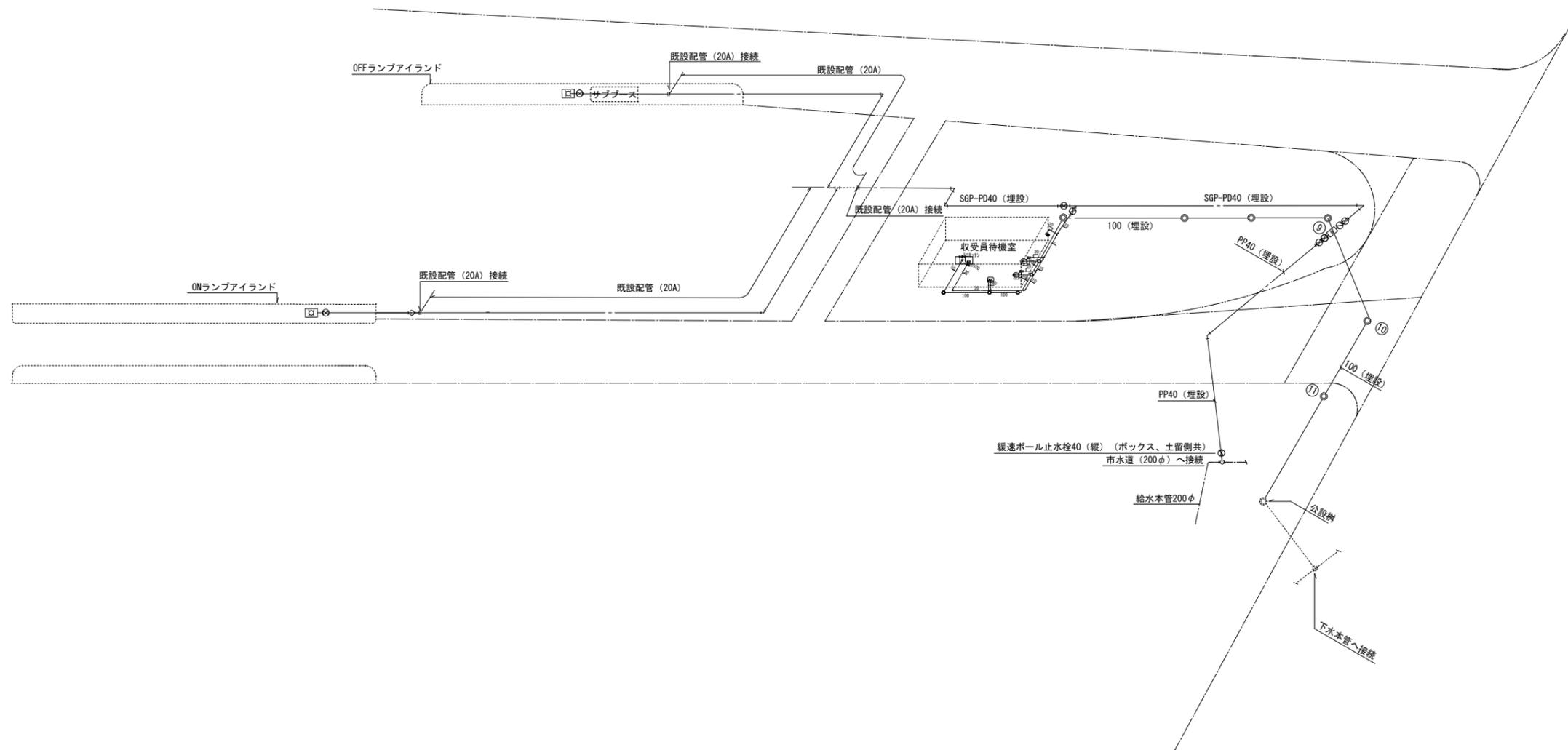
給排水設備配置図 1 : 200



(注記) 1. ● は埋設表示 (鉄製) を示す。
2. 道路内の水道管理設深さは $\geq 1.2\text{m}$ とする。
3. 歩道内の水道管理設深さは $\geq 0.6\text{m}$ とする。

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 給水・排水管 系統図	番号	M-03
路線名	高速5号線		
	広島高速道路公社		

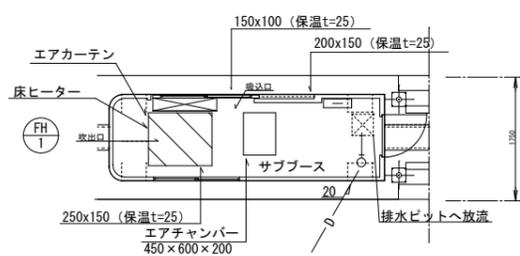
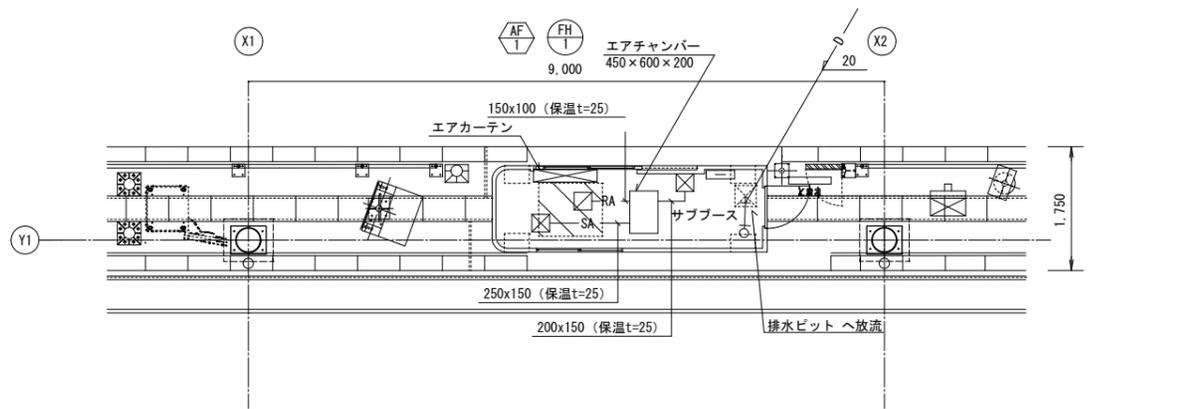
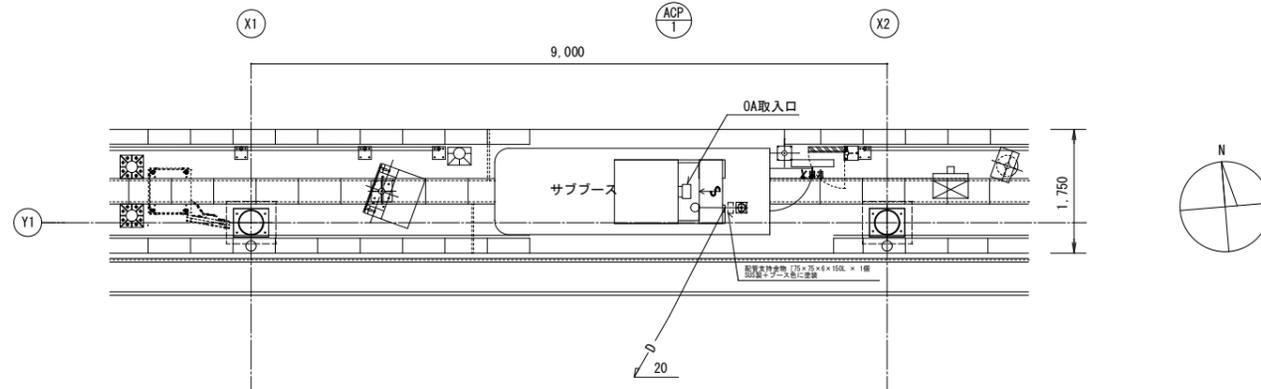
給水・排水管 系統図



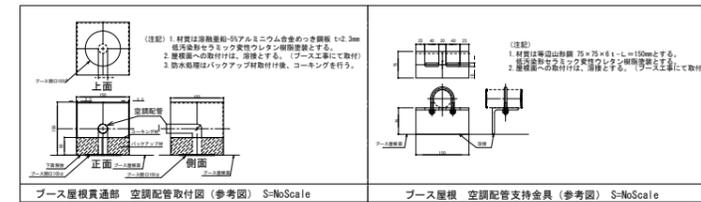
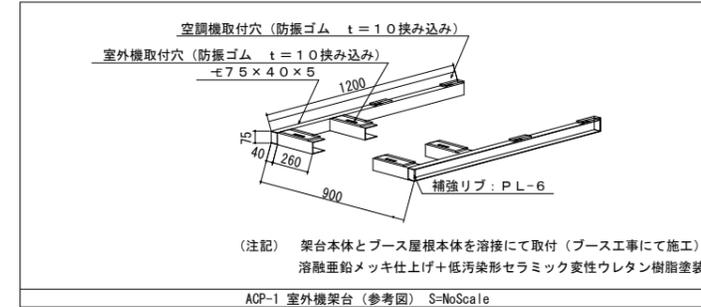
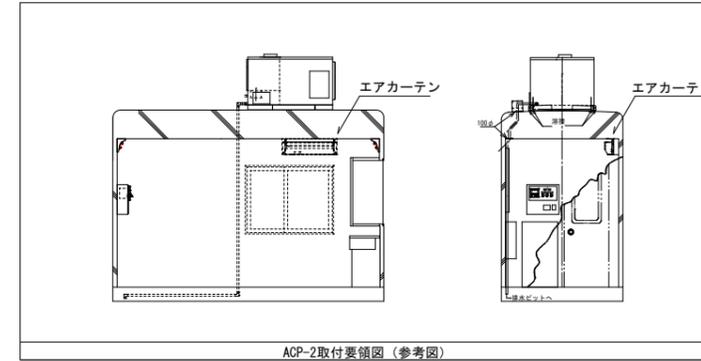
令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(サブプース)空調換気設備詳細図・機器表	番号	M-04
路線名	高速5号線		
	広島高速道路公社		

凡例

記号	名称	配管材料及びその他使用材料	備考
—D—	ドレン管	一般:硬質塩化ビニル管(VP) JIS K 6741	
—SA—	給気ダクト	一般:スパイラルダクト、垂鉛鉄板	
—RA—	還気ダクト	一般:スパイラルダクト、垂鉛鉄板	



サブプース内観図 S=1:30



空調換気機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
ACP 1	空冷式パッケージエアコン	型式: 空冷HP方式(ブース屋根上設置形ダクト式) 冷房能力: 4.5kW (1.6~5.0kW) 暖房能力: 5.0kW (2.0~6.3kW) ヒータ以外 補助ヒータ: 2.0kW 圧縮機: 1.1kW (インバータ式) 付属品: 加圧・吸気ファン、補助ヒータ制御盤 : 防振ゴム、空調機架台、吸気管及び支持金物 : コントロールボックス(ワイヤードリモコン、リモコンケーブル)	3φ200V 冷房1.24kW 暖房1.60kW + エアカーテン0.83kW	1	1階 收受室	OA 5.0m ³ /min以上 (300CMH) 以上 循環 7.0m ³ /min (420CMH) エアカーテン組込(記号: AF1) 型式: 金属製貫流扇 能力: 240m ³ /h以上 風速: 3~6m/sec ヒータ: 800W
FH 1	床ヒーター	型式: 床置き式(荒床上) 直貼りフローリング用 ヒータ: 155W、寸法: 750x900x12 付属品: 制御盤、サーミスタ	1φ200V 155W	1	1階 收受室	制御盤は電気工事にて取付

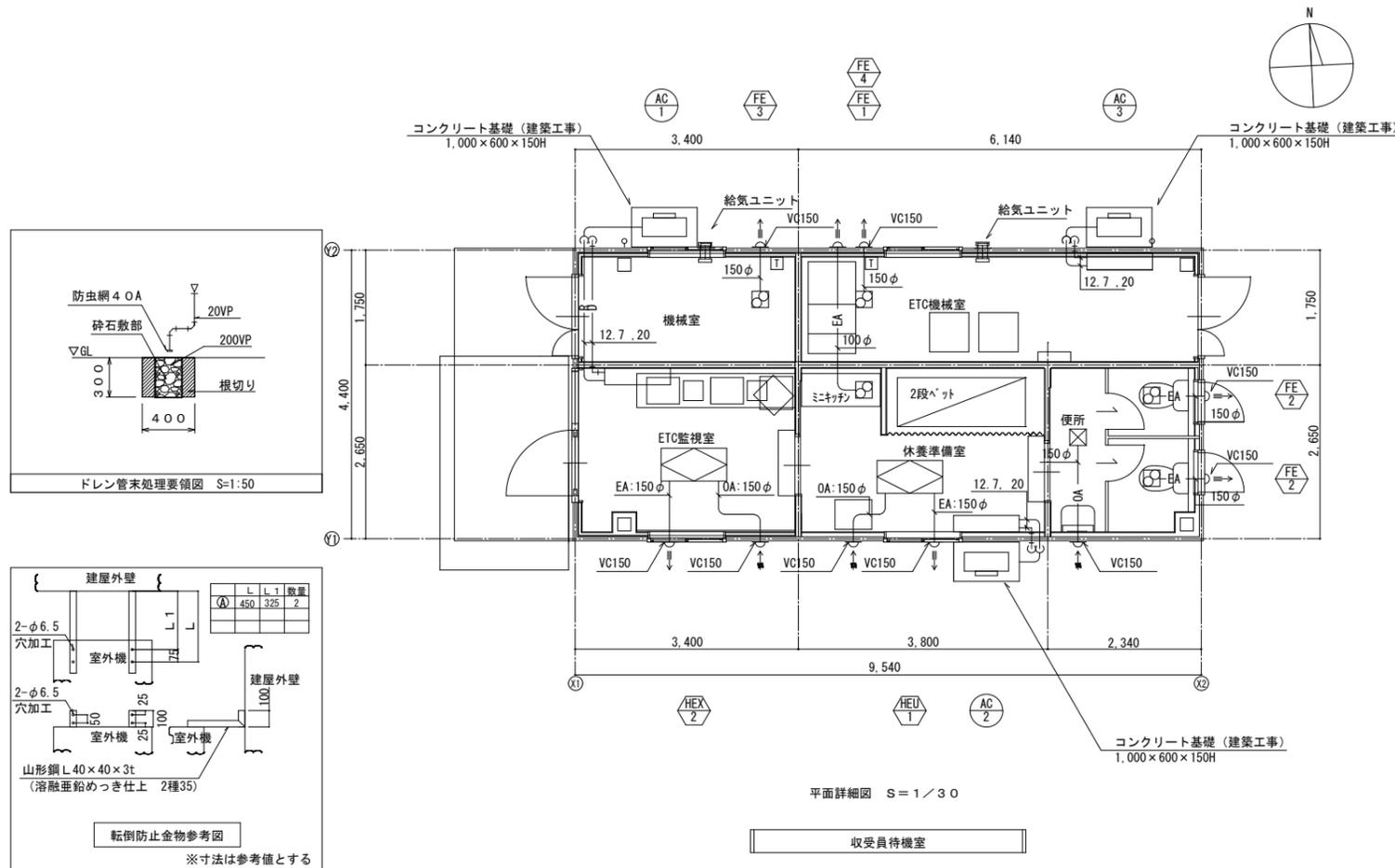
特記仕様
1. 機器は製造者の標準仕様とする。
2. 予備フィルターは100%とする。
3. 電気容量は参考値とする。

制気口リスト

室名	系統	種類	制気口						個	備考
			寸法		ボックス		ボックス内貼			
			L	W	L	W	H	無	GW25t	
1階 サブプース	空調給気	VHS	200	200	-	-	-	-	-	1
1階 サブプース	空調給気	VHS	100	300	-	-	-	-	-	1
1階 サブプース	空調還気	GHS	150	250	-	-	-	-	-	1

- (注記) 1. エアコン屋内外機の連絡配線は本工事とし共巻きとする。
2. 露出冷媒管の外装材は樹脂製化粧カバーとする。
3. ベントキャップは深型ステンレス製とし焼付指定色仕上げとする。
4. 外気取入れダクトは防露 (GW25mm) 施工のこと。
5. 排気ダクトは外壁より1mまで防露 (GW25mm) 施工のこと。
6. 保温仕様 スパイラルダクト: 屋内隠蔽・機械室内はN・(口)・XI とする。
7. 保温仕様 長方形ダクト・チャンバー: 屋内隠蔽はI・(口)・XI とする。
8. 屋内ドレン配管は化粧カバー内とする。

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所 収受員待機室 空調換気設備 詳細図・機器表	番号	M-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



空調換気機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
AC1	壁掛エアコン	型式: 空冷HP式 壁掛形R-M7コン 冷房能力: 2.2kW 暖房能力: 2.2kW 圧縮機: 0.60kW (インバータ式) 付属品: リモコン、リモコンケーブル、 防振ゴム、遠隔操作7ボタン	1φ100V 冷房0.57kW 暖房0.47kW	1	1階 ETC監視室	コンクリート基礎 (建築工事)
AC2	壁掛エアコン	型式: 空冷HP式 壁掛形R-M7コン 冷房能力: 2.2kW 暖房能力: 2.2kW 圧縮機: 0.60kW (インバータ式) 付属品: リモコン、リモコンケーブル、 防振ゴム、遠隔操作7ボタン	1φ100V 冷房0.57kW 暖房0.47kW	1	1階 休養準備室	コンクリート基礎 (建築工事)
AC3	空冷式パッケージエアコン	型式: 空冷式 壁掛形 冷房専用 冷房能力: 4.5kW 圧縮機: 0.71kW (インバータ式) 付属品: ワイヤードリモコン、リモコンケーブル、 防振ゴム、遠隔操作7ボタン	3φ200V 冷房1.15kW	1	1階 ETC機械室	異常警報用端子付 停電後自動復帰装置付 コンクリート基礎 (建築工事)
HEU1	全熱交換器	型式: ダクト用全熱交換器 (天井埋込形) 能力: 100φ×40m3/h×50Pa 付属品: リモコン、 SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 60W	1	1階 休養準備室	
HEU2	全熱交換器	型式: ダクト用全熱交換器 (天井埋込形) 能力: 100φ×60m3/h×100Pa 付属品: リモコン、 SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 60W	1	1階 ETC監視室	
FE1	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×60m3/h×100Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 27W	1	1階 休養準備室 (ミニキッチン)	
FE2	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×70m3/h×50Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 15.5W	2	1階 便所	
FE3	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×80m3/h×50Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 15.5W	1	1階 機械室	
FE4	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×130m3/h×50Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 23W	1	1階 ETC機械室	
	給気ユニット	型式: 差圧式、壁取付型 仕様: 150φ×150m3/h 付属品: 外気洗浄フィルター、ペントキャップ、 他付属品一式	-	2	1階 ETC機械室 1階 機械室	
	温度スイッチ	型式: 埋込形 (温度調整範囲0°~40°)	-	2	1階 ETC機械室 1階 機械室	電気工事で据付け

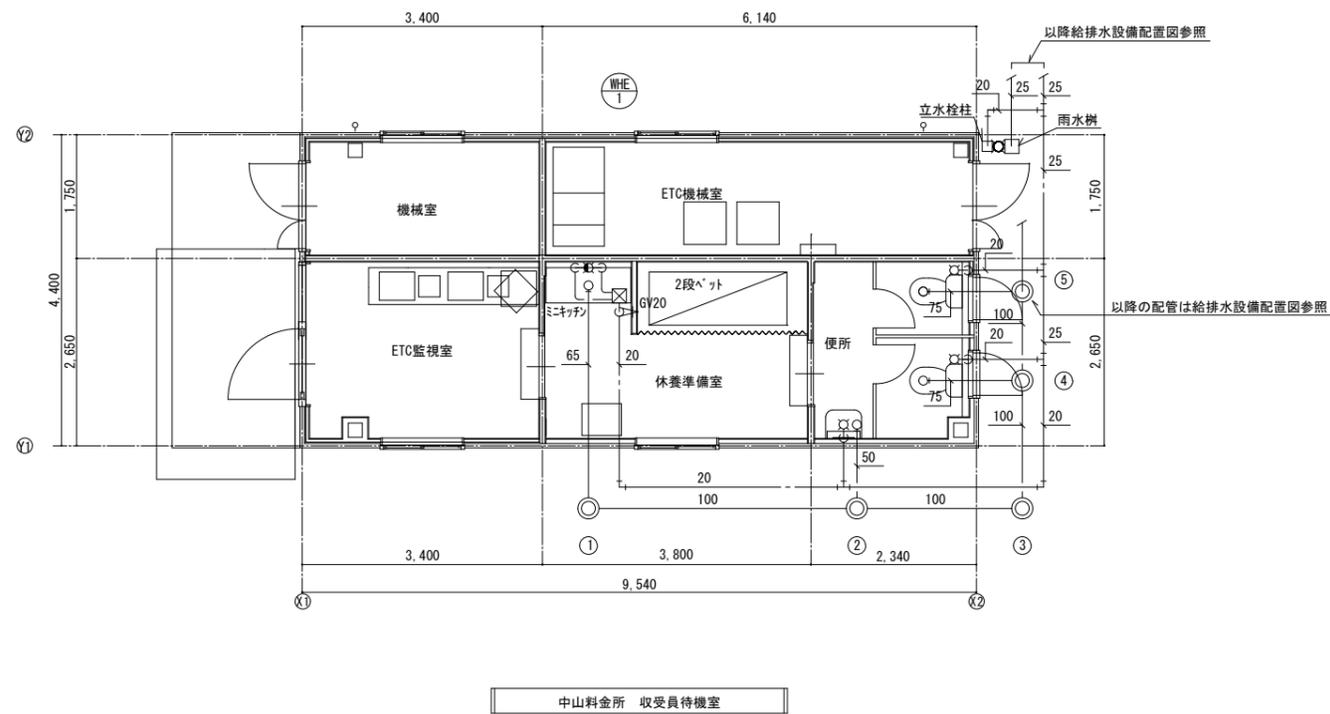
特記仕様
1. 機器は製造者の標準仕様とする。 4. 電気容量は参考値とする。
2. 機器基礎は建築工事とする。
3. 予備フィルターは100%とする。

制気口リスト

室名	系統	風量				種類	制気口					個	備考	
		SA	RA	OA	EA		寸法			ボックス	ボックス内貼			
		m3/h	m3/h	m3/h	m3/h		L	W	L	W	H	無	GW25t	
1階 便所前室	外気	-	-	140	-	VHS	200	200	400	400	350	-	○	2

- (注記)
- エアコン屋内外機の連絡配線は本工事とし共巻きとする。
 - 露出冷媒管の外装材は樹脂製化粧カバーとする。
 - ペントキャップは深型ステンレス製とし焼付指定色仕上げとする。
 - 外気取入れダクトは防露 (GW25mm) 施工のこと。
 - 排気ダクトは外壁より1mまで防露 (GW25mm) 施工のこと。
 - 保温仕様 スパイラルダクト: 屋内隠蔽・機械室内はN・(ロ)・XI とする。
 - 保温仕様 長方形ダクト・チャンバー: 屋内隠蔽はI・(ロ)・XI とする。
 - 保温仕様 排気筒: RW50mm + アルミガラスクロス + 亀甲金網とする。

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所 収受員待機室 給排水設備 配管詳細図	番号	M-06
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



衛生機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
WH1	電気温水器	型式：据置型貯湯式 先止め式（飲用・洗物用） 能力：貯湯量12L 付属品：シングルレバー混合水栓、週間スケジュールタイマー、安全弁、排水ホッパー、その他付属品一式	1φ100V 1.1kW	1	1階 ミニキッチン	参考型番：REKB12A12（TOTO） 転倒防止措置は「国土交通省告示第1447号」に則った施工方法とする。

特記仕様
1. 機器は製造者の標準仕様とする。 2. 電気容量は参考値とする。

器具表

器具名	広島市機械設備工事機材標準図記号	数量	備考
仕切弁	GV-20 10k	1	

衛生器具表

器具名	型式	JIS記号	数量	電気容量
洋風便器	腰掛式タンク密結形先落とし便器	C1200R	2	-
	ロータンク（防露式、手洗い付）	-	-	-
	洗浄便座	-	-	1φ100V-410W
	紙巻器（樹脂製）	-	-	-
手洗器	手洗器（一般）	L710	1	-
	台付自動水栓（単水栓）	13-FA	-	1φ100V-5W
	水石けん入れ	-	-	-
	取付金具	-	-	-
	壁排水金具（Pトラップ）	-	-	-
水栓柱	泡沫自在水栓、水栓柱	13-F9A	1	-

注記

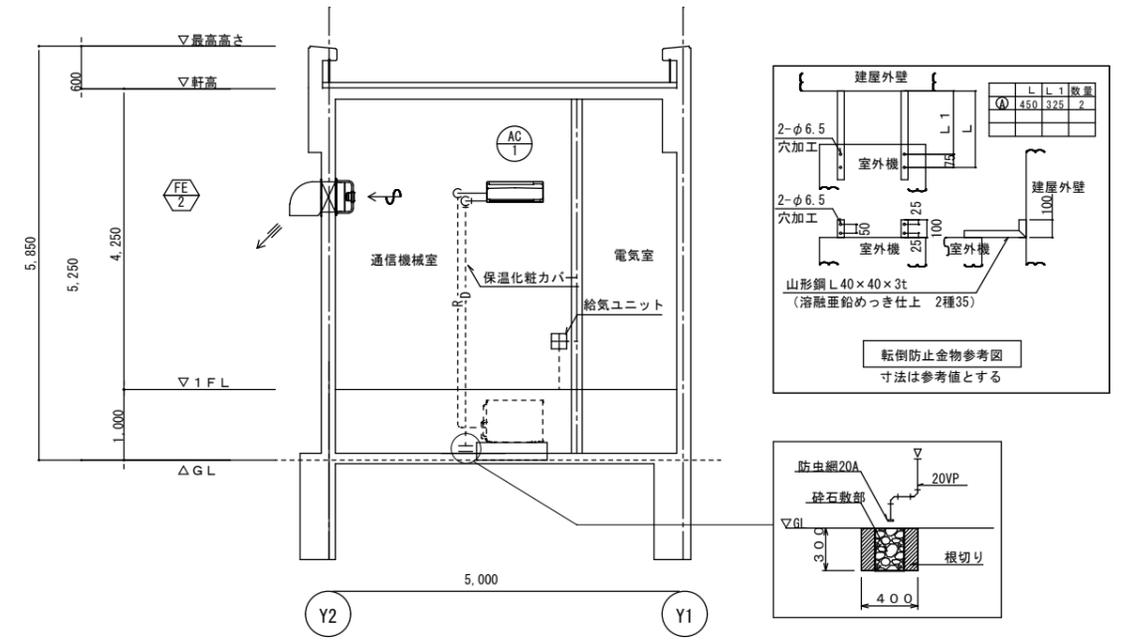
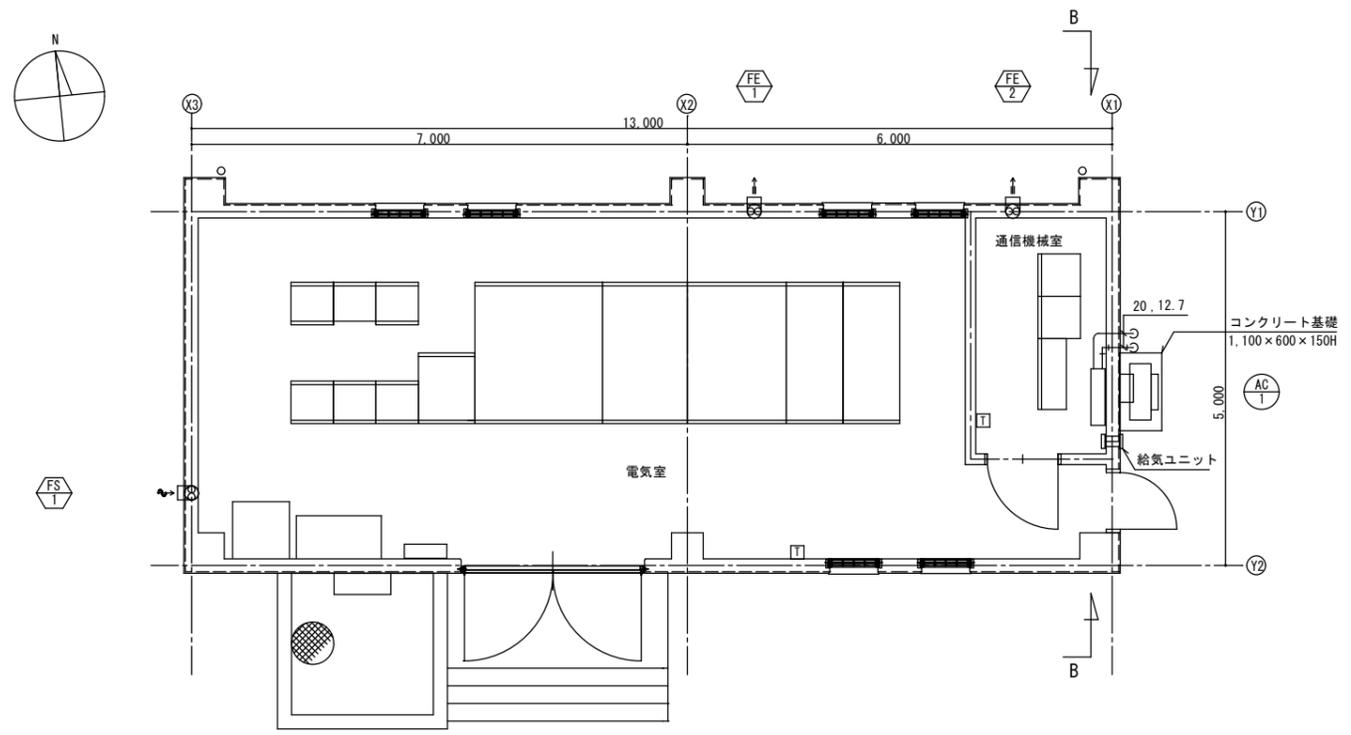
上記記号は広島市都市整備局建築部設備課監修 機械設備工事機材標準図（H22年度対応）による

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山電気室 空調換気設備 詳細図・機器表	番号	M-07
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

空調換気機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
AC 1	空冷式パッケージ エアコン	型式: 空冷式 壁掛形 冷房専用 冷房能力: 4.0kW 圧縮機: 0.71kW (インバータ式) 付属品: ワイヤードリモコン、リモコンケーブル、 : 防振ゴム、遮断操作ボタン、 : 空調機故障信号出力付き	3φ200V 冷房0.995kW	1	通信機械室	異常警報用端子付 停電後自動復帰装置付 サマスタッド付 コンクリート基礎 あと施工アンカー (M10程度) スリーブ (φ100)
FE 1	有圧扇	型式: 排気用 低騒音形 能力: 450φ×3,400m ³ /h×30Pa 付属品: SUS製カバー (防虫網付)、保護ガード、 : 取付枠 (不燃)、SUS製風圧シッター	1φ100V 390W	1	電気室	FS-1と連動運転 箱抜き530角 (既設)
FE 2	有圧扇	型式: 排気用 低騒音形 能力: 200φ×150m ³ /h×30Pa 付属品: SUS製カバー (防虫網付)、保護ガード、 : 取付枠 (不燃)、SUS製風圧シッター	1φ100V 19.5W	1	通信機械室	箱抜き230角 (既設)
FS 1	有圧扇	型式: 給気用 低騒音形 能力: 450φ×3,400m ³ /h×30Pa 付属品: SUS製カバー (防虫網付)、保護ガード、 : 取付枠 (不燃)、SUS製風圧シッター	1φ100V 360W	1	電気室	FE-1と連動運転 箱抜き530角
	給気ユニット	型式: 差圧式、壁取付型 仕様: 150φ×150m ³ /h 付属品: 外気洗浄フィルター、ペントキャップ、他付属品一式	-	1	通信機械室	スリーブ (φ200) (既設)
	温度スイッチ	型式: 埋込形 (温度調整範囲0°~40°) 自動・切・連続切替スイッチ、通電・運転ランプ付	-	2	電気室 通信機械室	0B102角54 (既設)

特記仕様
 1. 機器は製造者の標準仕様とする。 2. 電気容量は参考値とする。 3. 予備フィルターは100%とする。
 4. エアコン屋内外機の連絡配線は冷媒配管への共巻きとする。 5. 露出冷媒管の外装材は樹脂製化粧カバーとする。



中山電気室 空調・換気設備図

注記 1. 次の項目は施工済み。
 ・エアコンの冷媒・ドレン配管の壁スリーブ
 ・エアコンの基礎、ドレン排水受け砕石
 ・有圧換気扇、吸気ユニット用壁あけ

ドレン管末処理要領図 S=1:50
 注記: 根切り、砕石数は本工事とする。